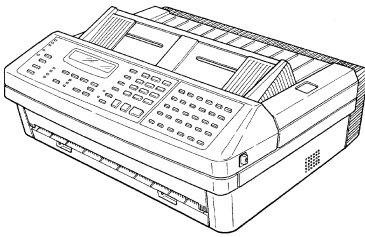
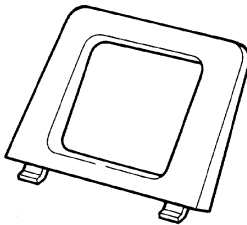
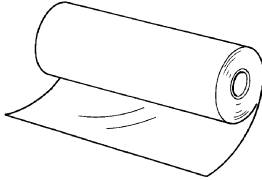
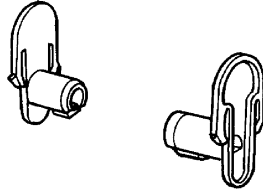
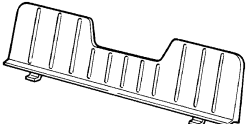
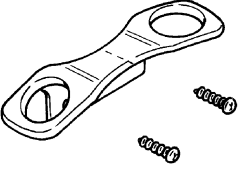
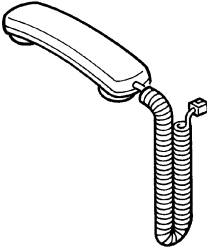
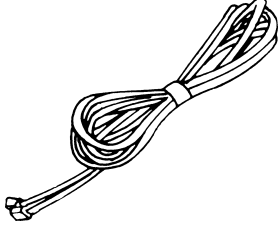
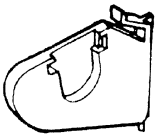
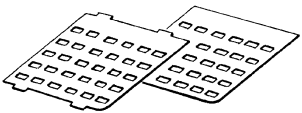
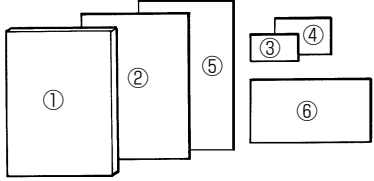
Muratec

F-355

取扱説明書

energy

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

SUPER G3

同梱品を確認する

●本機がお手元に届きましたら、以下の内容がそろっているかご確認ください。万一、足りないものやご不明な点がありましたら、お買い上げの販売店またはインフォメーションセンター（裏表紙参照）にご連絡ください。

1 ファクス本体	2 原稿台	3* 記録紙 （普通紙ライク感熱記録紙 B4 15m）
4 記録紙ホルダーセット	5 記録紙受け	6 電話台 ネジ2本
7 本体電話およびカールコード	8 回線接続コード	9 仕切板 ※本体にセット済み
10 ワンタッチシート シートカバー ※本体にセット済み	11 取説キット(スターターキット) ①取扱説明書 .... 1冊 ②簡易取扱説明書 .... 1枚 ③連絡先カード .... 1枚 ④カード入れ .... 1枚 ⑤お問い合わせ先一覧 .... 1枚 ⑥保証書（梱包箱に貼付） 1枚	

ご使用にあたってのお願い
本機をご使用にあたって、NTTのレンタル電話機が不要となる場合は、NTTへご連絡ください。 ご連絡いただいた日をもって、**「機器使用料」は不要**となります。 詳しくは、**局番なしの116番（無料）**へお問い合わせください。

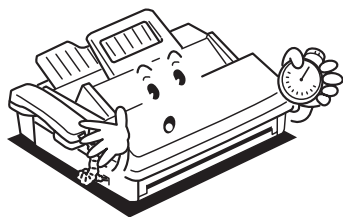
MEMO

- ＊は消耗品です。消耗品やオプション品については「消耗品とオプション品について」172ページ参照の上、お買い上げの販売店またはインフォメーションセンターにお問い合わせください。
- 使用頻度が多いときや長時間使用いただいた場合は、ローラーなどの機械部品は耐用限度を超える場合があります。その際、部品交換は消耗品として取り扱いさせていただきます。

目　次

F-355の主な特長

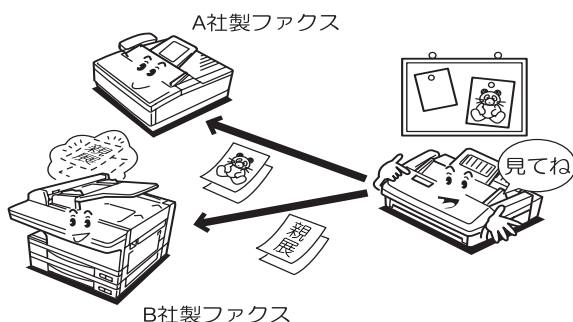
1. スーパーG3&JBIG

ITU-T（国際電気通信連合）の新規格V.34準拠の33.6Kbpsファクスモデムの搭載により、一般電話回線で超高速2秒台電送のスーパーG3通信が可能です。さらに新標準圧縮方式JBIGを採用。写真原稿も超高速で送信できます。

2. Fコード通信対応（79ページ）

ITU-T（国際電気通信連合）の規格に準拠したFコード通信に対応しているので、他メーカーでも対応機種間であれば、親展、掲示板機能、中継指示通信が利用できます。

A社製ファクス

見てね

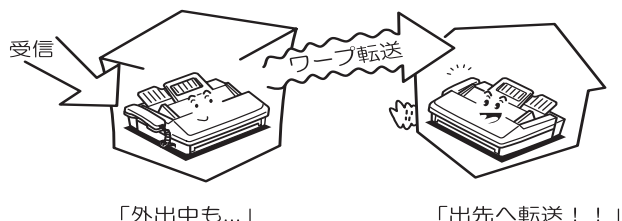
B社製ファクス

3. FAXワープ機能（65ページ）

指定時間内に受信した原稿をあらかじめ設定した宛先に転送することができます。例えば、外出中にオフィスに送信された原稿を出先や自宅で受信できます。
また、ナンバー・ディスプレイワープ機能（90ページ）を利用すると、あらかじめ登録した相手先からのファクスを転送することもできます。

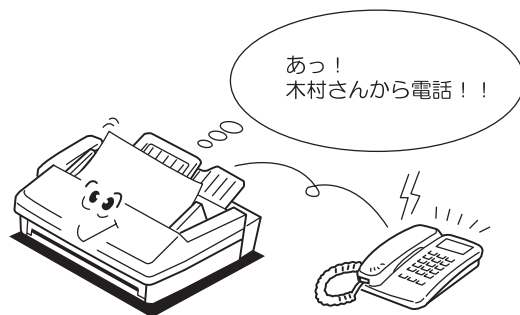
受信

ワープ転送

「外出中も…」

「出先へ転送！！」

4. ナンバー・ディスプレイ対応（90ページ）

NTTのナンバー・ディスプレイサービスを利用すると、相手先の番号がディスプレイに表示されます。またよくかかってくる相手先の名前を登録しておくと、番号の代りに名前が表示されますので、一目で確認できます。
またナンバー・ディスプレイ対応の電話機を接続すれば、FAXと電話機の両方で同サービスを利用することもできます。

あっ！
木村さんから電話！！

5. プログラムワンタッチ（112ページ）

応用機能の通信メニューを登録した後、ワンタッチで自動通信することができます。通信以外にもリストの出力や原稿蓄積などの操作もワンタッチで実行できます。

ワンタッチ！

6. TEL/FAX切替＆ダイヤルイン切替（63ページ）

一本の電話回線をファクスと電話に自動切替で利用できます。相手が電話の時はベルが鳴り、ファクスの時は自動受信します。また、NTTのダイヤルインサービスをご利用になると、一本の電話回線に、本体電話機用、増設電話機用、ファクス用と3つの別々の電話番号がつけられ、それぞれ自動切替で利用できます。

増設電話機用
○○○-××××

NTT

本体電話機用
○○○-□□□□

FAX用
○○○-△△△△

F-355の主な特長

7.同報送信（50ページ）

ワンタッチ、短縮ダイヤル、グループ番号などを利用すると、最大220宛先まで1度の操作で送信することができます。

8. プレフィクス機能（53ページ）

IP電話を通常ご使用の場合に、IP電話ではなく、一般公衆回線経由でファクスするときに、あらかじめプレフィクスキーに登録しておいた番号（0000など）を付加して送信できます。

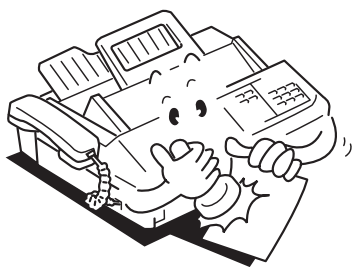
9. 済スタンプ（25ページ）

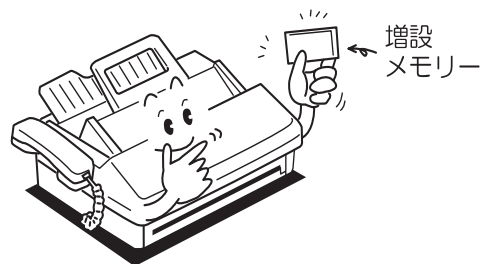
リアルタイム送信の際は、送信済みの原稿に○印をスタンプし、送信モレや二重送信を防ぎます。メモリー送信の際には、メモリーに読み込まれたことを示す読み込み済スタンプとなります。

10.代行受信（43ページ）

記録紙が無くなっても補給までの間、メモリーが代わってファクスを受信します。最大100通信、A4サイズ700文字程度の原稿で約95枚分蓄積できます。新しい記録紙を補給した時点でプリントアウトするので安心です。

11. 漢字入力（17ページ参照）

発信元名や送信案内証のメッセージに漢字を入力できますので、見やすくなり便利です。
（第二水準一部対応）

12. メモリー増設：オプション（172ページ）

通信量に応じて、メモリーを増設することができます。（標準1.2MB。最大5.2MBまで増設可能）増設によりメモリー送信や代行受信の際、蓄積する原稿枚数を増やすことができます。

本書のみかた

この取扱説明書はムラテックF-355ファクシミリの標準的な設置方法および操作方法について記載したものです。
初めてF-355をお使いになる方は始めから順序よくお読みください。取扱説明書は大切に保管し、わからないときには、再読してください。

- この取扱説明書を紛失された場合、購入することができますので、インフォメーションセンターまでご連絡ください。
- この取扱説明書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

大見出し

この機能を詳しく
説明しています。

操作する前に
知っておきたい事柄を
説明しています。

項目名

操作手順
を示しています。番号順に操作します。

操作パネル上のキー
を示しています。

液晶ディスプレイの表示

ポイント欄
操作する上で、特に便利な内容について説明しています。

MEMO欄
このページ全体について操作する上で、知っておいた方が便利な内容や、注意点について説明しています。

第1章
ご使用の前に

もくじ

1 ご使用の前のお願い

必ずお守りください

ご使用の前にはこの「取扱説明書」の「ご使用の前のお願い」をよくお読みの上、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる場所に必ず保存してください。

●表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

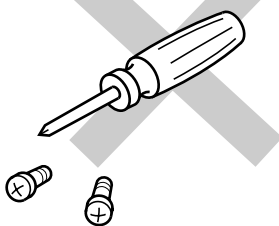
⚠警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害の発生が想定される」内容です。
お願い	この表示の欄は、「本製品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく」内容です。

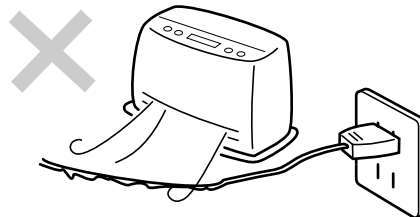
●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です）

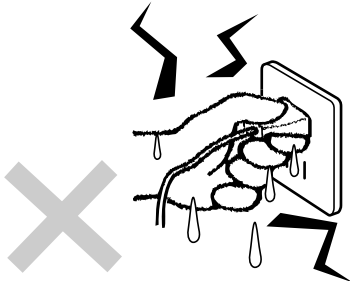
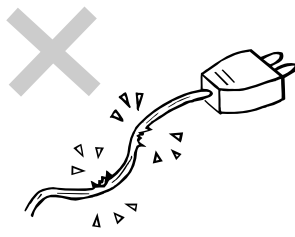
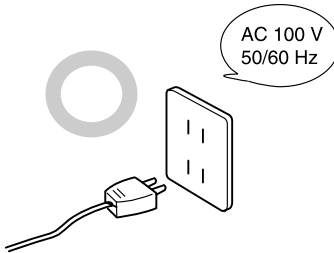
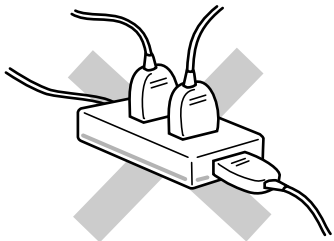
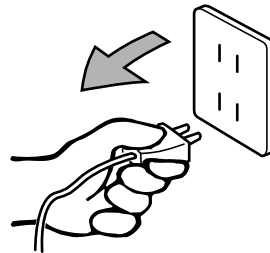
⚠	この記号は、警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図の中には注意内容が描かれています。
⃠	この記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。
❗	この記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中には具体的な指示内容が描かれています。

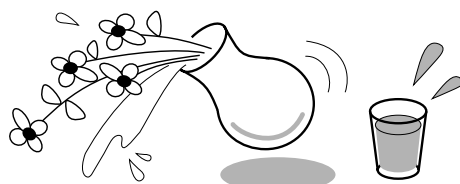
※本製品の故障、誤動作、不具合あるいは停電等の外部要因によって、通信、記録等の機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任をおいかねますので、あらかじめご了承ください。

⚠警告

絶対に分解、修理、改造しないでください。

感電や故障の原因となります。修理はインフォメーションセンターにご依頼ください。

本機や電源コードを熱器具などの火気に近づけないでください。

コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となります。

金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落としたりしないでください。

火災、感電の原因となります。特にお子様のいる家庭ではご注意ください。万一異物が入った場合は、電源コードを抜いて当社のインフォメーションセンターまでご連絡ください。

装置上に水、薬品を置かないでください。

本機の上に花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災、感電の原因となります。

サーマルヘッド（印字部）には触れないでください。

動作直後は高温になっており、やけどの原因になります。また、画質低下の原因になります。

電源コードが傷んだ場合は（芯線の露出、断線など）当社のインフォメーションセンターに交換をご依頼ください。

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

幼児や児童の手の届くところには設置しないでください。

動作が停止したり、トラブルの原因となることがあります。また、お子様にとって指をはさむなどの危険があります。

電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。

電源プラグの刃に金属などが触れると火災・感電の原因となります。

一般家庭用電源をご使用ください。

AC 100 V
50/60 Hz

AC100V、50／60Hz以外の電源は使用しないでください。火災や修理不可能な故障の原因となります。

電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。

電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

油飛びや湯気の当たるところには設置しないでください。

火災・感電の原因となります。

電源プラグの刃および刃の取付面にほこりが付着している場合はよく拭いてください。

火災の原因となります。

濡れた手で電源プラグをコンセントに差し込まないでください。

感電やけがをすることがあります。

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重いものをのせたり、挟み込んだりしないでください。

電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。電源コードが傷ついたら当社インフォメーションセンターに修理をご依頼ください。

テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、たこあし配線はしないでください。

火災・感電の原因となります。

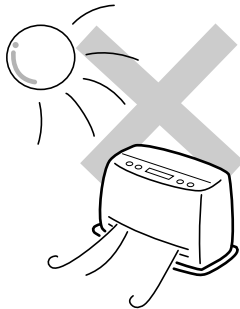
⚠注意

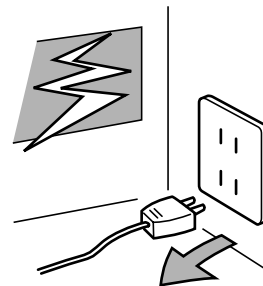
この取扱説明書に記載されている以外のことは行わないでください。

思わぬ事故や故障を起こす原因となることがあります。

不安定な場所には設置しないでください。

振動の多いところや、ぐらついた台の上など、不安定な場所には置かないでください。また、本機の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してケガや故障の原因となることがあります。

温度の高い場所へ設置しないでください。

直射日光の当たるところ、ストーブ、ヒータなどの発熱器具のそばなど温度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

雷が激しいときは電源コードをコンセントから抜いてください。

落雷により本機が故障することがあります。また、雷によっては、火災・感電の原因となることもあります。

破損時の対処

万一、本機を破損した場合は、本体の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて、当社インフォメーションセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。

湿度の高い場所へ設置しないでください。

浴室や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは使用しないでください。火災の原因となることがあります。

次のようなときには、ただちに使用を中止し、電源コードを電源コンセントから抜き、当社のインフォメーションセンターにご連絡ください。

・機械から発煙したり、機械の外側が異常に熱くなったとき。
・異常な音がするとき。

カバーなどを閉めるときは手をはさまないように注意してください。

指に注意

けがの原因となることがあります。

万一漏電したときの感電事故防止のため、アース線を接地端子に取り付けてください。

接地端子

※アース線は別途ご用意ください。

お願い

高温・多湿・低温の場所へ設置しないでください。

温度　5～35 ℃
湿度　10～80 %

いつも良い条件でお使いいただける環境は下記のとおりです。
温度　5～35℃　　湿度　10～80% RH

テレビやラジオなど磁気が発生する場所には設置しないでください。

本機が正常に動作しないことがあります。

酸性ガス、アルカリ性ガス、水蒸気などが発生する場所には設置しないでください。

腐食により、故障の原因となることがあります。

低温環境へ設置しないでください。

製氷倉庫など特に温度が下がるところでは本機が正常に動作しないことがあります。

動作中は電源断したり、開閉部を開けたりしないでください。

通信やコピー等の動作中に電源コードを抜いたり、原稿カバーを開けたりしないでください。動作が中断されたり、故障の原因となります。

室内温度を急激に上げないでください。

装置内部に水滴ができ、故障の原因になります。

落下させたり、衝撃をあたえないでください。

落としたり、強い衝撃をあたえないでください。故障の原因となります。

機械のスムーズな動作と良質な画質を得るために、日常のお手入れをお願いします。

不使用、不在時の処置

旅行などで長時間、本機をご使用にならないときは安全のため必ず電源スイッチを切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

設置スペースを十分に確保してください。

約20cm
約10cm
約10cm
約40cm

放熱効果が十分に得られないと、内部に熱がこもり故障の原因となることがあります。

電波障害時の対処

本機の設置場所等によっては、近くに置いたラジオへの雑音やテレビ画面のチラツキなどが発生する場合があります。このような現象が本機の影響によると思われましたら、本機の電源コードを抜いてください。電源を切ることにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、次のような方法を試みてください。
・本機をテレビ等から遠ざける
・本機またはテレビ等の向きを変える

国内でのみ使用してください。

本機は国内電源仕様になっていますので、海外ではご使用になれません。

コピー禁止事項

お願い

●次のようなものをコピーすることは法律で禁止されています。
- ・紙幣、貨幣、政府発行有価証券、国債証券、地方債証券
- ・外国で流通する紙幣、貨幣、証券類
- ・未使用の郵便切手や官製ハガキ
- ・政府発行の印紙および酒税法や物品税法で規定されている証券類

●次のようなものをコピーすることは、注意が呼びかけらています。
- ・民間発行の有価証券（株券、手形、小切手）、定期券、回数券
- ・政府発行のパスポート、公共機関や民間団体の免許証、身分証明書、通行券、食券などの切符類

●著作権の対象となっている著作物は、個人的に限られた範囲内で使用するため以外はコピーを禁止されています。

済スタンプについて

お願い

●済スタンプの付属のピンは先がとがっています。刺さらないようご注意ください。
●スタンプ印面には、直接手を触れないでください。また、インクが手などに付着したときは、すぐに水で洗ってください。

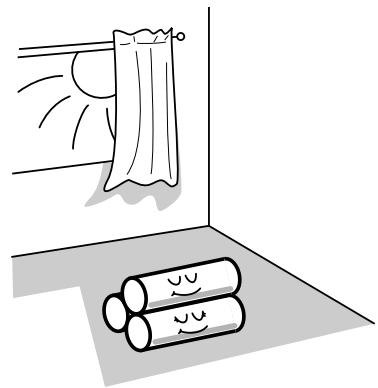
感熱記録紙について

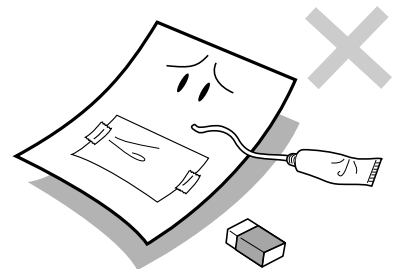
お願い

●当社指定のものをお勧めします。

指定以外の記録紙をご使用になり、故障や画質不良が発生した場合の修理は、保証期間内であっても有料となることがあります。

●保管するには……

記録紙は高温多湿の場所、直射日光の当たるところを避けて（机の中など）気温60℃以下、湿度85%以下の冷暗所に保管してください。また、開封せずに保管してください。

●消しゴムやボンドは避けてください。

感熱記録紙に粘着テープ、消しゴム、ジアゾコピー紙などを密着させたり、硬い金属で押さえたりすると、発色することがあります。また、ゴム系のり、ボンド、スティックのりなども発色の原因となります。

●受信後の変色にもご注意を

感熱記録紙は受信やコピー後に、火のついたタバコやライターなど高温のものを近づけると変色します。また、消しゴム、薬品、マーカーペンなどで退色または変色する場合がありますので、取り扱いに注意してください。

2 各部の名称とはたらき

本体各部の名称とはたらき

原稿台

記録紙受け
受信された記録紙、コピーやメッセージ・リストがストックされます。

原稿挿入口
原稿の送りたい面を下にして挿入します。
※原稿は自動的にスタート位置に引き込まれます。

トップカバー開放ボタン
トップカバーを開けるときにこのボタンを押します。

原稿ガイド
原稿を挿入するときに、原稿に添わせてください。

トップカバー
記録紙交換、記録紙づまりのときに開けます。

通風口
機械本体からの熱が放出されますので、ふさがないでください。

液晶ディスプレイ

操作パネル
送受信操作、ダイヤルの他、機能設定を行います。

原稿カバー開放レバー
原稿カバーを開けるときにこのレバーを手前に引きます。

原稿排出口
送信・コピーが終わった原稿が排出されます。

原稿カバー
原稿づまり、済スタンプの交換のときに開けます。

記録紙排出口
受信文書やコピーが排出されます。

本体電話
電話機として使用します。また相手先へダイヤルもできます。

電源スイッチ
※電源は常に入れておいてください。
（○…OFF　｜…ON）

接地端子
アース線を接続します。

電源コード

スピーカ音量ボリューム
スピーカの音量を調節します。

ダイヤルインスイッチ
ダイヤルインサービスをご使用になるときはONにします。（63ページ参照）
ご使用でないときは必ずOFFにしておきます。

PHONE1 端子
本体電話を接続します。

LINE 端子
回線接続コードを接続します。

PHONE2 端子
増設電話を接続します。

操作パネルの名称とはたらき

エラーランプ
エラーがおきると点灯します。

通信中ランプ
通信中に点灯します。

代行受信ランプ
メモリーにデータが入ると点灯します。

自動受信キー／ランプ
自動受信と手動受信を切り替えるときに押します。
自動受信に設定されているときに、ランプが点灯します。

◀ キー
カーソルを左に移動したいときに押します。

機能／▶ キー
各種の設定や登録するときに押します。
また、カーソルを右に移動したいときに押します。

セットキー
機能キーで選択した内容をセットするときに押します。

クリアキー
文字入力や電話番号入力で間違ったとき、1桁戻りながら文字や数字を消します。

ダイヤル記号キー
ハイフン(－)や外線検出(!)などのダイヤル記号を入力するとき押します。(25ページ参照)

保留キー
相手との通話を一時保留するときに使います。(47ページ参照)

オンフック／会話予約キー／ランプ
本体電話を置いたままダイヤルするときに押します。この時オンフック／会話予約ランプが点灯します。(28ページ参照)
通信中に押すと通信後会話をすることができます。(105ページ参照)

リダイヤル／ポーズキー
最後にかけた相手に再ダイヤルするときや、ダイヤルに間隔を開けたいときに押します。(25、27ページ参照)

ファクス中止／確認キー
通信を中止または確認することができます。(31ページ参照)

画質キー／ランプ
画質を選択するときに押します。選択された画質のランプが点灯します。(24ページ参照)

濃度キー／ランプ
読取り濃度を選択するときに押します。選択された濃度のランプが点灯します。(24ページ参照)

MEMO
- 表示を英語にするには機能キー＋ダイヤルキーの # で切り換えます。

同報キー
同報で複数の宛先を指定するときに押します。（50ページ参照）

応用通信キー
時刻指定、親展送信、中継同報指示、ポーリング、一括送信、Fコード送信、Fコードポーリングをするときに押します。
（第3章　便利な使いかた参照）

グループキー
グループ送信をするときに押します。（51ページ参照）

短縮／電話帳キー
短縮ダイヤルを使うときに押します。また、電話帳機能を使うときに押します。
（27、30ページ参照）

ダイヤルキー
ダイヤルしたり、コピー部数を指示するときなどに押します。

ワンタッチキー
ワンタッチダイヤル、プログラムワンタッチを使うときに押します。（17、26、112ページ参照）また、日本語、アルファベット、記号など文字を入力するときに押します。

プレフィクスキー
あらかじめ登録しておいた番号を追加するときに押します。（53ページ参照）

メモリー送信キー／ランプ
原稿をメモリーに蓄積して送信するときに押します。メモリー送信にセットしたときにランプが点灯します。（24ページ参照）

済スタンプキー／ランプ
原稿に読取りマークをつけるときに押します。
済スタンプをセットしたときにランプが点灯します。
（25ページ参照）

スタートキー
送信や手動受信のときに押します。

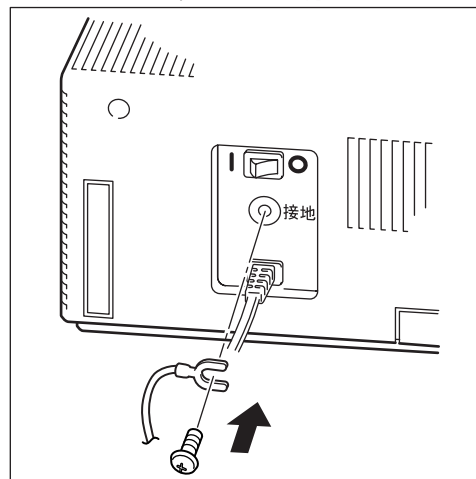
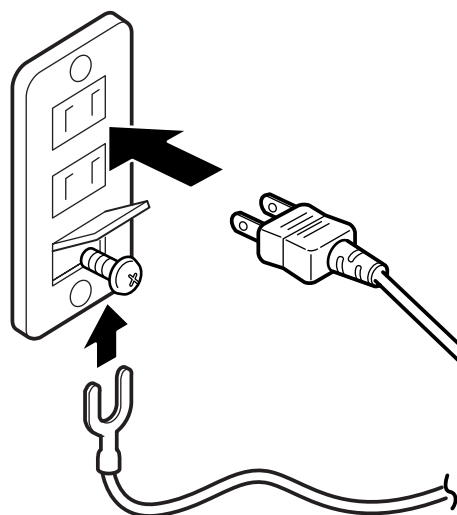
コピーキー
原稿をコピーするときに押します。（48ページ参照）

ストップキー
動作や操作を途中で中止するときや、原稿を排出するときに押します。

3 機器の接続のしかた

電源コードの接続

● 電源スイッチOFF（○）になっていることを確認して、電源プラグをコンセントに接続してください。アース線は電源スイッチの下にある接地端子に取り付けます。もう一方を、コンセントの接地端子に接続します。（アース線は付属していません。別途ご用意ください。）

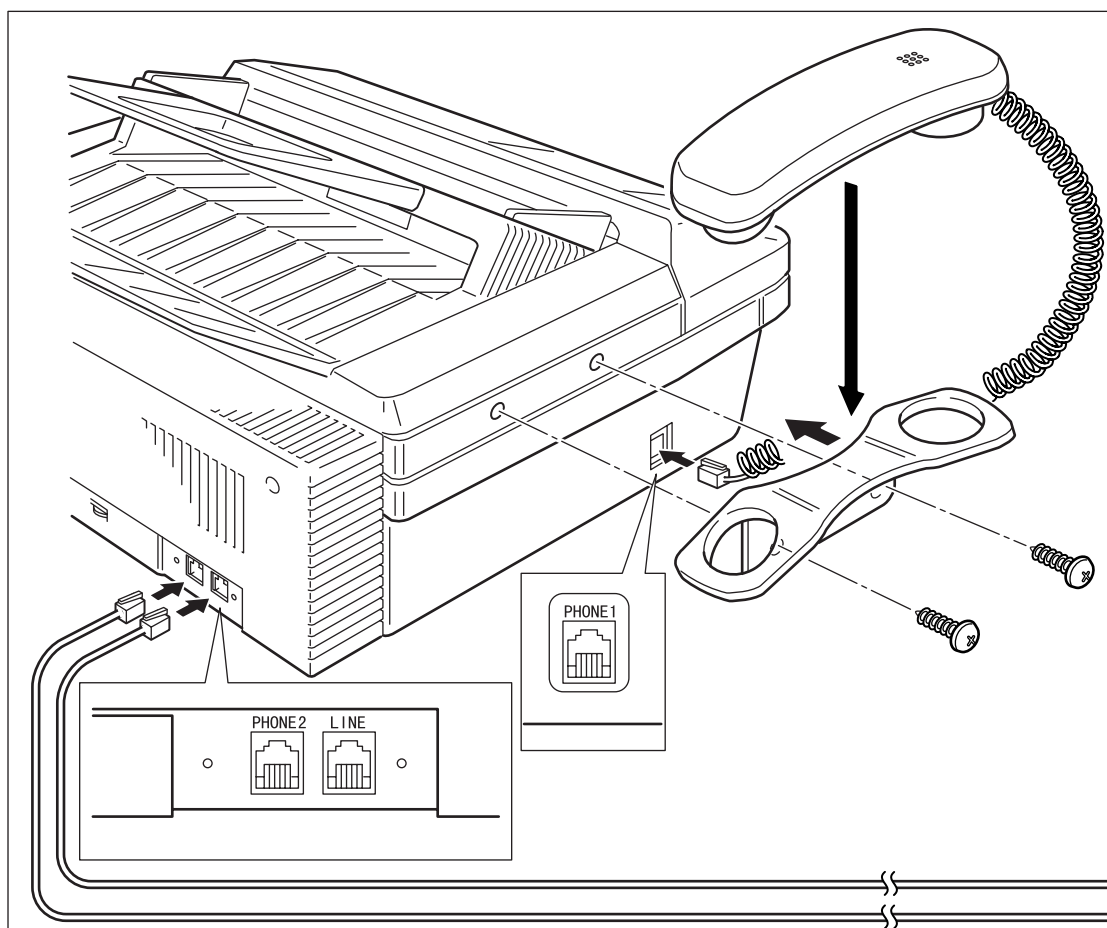
接地

電話台の取り付け

● 電話台をネジ2本で取り付けてください。

本体電話の接続

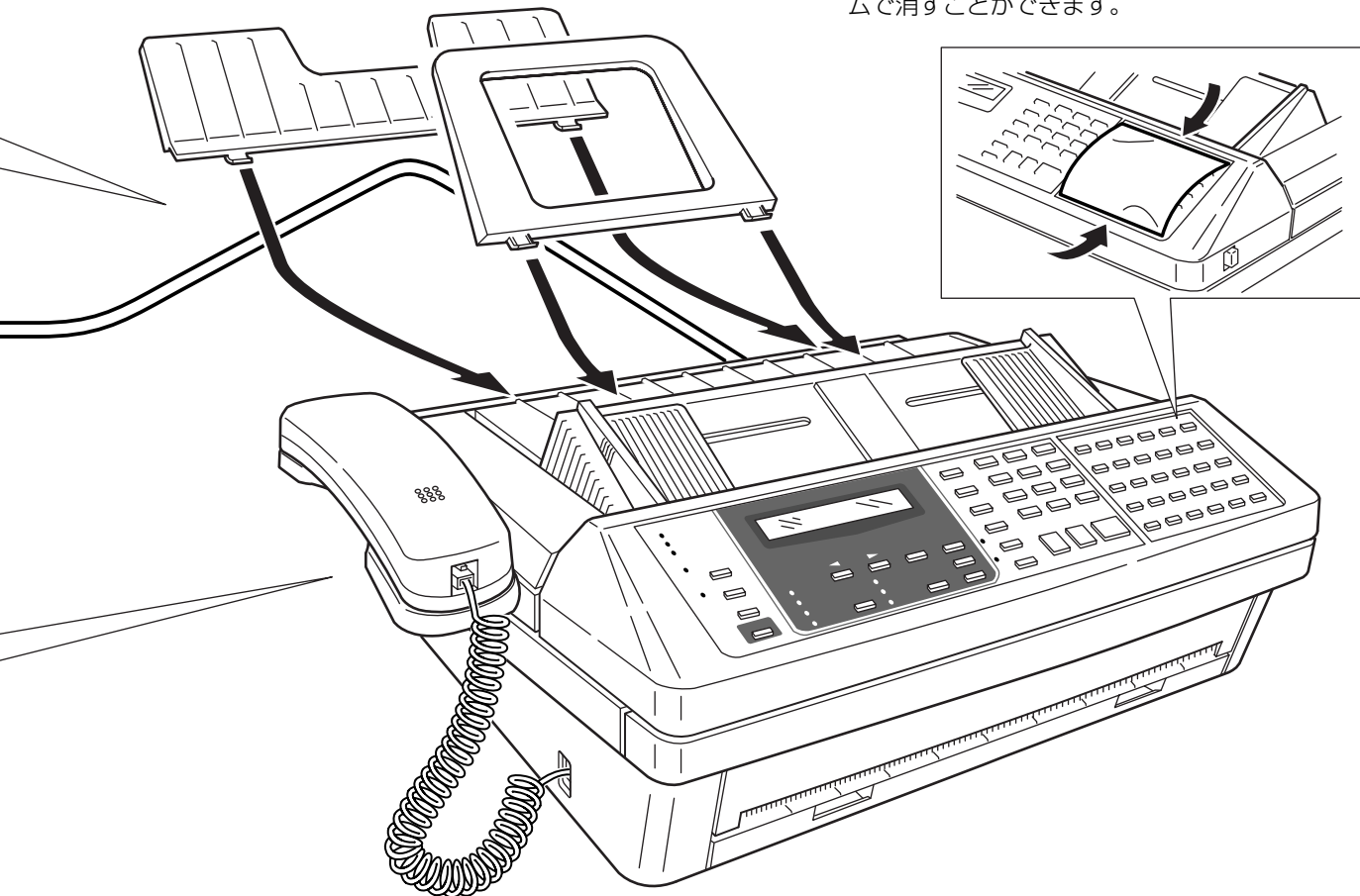
● 本体電話をファクス本体のPHONE１端子に接続してください。

PHONE1

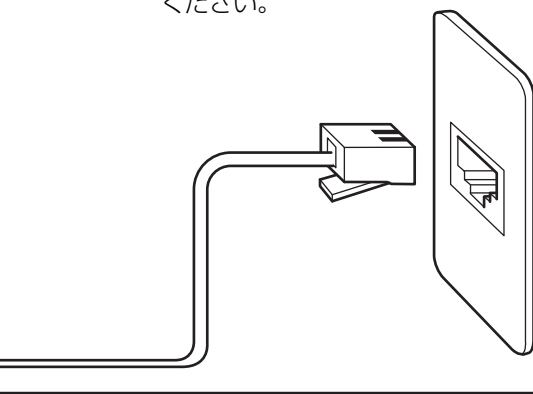
PHONE2　LINE

原稿台・記録紙受けの取り付け

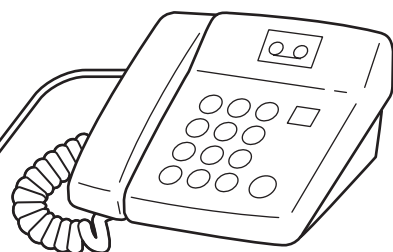
- 原稿台・記録紙受け両端のフックを穴に挿入します。

ワンタッチシートの取り付け

- まずシートカバーを外し、ワンタッチシートを外します。ワンタッチシートに直接記入してください。記入後、ワンタッチキーシート、シートカバーを元に戻します。
- ワンタッチシートは、ボールペン、鉛筆または油性ペンで直接名前を記入します。鉛筆で記入した場合は消しゴムで消すことができます。

回線接続コードの接続

- 回線接続コードをファクス本体のLINE端子と室内の電話コンセントに接続してください。

※回線接続コードは、電話コンセントにカチッと音がするまで差し込み、抜くときは、レバーを押しながら抜いてください。

増設電話（留守番電話）の接続

- 必要に応じて一般の電話または留守番電話の回線コードをファクス本体のPHONE 2端子に接続してください。

4 記録紙をセットする

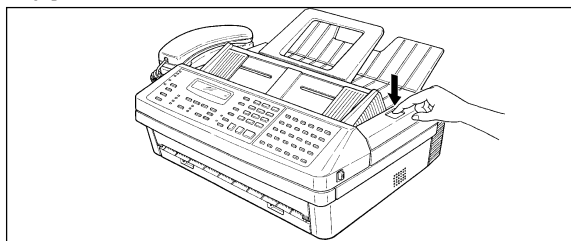
●記録品質への悪影響および故障の原因となることがありますので、当社指定の記録紙をおすすめします。
●記録紙に赤い帯が出ると「まもなく記録紙がなくなります」というお知らせです。新しい記録紙と交換してください。

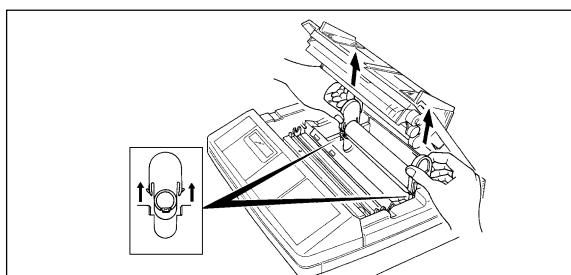
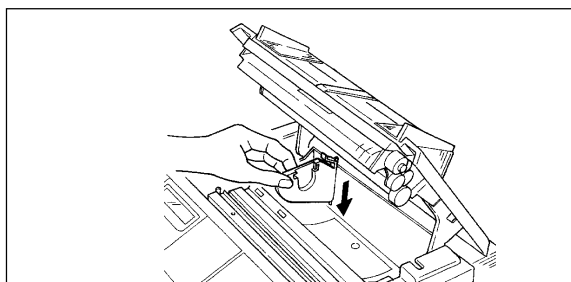
⚠注意

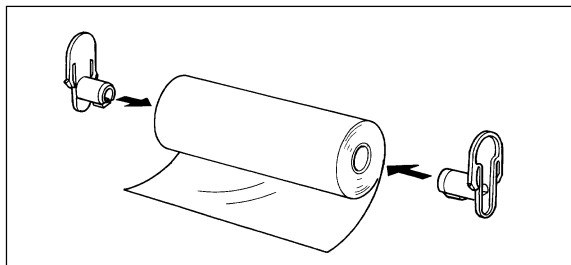
- サーマルヘッド（印字部）付近には触れないでください。動作直後は高温になっており、やけどの原因となります。
- トップカバーはいきおいよく開きますので注意してください。

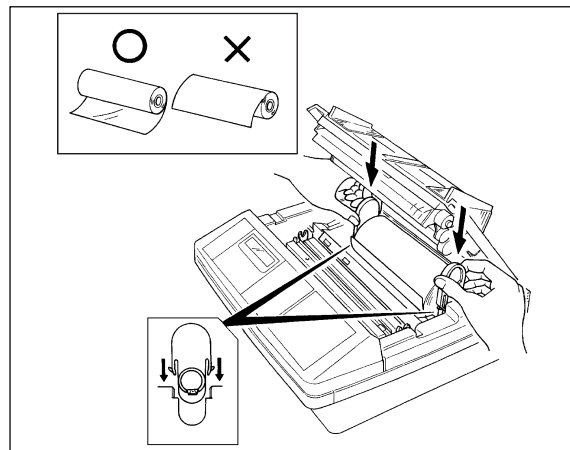
お願い

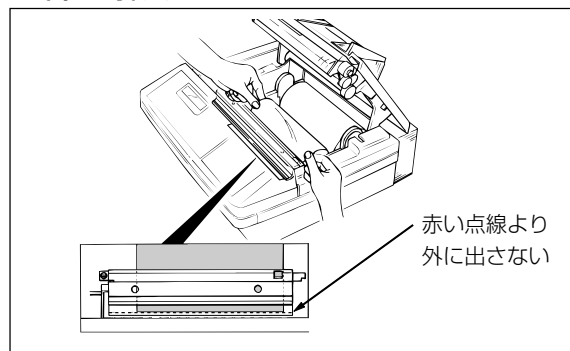
- 記録紙を交換するときは、電源を切らずに交換してください。電源を切ると蓄積原稿が消えることがあります。

1 トップカバー開放ボタンを押し、トップカバーを開けます。

＊トップカバーを完全に開きます。

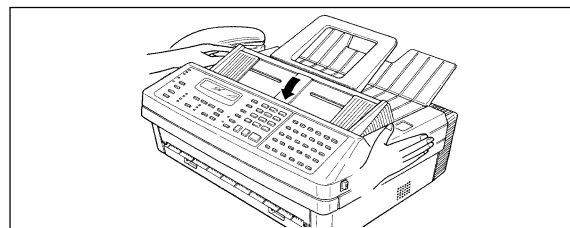
2 記録紙を交換するときは、記録紙の芯を取り除きます。

3 仕切板を記録紙サイズに合わせます。

＊A4の記録紙を使用するときは、仕切板を内側に移動させます。

4 記録紙に記録紙ホルダーを取り付けます。

5 記録紙フォルダーを溝に差し込み、記録紙を本体にセットします。

○ ×

＊記録紙ホルダーを図のように差し込んでください。
＊記録紙を入れる向きに注意してください。

6 記録紙の先端をペーパーガイドの下（黒い矢印の下）に挿入します。

赤い点線より外に出さない

＊ペーパーガイドのフィルムから記録紙が見えるまで挿入します。記録紙がフィルムの赤い点線より外に出ないようにします。

7 トップカバーの両端を押さえて閉じます。

＊トップカバーを閉じると、記録紙の先端をテストカットします。これが行われないときは、もう一度記録紙をセットしなおしてください。

5 使用する前に登録する（設置モード）

●本機をご使用いただくために必要な登録を行います。

[操作の前に]

- 登録内容は以下の通りです。
  - ・時刻 ………… ディスプレイの時刻を正しく設定します。時刻指定送信や通信管理などファクスすべての基準になります。西暦の下2桁、月日、時分を入力します。時刻は24時間制で入力します。
  - ・発信元 ……… 発信元名やファクス番号を相手先の記録紙にプリントしますので、受信側はどこから送信された原稿なのかを確認しやすくなります。
    - ・発信元番号 ：発信元のファクス番号を20桁まで登録できます。
    - ・発信元名 ：半角文字では22文字、全角文字では11文字まで登録できます。
    - ・発信元名（カナID）：通信中、相手側のディスプレイに表示されます（当社機のみ）。半角文字で16文字まで登録できます。
  - ・通信回線 …… 接続する回線の種類に合わせて設定します。設定が合っていない場合は、電話やファクスが使用できません。
  - ・ダイヤルトーン検出 … 電話回線に接続したときの" ツー" という発信音（ダイヤルトーン）を検出してから発信するかどうかを設定します。
  - ・受信モード … ご使用に合わせた受信モードを選びます。（36ページ参照）
- すべての登録を終了後、機器設定リストをプリントして、登録内容が正しいか確認してください。（134ページ参照）

登録する

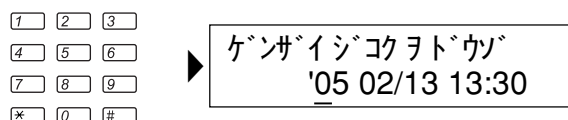
1 機能 キー → ワンタッチキー〈I〉 → セット キーを押します。

機能 → 09 I+ → セット

```
ｹﾞﾝｻﾞｲｼﾞｺｸ ｦﾄﾞｳｿﾞ
      '01 01/01  00:00
```

2 ① ダイヤルキーで現在の時刻を入力します。

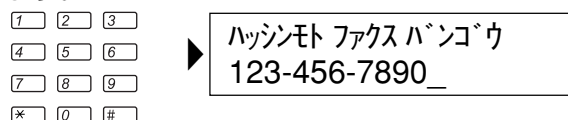
【例】2005年2月13日午後1時30分と入力します。

```
ｹﾞﾝｻﾞｲｼﾞｺｸ ｦﾄﾞｳｿﾞ
      '05 02/13 13:30
```

＊年（西暦下2桁）、月（2桁）、日（2桁）、時（24時間制2桁）、分（2桁）の順にダイヤルキーで現在の時刻を入力します。

＊変更の必要がないときは ◀ ▶ キーを押して、次の数字にカーソルを移動できます。

② セット キーを押します。

3 ① ダイヤルキーで発信元ファクス番号を入力します。

```
ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾌｧｸｽ ﾊﾞﾝｺﾞｳ
123-456-7890_
```

＊20桁まで登録できます。

＊ハイフンは ダイヤル記号 キーを1回押すと入力できます。

＊番号を間違えたときは クリア キーを押して、正しい番号を入力してください。

② セット キーを押します。

4 ① 発信元名を入力します。

```
ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾒｲ  :ｶﾀｶﾅ
(3458)(403E)ﾌﾞﾛｯｸ_
```

＊半角文字は22文字まで、全角文字は11文字まで登録できます。

＊文字入力については「文字入力のしかた（17ページ）」を参照してください。

＊間違えた文字を消去するときは、◀ ▶ キーで消去したい文字にカーソルを合わせ クリア キーを押します。正しい文字を入力し直してください。

② セット キーを押します。

セット

5 ① 発信元名（カナID）を入力します。

```
ﾊｯｼﾝﾓﾄ ｶﾅID:ｶﾀｶﾅ
ｶﾝｻｲﾌﾞﾛｯｸ_
```

＊半角文字（アルファベット、記号、カタカナ、数字）で16文字まで登録できます。

＊文字入力については「文字入力のしかた（17ページ）」を参照してください。

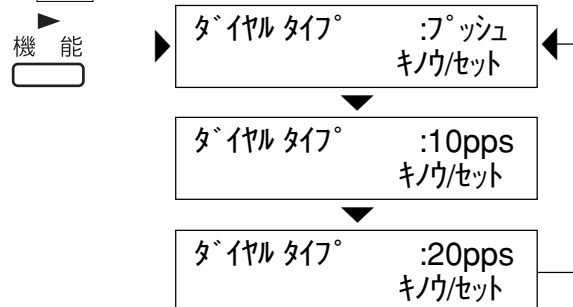
② セット キーを押します。

セット

6

① **通信回線を選びます。**

＊ [機能] キーで通信回線を選択してください。

ﾀﾞｲﾔﾙ ﾀｲﾌﾟ :ﾌﾟｯｼｭ ｷﾉｳ/ｾｯﾄ
ﾀﾞｲﾔﾙ ﾀｲﾌﾟ :10pps ｷﾉｳ/ｾｯﾄ
ﾀﾞｲﾔﾙ ﾀｲﾌﾟ :20pps ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

＊通信回線が分からない場合は、「回線種別の見分け方」を参照してください。

② [セット] **キーを押します。**

7

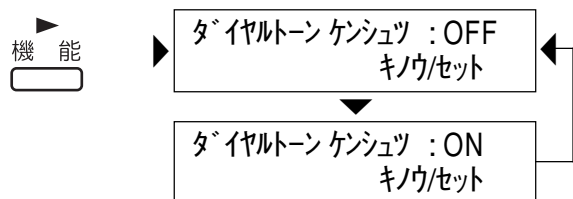
① **ダイヤルトーン検出を設定します。**

＊ [機能] キーでON/OFFを選択してください。

・ONダイヤルトーンを検出する。

・OFFダイヤルトーンを検出しない。

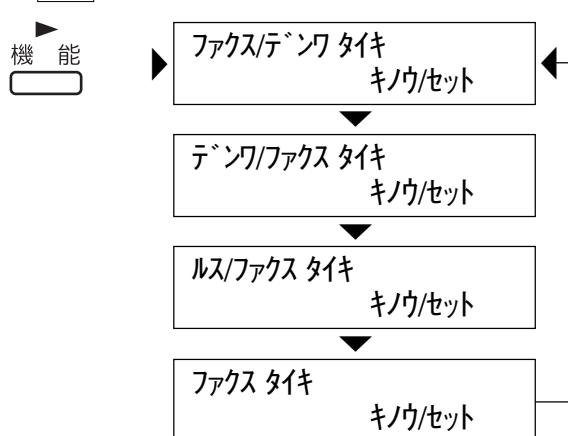
＊ 内線に接続されている場合などで、ダイヤルトーンが発信されない交換機に接続した場合は、OFFを選択します。

ﾀﾞｲﾔﾙﾄｰﾝ ｹﾝｼｭﾂ ：OFF ｷﾉｳ/ｾｯﾄ
ﾀﾞｲﾔﾙﾄｰﾝ ｹﾝｼｭﾂ ：ON ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

② [セット] **キーを押します。**

8

受信モードを選びます。

＊ [機能] キーで受信モードを選択してください。

ﾌｧｸｽ/ﾃﾞﾝﾜ ﾀｲｷ ｷﾉｳ/ｾｯﾄ
ﾃﾞﾝﾜ/ﾌｧｸｽ ﾀｲｷ ｷﾉｳ/ｾｯﾄ
ﾙｽ/ﾌｧｸｽ ﾀｲｷ ｷﾉｳ/ｾｯﾄ
ﾌｧｸｽ ﾀｲｷ ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

＊ [自動受信] キーを押して、自動受信ランプを消灯すると「デンワ タイキ」になります。

9

[セット] **キーを押します。**

＊設置モードが登録され、待機画面に戻ります。

＊登録した内容を確認するには、機器設定リストをプリントしてください。（134ページ参照）

回線種別の見分けかた

これまでお使いの電話機は？ — 押しボタン式 / 回転ダイヤル式

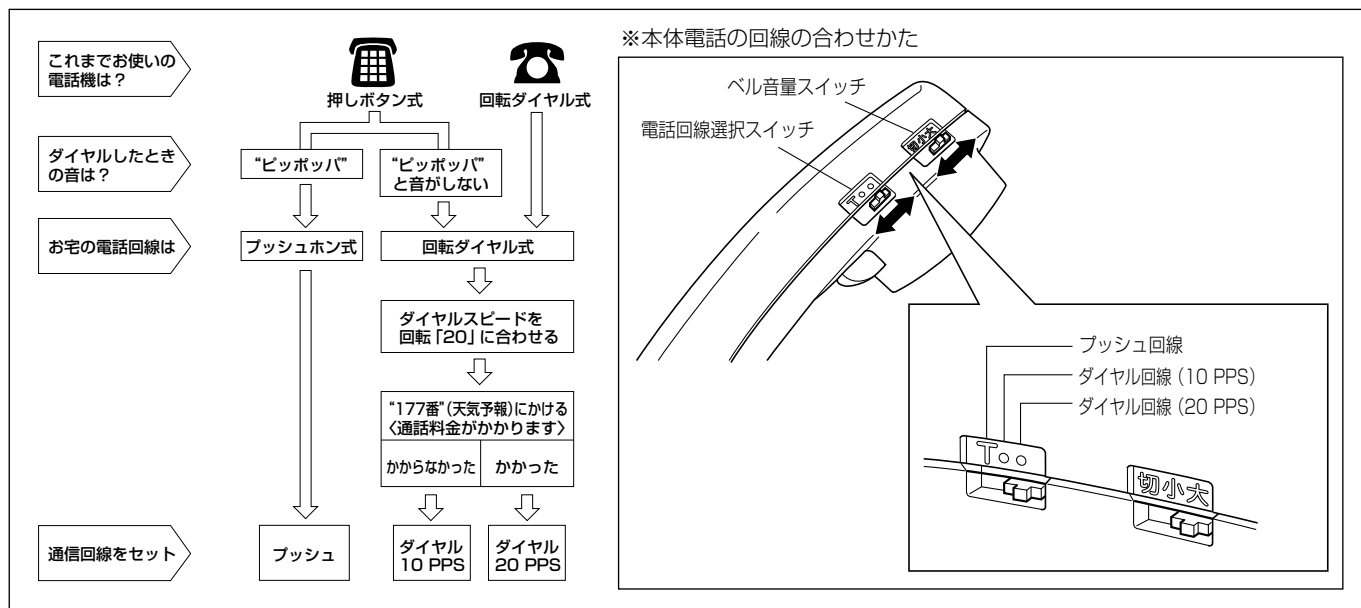
ダイヤルしたときの音は？ — 押しボタン式：“ピッポッパ” → プッシュホン式 / “ピッポッパ”と音がしない → 回転ダイヤル式

お宅の電話回線は — プッシュホン式 / 回転ダイヤル式

回転ダイヤル式 → ダイヤルスピードを回転「20」に合わせる → “177番”（天気予報）にかける〈通話料金がかかります〉 → かからなかった / かかった

通信回線をセット — プッシュ / ダイヤル 10 PPS / ダイヤル 20 PPS

※本体電話の回線の合わせかた

ベル音量スイッチ
電話回線選択スイッチ
プッシュ回線
ダイヤル回線（10 PPS）
ダイヤル回線（20 PPS）
切 小 大

MEMO

- 操作を中止したいときは、[ストップ] キーを押します。
- 設定状態を変更したくない場合は、[セット] を押すと次の項目に移ります。
- 操作を中断してから1分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

6 文字入力のしかた

●発信元セットやワンタッチ、短縮ダイヤルを登録するときなど、文字を入力するときに参照ください。

[操作の前に]

- 文字や記号はともに1文字ずつ入力します。
- カタカナ、アルファベット、数字、#、*、記号は半角文字で入力されます。
- ひらがなや漢字などの全角文字は、漢字コードで入力します。
- **ひらがなや漢字などの全角文字は、発信元名登録（15ページ）と送信案内証のメッセージを登録する（61ページ）ときのみ使用できます。**

漢字・全角文字を入力するとき（発信元名登録、メッセージ登録時のみ）

1 **操作の前に文字のコードを確認します。155ページを参照し、全角文字コードを確認します。**

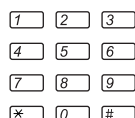
2 **漢字コード入力に切り替えます。**

*ワンタッチキー〈P3 日本語〉を押し、「カンジ コード」に切り替えます。

P3 日本語

ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾒｲ :ｶﾝｼﾞｺｰﾄﾞ
_

3 **コードを4桁で入力します。**

1 2 3 4 5 6 7 8 9 * 0 #

ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾒｲ :ｶﾝｼﾞｺｰﾄﾞ
[345_]

4 **コードが正しいときは漢字コードがカッコで囲まれます。**

【例】「関西」と入力するとき

ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾒｲ :ｶﾝｼﾞｺｰﾄﾞ
(3458)(403E)

カタカナを入力するとき

1 **日本語に切り替えます。**

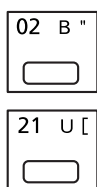
*ワンタッチキー<P3 日本語>を押し、「カタカナ」に切り替えます。

P3 日本語

ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾒｲ :ｶﾀｶﾅ
_

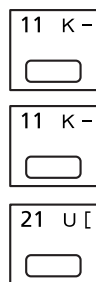
2 **入力したい文字をローマ字変換で入力します。**

*ローマ字変換表（164ページ）を参照してください。

02 B "
21 U [

【例】「ブ」と入力するとき

ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾒｲ :ｶﾀｶﾅ
ﾌﾞ_

3 **「ツ」の小文字を入力するときは次の文字を2回重ねて入力します。**

11 K −
11 K −
21 U [

ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾒｲ :ｶﾀｶﾅ
ﾌﾞﾛｯｸ_

アルファベットを入力するとき

1 **アルファベットに切り替えます。**

*ワンタッチキー〈P4 アルファベット〉を押します。

P4 ｱﾙﾌｧﾍﾞｯﾄ

ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾒｲ :ｴｲｽｳ ﾀﾞｲ
_

*もう一度〈P4アルファベット〉を押すと、大文字／小文字が切り替わります。

2 **文字を入力します。**

*入力したいアルファベットのワンタッチキーを押します。

【例】Aを入力するとき

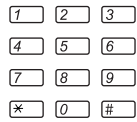
01 A !

ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾒｲ :ｴｲｽｳ ﾀﾞｲ
A_

数字、#、＊を入力するとき

1 ダイヤルキーより直接入力します。

【例】5を入力するとき

1 2 3 / 4 5 6 / 7 8 9 / ＊ 0 #

ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾒｲ :ｶﾀｶﾅ
5_

記号を入力するとき

1 記号に切り替えます。

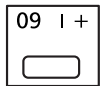
＊ワンタッチキー〈P5 記号/コード〉を押します。

P5 記号/コード

ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾒｲ :ｷｺﾞｳ
_

2 入力したい記号のワンタッチキーを押します。

【例】＋を入力するとき

09 ｜＋

ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾒｲ :ｺｰﾄﾞ
+_

コードで入力するとき

1 操作の前に文字のコードを確認します。
154ページを参照し、半角文字コードを確認します。

2 コード入力に切り替えます。

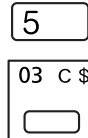
＊ワンタッチキー〈P5 記号/コード〉を2回押します。

P5 記号/コード ×2回

ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾒｲ :ｺｰﾄﾞ
_

3 コードを2桁で入力します。

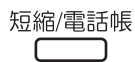
【例】「¥」を入力したいとき

5 / 03 C $

ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾒｲ :ｺｰﾄﾞ
¥_

電話帳から入力するとき

● 文字入力のとき、ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルにセットした相手先名を、電話帳から検索して入力することができます。同じ文字を何度も登録するときに便利です。

1 文字登録のときに、短縮／電話帳 キーを押します。

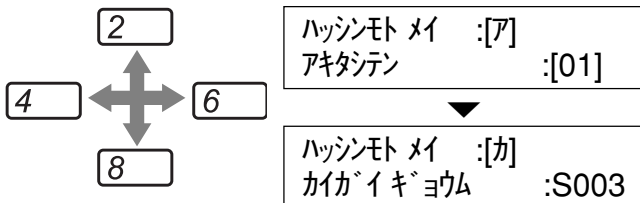
短縮/電話帳

ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾒｲ :[ｱ]
ｱｷﾀｼﾃﾝ :[01]

2 ダイヤルキーで、入力したい相手先名を検索し、表示させせます。

2 / 4 / 6 / 8

ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾒｲ :[ｱ]
ｱｷﾀｼﾃﾝ :[01]

▼

ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾒｲ :[ｶ]
ｶｲｶﾞｲ ｷﾞｮｳﾑ :S003

＊相手先名の右側には、この相手先名が登録されているワンタッチ番号・短縮番号が表示されます。
＊検索方法については30ページを参照してください。

3 セット キーを押します。

セット

ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾒｲ :ｶﾀｶﾅ
ｶｲｶﾞｲ ｷﾞｮｳﾑ_

＊検索した文字を修正したいときは クリア キーを押して不要な文字を消去し、入力し直してください。

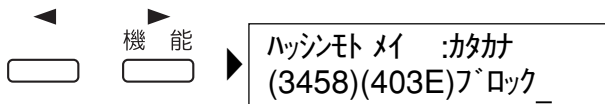
ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾒｲ :ｶﾀｶﾅ
ｶｲｶﾞｲ ｴｲｷﾞｮｳﾌﾞ_

文字を修正するには

《文字を削除するには》

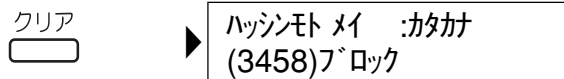
1 ◀ ▶ キーを押し、削除したい文字にカーソルを移動します。

◀ ▶ 機能

ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾒｲ　:ｶﾀｶﾅ
(3458)(403E)ﾌﾞﾛｯｸ_

＊漢字コードへの移動のとき、カーソルは先頭のカッコに移動します。

2 クリア キーを押します。

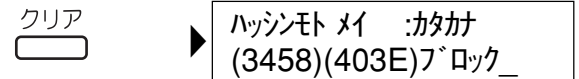
クリア

ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾒｲ　:ｶﾀｶﾅ
(3458)ﾌﾞﾛｯｸ

＊漢字コードの削除は、4桁のコード全体が削除されます。

《直前に入力した文字を消去するには》

1 クリア キーを押します。

クリア

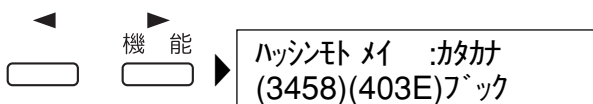
ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾒｲ　:ｶﾀｶﾅ
(3458)(403E)ﾌﾞﾛｯｸ_

ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾒｲ　:ｶﾀｶﾅ
(3458)(403E)ﾌﾞﾛｯ_

＊直前に入力された文字が削除されます。

文字を挿入するには

1 ◀ ▶ キーを押し、挿入したい場所の次の文字にカーソルを移動します。

◀ ▶ 機能

ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾒｲ　:ｶﾀｶﾅ
(3458)(403E)ﾌﾞｯｸ

＊漢字コードへの移動のとき、カーソルは先頭のカッコに移動します。

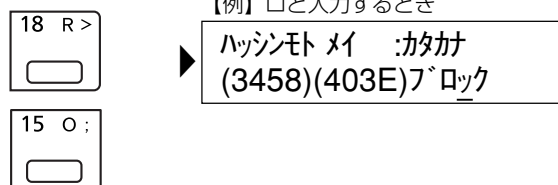
2 文字を入力します。

＊ワンタッチキーで挿入したい文字を入力します。

18 R >

15 O ;

【例】ロと入力するとき

ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾒｲ　:ｶﾀｶﾅ
(3458)(403E)ﾌﾞﾛｯｸ

＊文字が挿入されます。

文字入力例 「関西ブロック」と入力するには

1 操作の前に「関」「西」の文字コードを確認しておきます。

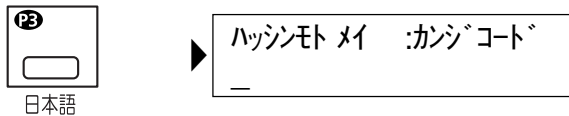
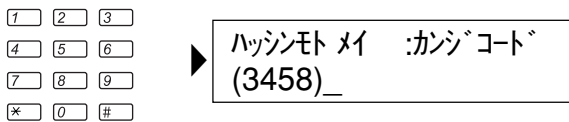
＊156ページを参照し、「関」が文字コード「3458」、「西」が文字コード「403E」であることを確認しておきます。

2 漢字コード入力に切り替えます。

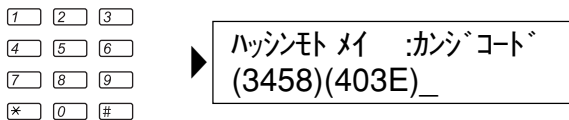
＊ワンタッチキー〈P3 日本語〉を押します。

P3 日本語 ▶ ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾒｲ :ｶﾝｼﾞｺｰﾄﾞ
_

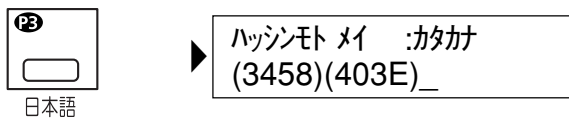
3 「関」の文字コードを入力します。

1 2 3 4 5 6 7 8 9 * 0 # ▶ ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾒｲ :ｶﾝｼﾞｺｰﾄﾞ
(3458)_

＊コードが間違っている場合はブザーが鳴ります。

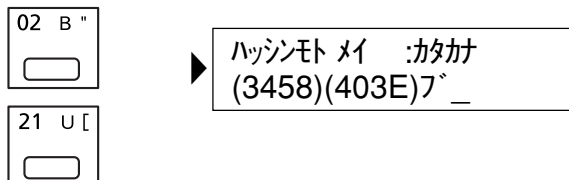
4 続けて「西」の文字コードを入力します。

1 2 3 4 5 6 7 8 9 * 0 # ▶ ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾒｲ :ｶﾝｼﾞｺｰﾄﾞ
(3458)(403E)_

5 カタカナ入力に切り替えます。

＊ワンタッチキー〈P3 日本語〉をもう一度押します。

P3 日本語 ▶ ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾒｲ :ｶﾀｶﾅ
(3458)(403E)_

6 「ブ」をローマ字で「BU」と入力します。

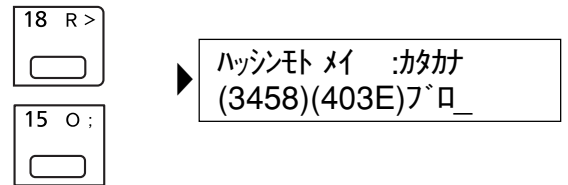
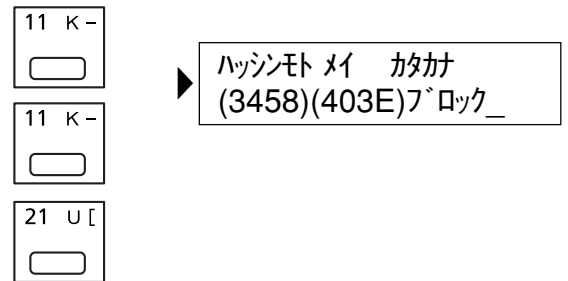
＊ワンタッチキーの〈02B〉と〈21U〉を押します。

02 B " / 21 U [▶ ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾒｲ :ｶﾀｶﾅ
(3458)(403E)ﾌﾞ_

7 「ロ」をローマ字で「RO」と入力します。

＊ワンタッチキーの〈18R〉と〈15O〉を押します。

18 R > / 15 O ; ▶ ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾒｲ :ｶﾀｶﾅ
(3458)(403E)ﾌﾞﾛ_

8 「ック」をローマ字で「KKU」と入力します。

11 K - / 11 K - / 21 U [▶ ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾒｲ ｶﾀｶﾅ
(3458)(403E)ﾌﾞﾛｯｸ_

＊「ッ」と「ク」に分けても入力できます。「ッ」は「LTU」と入力します。

第2章 基本的な使いかた

もくじ

1 原稿をセットする

原稿をセットするとき

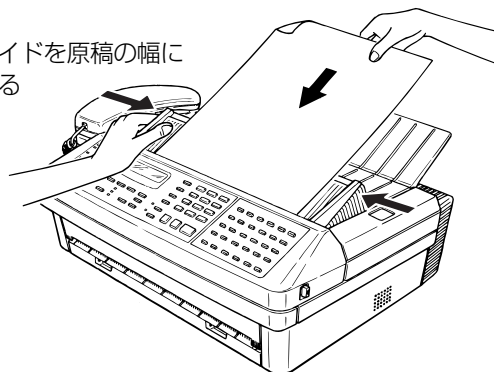
● 送信やコピーをするときは、次の手順で原稿をセットしてください。

1.原稿ガイドを左右に動かし、原稿の幅に合わせます。
＊原稿ガイドは中央を持ってください。

2.送る面を下向きにします。
＊複数の原稿は先端を階段状にずらしてセットしてください。
＊最大30枚まで一度にセットできます。

3.原稿を奥に突き当たるまで差し込みます。
＊セットした原稿を取り出したいときは、ストップ キーを押します。
または原稿カバーを開けて取り出します。

原稿は送信またはコピーする面を下に向ける

原稿ガイドを原稿の幅に合わせる

原稿をセットするときの注意

1.原稿ガイドを広げたまま、原稿をセットしないでください。
→受信側に縮小されて写ることがあります。
→斜行することがあります。
2.サイズが異なる原稿を、一緒にセットしないでください。
→不必要に縮小して送信されることがあります。
→紙詰まりすることがあります。
→斜行することがあります。
3.ホッチキス、クリップ、セロハンテープを取り除いてください。
4.次のような原稿は複写機でコピーをとるか、キャリアシート（オプション品）を使って送信してください。
＊キャリアシートは1枚ずつ、単独で使用してください。複数枚の原稿をセットするときは、キャリアシートはご使用できません。

原　稿　の　種　類	キャリアシートを使用する	複写機でコピーをとる
紙が厚い原稿（0.15 mm以上）	×	○
紙が薄い原稿（0.05 mm未満）	○	○
破れている原稿、穴のあいている原稿	○	○
シワやカールの激しい原稿	○	○
静電気で密着した原稿、湿った原稿	○	○
最小サイズより小さい原稿	○	○
インク、スタンプ、修正液など完全に乾いてない原稿	○	○
裏がカーボンになっている原稿	○	○
布地	×	○
金属シート	×	○

原稿サイズと読み取り範囲

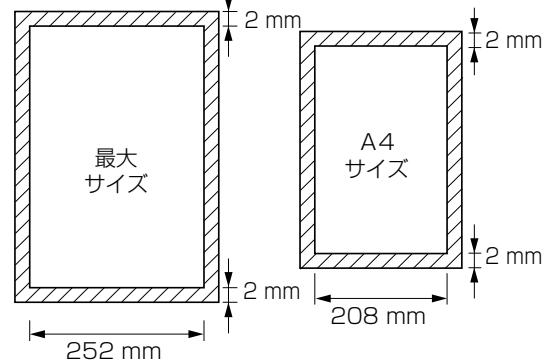
●原稿サイズ

	1枚だけ送る場合	自動連続送信の場合
最　　大	幅280 mm×長さ900 mm	257 mm×364 mm（JIS B4）
最　　小	幅120 mm×長さ100 mm	148 mm×105 mm（JIS A6）
一度のセット枚数	−	30枚※
原稿の紙厚	0.05 mm〜0.15 mm	0.06 mm〜0.13 mm
原稿の紙質	上質紙相当	

※ 厚みによりセットできる枚数が減る場合があります。

(参考)新聞紙の紙厚が0.05〜0.06 mm、上質紙が0.10 mm、官製はがきが0.23 mmですので原稿の紙厚の目安としてください。本取扱説明書の1ページのサイズがJIS A4サイズです。

●読み取り範囲

※斜線部分に文字を書いても、読み取れませんのでご注意ください。

原稿サイズと記録紙サイズについて

● 送信原稿サイズに比べて受信やコピー記録用紙のサイズが小さいときは、記録用紙のサイズに合わせて自動的に縮小してプリントします。

原稿サイズ ／ 相手先記録紙サイズ	B4サイズ原稿	A4サイズ原稿
B　4	そのまま（等倍）	そのまま（等倍）
A　4	A4サイズに縮小	そのまま（等倍）

＊本機の記録紙サイズは、最大B4サイズです。

原稿をセットしたときの表示

2 送信の前に

画質の選びかた

原稿の文字などの細かさに合わせて、画質を選びます。

<送信時>
- 写　　真…写真を送信するとき
- 超高画質…精密なイラストや辞書のような細かい文字を送信するとき
- 高 画 質…小さな文字の原稿を送信するとき（新聞など）
- 標　　準…普通の文字の原稿を送信するとき

＊「超高画質」は相手機により使用できない場合があります。
＊画質の初期値を変更できます。変更方法は「スキャナパラメータを決める（128ページ）」を参照してください。

1 画質を選びます。

＊希望する画質のランプが点灯するまで、[画質] キーを押します。

- 写真
- 超高画質
- 高画質
- 標準

画 質

濃度の選びかた

原稿に合わせて、濃度を選びます。

- 濃く…濃く読取りたいとき（鉛筆書きや、薄い文字のときなど）
- 普通…普通の原稿のとき
- 薄く…薄く読取りたいとき

＊濃度の初期値を変更できます。変更方法は「スキャナパラメータを決める（128ページ）」を参照してください。

1 濃度を選びます。

＊希望する濃度のランプが点灯するまで、[濃度] キーを押します。

- 濃く
- 普通
- 薄く

濃 度

MEMO

- 標準から写真になるほど、通信時間が長くなります。
- 複数枚の原稿をセットしているとき、原稿読取中に次の原稿の画質、濃度を変更することができます。

送信方法の設定（メモリー送信とリアルタイム送信）

自動送信には、原稿を読込んだ後に送信を開始するメモリー送信と、原稿を読取りながら送信するリアルタイム送信とがあります。お買い上げ時はメモリー送信が設定されていますが、[メモリー送信] キーを押してランプを消灯させて、一通信のみリアルタイム送信を指定することができます。（常にリアルタイム送信を優先することもできます。131ページ参照）

● メモリー送信

- リアルタイム送信
  リアルタイム送信とは、原稿をメモリーに読み込まずに相手へ直接送信する方法です。送信操作後、すぐに送信を開始するので、相手に送られていることを確認できます。
  ＊複数の相手先を指定した場合は、自動的にメモリー送信に切り替わります。

メモリー送信

- メモリー送信
  メモリー送信とは、原稿をメモリーに読込んでから送信する方法です。送信終了を待たずに原稿を持ち帰ることができ、時間のロスが少なくなります。
  メモリー送信の場合は、回線の不良等で画像が乱れると自動的にそのページを送り直します。

＊リアルタイム送信はメモリー送信より優先して送信されます。メモリー送信とリアルタイム送信の送信予約がある場合、リアルタイム送信の方が先に送信予約を始めます。急いで送信したい場合は、リアルタイム送信をご使用ください。

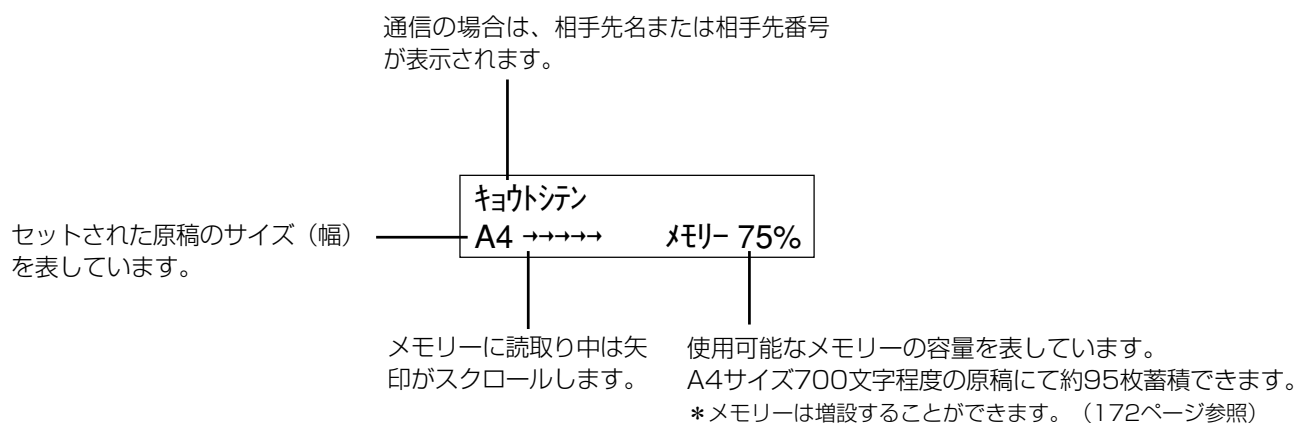
原稿をメモリーに読取っているときの表示

通信の場合は、相手先名または相手先番号が表示されます。

キョウトシテン
A4 →→→→→　　メモリー 75%

セットされた原稿のサイズ（幅）を表しています。

メモリーに読取り中は矢印がスクロールします。

使用可能なメモリーの容量を表しています。
A4サイズ700文字程度の原稿にて約95枚蓄積できます。
＊メモリーは増設することができます。（172ページ参照）

ダイヤル記号について

● ダイヤル記号 キーによる入力は、各種通信のセット時にも使用できます。

操　作	液晶表示	機能および用途
ダイヤル記号 ダイヤル記号 キーを1回押す。	_	ダイヤルに区切りをつけて、読みやすくするための－（ハイフン）が入力できます。
ダイヤル記号 ダイヤル記号 キーを2回押す。	／	ファクシミリ通信網や海外通信（準ISD）の時に使用します。一部、地域によっては／（第2発信音）が出ない場合もありますので、その場合はポーズ（－／）を入力されることをおすすめします。 （例）161/075-111-2222
ダイヤル記号 ダイヤル記号 キーを3回押す。	！	内線からの0発信（第1発信音）の時に使用します。 （例）0！075-111-2222
ダイヤル記号 ダイヤル記号 キーを4回押す。	－！	ダイヤル回線のときに、プッシュ信号を出すことができます。 （例）075-111-2222-！1111＃
ダイヤル記号 本体電話を上げたとき、またはオンフックボタンを押して発信するときは、ダイヤル記号 キーを1回押す。		
リダイヤル/ポーズ リダイヤル／ポーズ キーを1回押します。	－／	ダイヤルに間隔を開けたいときに使います。内線の0発信、NCC利用時などに使います。 （例）0-/075-111-2222 ＊ポーズ時間は設定により変更可能です。（129ページ参照）

済スタンプの設定

済スタンプには、メモリー送信時に原稿の読取りを完了したことを示す読取済スタンプと、リアルタイム送信時に送信が完了したことを示す送信済スタンプの2種類があります。
お買い上げ時は済スタンプの設定は「OFF」になっていますが、済スタンプ キーを押してランプを点灯させると、1通信のみ済スタンプを押すことができます。（「ON」に設定して、常に済スタンプを押すこともできます。131ページ参照）

済スタンプ

● A4サイズの原稿では、およそ下図の位置に済スタンプが押されます。

At the remote terminal, demodulation signal, which is used to modulate the density of print produced by a printing device. This device is scanning in a raster scan synchronised with that at the transmitting terminal. As a result, a facsimile copy of the subject document is produced.

Probably you have uses for this facility in your organisation.

Yours sincerely,

Phil.

P.J. CROSS
Group Leader - Facsimile Research

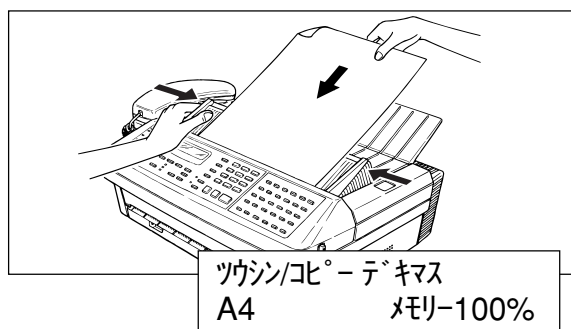
済スタンプ（青色）

3 送信のしかた

ダイヤルキーで送信する

●操作パネルのダイヤルキーを使って送信する方法です。

1 送信する面を下に向け原稿をセットします。

ﾂｳｼﾝ/ｺﾋﾟｰ ﾃﾞｷﾏｽ
A4 ﾒﾓﾘｰ100%

＊必要に応じて、画質や濃度を設定します。（24ページ参照）
＊必要に応じて、メモリー送信、リアルタイム送信を設定します。（24ページ参照）

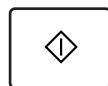
2 ダイヤルキーで相手先のファクス番号を入力します。（最大40桁）

1 2 3
4 5 6
7 8 9
＊ 0 #

ｽﾀｰﾄｷｰ ｦ ﾄﾞｳｿﾞ
123-456-7890_

＊ハイフン、ポーズ記号、トーン記号なども入力できます。（25ページ参照）

3 スタート キーを押します。
送信を始めます。

スタート

＊メモリー送信の時は、原稿を読みとってから送信を開始します。
＊リアルタイム送信のときは、相手に着信してから送信を開始します。

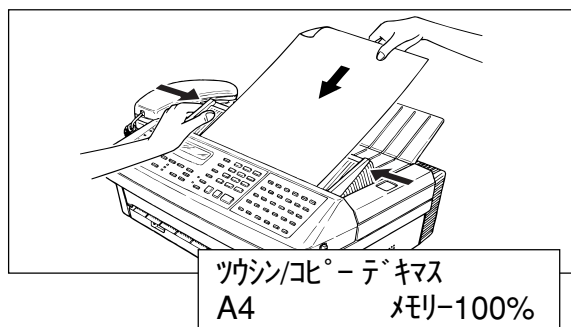
ワンタッチキーで送信する

●相手先をダイヤルする手間が省け、簡単に送信を開始できます。

[操作の前に]

●あらかじめワンタッチダイヤル（108ページ参照）を登録する必要があります。

1 送信する面を下に向け原稿をセットします。

ﾂｳｼﾝ/ｺﾋﾟｰ ﾃﾞｷﾏｽ
A4 ﾒﾓﾘｰ100%

＊必要に応じて、画質や濃度を設定します。(24ページ参照)
＊必要に応じて、メモリー送信、リアルタイム送信を設定します。（24ページ参照）

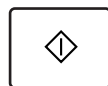
2 ワンタッチキーを押します。

【例】ワンタッチキー01を押した場合

01 A !

ｷｮｳﾄ ｼﾃﾝ
[01]_

＊登録されている相手先名または相手先番号が表示されます。

3 スタート キーを押します。
送信を始めます。

スタート

＊メモリー送信の時は、原稿を読みとってから送信を開始します。
＊リアルタイム送信のときは、相手に着信してから送信を開始します。

MEMO

●入力した数字を修正するときは、クリア を押して入力した数字を削除し、改めて正しい数字を入力します。
●メモリー送信のとき、原稿蓄積を中止したいときは、ストップ キーを押してください。
●相手が話し中などのときは、ディスプレイに「＊＊　ジドウ　リダイヤル　＊＊」と表示され、自動的にかけなおします。
●送信を始めたあとの中止、リダイヤル待ちの中止は、31ページを参照してください。
●リアルタイム送信の場合は、原稿を取り除くとリダイヤルを解除します。
●操作を中断してから1分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

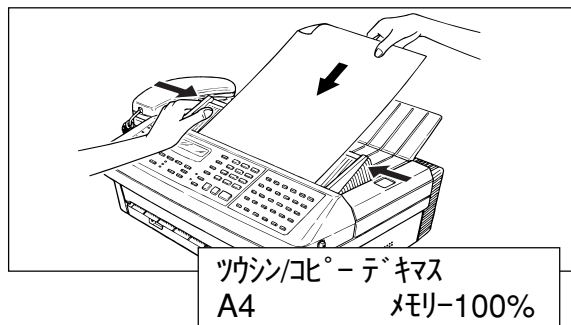
短縮キーで送信する

● 3桁の数字で相手先にダイヤルできるため、簡単・確実に送信できます。

[操作の前に]

● あらかじめ短縮ダイヤル（110ページ参照）を登録する必要があります。

1 送信する面を下に向け原稿をセットします。

ﾂｳｼﾝ/ｺﾋﾟｰ ﾃﾞｷﾏｽ
A4 ﾒﾓﾘｰ100%

＊必要に応じて、画質や濃度を設定します。（24ページ参照）
＊必要に応じて、メモリー送信、リアルタイム送信を設定します。（24ページ参照）

2 [短縮／電話帳] キーを押します。

短縮/電話帳

ﾀﾝｼｭｸ ﾊﾞﾝｺｳ ｦ ﾄﾞｳｿﾞ
S_

3 ダイヤルキーで短縮番号を入力します。

＊短縮番号は001～176を使用できます。
＊短縮番号を間違えて入力したときは、[ストップ] キーを押して手順2からやり直してください。

1 2 3
4 5 6
7 8 9
＊ 0 #

ﾎｸﾘｸ ｼﾃﾝ
S123_

＊登録されている相手先名または相手先番号が表示されます。

4 [スタート] キーを押します。
送信を始めます。

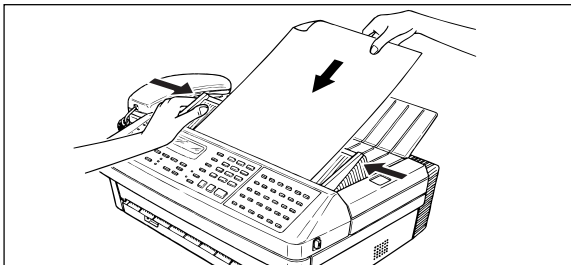
スタート

＊メモリー送信の時は、原稿を読みとってから送信を開始します。
＊リアルタイム送信のときは、相手に着信してから送信を開始します。

リダイヤルで送信する

[操作の前に]

● リダイヤルは、本体ダイヤルキーで送信した最後の相手にダイヤルします。本体電話で送信した場合のリダイヤルはできません。

1 送信する面を下に向け原稿をセットします。

＊必要に応じて、画質や濃度を設定します。（24ページ参照）
＊必要に応じて、メモリー送信、リアルタイム送信を設定します。（24ページ参照）

2 [リダイヤル／ポーズ] キーを押します。

リダイヤル/ポーズ

ｽﾀｰﾄｷｰ ｦ ﾄﾞｳｿﾞ
123-456-7890_

3 [スタート] キーを押します。
原稿の読み取りが始まります。

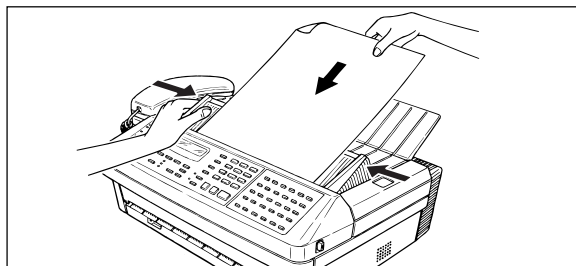
スタート

MEMO

● 入力した数字を修正するときは、[クリア] を押して入力した数字を削除し、改めて正しい数字を入力します。
● メモリー送信のとき、原稿蓄積を中止したいときは、[ストップ] キーを押してください。
● 相手が話し中などのときは、ディスプレイに「＊＊　ジドウ　リダイヤル　＊＊」と表示され、自動的にかけなおします。
● 送信を始めたあとの中止、リダイヤル待ちの中止は、31ページを参照してください。
● リアルタイム送信の場合は、原稿を取り除くとリダイヤルを解除します。
● 操作を中断してから1分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

手動送信する

●相手に着信したことを確認して送る場合や、会話の後で送信する方法です。

1 送信する面を下に向け原稿をセットします。

＊必要に応じて、画質や濃度を設定します。（24ページ参照）

2 オンフック／会話予約 キーを押します。または、本体電話を上げます。

＊ツーという発信音を確認します。

＊通信中に オンフック／会話予約 キーを押すと会話予約になります。(105ページ参照)
オンフック／会話予約 キーを使用する場合は、通信中ランプが消灯しているときに押してください。

オンフック/会話予約

＊＊ デンワ ＊＊
_

3 ダイヤルキーまたは本体電話で相手先のファクス番号を入力します。

【例】ダイヤルキーで入力したとき

1 2 3
4 5 6
7 8 9
＊ 0 #

＊＊ デンワ ＊＊
1234567890_

4 電話がつながったら会話します。会話後に、相手先でファクス受信の操作をしてもらいます。

＊「ピー」と聞こえたときは、次の手順に進んでください。

5 「ピープルプル」という音が聞こえたら、スタート キーを押し本体電話を元に戻します。送信が始まります。

スタート

MEMO

●送信はリアルタイム送信になります。
●手動送信した場合、相手機がスーパーG3機であっても、スーパーG3で通信されません。（スーパーG3通信より、通信時間が長くなります。）
●相手先の番号を間違えたときは、最初からやりなおしてください。
●送信を中止したいときは、 ストップ キーを押します。
●通信が終了した後、本体電話が外れているとアラームがなります。
●オンフック／会話予約 キーを押したときのツー音の大きさを調整できます。本体背面のスピーカー音量ボリュームを左右に動かして調整してください。

通信中に次の送信予約をする

- 通信中に送信の予約をすることができます。現在の通信が終了すると、予約した送信を開始します。最大100通信まで送信予約できます。

1 通信中、送信する面を下に向け原稿をセットします。

075-123-4567
A4 ﾋｮｳｼﾞｭﾝ

2 相手先のファクス番号を入力します。

【例】123-456-7890と入力したとき

ｽﾀｰﾄｷｰ ｦ ﾄﾞｳｿﾞ
123-456-7890_

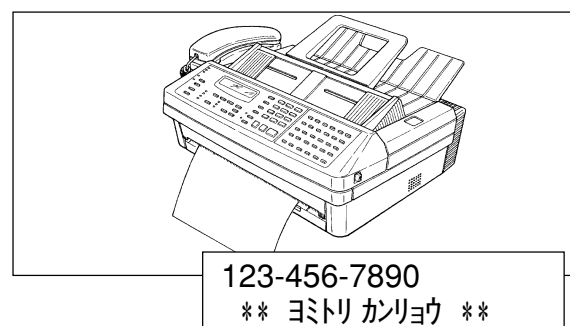
3 スタート キーを押します。

スタート

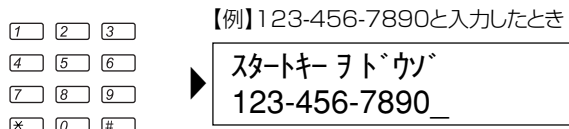
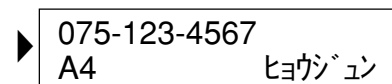
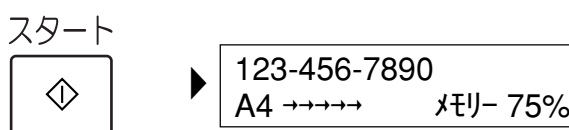
123-456-7890
A4 →→→→→ ﾒﾓﾘｰ 75%

＊原稿をメモリーに読取り中は、矢印がスクロールします。

4 読み取りが終了します。

123-456-7890
＊＊ ﾖﾐﾄﾘ ｶﾝﾘｮｳ ＊＊

＊リアルタイム送信の場合は、現在の通信が終了してから送信を始めます。メモリー送信より優先して送信されますので、急いで送信したい場合はリアルタイム送信をご利用ください。

5 通信中の画面に戻ります。

075-123-4567
A4 ﾋｮｳｼﾞｭﾝ

＊現在の通信が終了してから、送信を開始します。

MEMO

- 入力した数字を修正するときは、クリア を押して入力した数字を削除し、改めて正しい数字を入力します。
- 読取りを中止するときは、ストップ キーを押してください。
- 送信を始めたあとの中止は、31ページを参照してください。
- メモリーが一杯のとき原稿の読み取りはできません。（23ページ参照）
- 通信予約が100件になると「ツウシン　デキマセン」と表示され、自動送信ができなくなります。その場合は手動送信を行ってください。（28ページ参照）

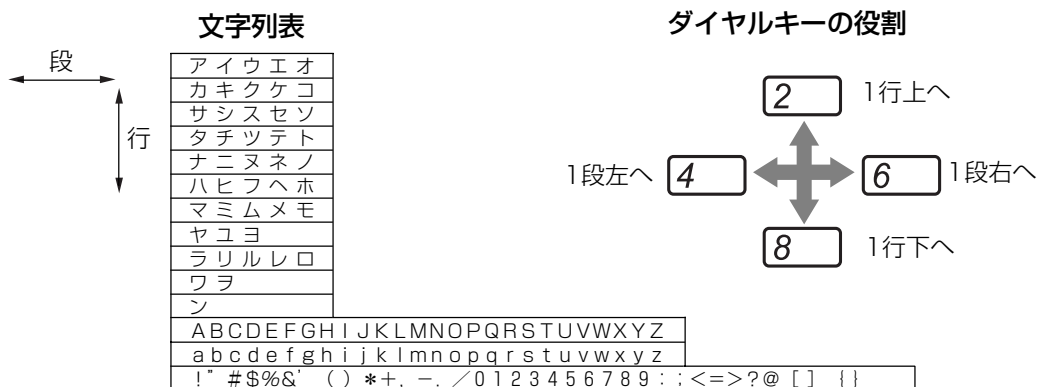
電話帳で送信する

- ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルにセットした相手先を、50音別に検索して送信することができます。

[操作の前に]

- あらかじめワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに、相手先名が登録されている必要があります。（108、110ページ参照）

＜電話帳検索のしかた＞

電話帳で相手先名を検索するときは、下の文字列表から検索したい相手先の頭文字を探します。

文字列表

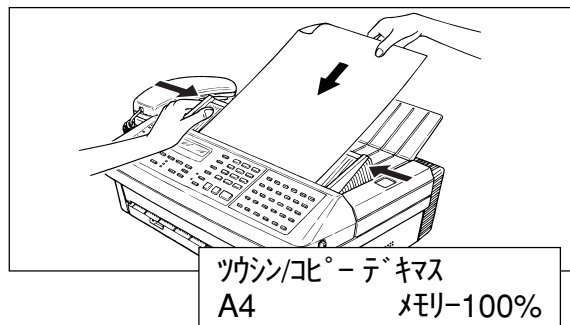
（段：横方向、行：縦方向）

文字列
ア イ ウ エ オ
カ キ ク ケ コ
サ シ ス セ ソ
タ チ ツ テ ト
ナ ニ ヌ ネ ノ
ハ ヒ フ ヘ ホ
マ ミ ム メ モ
ヤ ユ ヨ
ラ リ ル レ ロ
ワ ヲ
ン
ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
!"#$%&'()*+,-./0123456789:;<=>?@[]{}

ダイヤルキーの役割

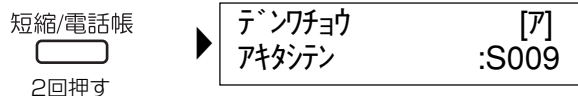
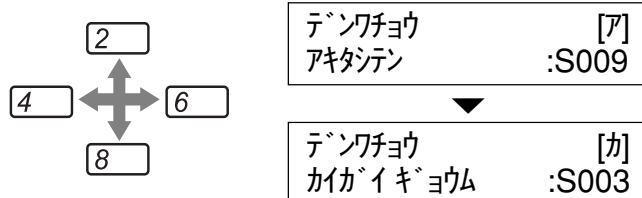
- 2：1行上へ
- 4：1段左へ
- 6：1段右へ
- 8：1行下へ

1 送信する面を下に向け原稿をセットします。

ﾂｳｼﾝ/ｺﾋﾟｰ ﾃﾞｷﾏｽ
A4　　　ﾒﾓﾘｰ100%

＊必要に応じて、画質や濃度を設定します。（24ページ参照）
＊必要に応じて、メモリー送信、リアルタイム送信を設定します。（24ページ参照）

2 [短縮／電話帳] キーを2回押します。

短縮/電話帳　2回押す

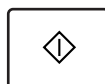
ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳ　　[ｱ]
ｱｷﾀｼﾃﾝ　　:S009

3 ダイヤルキーで送信したい相手先を検索し、表示させます。

ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳ　　[ｱ]
ｱｷﾀｼﾃﾝ　　:S009

▼

ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳ　　[ｶ]
ｶｲｶﾞｲ ｷﾞｮｳﾑ　　:S003

＊相手先名の右側には、表示している相手先名が登録されているワンタッチ番号、または短縮番号が表示されます。

4 [スタート] キーを押します。
送信を始めます。

スタート

＊メモリー送信のときは、原稿を読取ってから送信を開始します。
＊リアルタイム送信のときは、相手に着信してから送信を開始します。

MEMO

- 読取りを中止するときは、[ストップ] キーを押してください。
- 送信を始めたあとの中止は、31ページを参照ください。
- 操作を中断してから1分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

4 送信文書を中止／確認する

●原稿が読み取られた後に送信を中止したいときは、次の操作をします。また、通信予約されている文書をプリントしたり、リストをプリントして、予約を確認することもできます。

現在送信中の文書の中止

1 **ファクス中止／確認 キーを押します。**

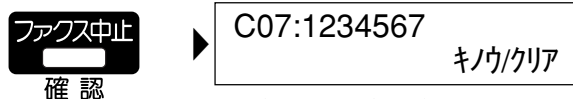
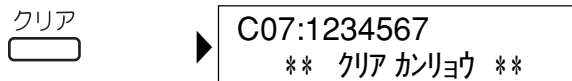
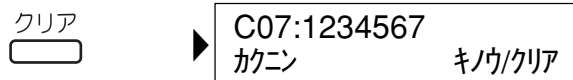
ファクス中止 確 認 ▶ C07:1234567 キノウ/クリア

※現在送信中の文書が表示されます。

2 **クリア キーを押します。**

クリア ▶ C07:1234567 カクニン キノウ/クリア

3 **もう一度、クリア キーを押します。**

クリア ▶ C07:1234567 ** クリア カンリョウ **

＊次の通信文書がある場合は、ディスプレイに表示されます。続けて中止したい場合は、手順2へ戻ります。
＊操作を終了するときは ストップ キーを押します。
＊次の通信文書がない場合は、自動的に待機状態に戻ります。

送信予約文書の中止／確認

1 **ファクス中止／確認 キーを押します。**

ファクス中止 確 認 ▶ C02:ドウホウ キノウ/クリア

※現在送信中の文書がある場合はその文書が表示されます。

2 **機能 キーを押して中止／確認したい送信予約文書を表示させます。**

＊ 機能 キーを押すごとに表示が変わります。

機 能 ▶

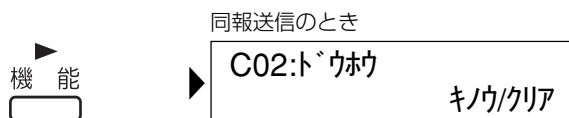
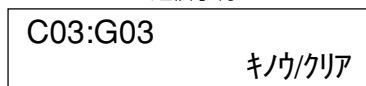
同報送信のとき

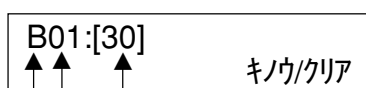
C02:ドウホウ キノウ/クリア

▼

グループ3への送信予約

C03:G03 キノウ/クリア

▼

一括送信ボックス番号01に登録したとき

B01:[30] キノウ/クリア

通信先番号
S001 :短縮ダイヤル
[02] :ワンタッチダイヤル
G03 :グループ送信
ドウホウ :同報通信

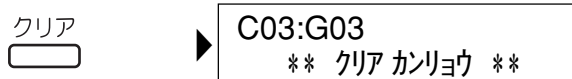
C01：予約番号
B01：一括送信ボックス番号

C：送信予約
B：一括送信文書

3 **中止したい文書を表示し、クリア キーを押します。**

クリア ▶ C03:G03 カクニン キノウ/クリア

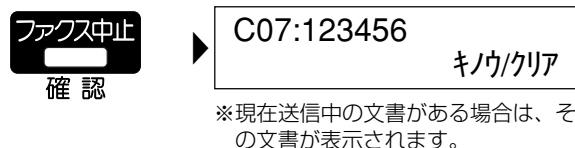
4 **もう一度、クリア キーを押します**

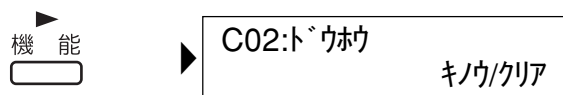
クリア ▶ C03:G03 ** クリア カンリョウ **

＊次の通信文書が表示されます。続けて中止したい場合は手順2へ戻ります。
＊操作を終了するときは ストップ キーを押します。

同報送信の中止／確認

1 ファクス中止／確認 キーを押します。

ファクス中止 確 認 ▶ C07:123456 ｷﾉｳ/ｸﾘｱ

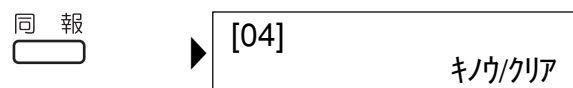
※現在送信中の文書がある場合は、その文書が表示されます。

2 機能 キーを押して中止／確認したい同報送信を表示させます。

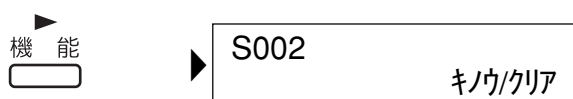
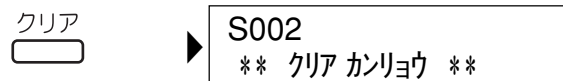
機 能 ▶ C02:ﾄﾞｳﾎｳ ｷﾉｳ/ｸﾘｱ

＊ここで クリア キーを2回押すと、同報をまとめて消去します。

3 同報送信の宛先別に消去／確認します。

① 同報 キーを押します。

＊現在同報送信中の場合、送信中の宛先を表示します。

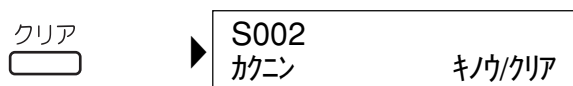
同 報 ▶ [04] ｷﾉｳ/ｸﾘｱ

② 機能 キーを押すと次の同報宛先を表示します。

機 能 ▶ S002 ｷﾉｳ/ｸﾘｱ

＊もう一度 同報 キーを押すと、①の画面に戻ります。

4 中止したい同報宛先を表示し クリア キーを押します。

クリア ▶ S002 ｶｸﾆﾝ ｷﾉｳ/ｸﾘｱ

5 もう一度、クリア キーを押します。

クリア ▶ S002 ＊＊ ｸﾘｱ ｶﾝﾘｮｳ ＊＊

＊次の同報宛先が表示されます。続けて中止したい場合は手順4へ戻ります。
＊通信文書の表示に戻るには 同報 キーを押します。
＊操作を中止するときは、 ストップ キーを押します。

MEMO

●操作を中断してから1分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

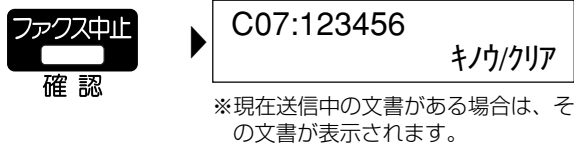
グループ送信の中止／確認

● グループ送信が実行されているときは、グループに登録されている各々の宛先を消去できます。
時刻指定などで、グループ送信が送信予約になっているときは各々の宛先を消去することはできません。

1 **ファクス中止／確認 キーを押します。**

ファクス中止 確認

C07:123456
キノウ/クリア

※現在送信中の文書がある場合は、その文書が表示されます。

2 **機能 キーを押して中止／確認したいグループ送信を表示させます。**

【例】時刻指定などで送信予約になっている場合

機能

C02:G05
キノウ/クリア

G05　:時刻指定などで送信予約になっている場合
S001　:グループに宛先が1ヶ所登録されている場合
ドウホウ　:2つ以上のグループが指定されている場合
グループに宛先が2ヶ所以上登録されている場合

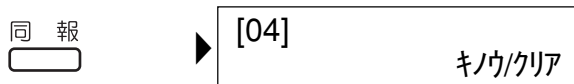
＊ここで クリア キーを2回押すと、グループをまとめて消去します。
＊グループに登録されている宛先を個別に中止する場合は手順3へ進みます。

3 **グループの宛先別に消去／確認します。実行中のグループ送信は、グループに登録されている宛先別で消去できます。**

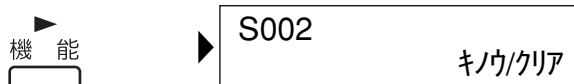
① 同報 キーを押します。

＊送信中の宛先を表示します。

同報

[04]
キノウ/クリア

② 機能 キーを押すと次の宛先を表示します。

機能

S002
キノウ/クリア

＊もう一度 同報 キーを押すと、手順2の画面に戻ります。

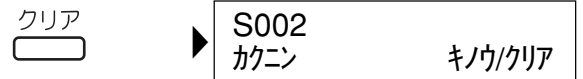
4 **中止したい宛先を表示し クリア キーを押します。**

クリア

S002
カクニン　キノウ/クリア

5 **もう一度、クリア キーを押します。**

クリア

S002
＊＊ クリア カンリョウ ＊＊

＊次のグループ宛先が表示されます。続けて中止したい場合は手順4へ戻ります。
＊通信文書の表示に戻るには 同報 キーを押します。
＊操作を中止するときは ストップ キーを押します。

MEMO

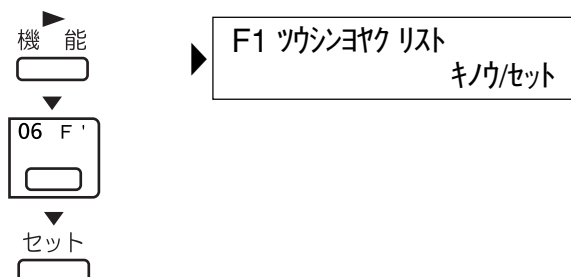
● グループに登録されている宛先を消去できるのは、グループ送信が実行されているときだけです。
● 予約中のグループ送信はグループ単位でしか消去できません。
● 操作を中断してから1分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

通信予約リストをプリントする

- メモリーに蓄積された原稿で、まだ送信を完了していない原稿のリストをプリントすることができます。
- 通信予約が無い場合はディスプレイに「ツウシンマチ　アリマセン」と表示され、通信予約リストはプリントされません。

1 機能 キー → ワンタッチキー〈F〉→ セット キーを押します。

機能 ▼ 06 F' ▼ セット

F1 ﾂｳｼﾝﾖﾔｸ ﾘｽﾄ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

2 セット キーを押します。
通信予約リストがプリントされます。

セット

プリント例

ABC商事　Fax:123-456-7890

＊＊ 通信予約リスト ＊＊

P.1　2005年 2月13日(日) 13:30

No.	ﾀﾞｲﾔﾙ番号	指定日時	応用機能	備考
C00	1234567	14,13:30		
C01	[01]	14,13:30	親展	1
C02	S001	15, 7:00	中継	G5, G10
B01	123-4567	16, 1:00	一括	
1	2	3	4	5

1. NO
・C01 … 予約番号です。
・B01 … 一括送信のボックス番号です。

2. ダイヤル番号
指定した相手先の電話番号です。
・[01]　… ワンタッチダイヤルです。
・S001 … 短縮ダイヤルです。

3. 指定日時
登録した通信の日時です。

4. 応用機能
登録した機能の種類です。
・親　　展 … 親展送信、親展受信です。
・中　　継 … 中継指示送信です。
・ポーリング … ポーリングです。
・同　　報 … 同報送信です。
・検索ポー …検索ポーリングです。
・Fコード …Fコード送信です。
・F ポー　…Fコードポーリングです。

5. 備考
親展番号、中継同報先などです。

MEMO

- 操作を中止するときは、ストップ キーを押します。
- 番号を間違えて入力したときは上書きして訂正してください。
- 操作を中断してから1分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

通信予約原稿をプリントする

- 時刻指定送信など、通信を予約している原稿をプリントして確認することができます。
- 予約番号がわからないときは、「送信予約文書の中止／確認」または、「通信予約リストをプリントする」を参照して予約番号を確認してください。
- 一括送信の原稿をプリントするときは、「一括送信原稿をプリントする」（56ページ）を参照してください。

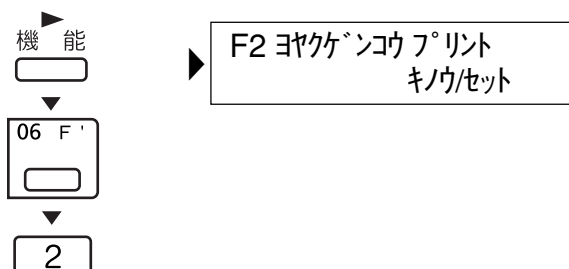
1 機能 キー → ワンタッチキー〈F〉→ ダイヤルキー〈2〉を押します。

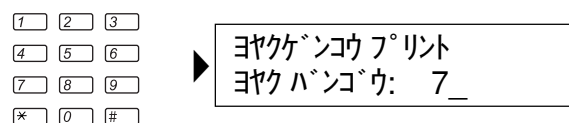
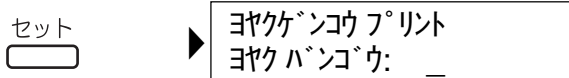
機能
06 F
2

F2 ﾖﾔｸｹﾞﾝｺｳ ﾌﾟﾘﾝﾄ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

2 セット キーを押します。

セット

ﾖﾔｸｹﾞﾝｺｳ ﾌﾟﾘﾝﾄ
ﾖﾔｸ ﾊﾞﾝｺﾞｳ: _

3 ダイヤルキーでプリントしたい予約番号（0～99）を入力します。

ﾖﾔｸｹﾞﾝｺｳ ﾌﾟﾘﾝﾄ
ﾖﾔｸ ﾊﾞﾝｺﾞｳ: 7_

＊番号を間違えて入力したときは クリア キーを押して正しい番号を入力してください。

4 セット キーを押します。
通信予約原稿がプリントされます。

セット

＊入力した予約番号が無いときは「ツウシンマチ アリマセン」と表示されます。
＊入力した予約番号がリアルタイム送信あるいは、ポーリング受信のときは「ヨヤクゲンコウ ガ アリマセン」と表示されます。

MEMO

- 操作を中止するときは、ストップ キーを押します。
- 操作を中断してから1分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

5 受信のしかた

受信モードを選ぶ

● ご使用に合わせた受信モードをお選びください。以下の質問にお答えいただくと、どの受信モードが最良か選択できるようになっています。

本機のご使用は？

A　ファクス専用です。
B　ファクス、電話、留守番電話のどれも使います。

A →

ファクス専用で自動受信する（37ページ参照）
（ファクス待機）

◎ファクスは自動受信しますが、呼び出しベルが2（1〜10）回鳴る間は電話を受けることができます。

B ↓

ファクスの受け方は？

A　電話に出て手動で受信します。
B　電話に出ず自動で受信します。

A →

電話を中心に使用する（41ページ参照）
（電話待機）

◎電話が多いときは相手先に迷惑をかけません。
▲不在のときはファクスを受信できません。

B ↓

電話とファクスの利用頻度は？

A　ファクスが多い。
B　電話が多い。
C　留守番電話を使います。

A →

ファクスを優先して電話も受ける（38ページ参照）
（ファクス／電話待機）

◎ベルが鳴らずに受信状態に入りますので、静かに受信できます。
▲着信後しばらくは受信状態になりますので、電話のときは相手の方をお待たせするとともに、電話料金がかかります。

B →

電話を優先して自動受信もする（39ページ参照）
（電話／ファクス待機）

◎ベルが2（1〜10）回鳴ってから受信状態になりますので、電話のときは相手先に料金の負担をかけない上に、ファクスも自動で受信します。
▲電話のとき、ベル2（1〜10）回を超えますと、こちらが不在でも相手先に電話料金がかかります。

C →

留守番電話とファクスを兼用する（40ページ参照）
（留守／ファクス待機）

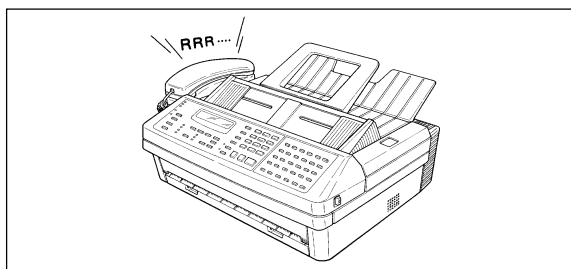
◎電話のときは留守番電話にメッセージを、ファクスのときは自動的に受信します。

ファクス専用で自動受信する（ファクス待機）

［操作の前に ］

- 設置モードの受信モード設定を、「ファクス タイキ」に設定してください。（16ページ参照）
- 自動受信ランプが消えてるときは、自動受信 キーを押してランプを点灯させてください。

1 ベルが2（1〜10）回鳴ります。

RRR…

＊ベルが鳴っている間に本体電話を上げると会話できます。
＊ベル回数は1〜10回の間で変更できます。（132ページ参照）

2 受信を開始します。

＊受信中は通信ランプが点灯します。
＊受信が完了すると待機状態に戻ります。

MEMO

- ベル回数は、1〜10回の間で回数を設定することができます。ベル回数を増やし、着信するまでの時間を長くすることにより、電話に出やすくすることができます。（132ページ参照）

ファクスを優先して電話も受ける（ファクス／電話待機）

［操作の前に ］

- 設置モードの受信モード設定を、「ファクス／デンワ　タイキ」に設定してください。（16ページ参照）
- 自動受信ランプが消えてるときは、[自動受信] キーを押してランプを点灯させてください。
- 着信後しばらくは受信状態になりますので、相手が電話の時は相手の方をお待たせするとともに、相手先に電話料金がかかります。

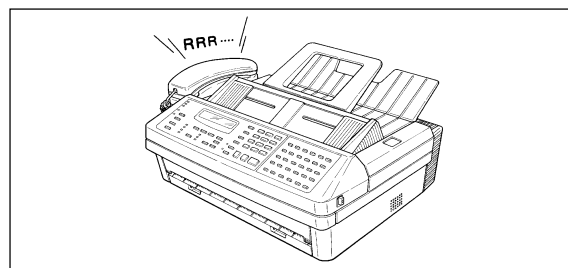
●相手先がファクス送信してきた場合

1 ベルが鳴らずにすぐに受信を開始します。

＊相手先がファクスでも相手機によりベル音が鳴ることがあります。

＊受信中は通信中ランプが点灯します。
＊受信が完了すると待機状態に戻ります。

●相手先が電話してきた場合

1 着信後、しばらくしてからベルが鳴ります。

＊相手の方はベルが鳴るまでにしばらく待たれていますので、すぐに出てください。

＊増設電話のベルも鳴ります。

2 相手先と会話します。

MEMO

- 電話のベルが鳴り続けるときは、相手先が電話をかけておられます。
- よく電話をかけてこられる相手先には、前もって少々お待ちいただくようにお伝えください。
- 相手先から「ポーポー」と音が聞こえたときは相手はファクスです。本体電話で受けたときは、すぐに [スタート] キーを押してください。増設電話で受けたときは、増設電話のダイヤルキーで [5] [5] とダイヤルすると受信を始めます。（受信後は受話器を戻してください）
- 相手側機の機種により自動切替が働かない場合があります。

電話を優先して自動受信もする（電話／ファクス待機）

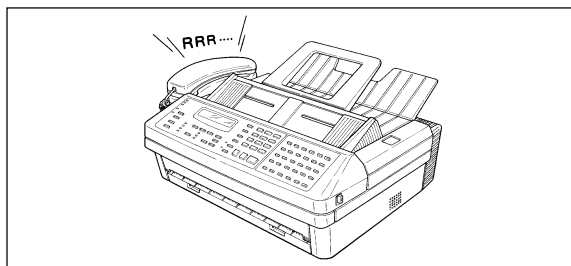
[操作の前に]

- 設置モードの受信モード設定を、「デンワ／ファクス　タイキ」に設定してください。（16ページ参照）
- 自動受信ランプが消えてるときは、自動受信 キーを押してランプを点灯させてください。
- 電話のとき、ベル2（1～10）回を超えますと、ファクスは着信状態になりますので、こちらが不在でも相手先に電話料金がかかります。

●相手先がファクス送信してきた場合

1 ベルが2（1～10）回鳴ります。

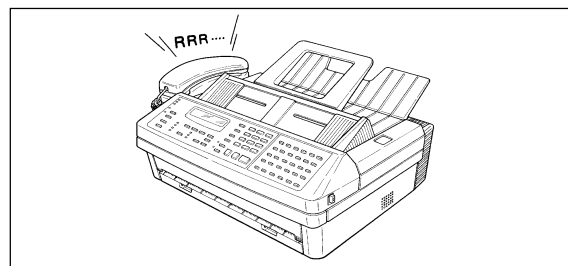
RRR…

＊ベルが鳴ってる間に本体電話を上げると会話できます。
＊ベル回数は1～10回の間で変更できます。（132ページ参照）

2 受信を開始します。

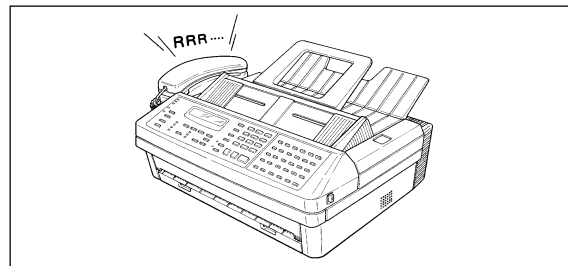
＊受信中は通信中ランプが点灯します。
＊受信が完了すると待機状態に戻ります。

●相手先が電話してきた場合

1 ベルが2（1～10）回鳴ります。

RRR…

＊ベルが鳴ってる間に本体電話を上げると会話できます。
＊ベル回数は1～10回の間で変更できます。（132ページ参照）
＊増設電話のベルも鳴ります。

2 再度ベルが鳴ります。（約30秒）

RRR…

3 相手先と会話します。

MEMO

- 相手が手動送信の場合、本体電話を上げても無音の場合がありますので、相手が電話でないことを口頭で確認の上、スタート キーを押してください。
- 電話のベルが鳴り続けるときは、相手先が電話をかけておられます。
- 相手先から「ポーポー」と音が聞こえたときは相手はファクスです。本体電話で受けたときは、すぐに スタート キーを押してください。増設電話で受けたときは、増設電話のダイヤルキーで 5 5 とダイヤルすると受信を始めます。（受信後は受話器を戻してください）

留守番電話とファクスを兼用する（留守／ファクス待機）

[操作の前に]

- 設置モードの受信モード設定を、「ルス／ファクス　タイキ」に設定してください。（16ページ参照）
- 自動受信ランプが消えてるときは、[自動受信] キーを押してランプを点灯させてください。
- 留守番電話の接続コードをファクスの「PHONE 2」に接続してください。

●相手先がファクス送信してきた場合

1 留守番電話で設定された回数のベルが鳴ります。

2 応答メッセージが流れます。

ただいま外出しております…

3 受信を開始します。

＊受信中は通信中ランプが点灯します。

＊プリントが完了すると待機状態に戻ります。

●相手先が電話してきた場合

1 留守番電話で設定された回数のベルが鳴ります。

2 応答メッセージが流れます。

ただいま外出しております…

3 用件録音を開始します。

用件録音

＊10秒間無音が続くとファクス受信状態になります。

＊用件録音後、受信することができます。

MEMO

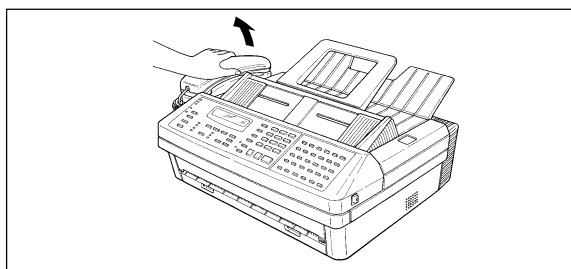
- 留守番電話の種類により、留守番電話とファクシミリの自動切り替えが働かない場合があります。
- 相手機により自動的に受信できない場合があります。
- 相手が手動送信の場合は留守番電話が起動し、応答メッセージを送出してからファクスに切り替わりますので、留守番電話機の応答メッセージに「ファクスの方は送信してください」旨の録音をしてください。
- 留守番電話機の用件録音が満杯の状態などで、留守番電話機が応答しない場合は、ファクスも受信できません。
- 留守/ファクス待機のときは、リモート受信(ダイヤルキーで [5] [5] と押す：42ページ)はできません。

電話を中心に使用する（電話待機）

- 本体電話をとり、相手を確認してから受信を開始することができます。（手動受信）

[操作の前に]

- 自動受信 キーを押して、自動受信ランプを消灯させてください。
- 原稿がセットされている場合、スタート キーを押すと送信を始めてしまいます。原稿が無いことを確認してください。

1 **電話の呼出しベルが鳴ったら本体電話を上げます。**

＊電話の場合はここで会話します。

2 **相手先と会話します。**

＊相手がファクスの場合は「ポーポー」などの音が聞こえるか、または無音です。

3 **スタート キーを押します。**

スタート

＊相手からの用件を確認して、スタート キーを押してから本体電話を戻してください。

4 **受信を開始します。**

＊プリントを完了すると待機状態に戻ります。

MEMO

- 手動受信した場合、相手機がスーパーG3機であっても、スーパーG3で通信されません。（スーパーG3通信より、通信時間が長くなります。）
- 相手が手動送信の場合、本体電話を上げても無音の場合がありますので、相手が電話でないことを口頭で確認の上、スタート キーを押してください。
- 相手先から「ポーポー」と音が聞こえたときは相手はファクスです。本体電話で受けたときは、すぐに スタート キーを押してください。増設電話で受けたときは、増設電話のダイヤルキーで 5 5 とダイヤルすると受信を始めます。（受信後は受話器を戻してください）

増設電話でファクスを受ける（リモート受信）

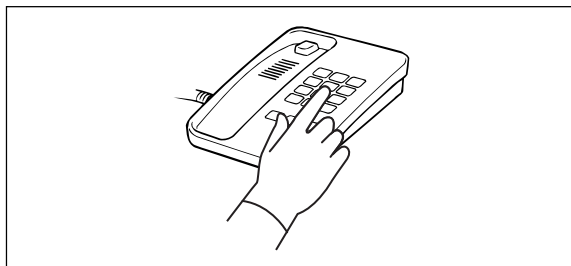
● 増設電話を離れた場所でご利用になる場合、増設電話からの操作でファクスを受信状態にすることができます。

1 **増設電話で電話を受けます。**

＊増設電話のベルが鳴ったら、増設電話の受話器を上げて通話します。
＊相手がファクスの場合は「ポーポー」などの音が聞こえるか、または無音です。

2 **ファクスを受信する場合は、増設電話のダイヤルキーで 5 5 と押します。**

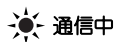
＊ファクスが受信状態になります。
＊受信状態になると、受話器からは何も聞こえなくなります。

3 **無音になったことを確認し、受話器を戻します。**

MEMO

● 通話中に増設電話のダイヤルキーで 5 5 を押すと、ファクスに切り替わってしまい、通話できなくなります。
● 本機能は増設電話の種類や地域などの諸条件により使用できないことがあります。また、以下の場合にもリモート受信できません。
・こちらから電話をかけたとき。
・本装置の受信モードが留守／ファクス待機のとき。
・増設電話の回線種別設定と本装置の回線種別設定が一致していないとき。
・本装置のメモリー残量が無いとき。
・本体電話からリモート受信を操作したとき。

6 受信中の動作について

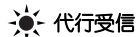
受信中の表示について

通信中

ABCｼｮｳｼﾞ
ｼﾞｭｼﾝ　　　ﾋｮｳｼﾞｭﾝ

- ディスプレイの上段には相手先が表示され、下段には画質モードが表示されます。通信が終了するまで通信中ランプが点灯します。

MEMO

- プリント中はトップカバーを開けないでください。用紙づまりの原因になります。
- 相手先は次の優先で表示されます。1.相手先の自局名　2.相手先の自局ID
  ※相手先ファクスに自局名・自局IDの登録が必要です。
  ※自局名の表示は、相手機が当社機の場合に限ります。
- 受信中にメモリーオーバーしたときは受信が中止されます。相手側に連絡し、もう一度送信するよう依頼してください。
- トップカバー上部に収容できる記録紙の枚数は50枚です。記録紙はためすぎないようにしてください。ためすぎると排出不良となり、記録紙づまりの原因となります。

代行受信について

代行受信

- 代行受信とは、記録紙切れ、記録紙づまりなどでプリントできないときに、受信文書をいったんメモリーに蓄積する機能です。記録紙切れなどの処置が終わると、蓄積されている文書が自動的にプリントされます。メモリーに代行受信文書が蓄積されているときは、代行受信ランプが点灯し続けます。

MEMO

- 記録紙の交換や記録紙詰まりの解除は、電源をONのまま行ってください。
  ※記録紙をセットする（14ページ参照）
  ※記録紙づまりを解除する（136ページ参照）
- メモリーには最大100通信、A4サイズで700文字程度の当社標準原稿で約95枚受信できますが、メモリーの使用量によって異なります。
- 代行受信中にメモリーオーバーしたときは、受信が中止されエラーメッセージが表示されます。受信文書は、用紙切れなどの処置が終わると、蓄積できたところまでがプリントされます。相手側に連絡し、もう一度送信するよう依頼してください。
- メモリーに蓄積された画像データは、停電や電源をOFFにしたときでも、次のような条件で保持されます。
  ※メモリーに蓄積された画像データは、約100時間保持されます。ただし、あらかじめ24時間連続して通電されている必要があります。
  　メモリーに蓄積された画像データが消えてしまった場合は、電源が復旧した時点で消去通知をプリントし、消えてしまった画像データの情報をお知らせします。（149ページ参照）
  ※画像データのバックアップ時間はメモリー容量によって異なります。（149ページ参照）
  ※メモリーは増設することができます。（172ページ参照）

7 電話のしかた

●いろいろな方法で電話をかけられます。

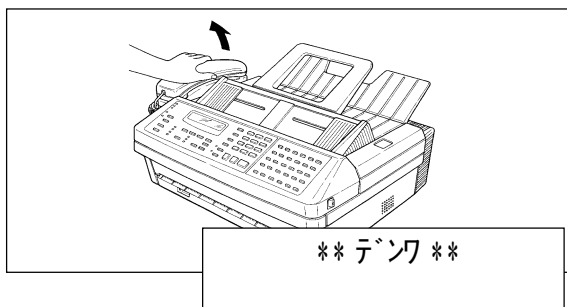
[操作の前に]

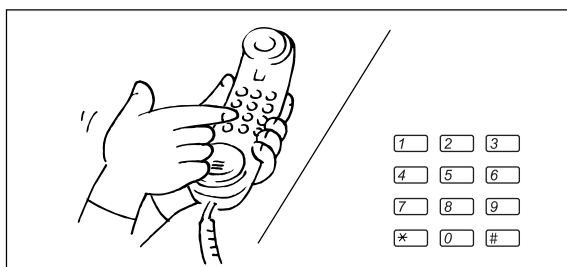
- 本体側の電源がOFFのときも、本体電話内側のダイヤルキーから電話をかけることができます。
- リダイヤルは、本体のダイヤルキー、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、電話帳で電話をかけた最後の相手にダイヤルします。本体電話内側のダイヤルキーで電話をかけた場合、リダイヤルはできません。

ダイヤルキー／本体電話でかける

1 本体電話を取り上げます。

＊または [オンフック／会話予約] キーを押します。

** ﾃﾞﾝﾜ **

2 ダイヤルします。

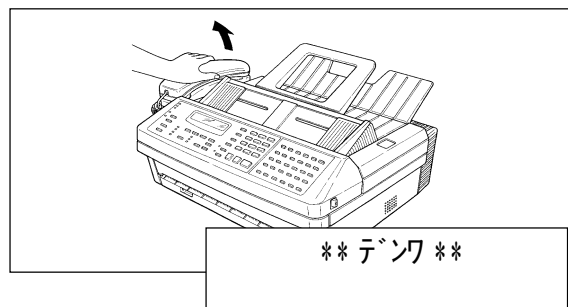
＊ダイヤルキーで相手の電話番号を入力します。

3 回線がつながったら相手先と会話します。

＊[オンフック／会話予約] キーを押した場合は、本体電話を上げると会話できます。

ワンタッチダイヤルでかける

1 本体電話を取り上げます。

＊または [オンフック／会話予約] キーを押します。

** ﾃﾞﾝﾜ **

2 ワンタッチキーを押します。

【例】ワンタッチキー〈01〉に123-4567と電話番号が登録されているとき

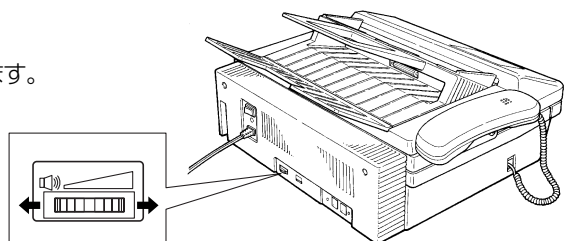
01 A !

** ﾃﾞﾝﾜ **
123-4567

3 回線がつながったら相手先と会話します。

＊[オンフック／会話予約] キーを押した場合は、本体電話を上げると会話できます。

MEMO

- ボリューム音の調整
  [オンフック／会話予約] キーを押したときのツー音の大きさを調整できます。
  スピーカー音量ボリュームを左右に動かして調整してください。

短縮ダイヤルでかける

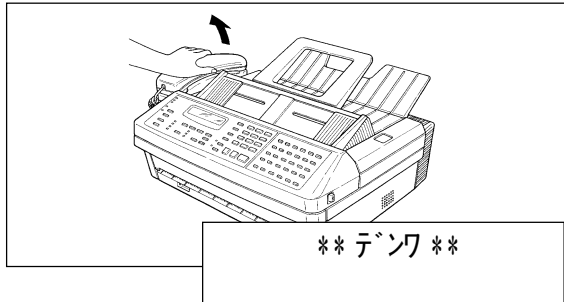
1 本体電話を取り上げます。

＊または オンフック／会話予約 キーを押します。

＊＊ デンワ ＊＊

2 短縮／電話帳 キーを押します。

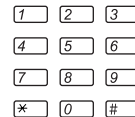
短縮/電話帳

＊＊ デンワ ＊＊
S_

3 ダイヤルキーで短縮番号（3桁）を入力します。

＊短縮番号は001〜176を使用できます。

【例】入力した短縮番号に123-4567と電話番号が入力されているとき

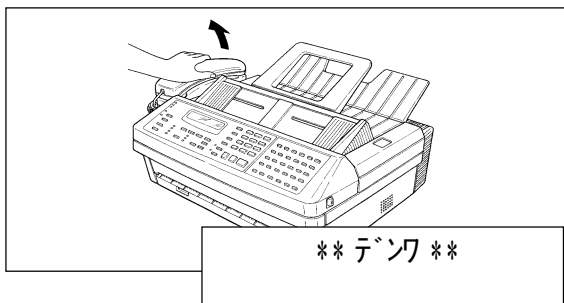
1 2 3
4 5 6
7 8 9
＊ 0 #

＊＊ デンワ ＊＊
123-4567

4 回線がつながったら相手先と会話します。

＊オンフック／会話予約 キーを押した場合は、本体電話を上げると会話できます。

同じ相手にもう一度電話する（リダイヤル）

1 本体電話を取り上げます。

＊または オンフック／会話予約 キーを押します。
＊本体電話のダイヤルキーで電話をした場合はリダイヤルできません。

＊＊ デンワ ＊＊

2 リダイヤル／ポーズ キーを押します。

リダイヤル/ポーズ

＊リダイヤルの最大桁数は40桁です。ただし、「ポーズ」「トーン」は2桁として数えられます。

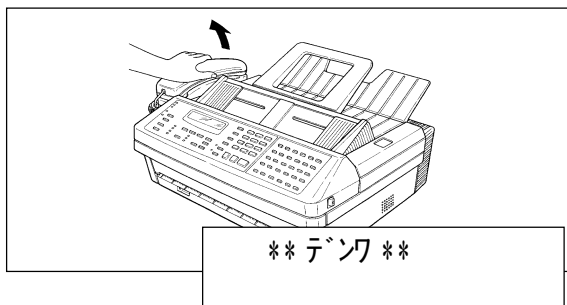
3 回線がつながったら相手先と会話します。

＊オンフック／会話予約 キーを押した場合は、本体電話を上げると会話できます。

電話帳でかける

1 本体電話を取り上げます。

＊または オンフック／会話予約 キーを押します。

＊＊ テ゛ンワ ＊＊

2 短縮／電話帳 キーを2回押します。

短縮/電話帳

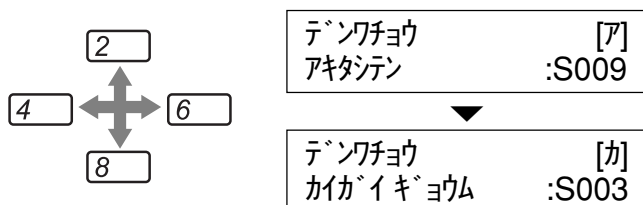
テ゛ンワチョウ [ア]
アキタシテン :S009

3 ダイヤルキーで電話したい相手先を検索し、表示させます。

＊相手先の検索は30ページを参照してください。

2 4 6 8

テ゛ンワチョウ [ア]
アキタシテン :S009

テ゛ンワチョウ [カ]
カイカ゛イキ゛ョウム :S003

＊相手先名の右側には、表示している相手先名が登録されているワンタッチ番号、または短縮番号が表示されます。

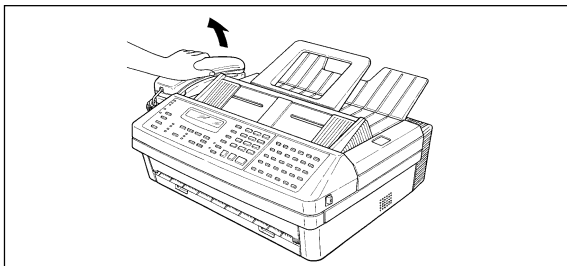
4 スタート キーを押します。

スタート

5 回線がつながったら相手先と会話します。

＊オンフック／会話予約 キーを押した場合は、本体電話を上げると会話できます。

電話を受ける

1 ベルが鳴ったら、本体電話を取り上げます。

2 回線がつながったら相手先と会話します。

＊増設電話を接続しているときは、増設電話でも電話を受けることができます。

MEMO

- 相手先から「ポーポー」と音が聞こえたり、無音のときは相手はファクスです。スタート キーを押すと受信できます。

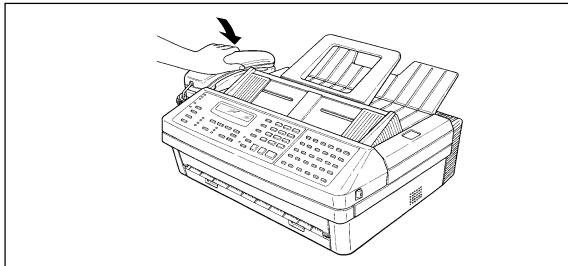
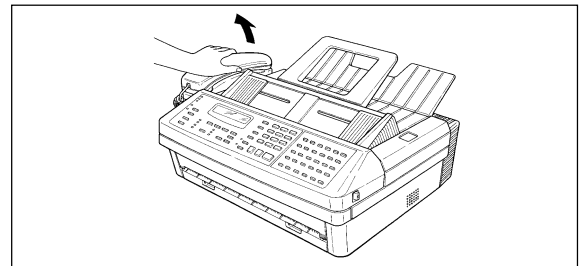
通話中に保留する

- 保留中には、相手先に保留メロディが流れます。
- 保留メロディは、消すこともできます。（133ページ参照）

1 **通話中に 保留 キーを押します。**

＊相手先に保留メロディが流れます。

保 留

2 **本体電話を元に戻します。**

3 **保留を解除するときは本体電話を取り上げます。**

＊本体電話を元に戻さず、側に置いているときは、再度 保留 キーを押すと解除されます。

MEMO

- 保留メロディの曲名は変更できません。
- 保留中は1分ごとにアラームが鳴ります。
- 保留は5分間続けると自動的に解除されます。（本体電話を元に戻して保留した場合は、電話が切れます。）
- PHONE2に接続した電話機(増設電話)では、保留 キーを押しても保留できません。

トーン（プッシュホンサービスを利用するとき）

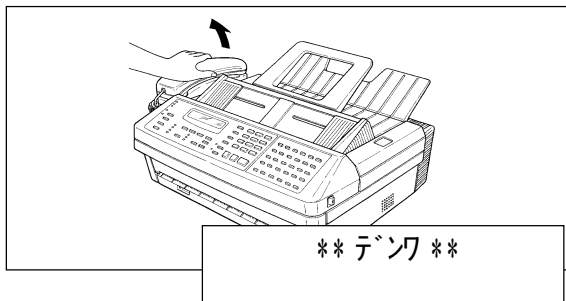
- ダイヤル回線でご使用の場合でも相手を呼び出した後に ダイヤル記号 キーを押すことにより、プッシュホンサービス（銀行ANSWER、クレジット通話サービス、ポケットベルサービス、照会案内サービス、ホームテレホンにおけるテレコントロール、留守番電話における遠隔制御等）を利用することができます。プッシュ回線でご使用の場合は、この操作は不要です。

1 **本体電話を取り上げます。**

＊または オンフック／会話予約 キーを押します。

＊＊ デンワ ＊＊

2 **電話をかけます**

＊＊ デンワ ＊＊
123-4567

3 **ダイヤル記号 キーを押します。**

＊ ダイヤル記号 キーを押すと、液晶ディスプレイに「ー！」が表示され、それ以降のダイヤルがトーン信号（「ピッポッパッ」）に変わります。電話を切るとトーン信号送出は解除されます。

ダイヤル記号

＊＊ デンワ ＊＊
123-4567-!#890*7#

8 コピーのしかた

●コピーでは、画質、濃度、コピー部数を設定することができます。複数枚の原稿から複数部のコピーをとるときは自動的に仕分け（ソート）をします。

[操作の前に]

●法律でコピーが禁止されているものや、注意を呼びかけられているものがありますのでご注意ください。（6ページ参照）

1 コピーする面を下に向け原稿をセットします。

ﾂｳｼﾝ/ｺﾋﾟｰ ﾃﾞｷﾏｽ
A4　　　　ﾒﾓﾘｰ100%

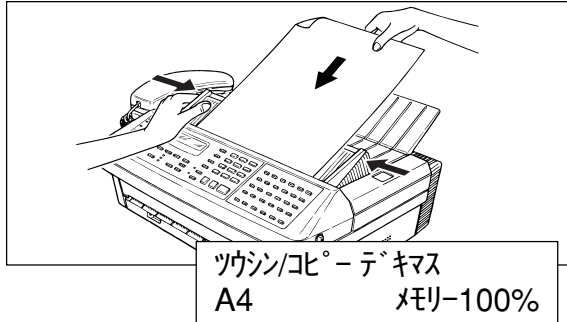
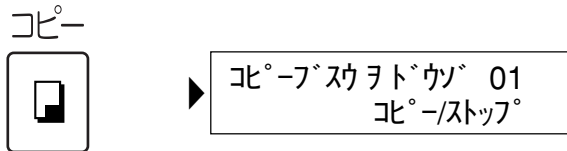
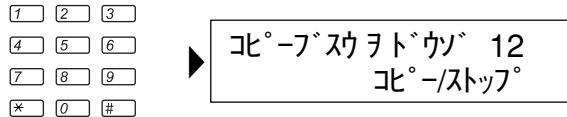
2 コピー キーを押します。

コピー

ｺﾋﾟｰﾌﾞｽｳ ｦ ﾄﾞｳｿﾞ　01
ｺﾋﾟｰ/ｽﾄｯﾌﾟ

3 ダイヤルキーでコピー部数を入力します。

1 2 3
4 5 6
7 8 9
* 0 #

ｺﾋﾟｰﾌﾞｽｳ ｦ ﾄﾞｳｿﾞ　12
ｺﾋﾟｰ/ｽﾄｯﾌﾟ

＊1～99部まで指定できます。
＊設定しない場合は、自動的に1部コピーされます。
＊間違えて入力したときは正しい部数を入力し直してください。
＊部数を設定したときは、原稿をメモリーに読込んでからコピーを開始します。

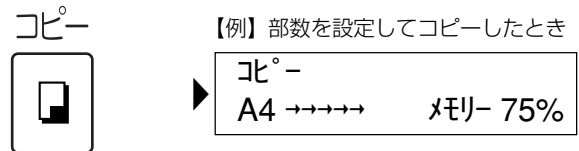
4 必要により、画質、濃度を選択します。（24ページ参照）

＊部数を設定しない場合、「標準」を選択しても「高画質」でコピーします。

5 コピー キーを押して、コピーを開始させます。

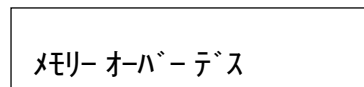
コピー

【例】部数を設定してコピーしたとき

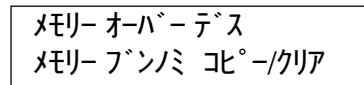
ｺﾋﾟｰ
A4 →→→→→　　ﾒﾓﾘｰ 75%

＊原稿をメモリーに読取り中は、矢印がスクロールします。

コピー中にメモリーオーバーしたとき

原稿1枚目でメモリーオーバーしたとき

ﾒﾓﾘｰ ｵｰﾊﾞｰ ﾃﾞｽ

●コピーを中止します。

原稿2枚目以降でメモリーオーバーしたとき

ﾒﾓﾘｰ ｵｰﾊﾞｰ ﾃﾞｽ
ﾒﾓﾘｰ ﾌﾞﾝﾉﾐ ｺﾋﾟｰ/ｸﾘｱ

●蓄積した分をコピーするとき コピー キーを押します。
●蓄積した分を消去するとき クリア キーを押します。
●1分間放置するとメモリーに蓄積した分をコピーします。

MEMO

●入力した数字を変更するときは、続けて2桁の数字を入力してください。
●コピーを中止したいときは、ストップ キーを押します。
●コピーを禁止する設定もできます。（132ページ）
●操作を中断してから1分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

第3章

便利な使いかた

もくじ

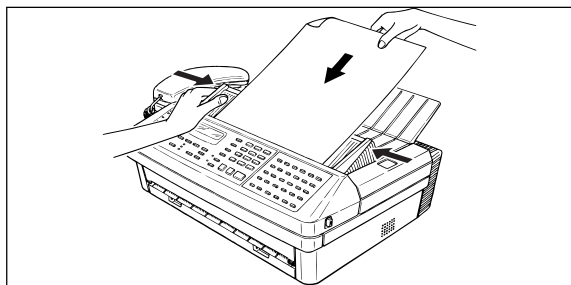
1 送信編

多数の相手に1度に送信する

●多数の相手へ1度の操作で送信する機能で、相手先ごとに繰り返して原稿を読み取る必要がなく、操作の手間が省けます。

同報送信

- 相手先指定時にワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループ、およびダイヤルキー入力を組合わせることにより、最大220宛先まで指定することができます。
- ダイヤルキー入力による指定は20宛先までです。
- スタート キーを押す前に、送信時刻を指定することができます。（52ページ参照）

1 送信する面を下に向け原稿をセットします。

＊必要に応じて、画質や濃度を設定します。（24ページ参照）

2 同報 キーを押します。

同 報

ｱｲﾃｻｷ ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ﾄﾞｳｿﾞ
_

3 相手先のファクス番号を入力します。

ｽﾀｰﾄｷｰ ｦ ﾄﾞｳｿﾞ
123-4567_

＊ハイフン、ポーズなどのダイヤル記号を入力できます。（25ページ参照）
＊ダイヤルキー、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、電話帳、グループが使用できます。

4 同報 キーを押します。

同 報

ｽﾀｰﾄｷｰ ｦ ﾄﾞｳｿﾞ
123-4567,_

5 手順3～4の操作を繰り返して、すべての相手先を入力します。

ｽﾀｰﾄｷｰ ｦ ﾄﾞｳｿﾞ
123-4567,[01],G1_

＊ダイヤルキー入力、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループを組合わせることにより、220宛先まで指定できます。（ダイヤルキー入力による指定は20宛先までです。）
＊電話帳から相手先を入力することもできます。

6 スタート キーを押します。

スタート

＊原稿を読取り、送信を開始します。

MEMO

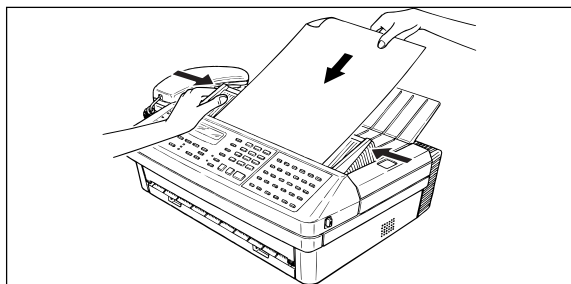
- 番号を間違えて入力したときは クリア キーを押して訂正してください。
- 読取りを中止するとき、操作を中止するときは ストップ キーを押してください。
- 原稿読取り後は、ファクス中止／確認 キーで消去、確認できます。（31ページ参照）
- 操作を中断してから1分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

グループ送信

- 複数の送り先を1つのグループに登録しておくと、原稿セットを1回するだけで複数の相手先へ送信できます。
- この機能を使うには、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルの登録のときに、あらかじめグループ番号の登録が必要です。（108、110ページ参照）

[操作の前に]

- 登録されているグループ番号は、グループリストで確認できます。（123ページ参照）
- スタート キーを押す前に、送信時刻を指定することができます。（52ページ参照）

1 送信する面を下に向け原稿をセットします。

＊必要に応じて、画質や濃度を設定します。(24ページ参照)

2 グループ キーを押します。

グループ

ｸﾞﾙｰﾌﾟﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦﾄﾞｳｿﾞ
G_

3 ダイヤルキーで、グループ番号（0～32）を入力します。

＊2個以上のグループ番号を入力するときは、グループ キーを押して区切ってください。

＊0を入力した場合、全てのグループ番号（1～32）に送信します。

【例】グループ番号1を入力したとき

1 2 3
4 5 6
7 8 9
＊ 0 #

ｽﾀｰﾄｷｰ ｦﾄﾞｳｿﾞ
G1_

4 スタート キーを押します。

スタート

＊原稿を読取り、送信を開始します。

MEMO

- 番号を間違えて入力したときは クリア キーを押して訂正してください。
- 読取りを中止するとき、操作を中止するときは ストップ キーを押してください。
- 原稿読取り後は、ファクス中止／確認 キーで消去、確認できます。（31ページ参照）
- 操作を中断してから1分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

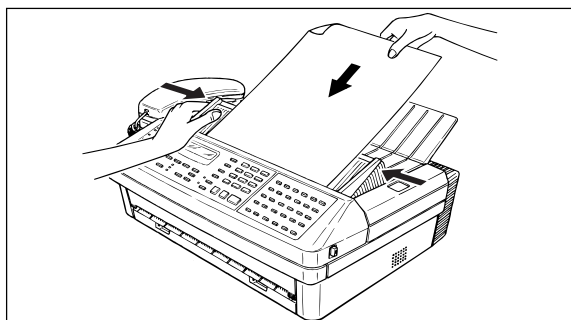
送信編

2 送信時刻を指定する（時刻指定送信）

●通信の日時を指定する機能で、深夜や早朝などの電話料金割引時間を利用して通信すると経済的です。

[操作の前に]

- 1ヵ月先まで、送信時刻を指定できます。
- 時刻指定した文書はメモリーに蓄積され、指定した時刻になると通信が始まります。
  ＊リアルタイム送信を指定すると、指定した時刻になるまで原稿がセットされたままになり、別の送信をすることができなくなります。
- 他の応用機能（同報送信、中継指示送信、親展送信、ポーリング、Fコード送信、Fコードポーリング）と組合わせて指定することもできます。

1 送信する面を下に向け原稿をセットします。

＊必要に応じて、画質や濃度を設定します。（24ページ参照）

2 ① 応用通信 キーを押します。

応用通信

1.ｼﾞｺｸｼﾃｲ ﾂｳｼﾝ
ｵｳﾖｳﾂｳｼﾝ/ｾｯﾄ

② セット キーを押します。

セット

ｼﾞｺｸｼﾃｲ ﾂｳｼﾝ
ｼﾞｺｸｦ ﾄﾞｳｿﾞ 13/13:30

＊現在の日時を表示します。

3 ① ダイヤルキーで、送信日時を入力します。

1 2 3
4 5 6
7 8 9
＊ 0 #

ｼﾞｺｸｼﾃｲ ﾂｳｼﾝ
ｼﾞｺｸｦ ﾄﾞｳｿﾞ 18/21:00

＊1桁のときは先頭に0をつけます。
＊時刻は24時間制で入力します。
＊変更の必要がない場合は、◀ ▶ キーを押して次の数字にカーソルを移動します。

② セット キーを押します。

セット

4 相手先のファクス番号を入力します。

ｽﾀｰﾄｷｰ ｦ ﾄﾞｳｿﾞ
123-4567_

＊ハイフン、ポーズなどのダイヤル記号を入力できます。（25ページ参照）
＊ダイヤルキー、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、電話帳、グループが使用できます。
＊同報 キーで区切ることにより最大220宛先まで指定できます。（ダイヤルキー入力による指定は20宛先までです。）

5 スタート キーを押します。原稿の読取りが始まります。

スタート

＊読取りが完了すると、ディスプレイには「＊＊　ヨヤクチュウ　＊＊」と表示されます。
＊指定時刻になると送信を開始します。

MEMO

- 番号を間違えて入力したときは クリア キーを押して訂正してください。
- 読取りを中止するとき、操作を中止するときは ストップ キーを押してください。
- 原稿読取り後は、ファクス中止／確認 キーで消去、確認できます。（31ページ参照）
- 指定した時刻の変更を行う場合は、変更したい時刻指定送信を ファクス中止／確認 キーで消去し（31ページ参照）、再び時刻指定送信を設定してください。
- 操作を中断してから1分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

ダイヤルする前に番号を追加する（プレフィックス）

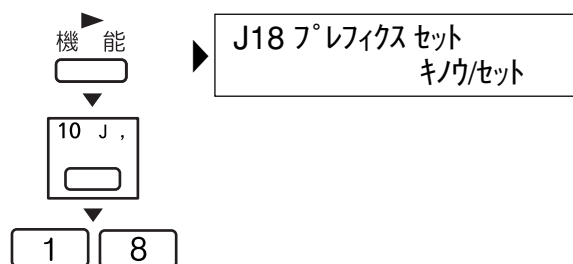
●あらかじめ登録しておいた番号を、相手先番号の先頭につけて発信することができます。ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルの登録時にも使用できます。

プレフィックス番号を登録する

● プレフィックス キーに登録する番号を設定します。

1 ① 機能 キー → ワンタッチキー〈J〉→ ダイヤルキー〈1〉、〈8〉を押します。

機能 → 10 J , → 1 8

J18 ﾌﾟﾚﾌｨｸｽ ｾｯﾄ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

② セット キーを押します。

セット

2 ① ダイヤルキーで プレフィックス キーに登録する番号を入力します。（最大40 桁）

ﾀﾞｲﾔﾙ ﾌﾟﾚﾌｨｸｽ ﾅﾝﾊﾞｰ
0000_

＊ハイフン、ポーズなどのダイヤル記号を入力できます。（25ページ参照）
＊番号を間違えて入力したときは、クリア キーを押して正しい番号を入力してください。

② セット キーを押します。

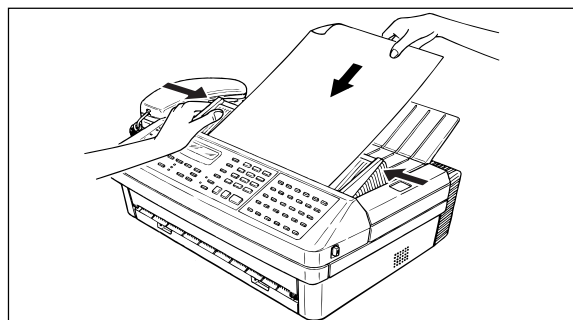
セット

＊プレフィックス番号が設定されます。

使用例1　送信時に使用する

[操作の前に]

- 自動ダイヤルの場合は、ダイヤルキーを使用するときだけプレフィックス番号を利用できます。プレフィックス番号の後に、ワンタッチダイヤル・短縮ダイヤルを挿入することはできません。
- 手動送信や電話をかける場合など、オンフックや本体電話をあげて発信するときは、ワンタッチダイヤル・短縮ダイヤルを使用することができます。
- 手動送信にてプレフィックス番号を入力した後に、プレフィックス番号を登録したワンタッチダイヤル・短縮ダイヤルを入力すると、ワンタッチダイヤル・短縮ダイヤルに登録したプレフィックス番号は入力されません。その場合、プレフィックス番号の代わりに "!"（第一発信音検出：25ページ参照）が入力されます。

1 送信する面を下に向け原稿をセットします。

＊必要に応じて、画質や濃度を設定します。（24ページ参照）

● **自動ダイヤルを使用する場合**

2 ① プレフィックス キーを押します。

ﾌﾟﾚﾌｨｸｽ

ｽﾀｰﾄｷｰ ｦ ﾄﾞｳｿﾞ
[0000]_

＊プレフィックス番号が挿入されます。

② ダイヤルキーで相手先のファクス番号を入力します。

ｽﾀｰﾄｷｰ ｦ ﾄﾞｳｿﾞ
[0000]123456_

＊ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、電話帳、リダイヤルは使用できません。

● 手動送信をする場合

2 ① オンフック／会話予約 キーを押します。
または、本体電話を上げます。

＊ツーという発信音を確認します。

オンフック/会話予約 ▶ ** デンワ **
_

② プレフィクス キーを押します。

プレフィクス ▶ ** デンワ **
[0000]_

＊プレフィクス番号が挿入されます。

③ 続けて、相手先のファクス番号を入力します。

▶ ** デンワ **
[0000]123456_

＊ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、電話帳が使用できます。電話帳で入力するときは、相手先選択後に スタート キーを押します。
＊リダイヤルは使用できません。

3 電話がつながったら会話します。会話後に、相手先でファクス受信の操作をしてもらいます。

＊「ピー」と聞こえたときは、次の手順に進んでください。

4 「ピープルプル」という音が聞こえたら、スタート キーを押し本体電話を元に戻します。
送信が始まります。

スタート

使用例２　ワンタッチダイヤルに登録する

● プレフィクス番号はワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルに登録することがきます。
● ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルの登録方法は108、110ページを参照してください。

1 ① 機能 キー → セット キーを押します。

機能 ▶ セット ▶ A1 ﾜﾝﾀｯﾁﾀﾞｲﾔﾙ ｾｯﾄ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

② セット キーを押します。

セット

2 登録したいワンタッチキーを押し、セット キーを押します。

3 ① プレフィクス キーを押します。

プレフィクス ▶ 10:ﾀﾞｲﾔﾙ ﾊﾞﾝｺﾞｳ
[0000]_

＊プレフィクス番号が挿入されます。

② 続けて、相手先のファクス番号を入力します。

▶ 10:ﾀﾞｲﾔﾙ ﾊﾞﾝｺﾞｳ
123-456-7890_

③ セット キーを押します。

セット

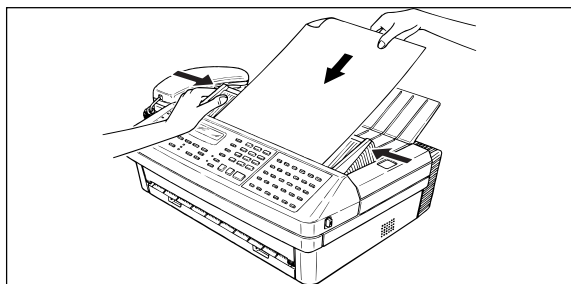
4 転送番号、相手先名などを登録します。
＊詳しくは108 ページを参照してください。

4 同じ相手にまとめて送信する（一括送信）

●頻繁に送信する相手先専用に、送信日時を決めた一括送信ボックスをメモリー内に用意しておき、複数の文書をまとめて送ることができます。

一括送信の指定をする

- あらかじめ、一括送信ボックスの設定が必要です。（58ページ参照）
- 毎日一定の時刻に送信することや、1カ月に1回日時を決めて送信することができます。
- 一括送信ボックスは5個あり、それぞれ40件の原稿をメモリーすることができます。
- 操作の途中に指定した一括送信ボックスに対して、各原稿のファイル番号が表示されます。原稿はこのファイル番号で管理され、確認や消去のときに使用しますので、メモをとることをおすすめします。

1 送信する面を下に向け原稿をセットします。

＊必要に応じて、画質や濃度を設定します。（24ページ参照）

2 ① 応用通信 キーを5回押します。

応用通信

5.ｲｯｶﾂ ｿｳｼﾝ
ｵｳﾖｳﾂｳｼﾝ/ｾｯﾄ

② セット キーを押します。

セット

ｲｯｶﾂ ｿｳｼﾝ
ﾎﾞｯｸｽ ﾊﾞﾝｺﾞｳ: _

3 ① ダイヤルキーで、一括送信ボックス番号（1〜5）を入力します。

1 2 3
4 5 6
7 8 9
＊ 0 #

【例】ボックス番号2を入力したとき

ｲｯｶﾂ ｿｳｼﾝ
ﾎﾞｯｸｽ ﾊﾞﾝｺﾞｳ: 2_

＊番号を間違えて入力したときは クリア キーを押して正しい番号を入力してください。

② セット キーを押します。

セット

ｽﾀｰﾄｷｰ ｦ ﾄﾞｳｿﾞ
ﾎﾞｯｸｽ: 2 ﾌｧｲﾙ: 00

4 ファイル番号を確認し、スタート キーを押します。原稿の読取りが始まります。

スタート

ﾎﾞｯｸｽ: 2 ﾌｧｲﾙ: 00
A4 →→→→→ ﾒﾓﾘｰ 75%

＊ファイル番号は、一括送信原稿の確認や消去に必要ですので控えておいてください。
＊原稿をメモリーに読取り中は、矢印がスクロールします。

MEMO

- 番号を間違えて入力したときは クリア キーを押して訂正してください。
- 読取りを中止するとき、操作を中止するときは ストップ キーを押してください。
- 原稿読取り後は、ファクス中止／確認 キーで消去、確認できます。（31ページ参照）
- 操作を中断してから1分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

一括送信原稿をプリントする

1 ① 機能 キー → ワンタッチキー〈N〉→ ダイヤルキー〈4〉を押します。

機能 ▼ 14 N： ▼ 4

N4 ｹﾞﾝｺｳ ﾌﾟﾘﾝﾄ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

② セット キーを押します。

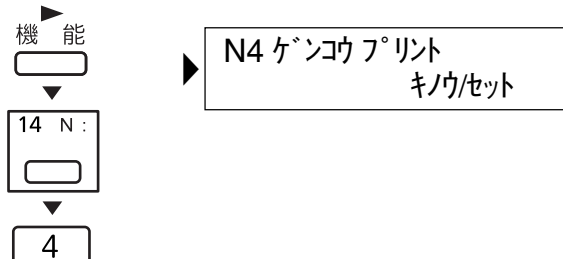
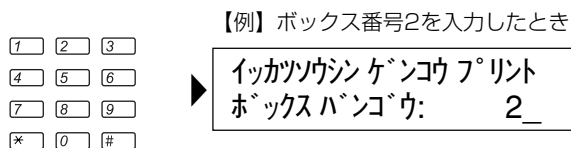
セット

2 ① ダイヤルキーで、一括送信ボックス番号（1〜5）を入力します。

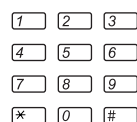
【例】ボックス番号2を入力したとき

ｲｯｶﾂｿｳｼﾝ ｹﾞﾝｺｳ ﾌﾟﾘﾝﾄ
ﾎﾞｯｸｽ ﾊﾞﾝｺﾞｳ: 2_

② セット キーを押します。

セット

3 ダイヤルキーで、ファイル番号（0〜39）を入力します。

【例】0を入力したとき

ｲｯｶﾂｿｳｼﾝ ｹﾞﾝｺｳ ﾌﾟﾘﾝﾄ
ﾌｧｲﾙ ﾊﾞﾝｺﾞｳ: 0_

＊ファイル番号がわからないときは、一括送信原稿リストをプリントして確認します。
＊ファイル番号を間違えて入力したときは クリア キーを押して正しい番号を入力してください。

4 セット キーを押します。

セット

＊一括送信原稿がプリントされ、待機画面に戻ります。
＊指定されたボックスのファイル番号に原稿がない場合は、「ゲンコウ　ガ　アリマセン」と表示し、待機画面に戻ります。

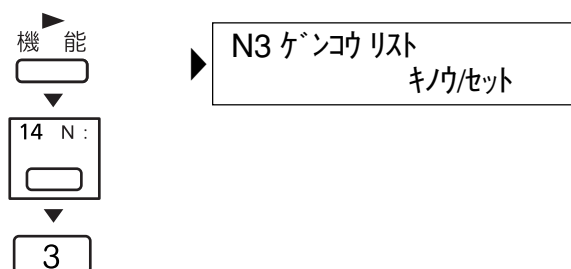
一括送信原稿リストをプリントする

1 機能 キー → ワンタッチキー〈N〉→ ダイヤルキー〈3〉を押します。

機能 ▼ 14 N： ▼ 3

N3 ｹﾞﾝｺｳ ﾘｽﾄ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

2 セット キーを押します。

セット

＊一括送信原稿リストがプリントされ、待機画面に戻ります。

プリント例

ABC商事（株）　Fax:123-456-7890

＊＊ 一括送信原稿リスト ＊＊

2005年 2月13日(日) 13:30

No.	相手先名	受付番号
1	ﾄｳｷｮｳ ｼﾃﾝ	0，1，2
2	ｵｵｻｶ ｼﾃﾝ	0，1
3	ﾅｺﾞﾔ ｼﾃﾝ	0

一括送信原稿を消去する

1 ① 機能 キー → ワンタッチキー〈N〉→ ダイヤルキー〈6〉を押します。

機能 / 14 N : / 6

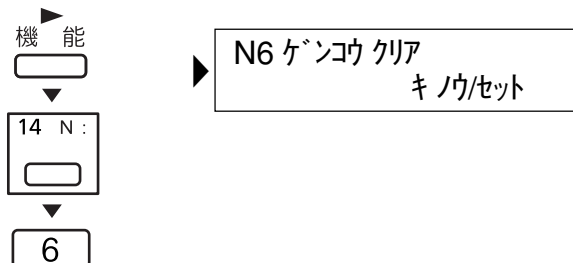
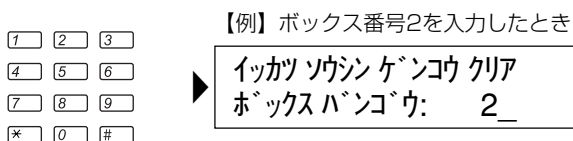
N6 ｹﾞﾝｺｳ ｸﾘｱ
ｷ ﾉｳ/ｾｯﾄ

② セット キーを押します。

セット

2 ① ダイヤルキーで、一括送信ボックス番号（1～5）を入力します。

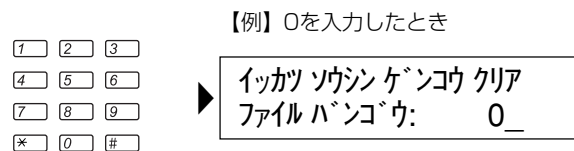
【例】ボックス番号2を入力したとき

ｲｯｶﾂ ｿｳｼﾝ ｹﾞﾝｺｳ ｸﾘｱ
ﾎﾞｯｸｽ ﾊﾞﾝｺﾞｳ: 2_

② セット キーを押します。

セット

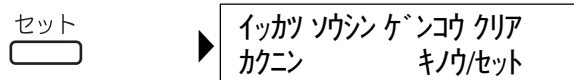
3 ① ダイヤルキーで、ファイル番号（0～39）を入力します。

【例】0を入力したとき

ｲｯｶﾂ ｿｳｼﾝ ｹﾞﾝｺｳ ｸﾘｱ
ﾌｧｲﾙ ﾊﾞﾝｺﾞｳ: 0_

＊ファイル番号がわからないときは、一括送信原稿リストをプリントして確認します。プリント方法は前項を参照してください。
＊ファイル番号を間違えて入力したときは クリア キーを押して正しい番号を入力してください。

② セット キーを押します。

セット

ｲｯｶﾂ ｿｳｼﾝ ｹﾞﾝｺｳ ｸﾘｱ
ｶｸﾆﾝ ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

＊指定されたボックスのファイル番号に原稿がない場合は、「ゲンコウ　ガ　アリマセン」と表示し、待機画面に戻ります。

4 消去してもよければ、セット キーを押します。

セット

＊消去を中止するときは 機能 キーを押します。

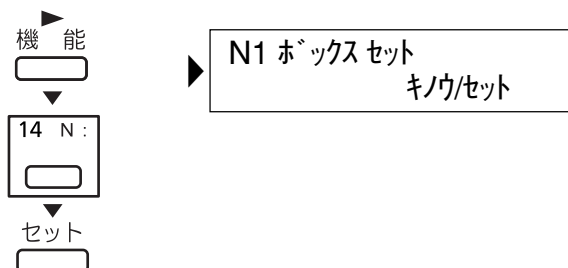
MEMO

- 操作を中止するときは、 ストップ キーを押します。

一括送信ボックスを登録する

1 ① 機能 キー → ワンタッチキー〈N〉→ セット キーを押します。

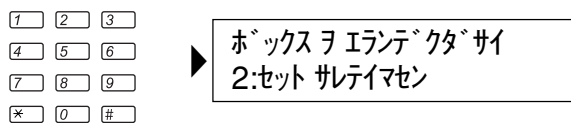
機能
14 N：
セット

N1 ﾎﾞｯｸｽ ｾｯﾄ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

② セット キーを押します。

セット

2 ① ダイヤルキーで、登録したい一括送信ボックス番号（1〜5）を入力します。

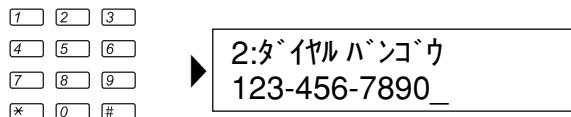
＊◀ ▶ キーを押してボックス番号を選択することもできます。

ﾎﾞｯｸｽ ｦ ｴﾗﾝﾃﾞｸﾀﾞｻｲ
2:ｾｯﾄ ｻﾚﾃｲﾏｾﾝ

＊すでに一括送信ボックスが登録されている場合には、相手先のファクス番号が表示されます。

② セット キーを押します。

セット

3 ① ダイヤルキーで、相手先のファクス番号を入力します。（最大40桁）

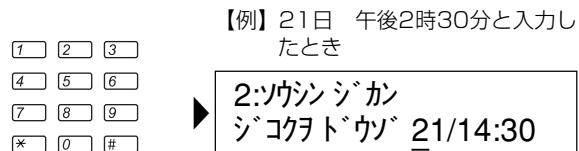
2:ﾀﾞｲﾔﾙ ﾊﾞﾝｺﾞｳ
123-456-7890_

＊同報、グループダイヤルは登録できません。
＊ポーズ、ハイフンなどのダイヤル記号も入力できます。（25ページ参照）
＊間違えて入力したときは、クリア キーを押して正しい番号を入力してください。

② セット キーを押します。

セット

4 ① ダイヤルキーで、送信時刻（日 時 分）を入力します。

【例】21日　午後2時30分と入力したとき

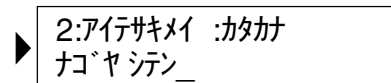
2:ｿｳｼﾝ ｼﾞｶﾝ
ｼﾞｺｸｦ ﾄﾞｳｿﾞ 21/14:30

＊1桁のときは先頭に0を付けます。
＊毎日同じ時刻に送りたいときは、「00」を入力します。
＊間違えて入力した場合は ◀ ▶ キーでカーソルを移動させ、上書きしてください。

② セット キーを押します。

セット

5 ① 相手先名を入力します。

＊24文字まで登録できます。
＊文字入力については「文字入力のしかた（17ページ）」を参照してください。漢字・全角文字は登録できません。

2:ｱｲﾃｻｷﾒｲ :ｶﾀｶﾅ
ﾅｺﾞﾔ ｼﾃﾝ_

② セット キーを押します。

セット

＊次のボックス番号の登録に移ります。

6 続けて一括送信ボックスを登録するときは、手順2から操作を繰り返します。
終了するときは、ストップ キーを押します。

ポイント

- すでに登録されている一括送信ボックスの内容を変更する場合は、一括送信ボックスの登録手順の中で、変更したい登録内容を クリア キーで消去してから新しく入力します。

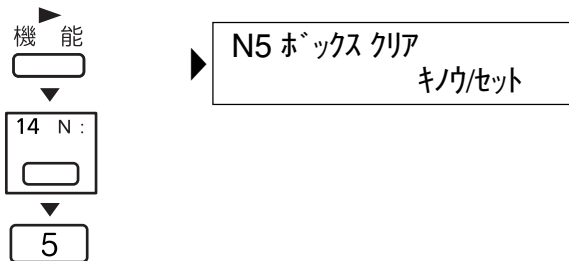
MEMO

- 操作を中止するときは、 ストップ キーを押します。
- 操作を中断してから1分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

一括送信ボックスを消去する

1 ① 機能 キー → ワンタッチキー〈N〉→ ダイヤルキー〈5〉を押します。

機能 → 14 N： → 5

N5 ﾎﾞｯｸｽ ｸﾘｱ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

② セット キーを押します。

セット

② セット キーを押します。

セット

ｲｯｶﾂ ｿｳｼﾝ ﾎﾞｯｸｽ ｸﾘｱ
ｶｸﾆﾝ ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

＊一括送信ボックスに原稿が蓄積されているときは消去できません。

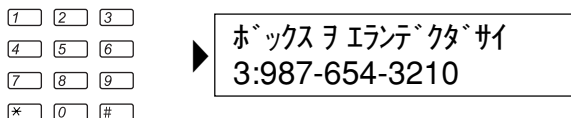
2 ① ダイヤルキーで、消去したいボックス番号（1～5）を入力します。

＊◀ ▶ キーを押してボックス番号を選択することもできます。

ﾎﾞｯｸｽ ｦ ｴﾗﾝﾃﾞｸﾀﾞｻｲ
3:987-654-3210

3 消去してよければ、もう一度 セット キーを押します。

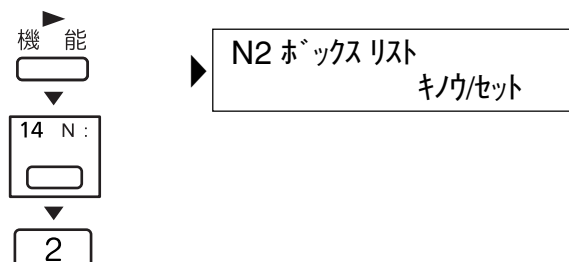
セット

＊消去を中止するときは、機能 キーを押します。

4 続けて消去を行うときは、手順2から操作を繰り返します。
終了するときは、ストップ キーを押します。

一括送信ボックスリストをプリントする

1 機能 キー → ワンタッチキー〈N〉→ ダイヤルキー〈2〉を押します。

機能 → 14 N： → 2

N2 ﾎﾞｯｸｽ ﾘｽﾄ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

2 セット キーを押します。

セット

＊一括送信ボックスリストがプリントされます。

プリント例

ABC商事（株）　Fax:123-456-7890

＊＊ 一括送信BOXリスト ＊＊

2005年 2月13日(日) 13:30

No.	相手先名	ﾀﾞｲﾔﾙ番号	指定日時
1	ﾄｳｷｮｳ ｼﾃﾝ	1234-5678	0, 9:00
2	ｵｵｻｶ ｼﾃﾝ	06-6123-4567	1,17:00
3	ﾅｺﾞﾔ ｼﾃﾝ	052-123-4567	22,22:00

MEMO

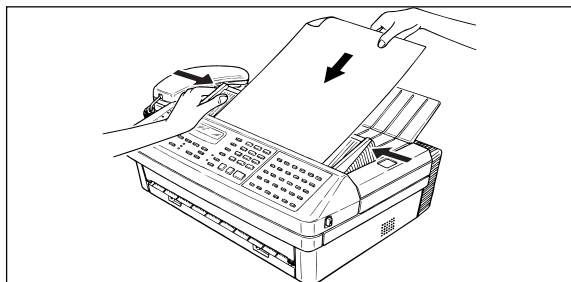
- 操作を中止するときは、ストップ キーを押します。
- 操作を中断してから1分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

中継機を使って送信する（中継指示送信）

●原稿をいったん中継機に送信し、中継機から同報送信させる機能です。通信の作業量や電話料金を分担でき、遠距離の複数の相手先へ同報送信する場合などに便利です。
●中継指示送信には2種類の方法があります。（ここでは中継指示送信について説明しています。）
　・中継指示送信　…　当社の中継機能を持つファクシミリ専用の機能です。
　・Fコード中継通信 …　他社を含むFコード通信に対応したファクシミリで使用できる機能です。（80ページ参照）

[操作の前に]

- 中継機は当社の中継機能を持った機種に限定されます。本機を中継機として使用することもできます。
- [スタート] キーを押す前に、送信時刻を指定することができます。（52ページ参照）
- 中継指示送信は中継機にセットされているグループ番号で送信先を指定します。あらかじめ中継機にセットされているグループ番号のリストを入手してください。
- 中継機でも中継指示された原稿をプリントします。

1 送信する面を下に向け原稿をセットします。

＊必要に応じて、画質や濃度を設定します。（24ページ参照）

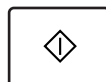
2 ① [応用通信] キーを3回押します。

応用通信

3.ﾁｭｳｹｲｼｼﾞ ｿｳｼﾝ
ｵｳﾖｳﾂｳｼﾝ/ｾｯﾄ

② [セット] キーを押します。

セット

ﾁｭｳｹｲｼｼﾞ ｿｳｼﾝ
ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾊﾞﾝｺﾞｳ: _

3 ① ダイヤルキーで、中継先のグループ番号を入力します。

＊複数のグループ番号を入力するときは、[グループ] キーを押します。
＊10グループまで指定することができます。
＊グループ番号0を入力すると、全てのグループを指定することになります。

1 2 3
4 5 6
7 8 9
＊ 0 #

ﾁｭｳｹｲｼｼﾞ ｿｳｼﾝ
ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾊﾞﾝｺﾞｳ: 1,2,_

② 全てのグループ番号を入力後、[セット] キーを押します。

セット

4 中継機のファクス番号を入力します。

ｽﾀｰﾄｷｰ ｦ ﾄﾞｳｿﾞ
123-4567_

＊ハイフン、ポーズなどのダイヤル記号を入力できます。（25ページ参照）
＊ダイヤルキー、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、電話帳、グループが使用できます。
＊[同報] キーで区切ることにより最大220宛先まで指定できます。（ダイヤルキー入力による指定は20宛先までです。）
＊[応用通信] キーを押して「ジコクシテイ ツウシン」を登録することで、送信時刻を指定することができます。（52ページ参照）

5 [スタート] キーを押します。原稿の読取りが始まります。

スタート

MEMO

- 操作を中止するとき、読取りを中止するときは [ストップ] キーを押してください。
- 番号を間違えて入力したときは [クリア] キーを押して訂正してください。
- 原稿読取り後は、[ファクス中止／確認] キーで消去、確認できます。（31ページ参照）
- 操作を中断してから1分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

6 原稿といっしょに送信案内証を送る（メッセージ送信）

●送信原稿といっしょに、簡単な文書（メッセージ）の入った送信案内証を自動的につけて送信することができます。

[操作の前に]

● 送信案内証を設定する前にメッセージを登録してください。

送信案内証をつけて送信する（メッセージ送信）　初期設定：OFF

● 送信案内証を付加するかしないかの設定をします。
- ・ON …… 送信案内証が送信原稿の1枚目につけられます。
- ・OFF … 送信案内証はつけられません。

1 ① 機能 キー → ワンタッチキー〈K〉→ セット キーを押します。

機能 → 11 K－ → セット

K1 ﾒｯｾｰｼﾞ ｿｳｼﾝ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

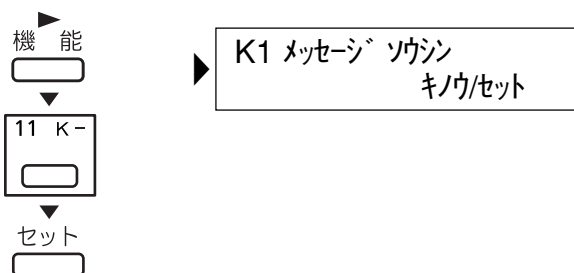
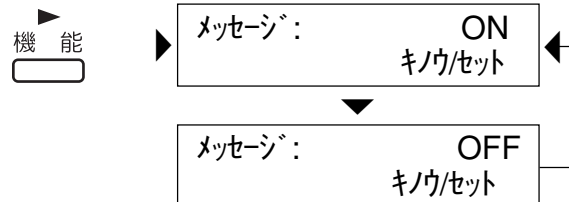
② セット キーを押します。

セット

2 機能 キーでONまたはOFFを選択します。

機能

ﾒｯｾｰｼﾞ: ON
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

ﾒｯｾｰｼﾞ: OFF
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

3 セット キーを押します。

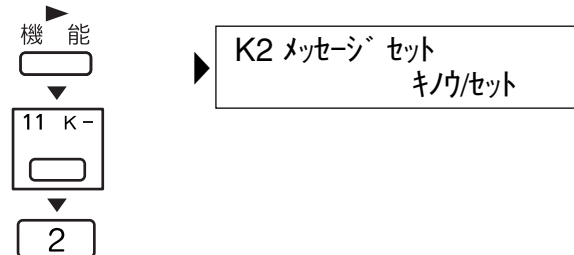
セット

＊メッセージ送信が設定されます。

登録する

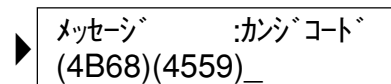
1 ① 機能 キー → ワンタッチキー〈K〉→ ダイヤルキー〈2〉を押します。

機能 → 11 K－ → 2

K2 ﾒｯｾｰｼﾞ ｾｯﾄ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

② セット キーを押します。

セット

2 メッセージを入力します。

ﾒｯｾｰｼﾞ :ｶﾝｼﾞｺｰﾄﾞ
(4B68)(4559)_

＊半角文字は40文字まで、全角文字は20文字まで登録できます。

＊文字入力については「文字入力のしかた（17ページ）」を参照してください。

3 セット キーを押します。

セット

＊メッセージが登録されます。

MEMO

● 操作を中止するときは、ストップ キーを押します。

変更／消去する

1 「登録する」の手順1〜2を行います。

2 クリア キーで表示されているメッセージを消去します。

クリア

メッセージ　:カタカナ
_

3 新しいメッセージを入力するときは、“登録する”の手順2に従って入力してください。

4 操作が完了したら セット キーを押します。

セット

＊メッセージが変更／消去されます。

送信案内証をプリントする

● セットしたメッセージをプリントします。

1 機能 キー → ワンタッチキー〈K〉→ ダイヤルキー〈3〉を押します。

機能

11 K－

3

K3 メッセージ リスト
キノウ/セット

2 セット キーを押します。

セット

＊送信案内証がプリントされます。

（プリント例）

＊＊ 送信案内証 ＊＊
2005年 2月13日（日）13:30

発信元名　ABC商事
ファクス番号　123-456-7890

［いつもお世話になっております。　］

MEMO

● 操作を中止するときは、 ストップ キーを押します。

7 受信編
1回線で複数の番号をつける(ダイヤルイン)

●ダイヤルイン契約した電話番号(3回線分まで)をファクス番号、本体電話用番号、増設電話用番号として登録し、その登録に基づいてダイヤルイン着信したときの4桁の番号で、ファクス受信および電話を区別することができます。

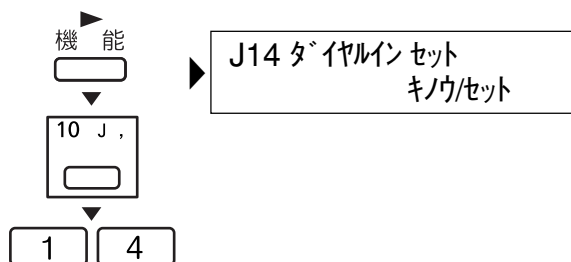
[操作の前に]

- あらかじめNTTへ申請してください。
- ダイヤルインサービスとナンバー・ディスプレイサービスの両方をご使用になる場合は、**モデムダイヤルインサービス**の契約を行ってください。
- ナンバー・ディスプレイ対応電話機を増設電話として接続するときは、電話機のナンバー・ディスプレイ設定を「OFF」にしてください。モデムダイヤルインをご利用のときでも、ナンバー・ディスプレイ対応電話機ではナンバー・ディスプレイサービスをご利用できません。
- 電話とファクスは同時に使用できません。

登録する

1 ① 機能 キー → ワンタッチキー〈J〉→ ダイヤルキー〈1〉、〈4〉を押します。

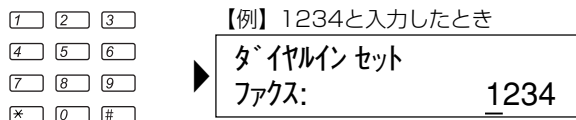
機能 → 10 J , → 1 4

J14 ダ゛イヤルイン セット
キノウ/セット

② セット キーを押します。

セット

2 ① ダイヤルキーで、ファクス用の番号を入力します。

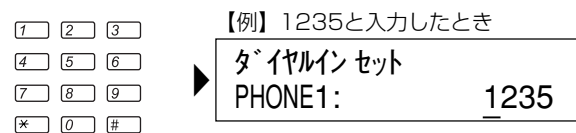
【例】1234と入力したとき

ダ゛イヤルイン セット
ファクス: 1234

② セット キーを押します。

セット

3 ① ダイヤルキーで、本体電話用の番号を入力します。

【例】1235と入力したとき

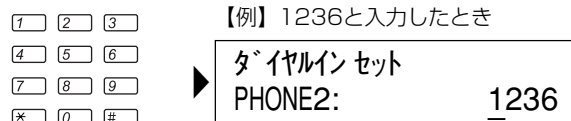
ダ゛イヤルイン セット
PHONE1: 1235

＊PHONE1端子につながれた本体電話用の番号を入力します。

② セット キーを押します。

セット

4 ① ダイヤルキーで、増設電話用の番号を入力します。

【例】1236と入力したとき

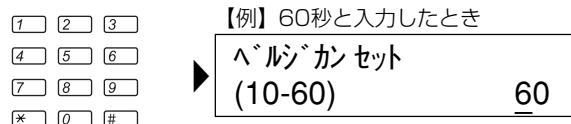
ダ゛イヤルイン セット
PHONE2: 1236

＊PHONE2端子につながれた増設電話用の番号を入力します。
＊2回線分の契約の場合は、本体電話用(PHONE1)の番号と同じ番号を入力します。

② セット キーを押します。

セット

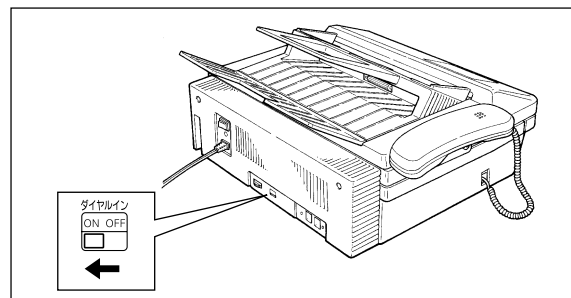
5 ① ダイヤルキーで、着信ベル時間を入力します。

【例】60秒と入力したとき

ベ゛ルシ゛カン セット
(10-60) 60

② セット キーを押します。

セット

＊ダイヤルインがセットされます。

6 本体のダイヤルインスイッチをONにします。

ダイヤルイン
ON OFF

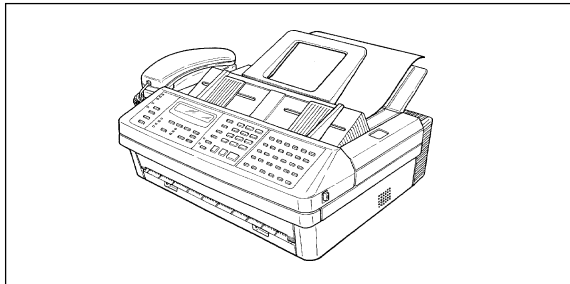
MEMO

- 入力した数字の変更は、◀ ▶ キーでカーソルを移動し、入力し直します。
- 操作を中止するときは、ストップ キーを押します。

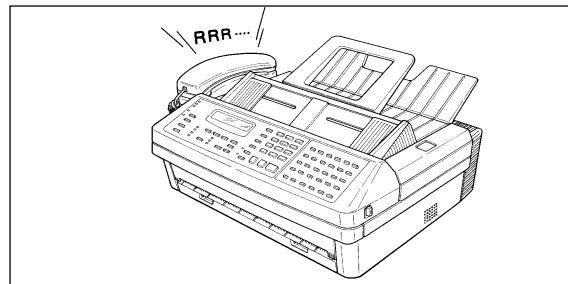
7 1回線で複数の番号をつける（ダイヤルイン）

ダイヤルインサービスのときの動き

《ファクス用番号にかかってきた場合》

1 呼び出しベルを鳴らさず、すぐに受信を開始します。

《本体電話用番号／増設電話用番号にかかってきた場合》

1 ベルが30（10〜60）秒鳴ります。

RRR….

＊本体電話と増設電話に同じ番号を登録しているときは、同時にベルが鳴ります。
＊モデムダイヤルインサービスをご使用の場合は、相手側が電話を切るまでベルが鳴り続きます。

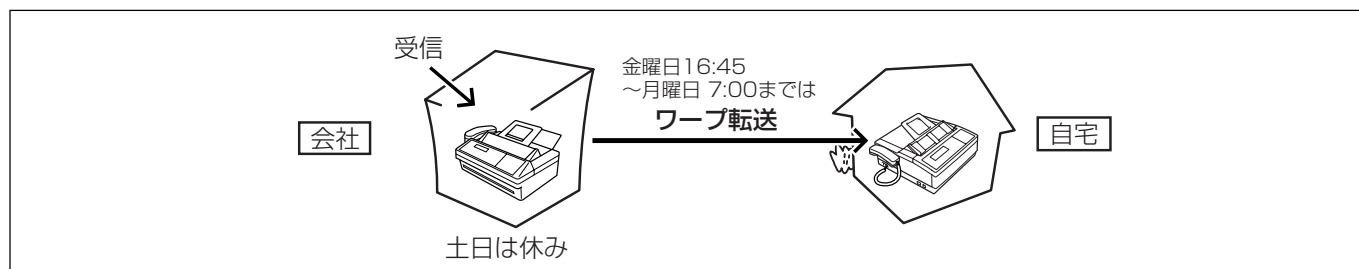
2 本体電話または、増設電話の受話器を取って通話します。

MEMO

- かかってきた電話のベルは最大60秒間（約20回程度）で鳴り終わりますのでご注意ください。
  ＊鳴り終わっていても、必ず一度受話器を上げて切れていることを確認してください。
- ダイヤルイン利用の手順について
  ①最寄りのNTT営業窓口に、ダイヤルインサービスが可能かどうかお問い合わせください。
  ②可能であれば、申込みを行います。（※必ず4行の電話番号をもらってください。電話番号が変わることがあります。）
  ③開通日にダイヤルインサービスになっていることを確認します。
  〈確認方法〉
  1）受信モードを電話待機にします。（自動受信 キーを押してランプを消灯させます。10ページ参照）
  2）ダイヤルインの電話番号に電話をかけます。
  3）ベルが鳴ったら本体電話を上げます。
  4）“ピッポッパ”という音が聞こえたら、ダイヤルインサービスになっています。
  ＊そのままでは相手とつながりません。通話したいときは受話器を下ろして、1〜2秒して再度あげてください。
  ④ダイヤルインセットを行います。
  ＊ダイヤルインセット後に、NTT側がダイヤルインサービスになっていないときは「電話／ファクス待機」と同じ動作で電話／ファクス自動切り替えを行います。

8 受信編
受信原稿を転送する（FAXワープ）

●設定時間内に受信した原稿を指定された宛先に転送します。転送条件は5個まで登録できます。

受信
金曜日16:45
～月曜日 7:00までは
ワープ転送
会社
自宅
土日は休み

FAXワープを設定する

1 ① 機能 キー → ワンタッチキー〈Q〉→ ダイヤルキー〈3〉を押します。

機 能
17 Q =
3

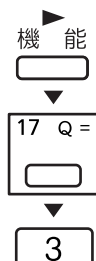
Q3 FAXﾜｰﾌﾟ ｾｯﾃｲ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

② セット キーを押します。

セット

2 機能 キーでONまたはOFFを選択します。

機 能

FAXﾜｰﾌﾟ: ON
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

FAXﾜｰﾌﾟ: OFF
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

3 セット キーを押します。

セット

＊FAXワープが設定されます。

第3章 便利な使いかた（受信編）

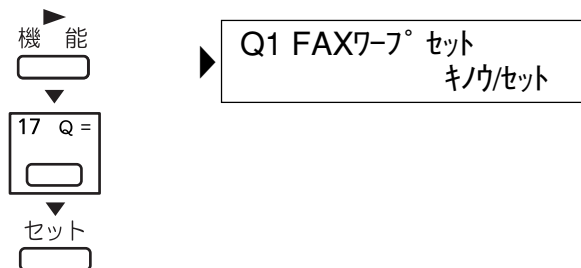
MEMO

- 次の受信原稿のときは、転送しません。
  - ・ポーリング受信原稿
  - ・中継指示を受けた原稿
  - ・親展受信原稿
  - ・Fコード親展受信原稿
  - ・Fコード掲示板に蓄積された原稿
  - ・Fコード中継指示を受けた原稿
- 操作を中止するときは、 ストップ キーを押します。
- 操作を中断してから1分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

転送先を登録する

1 ① 機能 キー → ワンタッチキー〈Q〉→ セット キーを押します。

機能 ▼ 17 Q = ▼ セット

▶ Q1 FAXﾜｰﾌﾟ ｾｯﾄ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

② セット キーを押します。

セット

2 **はじめて転送番号を登録するとき**

➡ 手順3に進み、転送番号を入力します。

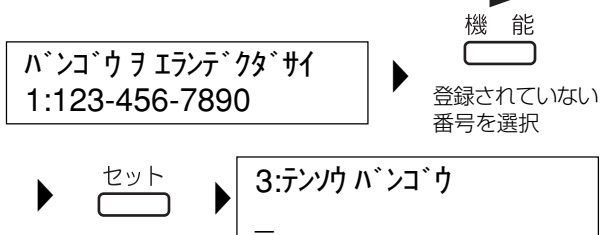
▶ 1:ﾃﾝｿｳ ﾊﾞﾝｺﾞｳ
_

すでに転送番号が登録されているとき

➡ 機能 キーで登録されていない番号を選択し、セット キーを押します。

ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ｴﾗﾝﾃﾞｸﾀﾞｻｲ
1:123-456-7890

▶ 機能 登録されていない番号を選択

▶ セット ▶ 3:ﾃﾝｿｳ ﾊﾞﾝｺﾞｳ
_

3 ① ダイヤルキーで転送番号を入力します。

＊ダイヤルキー、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループを使用できます。
＊転送番号は201ケ所まで登録できます。同報 キーを押して相手先を区切ります。
＊ダイヤルキーによる入力は1ケ所のみです。

▶ 3:ﾃﾝｿｳ ﾊﾞﾝｺﾞｳ
654-3210,[01],S001_

＊番号を間違えて入力したときは、クリア キーを押して正しい番号を入力し直してください。

② セット キーを押します。

セット

4 ① ダイヤルキーで転送を開始する時刻を指定します。

（時刻を指定しないときは セット キーを押して手順5へ進みます）

【例】金曜日16:45～月曜日 7：00 まで転送するとき

▶ 3:ｼﾃｲ ｼﾞｺｸ
(金) 16:45--(月) 07:00

転送開始　転送終了

② セット キーを押します。

セット

転送時刻の入力のしかた

- 「＊」は指定されていないという表示です。
- 曜日はダイヤルキーで入力します。

ダイヤルキー<0> …（日）
ダイヤルキー<1> …（月）
ダイヤルキー<2> …（火）
ダイヤルキー<3> …（水）
ダイヤルキー<4> …（木）
ダイヤルキー<5> …（金）
ダイヤルキー<6> …（土）

- ダイヤルキー<＊>を押すと1文字を消去（＊に戻す）します。

＊クリア キーを押すと、指定時刻をすべて消去します。
＊入力をまちがえた場合は、◀ ▶ キーを押してカーソルを移動し入力し直してください。

- 曜日または時刻を指定しないこともできます。

【例】曜日を指定しないとき
毎日16:45～次の日の7:00まで転送

3:ｼﾃｲ ｼﾞｺｸ
(＊) 16:45--(＊) 07:00

【例】時刻を指定しないとき
土曜日の0:00～日曜日の23:59まで転送

3:ｼﾃｲ ｼﾞｺｸ
(土) ＊＊:＊＊--(日) ＊＊:＊＊

＊片方が曜日、もう片方が時刻という指定はできません。

5 ① 機能 キーで、同時プリントのONまたはOFFを選択します。

・ON … 本機でも転送先でも受信原稿をプリントします。
・OFF … 本機では転送した原稿をプリントしません。

機能

3:ドウジ プリント: ON
キノウ/セット

3:ドウジ プリント: OFF
キノウ/セット

② セット キーを押します。

セット

4:ダイヤル バンゴウ
_

＊次の転送の登録に移ります。

6 続けて転送の登録をするときは、手順3から操作を繰り返します。
登録を終了するときは、ストップ キーを押します。

ポイント

● **登録されている内容を変更する場合は**
手順2にて変更したい番号を選択し、登録手順の中で変更したい登録内容を クリア キーで消去してから、新しく入力してください。

● **登録されている内容を消去する場合は**
手順2にて消去したい番号を選択し、 クリア キーを押します。登録内容が消去され、次の登録内容が繰り上がり表示されます。

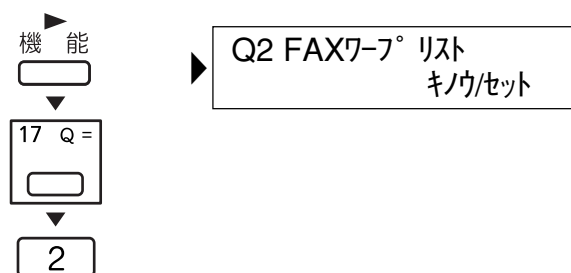
FAXワープリストをプリントする

1 機能 キー → ワンタッチキー〈Q〉→ダイヤルキー〈2〉を押します。

機能
17 Q =
2

Q2 FAXワープ リスト
キノウ/セット

2 セット キーを押します。

セット

＊FAXワープリストがプリントされます。

プリント例

ABC商事（株）　Fax:123-456-7890

＊＊ FAXワープ リスト ＊＊

P.1　2005年 2月13日（日）13:30

No.	ダイヤル番号	指定時刻	同時プリント
1	[01]	(金)21:00 ～ (月)06:00	ON
2	G1	(-)22:00 ～ (-)07:00	OFF
3	S001	(-)22:00 ～ (-)07:30	ON

No.
転送先の番号です。

ダイヤル番号
転送先として登録したダイヤル番号です。

指定時刻
転送を開始する日時と転送を終了する日時です。

同時プリント
ON … 本機でも転送先でも受信原稿をプリントします。
OFF … 本機では転送した原稿をプリントしません。

9 受信編

受信した原稿を他人に読まれないようにする(セキュリティ受信)

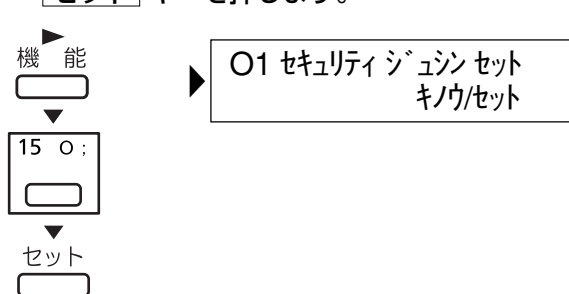
●セキュリティ受信開始時刻以降に受信した原稿をメモリーに蓄積し、プリントアウトしないようにします。この機能を活用すると、夜間などオフィスが無人になる時間帯に受信した原稿を、メモリーに記憶させておくことができます。受信した原稿は、あとから記録紙にプリントできます。

[操作の前に]

- あらかじめプロテクトコードを設定してください。（126ページ参照）
- プロテクトコードが解除されると、セキュリティ受信も解除されます。
- セキュリティ受信をONに設定すると、毎日開始時刻にセキュリティ受信が始まります。
- セキュリティ受信中に受信原稿がある場合は代行受信ランプが点灯します。記録紙にプリントした時点で自動的に通常の受信動作に戻ります。

セキュリティ受信を設定する

初期設定：OFF

1 ① 機能 キー → ワンタッチキー〈0〉→ セット キーを押します。

機能 / 15 0 ; / セット

▶ 01 ｾｷｭﾘﾃｨ ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾄ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

② セット キーを押します。

セット

＊プロテクトコードが登録されていないと「プロテクトコード ミトウロクデス」と表示されます。

2 ① ダイヤルキーで、プロテクトコードを入力します。

▶ ｾｷｭﾘﾃｨ ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾄ
ﾌﾟﾛﾃｸﾄｺｰﾄﾞ :1234

② セット キーを押します。

セット

＊プロテクトコードが間違っていると「プロテクトコード ガ チガイマス」と表示されます。

3 機能 キーでONまたはOFFを選択します。

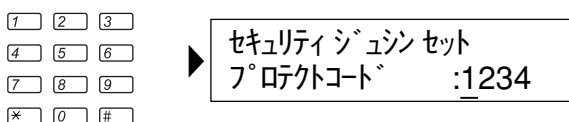
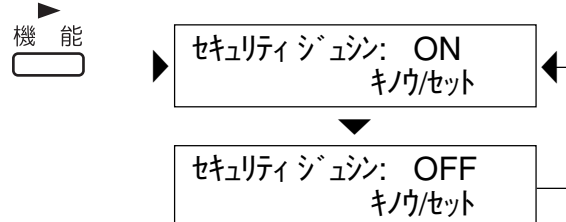
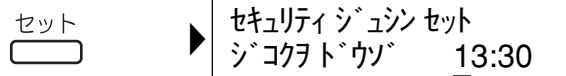
機能

▶ ｾｷｭﾘﾃｨ ｼﾞｭｼﾝ: ON
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

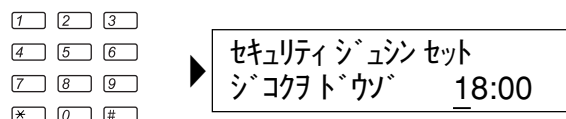
▼ ｾｷｭﾘﾃｨ ｼﾞｭｼﾝ: OFF
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

② セット キーを押します。

セット

▶ ｾｷｭﾘﾃｨ ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾄ
ｼﾞｺｸｦ ﾄﾞｳｿﾞ 13:30

＊OFFを選択した場合は、この手順で終了です。

4 ダイヤルキーで、セキュリティ受信を開始する時刻を入力します。

▶ ｾｷｭﾘﾃｨ ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾄ
ｼﾞｺｸｦ ﾄﾞｳｿﾞ 18:00

5 セット キーを押します。

セット

＊セキュリティ受信がセットされます。

MEMO

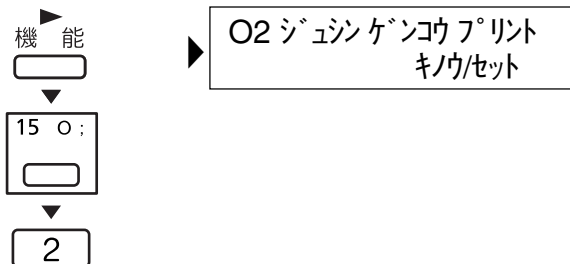
- 操作を中止するときは、ストップ キーを押します。
- セキュリティ受信を解除する時は、手順3でOFFにセットします。（セキュリティ受信した原稿があるときは解除できません。）
- 操作を中断してから1分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

受信した原稿をプリントする

● 受信した原稿をプリントすると、通常の受信動作に戻ります。

1 ① 機能 キー → ワンタッチキー〈0〉→ ダイヤルキー〈2〉を押します。

機能 → 15 0 ; → 2

02 ｼﾞｭｼﾝ ｹﾞﾝｺｳ ﾌﾟﾘﾝﾄ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

② セット キーを押します。

セット

2 ダイヤルキーで、プロテクトコードを入力します。

ｼﾞｭｼﾝ ｹﾞﾝｺｳ ﾌﾟﾘﾝﾄ
ﾌﾟﾛﾃｸﾄｺｰﾄﾞ :1234

3 セット キーを押すと、受信した原稿をプリントします。

セット

＊＊ ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾁｭｳ ＊＊

＊受信した原稿がないときは「ゲンコウ　ガ　アリマセン」と表示されます。

MEMO

● 操作を中止するときは、ストップ キーを押します。
● 操作を中断してから1分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

10 受信編
パスコードが一致する相手だけ受信する(閉域通信)

●閉域通信は相手機とパスコードが一致する場合にのみ受信する機能で、通信ネットワーク内の受信効率を高めることができます。

[操作の前に]
- 閉域通信をONにすると、当社機でパスコードが一致するファクスからの送信のみ受信できます。
- 閉域通信セット、パスコードセットともにセットしてください。
- 相手先にもパスコードセットをしてもらってください。
- パスコードはポーリング通信のときにも使用できます。(71ページ参照)

閉域通信を設定する　初期設定:OFF

1 ① [機能] キー → ワンタッチキー〈J〉→ ダイヤルキー〈0〉、〈8〉を押します。

機能 → 10 J , → 0 8

J08 ﾍｲｲｷﾂｳｼﾝ ｾｯﾄ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

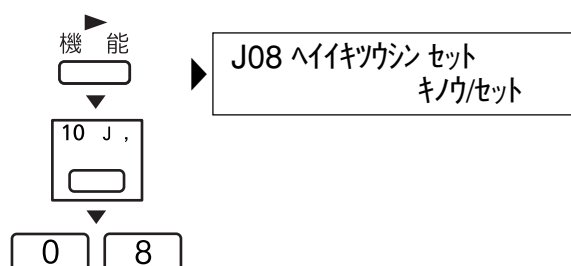
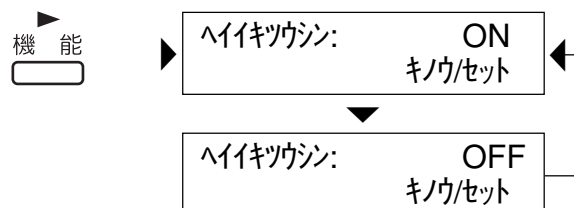
② [セット] キーを押します。

セット

2 [機能] キーでONまたはOFFを選択します。

機能

ﾍｲｲｷﾂｳｼﾝ:　ON
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

ﾍｲｲｷﾂｳｼﾝ:　OFF
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

3 [セット] キーを押します。

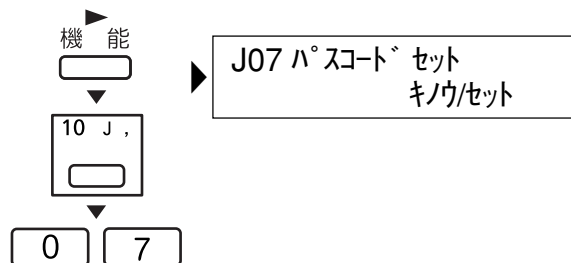
セット

＊閉域通信が設定されます。

パスコードを設定する　初期設定:0000

1 ① [機能] キー → ワンタッチキー〈J〉→ ダイヤルキー〈0〉、〈7〉を押します。

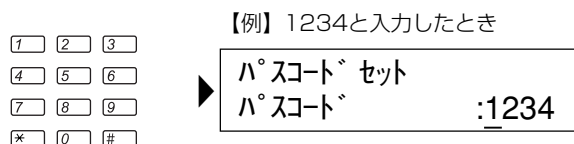
機能 → 10 J , → 0 7

J07 ﾊﾟｽｺｰﾄﾞ ｾｯﾄ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

② [セット] キーを押します。

セット

2 ダイヤルキーで、パスコードを4桁で入力します。

【例】1234と入力したとき

ﾊﾟｽｺｰﾄﾞ ｾｯﾄ
ﾊﾟｽｺｰﾄﾞ　:1234

＊パスコードを解除するときは0000と入力します。

3 [セット] キーを押します。

セット

＊パスコードが設定されます。

MEMO
- 操作を中止するときは、[ストップ] キーを押します。

11 送受信編

相手先の操作で送信する（ポーリング予約）

●原稿をあらかじめメモリーに蓄積しておくと、相手先からの操作で自動的に送信できます。料金は相手先の負担となります。

[操作の前に]

- ポーリングは2種類あります。ファイル番号を入力したときは検索ポーリングに、入力しないときは通常ポーリングになります。
  - ＊検索ポーリング（何件もメモリーするとき）　：送信してもメモリーに蓄積した原稿は、そのまま残り何回でも送信できます。
  - ＊通常ポーリング（1件だけメモリーするとき）　：送信するとメモリーに蓄積された原稿は自動的に消去されます。
- 検索ポーリングは、相手先が当社の検索ポーリング機能を持った機種に限定されます。
- パスコードを相互に決めて、一致する場合のみポーリング送信できるように設定できます。（当社機種間のポーリングに限定されます。パスコードの設定は70ページを参照してください。）

ポーリング予約する

1 送信する面を下に向け原稿をセットします。

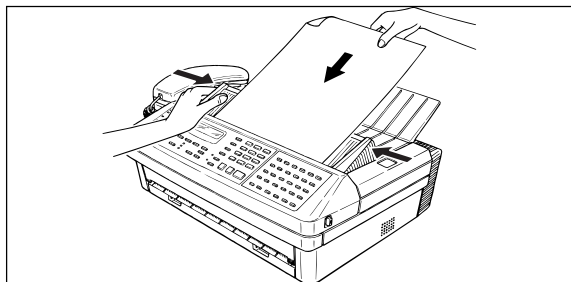
＊必要に応じて、画質や濃度を設定します。（24ページ参照）

2 ① 機能 キー → ワンタッチキー〈D〉→ セット キーを押します。

機能 → 04 D％ → セット

D1 ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ｹﾞﾝｺｳ ﾁｸｾｷ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

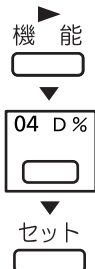
② セット キーを押します。

セット

3 検索ポーリングのときは、ダイヤルキーでファイル番号（00～99）を入力します。
通常ポーリングのときはファイル番号を入力せずに、手順4に進みます。

ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ｹﾞﾝｺｳ ﾁｸｾｷ
ﾌｧｲﾙ ﾊﾞﾝｺﾞｳ:　00_

＊ファイル番号を間違えて入力したときは クリア キーを押して正しい番号を入力してください。

4 セット キーを押します。

セット

＊ポーリング予約原稿が蓄積され、待機画面に戻ります。

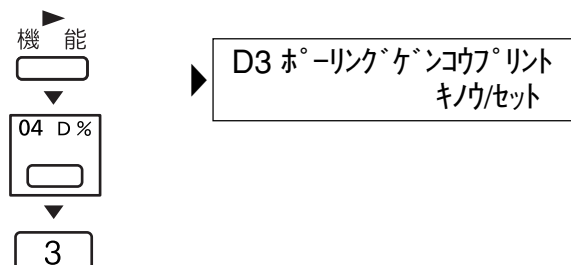
MEMO

- 操作を中止するとき、読取りを中止するときは ストップ キーを押します。

ポーリング予約原稿をプリントする

1 ① 機能 キー → ワンタッチキー〈D〉→ ダイヤルキー〈3〉を押します。

機 能
04 D %
3

D3 ホ゜ーリンク゛ケ゛ンコウフ゜リント
キノウ/セット

② セット キーを押します。

セット

2 検索ポーリングの原稿印字のときは、ダイヤルキーでファイル番号（00～99）を入力します。通常ポーリングのときはファイル番号を入力せずに、手順3に進みます。

ホ゜ーリンク゛ ケ゛ンコウ フ゜リント
ファイル ハ゛ンコ゛ウ: 00_

＊ファイル番号を間違えて入力したときは クリア キーを押して正しい番号を入力してください。

3 セット キーを押します。

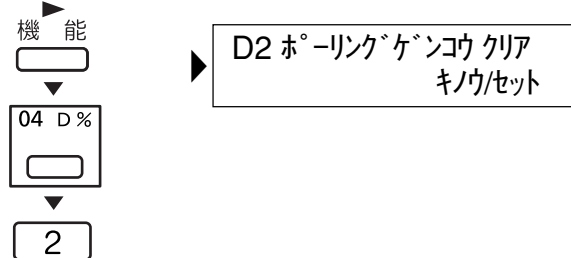
セット

＊プリントを開始します。

ポーリング予約原稿を消去する

1 ① 機能 キー → ワンタッチキー〈D〉→ ダイヤルキー〈2〉を押します。

機 能
04 D %
2

D2 ホ゜ーリンク゛ケ゛ンコウ クリア
キノウ/セット

② セット キーを押します。

セット

2 検索ポーリングの原稿消去のときは、ダイヤルキーで、ファイル番号（00～99）を入力します。通常ポーリングのときはファイル番号を入力せずに、手順3に進みます。

ホ゜ーリンク゛ ケ゛ンコウ クリア
ファイル ハ゛ンコ゛ウ: 00_

＊ファイル番号を間違えて入力したときは クリア キーを押して正しい番号を入力してください。

3 セット キーを押します。

セット

＊ポーリング原稿が消去され、待機画面に戻ります。
＊消去を中止するときは ストップ キーを押します。

MEMO

- 操作を中止するときは、 ストップ キーを押します。

12 送受信編
相手の原稿を取り出す（ポーリング）

●相手側にセットされている原稿を、こちら側から指示して送信させる機能です。電話料金はこちら側（受信側）の負担になります。

[操作の前に]

- 一度の操作で最大220宛先の相手からポーリングする指示もできます。
- スタート キーを押す前に送信時刻を指定することができます。（52ページ参照）
- 検索ポーリングは、相手先が当社の検索ポーリング機能を持った機種に限定されます。
- パスコードを相互に決めて、一致する場合のみポーリング送信できるように設定できます。（当社機種間のポーリングに限定されます。パスコードの設定は70ページを参照してください。）

1 ① 応用通信 キーを4回押します。

応用通信

4.ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ
ｵｳﾖｳﾂｳｼﾝ/ｾｯﾄ

② セット キーを押します。

セット

2 ① 検索ポーリングのときは、ダイヤルキーでファイル番号（0～9999）を入力します。

＊通常ポーリングのときはファイル番号を入力せずに、手順3に進みます。

1 2 3 4 5 6 7 8 9 ＊ 0 #

ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ
ﾌｧｲﾙ ﾊﾞﾝｺﾞｳ:0_

② 続けてファイル番号を入力するときは、応用通信 キーを押してファイル番号を入力します。

応用通信

ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ
ﾌｧｲﾙ ﾊﾞﾝｺﾞｳ:0,_

＊ファイル番号は10件まで指定できます。

③ セット キーを押します。

セット

3 ① 相手先のファクス番号を入力します。

ｽﾀｰﾄｷｰ ｦ ﾄﾞｳｿﾞ
123-4567_

＊ハイフン、ポーズなどのダイヤル記号を入力できます。（25ページ参照）
＊ダイヤルキー、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、電話帳、グループが使用できます。
＊応用通信 キーを押して「ジコクシテイ ツウシン」を登録することで、送信時刻を指定することができます。（52ページ参照）

② 複数の相手先を入力するには、同報 キーを押して相手先を区切ります。

ｽﾀｰﾄｷｰ ｦ ﾄﾞｳｿﾞ
123-4567,[01],G1_

＊最大220宛先まで指定できます。（ダイヤルキー入力による指定は20宛先までです。）

4 スタート キーを押します。
ポーリングが開始されます。

スタート

第3章 便利な使いかた（送受信編）

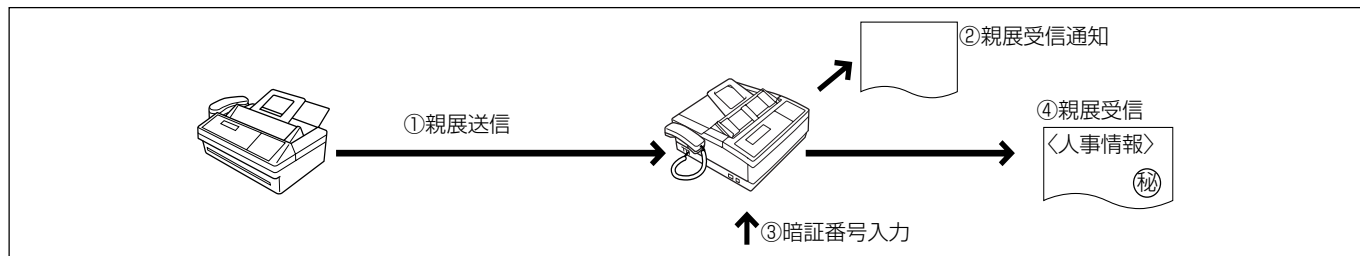
MEMO

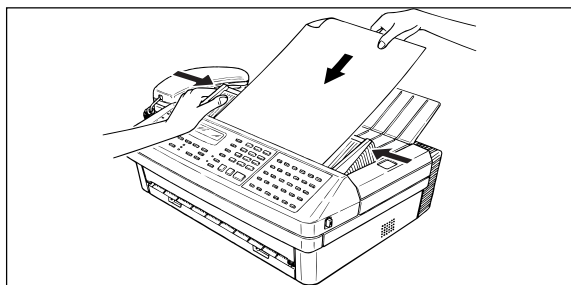
- 検索ポーリングにて相手先の原稿を取り出すと、受信原稿の先頭に「D01」のように取り出したファイル番号がプリントされます。
- ポーリングは送信文書として扱われます。ストップ キーを押した後は、ファクス中止／確認 キーで中止、確認できます。（31ページ参照）
- 操作を中止するときは、ストップ キーを押します。
- 番号を間違えて入力したときは クリア キーを押して訂正してください。

13 送受信編

親展通信をする

●受信側の特定の人だけがプリントできるように送信する機能で、機密保護の必要な文書を送信する場合に便利です。受信側に原稿が届くと、いったんメモリーに蓄積され、「親展受信通知」がプリントされます。受取人はこの通知を見て受信原稿をプリントします。
●親展通信には2種類の方法があります。（ここでは親展通信について説明しています。）
・親展通信 ……… 当社の親展機能を持つファクシミリ専用の機能です。
・Fコード親展通信 … 他社を含むFコード通信に対応したファクシミリで使用できる機能です。（80ページ参照）

①親展送信
②親展受信通知
③暗証番号入力
④親展受信
〈人事情報〉
㊙

親展送信

● 親展送信は、相手機が当社の親展機能を持った機種の場合に使用できます。（一部、親展通信が不可能の機種があります。詳しくはインフォメーションセンターにお問い合わせください。）
● あらかじめ相手側の親展ボックス番号を確認しておきます。
● [スタート] キーを押す前に、送信時刻を指定することができます。（52ページ参照）

1 送信する面を下に向け原稿をセットします。

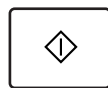
＊必要に応じて、画質や濃度を設定します。（24ページ参照）

2 ① [応用通信] キーを2回押します。

応用通信

2.ｼﾝﾃﾝ ｿｳｼﾝ
ｵｳﾖｳﾂｳｼﾝ/ｾｯﾄ

② [セット] キーを押します。

セット

3 ① ダイヤルキーで、親展番号（1桁）を入力します。

1 2 3
4 5 6
7 8 9
＊ 0 #

【例】親展番号8を入力したとき

ｼﾝﾃﾝ ｿｳｼﾝ
ｼﾝﾃﾝ ﾊﾞﾝｺﾞｳ: 8_

② [セット] キーを押します。

セット

4 相手先のファクス番号を入力します。

ｽﾀｰﾄｷｰ ｦ ﾄﾞｳｿﾞ
123-4567_

＊ハイフン、ポーズなどのダイヤル記号を入力できます。（25ページ参照）
＊ダイヤルキー、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、電話帳、グループが使用できます。
＊[同報] キーで区切ることにより最大220宛先まで指定できます。（ダイヤルキー入力による指定は20宛先までです。）
＊[応用通信] キーを押して「ジコクシテイ ツウシン」を登録することで、送信時刻を指定することができます。（52ページ参照）

5 [スタート] キーを押します。原稿の読取りが始まります。

スタート

MEMO

● 操作を中止するとき、読取りを中止するときは [ストップ] キーを押してください。
● 番号を間違えて入力したときは [クリア] キーを押して訂正してください。
● 原稿読取り後は、[ファクス中止／確認] キーで消去、確認できます。（31ページ参照）
● 操作を中断してから1分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

親展受信

- 親展受信したときは、まず親展受信通知がプリントされます。親展受信通知に記載されている期間までに、親展受信した原稿をプリントしてください。プリントしなかった場合は自動的に消去されますので、ご注意ください。
- 親展受信は、相手機が当社の親展機能を持った機種の場合にのみ使用できます。（一部、親展通信が不可能の機種があります。詳しくはインフォメーションセンターにお問い合わせください。）
- あらかじめ親展ボックスの登録が必要です。（76ページ参照）
- 親展受信文書をプリント後、文書は自動的にメモリーから消去されます。

プリント例

ABC商事㈱　　Fax:123-456-7890

親展受信通知

2005年 2月13日（日）13:30

No	親展者名	相手先名
0	ｻｰﾋﾞｽ	ｷｮｳﾄｼﾃﾝ

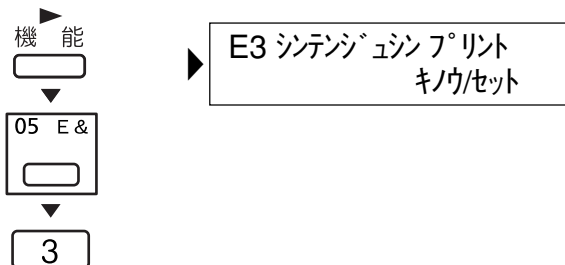
親展原稿を受信しました
（親展原稿記憶期間）
2005年 2月14日（月）13:29

1 ① 機能 キー→ ワンタッチキー〈E〉 → ダイヤルキー〈3〉を押します。

機能
05 E&
3

E3 ｼﾝﾃﾝｼﾞｭｼﾝ ﾌﾟﾘﾝﾄ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

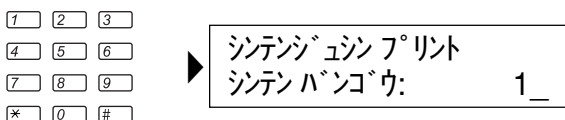
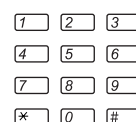
② セット キーを押します。

セット

2 ① ダイヤルキーで、親展ボックス番号（0～9）を入力します。

ｼﾝﾃﾝｼﾞｭｼﾝ ﾌﾟﾘﾝﾄ
ｼﾝﾃﾝ ﾊﾞﾝｺﾞｳ:　1_

＊番号を間違えて入力したときは クリア キーを押して正しい番号を入力してください。

② セット キーを押します。

セット

3 ダイヤルキーで、暗証番号(4桁)を入力します。

【例】暗証番号1234を入力したとき

ｼﾝﾃﾝｼﾞｭｼﾝ ﾌﾟﾘﾝﾄ
ｱﾝｼｮｳ ﾊﾞﾝｺﾞｳ　:1234

4 セット キーを押します。
親展受信文書がプリントされ、待機画面に戻ります。

セット

＊暗証番号が間違っていると、「バンゴウ　ガ　チガイマス」と表示されます。操作をやり直してください。

MEMO

- 操作を中止するときは、ストップ キーを押します。
- 操作を中断してから1分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

親展ボックスを登録する

- 親展として送られてきた文書を受信するために、メモリー内に親展ボックスを登録します。
- 親展ボックスは10個まで登録できます。
- 親展者名と暗証番号は必ず両方とも登録してください。
- 暗証番号は、設定後どこにも表示されませんので、忘れないようにメモ等に書き留めておくことをおすすめします。

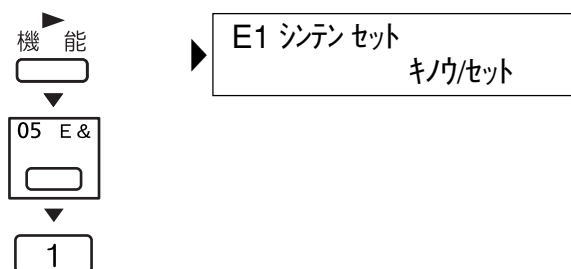
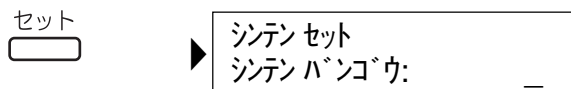
1 ① 機能 キー → ワンタッチキー〈E〉→ セット キーを押します。

機能
05 E&
1

E1 ｼﾝﾃﾝ ｾｯﾄ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

② セット キーを押します。

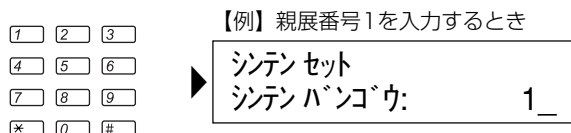
セット

ｼﾝﾃﾝ ｾｯﾄ
ｼﾝﾃﾝ ﾊﾞﾝｺﾞｳ: _

2 ① ダイヤルキーで、登録したい親展ボックスの番号を入力します。

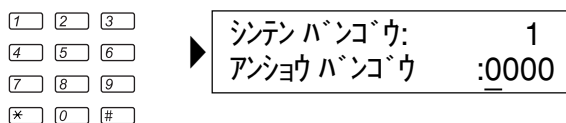
【例】親展番号1を入力するとき

ｼﾝﾃﾝ ｾｯﾄ
ｼﾝﾃﾝ ﾊﾞﾝｺﾞｳ: 1_

② セット キーを押します。

セット

3 ① ダイヤルキーで暗証番号（0000）を入力します。

＊新規登録のときは暗証番号（0000）を入力します。

ｼﾝﾃﾝ ﾊﾞﾝｺﾞｳ: 1
ｱﾝｼｮｳ ﾊﾞﾝｺﾞｳ :0000

＊既に親展ボックスが登録されているときは「バンゴウ　ガチガイマス」と表示されます。

② セット キーを押します。

セット

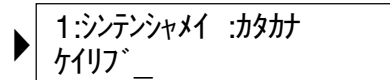
4 ① 親展者名を入力します。

＊16文字まで登録できます。
＊文字入力については「文字入力のしかた（17ページ）」を参照してください。漢字・全角文字は登録できません。

【例】ケイリブと入力するとき

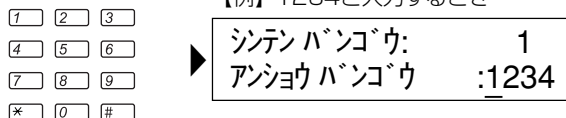
1:ｼﾝﾃﾝｼｬﾒｲ :ｶﾀｶﾅ
ｹｲﾘﾌﾞ_

② セット キーを押します。

セット

5 ダイヤルキーで、暗証番号（4桁）を入力します。

＊暗証番号に0000は使用できません。0000は消去用の暗証番号として使用されます。
＊暗証番号を間違えた場合は正しい番号を上書きで入力してください。

【例】1234と入力するとき

ｼﾝﾃﾝ ﾊﾞﾝｺﾞｳ: 1
ｱﾝｼｮｳ ﾊﾞﾝｺﾞｳ :1234

＊ここで登録した暗証番号は、親展文書をプリントするときや、親展ボックスを変更、消去するときに入力が必要です。
忘れないように控えておいてください。

6 セット キーを押し、終了します。

セット

MEMO

- 操作を中止するときは、ストップ キーを押します。
- 操作を中断してから1分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

親展ボックスを変更する

● 登録した暗証番号が一致しないときは変更できません。

1 「登録する」の手順1〜3を行います。

2 ① ダイヤルキーで、暗証番号（4桁）を入力します。

＊暗証番号が一致しない場合は変更できません。

② セット キーを押します。

3 親展者名を変更するとき（変更しないときは セット キーを押して手順4へ進みます。）

① クリア キーで表示されている親展者名を消去し、新しい親展者名を入力します。

＊16文字まで登録できます。
＊文字入力については「文字入力のしかた（17ページ）」を参照してください。

② セット キーを押します。

4 暗証番号を変更するとき（変更しないときは手順5へ進みます。）

新しい暗証番号（4桁）を上書き入力します。

＊暗証番号に0000は使用できません。0000は消去用の暗証番号として使用されます。
＊暗証番号を間違えた場合は正しい番号を上書きで入力してください。
＊変更した暗証番号は、親展文書をプリントするときや、親展ボックスを変更、消去するときに入力が必要です。忘れないように控えておいてください。

5 セット キーを押し、終了します。

第3章 便利な使いかた（送受信編）

親展ボックスを消去する

[操作の前に]

● 親展ボックスに親展受信文書が蓄積されている場合は消去できません。親展受信文書をプリントしてから操作してください。
● 登録した暗証番号が一致しないときは消去できません。

1 「登録する」の手順1〜3を行います。

2 ① ダイヤルキーで、暗証番号(4桁)を入力します。

＊暗証番号が一致しない場合は消去できません。
＊暗証番号を間違えた場合は正しい番号を上書きで入力してください。

② セット キーを押します。

MEMO

● 操作を中止するときは、 ストップ キーを押します。
● 操作を中断してから1分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

3 消去したい親展ボックスを確認し、もう一度 セット キーを押します。

4 ダイヤルキーで、消去用の暗証番号0000を入力します。

1 2 3
4 5 6
7 8 9
＊ 0 #

▶
シンテン バンゴウ:　　1
アンショウ バンゴウ　:0000

5 セット キーを押し、消去します。

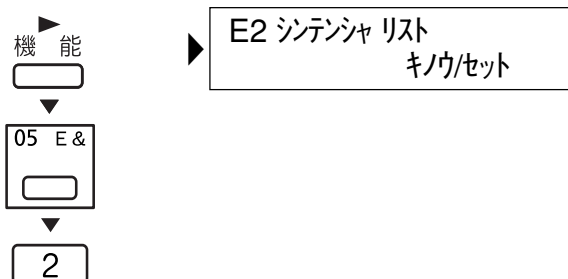
＊親展ボックスが消去され、待機画面に戻ります。

親展者リストをプリントする

● 登録した親展者名をプリントして、親展通信を送信してこられる関係先へ配布しておいてください。

1 機能 キー → ワンタッチキー〈E〉→ ダイヤルキー〈2〉を押します。

機能 → 05 E& → 2

E2 ｼﾝﾃﾝｼｬ ﾘｽﾄ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

2 セット キーを押します。

セット

プリント例

ABC商事㈱ Fax:123-456-7890

** 親展者リスト **

2005年 2月13日（日）13:30

Box	親展者名
0	ｻｰﾋﾞｽ
1	ｴｲｷﾞｮｳ

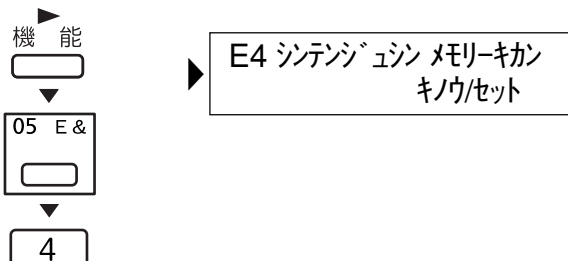
親展文書の記憶期間を設定する

初期設定：1日

● 親展ボックスに受信した親展文書を記憶しておく期間（日）を、1〜31日の間で設定します。休日や出張などのために内容を長期保存しておく必要がある場合に便利です。

1 ① 機能 キー → ワンタッチキー〈E〉→ ダイヤルキー〈4〉を押します。

機能 → 05 E& → 4

E4 ｼﾝﾃﾝｼﾞｭｼﾝ ﾒﾓﾘｰｷｶﾝ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

② セット キーを押します。

セット

ｼﾝﾃﾝｼﾞｭｼﾝ ﾒﾓﾘｰｷｶﾝ
ﾒﾓﾘｰｷｶﾝ (1-31): 01

2 ダイヤルキーで、記憶期間（01〜31）を入力します。

【例】30日と入力するとき

ｼﾝﾃﾝｼﾞｭｼﾝ ﾒﾓﾘｰｷｶﾝ
ﾒﾓﾘｰｷｶﾝ (1-31): 30

＊1桁の時は先頭に0を付けます。
＊01〜31日を入力できます。
＊間違えて入力した場合は正しい数字を上書きで入力してください。

3 セット キーを押します。

セット

＊記憶期間が登録され、待機画面に戻ります。

●親展受信記憶期間を過ぎると親展受信消去通知がプリントされます。

プリント例

ABC商事㈱ Fax:123-456-7890

親展受信消去通知

2005年 2月13日（日）13:30

No	親展者名	相手先名
0	ｻｰﾋﾞｽ	ｷｮｳﾄｼﾃﾝ

親展受信原稿が消去されました......

※メモリーバックアップされなかった場合もプリントされます。

MEMO

- 停電や電源スイッチを切るなどして長い時間電源が切れた状態が続くと、メモリー内の受信情報が消えてしまいます。（149ページ参照）
- 一旦、受信した原稿のメモリー期間を延長することはできません。
- 操作を中止するときは、 ストップ キーを押します。
- 操作を中断してから1分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

14 送受信編
Fコード通信をする

Fコード通信とは

ITU-T（国際電気通信連合）の規格にしたがったサブアドレスやパスワードを利用して、通信する機能です。サブアドレスやパスワードが登録されたFコードボックスを作成することで、メーカーや機種の枠を越えて親展通信、掲示板通信、中継指示通信を利用できます。
＊Fコードボックスは50ボックス登録できます。（「Fコードボックスを登録する」85ページ参照。）
＊1つのボックスには30件まで原稿を蓄積できます。

サブアドレスとパスワード

・サブアドレスは、メモリー内に設定されたさまざまなFコードボックスを区別するための番号です。（必ず登録します）
・パスワードは、原稿をまちがって送受信しないための鍵となるものです。（必要に応じて登録します）

Fコード通信で使用できる機能

サブアドレスやパスワードを利用すると、次のような機能を使用することができます。

◆Fコード親展通信
通信相手にFコード親展ボックスが設定されているとき、そのボックスのサブアドレスと必要に応じてパスワードを指定することにより、親展通信ができるようになります。親展受信側では、特定の暗証番号を入力しなければ受信文書をプリントできませんので、機密保護が必要な文書を送信する場合に便利です。

・Fコード親展送信をする場合 …… サブアドレスを使用した送信（80ページ参照）
・Fコード親展受信した場合 ……… 蓄積原稿のプリント（83ページ参照）

◆Fコード掲示板通信
通信相手にFコード掲示板が設定されているとき、掲示板のサブアドレスを指定することにより、掲示板へ原稿を送信したり、掲示板に蓄積されている原稿を取り出したり（ポーリング）することができます。（必要に応じてパスワードを指定できます）

・相手先の掲示板へ送信する場合 ………………………… サブアドレスを使用した送信（80ページ参照）
・相手先の掲示板に蓄積された原稿を取り出す場合 …… サブアドレスを使用した受信（81ページ参照）
・自分の掲示板へ原稿を蓄積する場合 …………………… 掲示板への原稿蓄積（82ページ参照）

◆Fコード中継指示通信
中継機にFコード中継ボックスが設定されているとき、そのボックスのサブアドレスを指定することにより、中継指示通信ができるようになります。（必要に応じてパスワードを指定できます）
中継機側では、ボックスに登録されている相手先（配信先）に、指示された原稿を送信（配信）します。

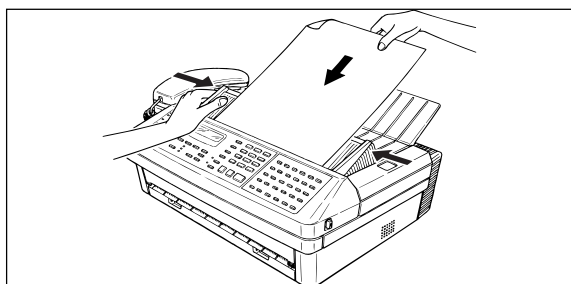
・中継指示送信する場合 …… あらかじめ通信相手のファクスのメモリー内に設定されている、中継指示通信用のボックスのサブアドレスやパスワードを確認して、Fコード送信をしてください。（80ページ参照）
・本機が中継機となる場合 … Fコードボックス登録（85ページ参照）で中継用のボックスを設定してください。

サブアドレスを使用した送信（Fコード送信）

● サブアドレスとパスワードを入力することにより、Fコード親展送信、Fコード掲示板送信、Fコード中継送信ができます。

[操作の前に]

● あらかじめ、**相手機に登録されている使用したい機能のサブアドレスとパスワードを確認**してください。

1 送信する面を下に向け原稿をセットします。

＊必要に応じて、画質や濃度を設定します。（24ページ参照）

2 ① 応用通信 キーを6回押します。

応用通信

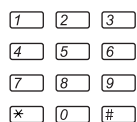
6.Fｺｰﾄﾞ ﾂｳｼﾝ
ｵｳﾖｳﾂｳｼﾝ/ｾｯﾄ

② セット キーを押します。

セット

3 ① ダイヤルキーで、相手機に登録されている使用したい機能のサブアドレス番号を入力します。

1 2 3
4 5 6
7 8 9
＊ 0 #

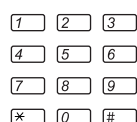
ｻﾌﾞｱﾄﾞﾚｽ ｦ ﾄﾞｳｿﾞ
123456789_

＊サブアドレスは20桁以内の数字で表わされます。

② セット キーを押します。

セット

4 ① ダイヤルキーで、パスワードを入力します。

1 2 3
4 5 6
7 8 9
＊ 0 #

ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ ｦ ﾄﾞｳｿﾞ
＊#9876543210_

＊パスワードは20桁以内の数字、＊、＃が使用できます。
＊パスワードの必要がないときは、何も入力しないで セット キーを押し、手順5に進みます。

② セット キーを押します。

セット

5 相手先のファクス番号入力します。

ｽﾀｰﾄｷｰ ｦ ﾄﾞｳｿﾞ
123-456-7890_

＊ハイフン、ポーズなどのダイヤル記号を入力できます。（25ページ参照）
＊ダイヤルキー、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、電話帳、グループが使用できます。
＊ 同報 キーで区切ることにより最大220宛先まで指定できます。（ダイヤルキー入力による指定は20宛先までです。）
＊ 応用通信 キーを押して「ジコクシテイ ツウシン」を登録することで、送信時刻を指定することができます。（52ページ参照）

6 スタート キーを押します。原稿の読取りが始まります。

スタート

MEMO

● 操作を中止するとき、読取りを中止するときは ストップ キーを押してください。
● 番号を間違えて入力したときは クリア キーを押して訂正してください。
● 原稿読取り後は、 ファクス中止／確認 キーで消去、確認できます。（31ページ参照）
● 操作を中断してから1分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

サブアドレスを使用した受信（Fコードポーリング）

- 相手機の掲示板に蓄積された原稿をサブアドレスとパスワードを入力することにより、取り出すこと（ポーリング）ができます。

[操作の前に]

- あらかじめ**相手機の掲示板のサブアドレスとパスワードを確認**してください。

1 ① **応用通信 キーを7回押します。**

応用通信

▶ 7.Fコート゛ ホ゜ーリンク゛
オウヨウツウシン/セット

② **セット キーを押します。**

セット

2 ① **ダイヤルキーで、掲示板のサブアドレス番号を入力します。**

1 2 3 4 5 6 7 8 9 * 0 #

▶ サフ゛アト゛レス ヲ ト゛ウソ゛
123456789_

＊サブアドレスは20桁以内の数字で表わされます。

② **セット キーを押します。**

セット

3 ① **ダイヤルキーで、パスワードを入力します。**

1 2 3 4 5 6 7 8 9 * 0 #

▶ ハ゜スワート゛ ヲ ト゛ウソ゛
*#9876543210_

＊パスワードは20桁以内の数字、＊、＃が使用できます。
＊パスワードが必要ないときは、何も入力しないで セット キーを押し、手順4に進みます。

② **セット キーを押します。**

セット

4 **相手先のファクス番号入力します。**

▶ スタートキー ヲ ト゛ウソ゛
123-456-7890_

＊ハイフン、ポーズなどのダイヤル記号を入力できます。（25ページ参照）
＊ダイヤルキー、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、電話帳、グループが使用できます。
＊同報 キーで区切ることにより最大220宛先まで指定できます。（ダイヤルキー入力による指定は20宛先までです。）
＊応用通信 キーを押して「ジコクシテイ ツウシン」を登録することで、送信時刻を指定することができます。（52ページ参照）

5 **スタート キーを押します。Fコードポーリングが始まります。**

スタート

第3章 便利な使いかた（送受信編）

MEMO

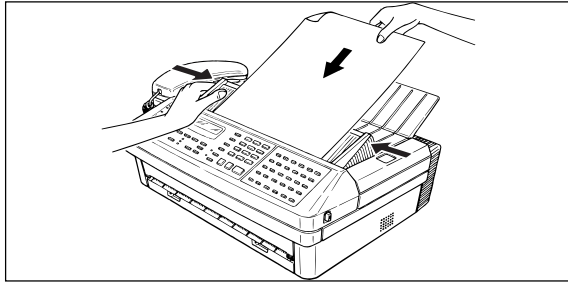
- 番号を間違えて入力したときは クリア キーを押して正しい番号を入力してください。
- 操作を中止するときは、 ストップ キーを押してください。
- Fコードポーリングは送信文書として扱われます。 スタート キーを押した後は、 ファクス中止／確認 キーで中止、確認できます。（31ページ参照）
- 操作を中断してから1分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

掲示板への原稿蓄積

- Fコードを利用した掲示板に原稿を蓄積します。
- 1つのボックスには30件まで原稿を蓄積できます。

[操作の前に]

- Fコードボックスに掲示板ボックスの登録が必要です。（85ページ参照）

1 送信する面を下に向け原稿をセットします。

＊必要に応じて、画質や濃度を設定します。(24ページ参照)

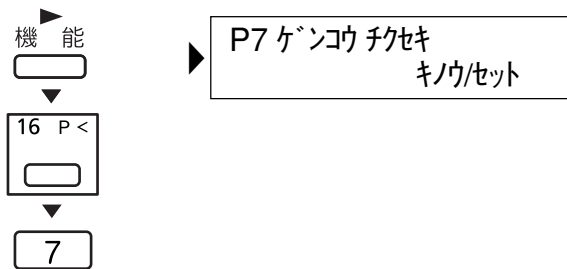
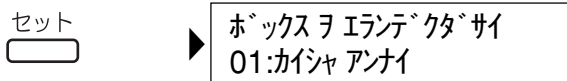
2 ① 機能 キー → ワンタッチキー〈P〉→ ダイヤルキー〈7〉を押します。

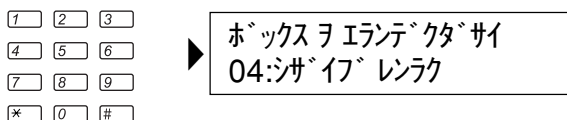
機能 ▶ P7 ｹﾞﾝｺｳ ﾁｸｾｷ / ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

16 P＜

7

② セット キーを押します。

セット ▶ ﾎﾞｯｸｽ ｦ ｴﾗﾝﾃﾞｸﾀﾞｻｲ / 01:ｶｲｼｬ ｱﾝﾅｲ

＊登録されているFコードボックス名が表示されます。

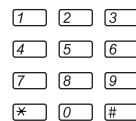
3 ① ダイヤルキーで、原稿を蓄積するFコードボックス番号（掲示板ボックスの番号）を入力します。

1 2 3 / 4 5 6 / 7 8 9 / ＊ 0 # ▶ ﾎﾞｯｸｽ ｦ ｴﾗﾝﾃﾞｸﾀﾞｻｲ / 04:ｼｻﾞｲﾌﾞ ﾚﾝﾗｸ

＊掲示板ボックスに設定したFコードボックス番号を指定してください。（85ページ参照）

＊◀ ▶ キーを押してボックス番号を選択することもできます。

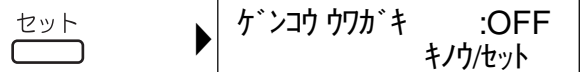
② セット キーを押します。

セット

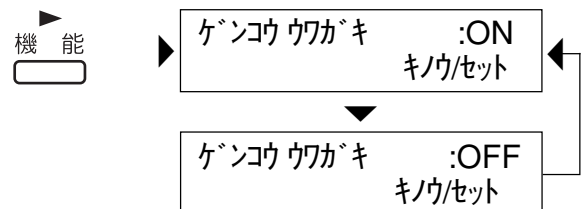
4 ① ダイヤルキーで、暗証番号（4桁）を入力します。

1 2 3 / 4 5 6 / 7 8 9 / ＊ 0 # ▶ 04:ｹﾞﾝｺｳ ﾁｸｾｷ / ｱﾝｼｮｳ ﾊﾞﾝｺﾞｳ :1234

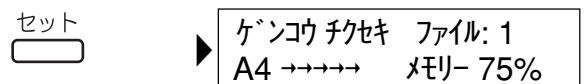
＊掲示板ボックスに暗証番号を登録していない場合は、手順5に進みます。

② セット キーを押します。

セット ▶ ｹﾞﾝｺｳ ｳﾜｶﾞｷ :OFF / ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

＊暗証番号が間違っていると「バンゴウ　ガ　チガイマス」と表示されます。操作をやり直してください。

5 機能 キーで原稿を上書きするか（ON）、追加するか（OFF）を選択します。

機能 ▶ ｹﾞﾝｺｳ ｳﾜｶﾞｷ :ON / ｷﾉｳ/ｾｯﾄ ⇄ ｹﾞﾝｺｳ ｳﾜｶﾞｷ :OFF / ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

6 セット キーを押します。
蓄積する原稿のファイル番号が表示されます。

セット ▶ ｹﾞﾝｺｳ ﾁｸｾｷ ﾌｧｲﾙ: 1 / A4 →→→→→ ﾒﾓﾘｰ 75%

＊ファイル番号は蓄積した原稿を確認したり消去するときに必要です。
＊原稿をメモリーに読取り中は、矢印がスクロールします。

MEMO

- 番号を間違えて入力したときは クリア キーを押して正しい番号を入力してください。
- 操作を中止するときは、 ストップ キーを押してください。
- 操作を中断してから1分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

蓄積原稿のプリント

- 親展受信原稿、掲示板に受信した原稿および、掲示板に蓄積した原稿をプリントします。

[操作の前に]

- Fコードボックスに原稿を受信した場合は、Fコード受信通知がプリントされます。記載されているボックス番号を確認し、蓄積原稿をプリントします。

●親展受信の場合

ABC商事(株)　Fax:123-456-7890

Fコード受信通知

2005年 2月13日（日）13:30

Box	ボックス名	相手先名	種別	ファイル番号
2	ナゴヤシテン	キョウトシテン	親展	3

Fコードボックス原稿を受信しました
(親展原稿記憶期間)
2005年 3月13日(日)　13:30

●掲示板に受信した場合

ABC商事(株)　Fax:123-456-7890

Fコード受信通知

123-456-7890
2005年 2月13日（日）13:30

Box	ボックス名	相手先名	種別	ファイル番号
3	ナゴヤシテン	キョウトシテン	掲示板	3

Fコードボックス原稿を受信しました

- 掲示板に受信および蓄積した原稿をプリントする場合は、ファイルを指定してプリントします。
- ファイル番号は「Fコードボックス蓄積原稿リスト」で確認してください。

1 ① 機能 キー → ワンタッチキー〈P〉→ ダイヤルキー〈4〉を押します。

機能 → 16 P< → 4

P4 チクセキ ゲンコウ プリント
キノウ/セット

② セット キーを押します。

セット

ボックス ヲ エランデ クダサイ
01:カイシャ アンナイ

＊登録されているFコードボックス名が表示されます。

2 ① ダイヤルキーで、取出したい原稿が蓄積されている、Fコードボックス番号を入力します。

ボックス ヲ エランデ クダサイ
03:ケイリブ

＊◀ ▶ キーを押してボックス番号を選択することもできます。

② セット キーを押します。

セット

＊掲示板ボックスに暗証番号を登録していない場合は、手順4に進みます。

3 ① ダイヤルキーで、暗証番号（4桁）を入力します。

03:チクセキ ゲンコウ プリント
アンショウ バンゴウ　:1234

＊親展受信原稿をプリントする場合は、手順5に進みます。

② セット キーを押します。

セット

03:チクセキ ゲンコウ プリント
ファイル バンゴウ:　_

4 ダイヤルキーでファイル番号を入力します。

03:チクセキ ゲンコウ プリント
ファイル バンゴウ:　1_

＊0を入力するとすべてのファイルをプリントします。

5 セット キーを押します。
蓄積された指定原稿をプリントします。

セット

＊親展受信原稿はプリントすると自動的に消去されます。
＊掲示板に受信および蓄積した原稿はプリントしても消去されません。

蓄積原稿を消去する

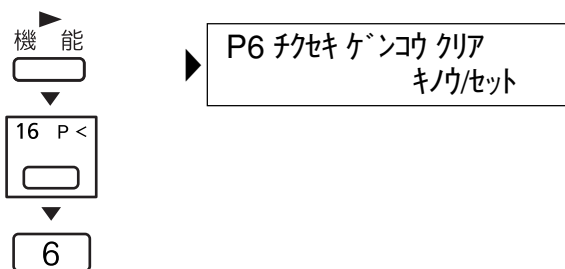
●掲示板ボックスに蓄積されている原稿を消去します。あらかじめ消去したい原稿のファイル番号を、蓄積原稿リストで確認してください。

1 ① 機能 キー → ワンタッチキー〈P〉→ ダイヤルキー〈6〉を押します。

機能 / 16 P< / 6

P6 ﾁｸｾｷ ｹﾞﾝｺｳ ｸﾘｱ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

② セット キーを押します。

セット

2 ① ダイヤルキーで、消去したい原稿があるボックス番号を入力します。

＊◀ ▶ キーを押してボックス番号を選択することもできます。

ﾎﾞｯｸｽ ｦ ｴﾗﾝﾃﾞ ｸﾀﾞｻｲ
02:ﾅｺﾞﾔｼﾃﾝ

② セット キーを押します。

セット

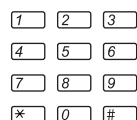
＊掲示板ボックスに暗証番号を登録していない場合は、手順4に進みます。

3 ① ダイヤルキーで、暗証番号（4桁）を入力します。

02:ﾁｸｾｷ ｹﾞﾝｺｳ ｸﾘｱ
ｱﾝｼｮｳ ﾊﾞﾝｺﾞｳ :1234

＊暗証番号が間違っているときは「バンゴウ　ガ　チガイマス」と表示されます。

② セット キーを押します。

4 ① ダイヤルキーで、ファイル番号を入力します。

02:ﾁｸｾｷ ｹﾞﾝｺｳ ｸﾘｱ
ﾌｧｲﾙ ﾊﾞﾝｺﾞｳ: 1_

＊ファイル番号はFコードボックス蓄積原稿リストで確認できます。
＊0を入力するとすべてのファイルを消去します。

② セット キーを押します。

セット

02:ﾁｸｾｷ ｹﾞﾝｺｳ ｸﾘｱ
ｶｸﾆﾝ ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

＊消去を中止するときは、機能 キーを押します。

5 セット キーを押します。
蓄積された原稿が消去されます。

蓄積原稿リストをプリントする

●Fコードボックスに蓄積されている原稿の一覧リストをプリントします。

1 機能 キー → ワンタッチキー〈P〉→ ダイヤルキー〈3〉を押します。

P3 ﾁｸｾｷ ｹﾞﾝｺｳ ﾘｽﾄ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

2 セット キーを押します。

セット

＊蓄積原稿リストがプリントされます。

プリント例

ABC商事㈱　Fax:123-456-7890

＊＊　FコードBOX蓄積原稿リスト　＊＊

P.1　2005年 2月13日（日）13:30

Box	ﾎﾞｯｸｽ名	種別	ﾌｧｲﾙ番号
1	ｵｵｻｶｼﾃﾝ	親展	6
2	ﾅｺﾞﾔｼﾃﾝ	親展	1，2，9
3	ﾋﾛｼﾏｼﾃﾝ	親展	1，2，6
4	ｷｮｳﾄｼﾃﾝ	掲示板	1，2，7

種別

親展 …… 親展ボックスとして登録されています。
中継 …… 中継ボックスとして登録されています。
掲示板 … 掲示板ボックスとして登録されています。

ファイル番号

受信した場合はFコード受信通知の原稿番号、蓄積した場合は蓄積時のファイル番号を表します。

Fコードボックスを登録する

- Fコード通信を利用するためにFコードボックスを登録します。Fコードボックスにはそれぞれのサブアドレスとパスワードを登録します。
- サブアドレスは必ず登録してください。パスワードは必要に応じて登録してください。
- 暗証番号は、Fコードボックスの操作が誰でもできないようにするために設定します。

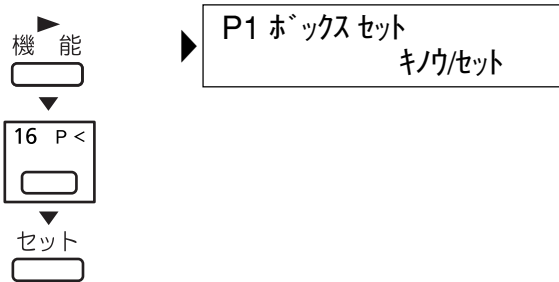
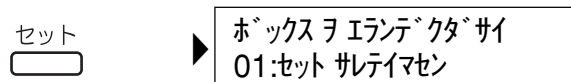
1 ① 機能 キー → ワンタッチキー〈P〉→ セット キーを押します。

機 能 / 16 P< / セット

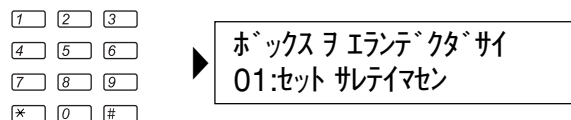
P1 ボ゛ックス セット
キノウ/セット

② セット キーを押します。

セット

ボ゛ックス ヲ エランデ゛クダ゛サイ
01:セット サレテイマセン

2 ① ダイヤルキーで、登録したいFコードボックス番号（01～50）を入力します。

＊◀ ▶ キーを押してボックス番号を選択することもできます。

ボ゛ックス ヲ エランデ゛クダ゛サイ
01:セット サレテイマセン

＊すでにFコードボックスが登録されている場合は、相手先名を表示します。

② セット キーを押します。

セット

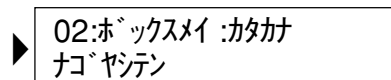
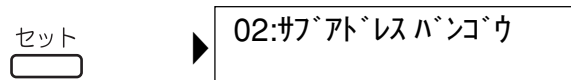
3 ① ボックス名を入力します。

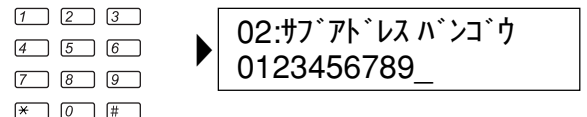
＊16文字まで登録できます。
＊文字入力については「文字入力のしかた（17ページ）」を参照してください。漢字・全角文字は登録できません。

02:ボ゛ックスメイ :カタカナ
ナゴ゛ヤシテン

② セット キーを押します。

セット

02:サブ゛アド゛レス バ゛ンゴ゛ウ
_

4 ① ダイヤルキーで、サブアドレス番号を入力します。

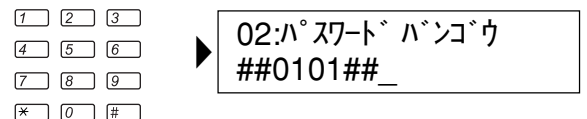
02:サブ゛アド゛レス バ゛ンゴ゛ウ
0123456789_

＊サブアドレスは20桁まで登録できます。数字のみ登録できます。

② セット キーを押します。

セット

＊すでに他のFコードボックスに登録されているサブアドレスを入力した場合は、「バンゴウ　ガ　トウロクサレテイマス」と表示します。違う番号を入力し直してください。

5 ① ダイヤルキーで、パスワードを登録します。

02:パ゜スワード゛ バ゛ンゴ゛ウ
##0101##_

＊パスワードは20桁まで登録できます。数字、#、＊が登録できます。
＊パスワードは必ずしも登録する必要はありません。他のボックスに同じパスワードを登録することもできます。

② セット キーを押します。

セット

ボ゛ックス シュベ゛ツ:ケイジ゛バ゛ン
キノウ/セット

6 ① 機能 キーでボックス種別を選択します。

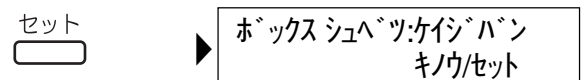
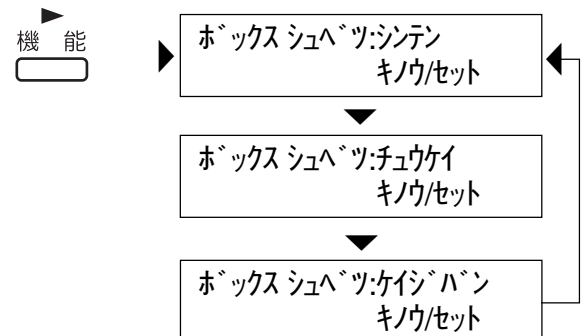
機 能

ボ゛ックス シュベ゛ツ:シンテン
キノウ/セット

ボ゛ックス シュベ゛ツ:チュウケイ
キノウ/セット

ボ゛ックス シュベ゛ツ:ケイジ゛バ゛ン
キノウ/セット

② セット キーを押します。

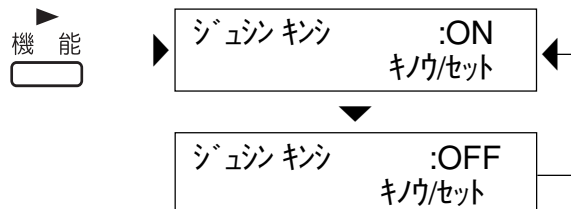
セット

《掲示板を選択した場合》

7

① 機能 キーで受信禁止設定のONまたはOFFを選択します。

機 能

ｼﾞｭｼﾝ ｷﾝｼ :ON
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

ｼﾞｭｼﾝ ｷﾝｼ :OFF
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

＊ONにした場合は送信のみできます。

② セット キーを押します。

③ 機能 キーで受信原稿プリント許可のONまたはOFFを選択します。

機 能

ﾄﾞｳｼﾞ ﾌﾟﾘﾝﾄ :ON
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

ﾄﾞｳｼﾞ ﾌﾟﾘﾝﾄ :OFF
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

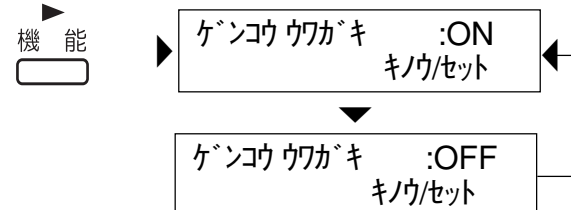
＊ONにした場合は、掲示板に受信した原稿をプリントします。

④ セット キーを押します。

⑤ 機能 キーで受信原稿上書き許可のONまたはOFFを選択します。

機 能

ｹﾞﾝｺｳ ｳﾜｶﾞｷ :ON
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

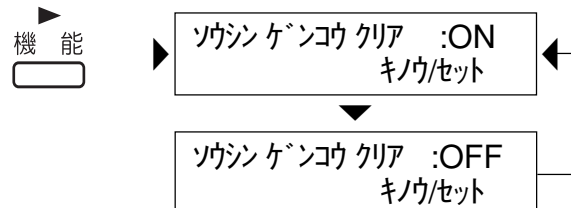
ｹﾞﾝｺｳ ｳﾜｶﾞｷ :OFF
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

＊ONにした場合は受信原稿は上書きされます。

⑥ セット キーを押します。

⑦ 機能 キーで送信原稿消去許可のONまたはOFFを選択します。

機 能

ｿｳｼﾝ ｹﾞﾝｺｳ ｸﾘｱ :ON
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

ｿｳｼﾝ ｹﾞﾝｺｳ ｸﾘｱ :OFF
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

＊ONにした場合はポーリング送信後、原稿を消去します。

⑧ セット キーを押します。

⑨ 手順8に進みます。

《親展を選択した場合》

7

① ダイヤルキーで、親展原稿の保持期間（0〜31日）を入力します。

＊0を入力した場合は無制限に原稿を保持します。

1 2 3
4 5 6
7 8 9
＊ 0 #

ｹﾞﾝｺｳ ﾒﾓﾘｰｷｶﾝ
ﾒﾓﾘｰｷｶﾝ (0-31): 00

＊間違えて入力したときは正しい番号を上書きで入力してください。

② セット キーを押します。

③ 手順8に進みます。

《中継を選択した場合》

7 ① 配信先を入力します。

```
ﾊｲｼﾝｻｷ ｦﾄﾞｳｿﾞ
[01],S001,G2_
```

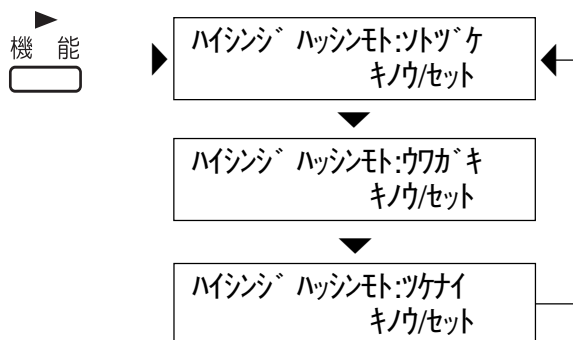
＊ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループが使用できます。（ダイヤルキーは使用できません。）
＊複数の宛先を指定するときは、同報 キーを押して区切ります。

② セット キーを押します。

③ 機能 キーで配信したときの発信元の設定を選択します。

```
ﾊｲｼﾝｼﾞ ﾊｯｼﾝﾓﾄ:ｿﾄﾂﾞｹ
          ｷﾉｳ/ｾｯﾄ
```

```
ﾊｲｼﾝｼﾞ ﾊｯｼﾝﾓﾄ:ｳﾜｶﾞｷ
          ｷﾉｳ/ｾｯﾄ
```

```
ﾊｲｼﾝｼﾞ ﾊｯｼﾝﾓﾄ:ﾂｹﾅｲ
          ｷﾉｳ/ｾｯﾄ
```

＊ツケナイ …配信する原稿に、自機の発信元名をつけません。
＊ソトヅケ …配信する原稿に、中継指示先の発信元名と並べて、自機の発信元名をつけます。
＊ウワガキ …配信する原稿に、自機の発信元名をつけます。（中継指示先の発信元名を自機の発信元名に上書きします。）

④ セット キーを押します。

⑤ 機能 キーで同時プリント許可のONまたはOFFを選択します。

```
ﾄﾞｳｼﾞ ﾌﾟﾘﾝﾄ      :ON
           ｷﾉｳ/ｾｯﾄ
```

```
ﾄﾞｳｼﾞ ﾌﾟﾘﾝﾄ      :OFF
           ｷﾉｳ/ｾｯﾄ
```

＊ONにした場合は、中継指示先より送信された原稿を自機でもプリントします。

⑥ セット キーを押します。

⑦ 手順8に進みます。

8 ダイヤルキーで、暗証番号を登録します。

＊親展の場合は必ず暗証番号を登録してください。暗証番号に0000は使用できません。
＊掲示板・中継の場合は必要に応じて暗証番号を登録してください。暗証番号を登録しない場合は、手順9に進んでください。
＊暗証番号を間違えたときは正しい番号を上書きで入力してください。

```
02:ﾎﾞｯｸｽ ｾｯﾄ
ｱﾝｼｮｳ ﾊﾞﾝｺﾞｳ  :0000
```

＊ここで登録した暗証番号は蓄積原稿のプリントなどをするとき入力が必要です。忘れないように控えておいてください。

9 セット キーを押します。

10 続けてFコードボックスを登録するときは、手順2から操作を繰り返します。
終了するときは、ストップ キーを押します。

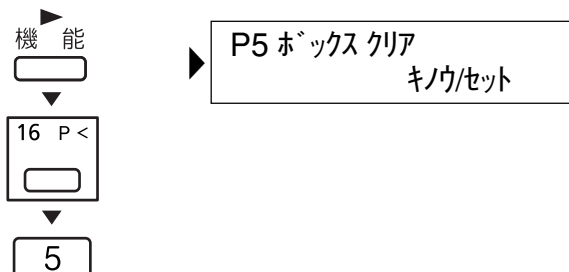
ポイント

- すでに登録されているFコードボックスの内容を変更する場合は、Fコードボックスの登録手順の中で、変更したい登録内容を クリア キーで消去してから、新しく入力します。
- ボックス種別を変更するときは、変更したいFコードボックスを消去してから登録し直してください。

Fコードボックスを消去する

1 ① 機能 キー → ワンタッチキー〈P〉→ ダイヤルキー〈5〉を押します。

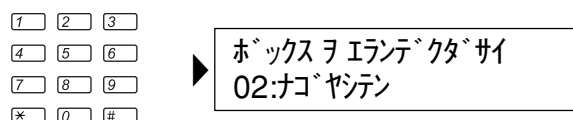
機能 / 16 P< / 5

P5 ﾎﾞｯｸｽ ｸﾘｱ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

② セット キーを押します。

セット

2 ① ダイヤルキーで、消去したいボックス番号（1〜50）を入力します。

＊◀ ▶ キーを押してボックス番号を選択することもできます。

ﾎﾞｯｸｽ ｦ ｴﾗﾝﾃﾞ ｸﾀﾞｻｲ
02:ﾅｺﾞﾔｼﾃﾝ

② セット キーを押します。

セット

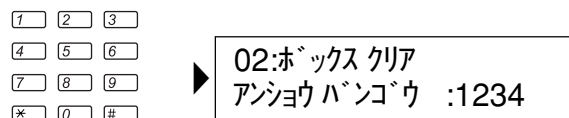
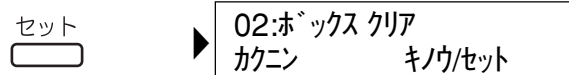
＊暗証番号を登録していない場合は、手順4へ進みます。

3 ① ダイヤルキーで、暗証番号（4桁）を入力します。

02:ﾎﾞｯｸｽ ｸﾘｱ
ｱﾝｼｮｳ ﾊﾞﾝｺﾞｳ :1234

② セット キーを押します。

セット

02:ﾎﾞｯｸｽ ｸﾘｱ
ｶｸﾆﾝ ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

4 消去してよければ、もう一度 セット キーを押します。

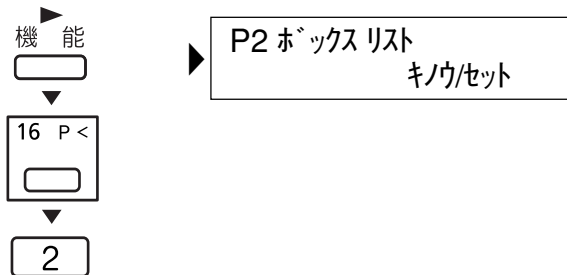
セット

＊Fコードボックスに原稿が蓄積されているときは消去できません。
＊Fコードボックスが、プログラムワンタッチ（Fコード蓄積）にて使用されているときは消去できません。
＊消去を中止するときは、機能 キーを押します。

5 続けて消去を行うときは、手順2から操作を繰り返します。
終了するときは、ストップ キーを押します。

Fコードボックスリストをプリントする

1 機能 キー → ワンタッチキー〈P〉→ ダイヤルキー〈2〉を押します。

機能 → 16 P< → 2

P2 ボ゛ックス リスト
キノウ/セット

2 セット キーを押します。

セット

＊Fコードボックスリストがプリントされます。

プリント例

ABC商事　Fax:123-456-7890

＊＊ FコードBOXリスト ＊＊

P.1　2005年 2月13日(日) 13:30

Box	ボ゛ックス名	SUBアト゛レス番号	通信パスワート゛番号	種別	備考
1	オオサカ シテン	000111222333	##2222##	掲示板	1,2,3,4
2	ナコ゛ヤ シテン	0123456789	##0101##	親展	30 日
3	ヒロシマ シテン	345345345	##3333##	中継	
	(配信先) (発信元) (同時プリント)	[01],[02],S001,G1 外付け ON			

備考　1:受信禁止　2:同時プリント　3:上書き　4:送信原稿消去

1　2　3　4　5　6　7

1. Box
Fコードボックスの番号です。

2. ボックス名
Fコードボックスに登録したボックスの名前です。

3. SUBアドレス番号
登録したFコードボックスのサブアドレスです。

4. 通信パスワード番号
登録したFコードボックスの通信パスワードです。

5. 種別
Fコードボックスの種類です。
- ・親展……親展ボックスとして登録されています。
- ・中継……中継ボックスとして登録されています。
- ・掲示板…掲示板ボックスとして登録されています。

6. 備考
親展ボックス、掲示板ボックスのそれぞれのオプション設定を表します。

親展ボックス
- ・30日…親展ボックスに原稿を記憶しておく期間（日）

掲示板ボックス
- ・1…受信禁止設定ON
- ・2…受信原稿同時プリント許可ON
- ・3…受信原稿上書き許可ON
- ・4…送信原稿消去許可ON

7. 配信先、発信元、同時プリント
中継ボックスのオプション設定を表します。

15 確認編
相手先の番号を表示する（ナンバー・ディスプレイ）

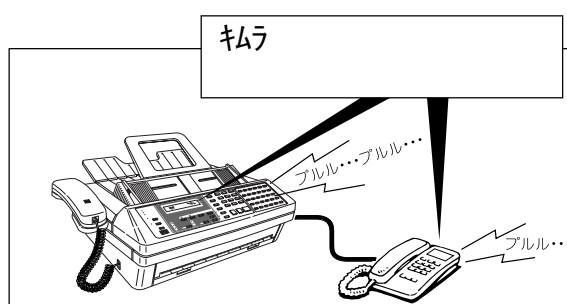
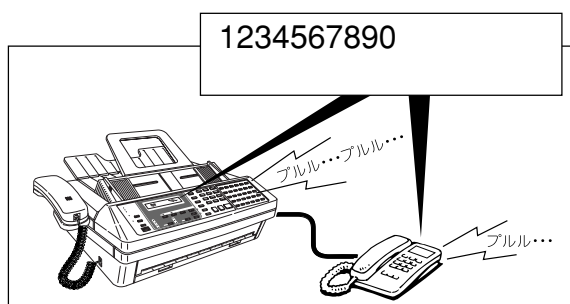
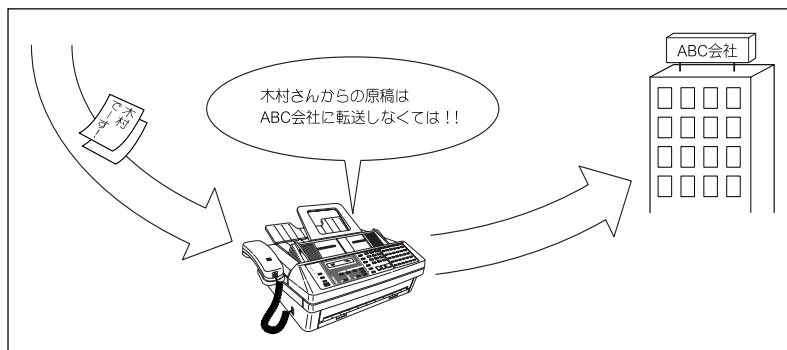
●NTTのナンバー・ディスプレイ（発信電話番号表示サービス）を利用すると、相手先の番号がディスプレイに表示されます。このサービスをご利用になれば、電話に出る前に誰からかかってきた電話なのか分かります。また、よくかかってくる相手先の名前を登録しておくと、番号の代わりに名前が表示されます。

［操作の前に］

- ナンバー・ディスプレイをご利用いただくには、次の準備が必要です。
  ① NTTにナンバー・ディスプレイの申し込みをする。
  ② ナンバー・ディスプレイを開始する日（NTT局の工事が完了する日）をご確認のうえ、本機のナンバー・ディスプレイ設定を「ON」にしてください。（91ページ参照）
- ダイヤルインサービスとナンバー・ディスプレイの両方をご使用になる場合は、**モデムダイヤルインサービス**の契約を行ってください。

電話がかかってくると…

- かけてきた相手の番号を表示します。ナンバー・ディスプレイ対応電話機を接続した場合は、電話機でも同サービスを利用することができます。

- 名前の登録をしている相手のときは名前を表示します。

- 相手先名の登録といっしょに転送番号を登録すると、登録した相手先から受信した原稿を転送することができます。（**ナンバー・ディスプレイワープ**）
転送する時刻を指定することもできます。

ディスプレイ表示について

（例）

1234567890

- 相手の方が自分の番号を「通知する」にしているとき、または、186をつけてダイヤルしているときに表示します。

（例）

ｷﾑﾗ

- 相手の方が自分の番号を「通知する」にしているとき、または、186をつけてダイヤルしているときで、名前の登録をしている相手のときには、その登録している名前を表示します。

※地域によっては、ナンバー・ディスプレイをご利用できない場合もあります。詳しくはNTT窓口へお問い合わせください。

ﾋﾂｳﾁ

- 相手の方が自分の番号を「通知しない」にしているとき、または、184をつけてダイヤルしているときに表示します。

ﾋｮｳｼﾞ ｹﾝｶﾞｲ

- 相手の方がサービスを行っていない地域より電話をかけたときに表示します。

ｺｳｼｭｳ ﾃﾞﾝﾜ

- 相手の方が公衆電話から電話をかけているときに表示します。公衆電話からでも相手が184をつけてダイヤルした場合は「ヒツウチ」になります。

ナンバー・ディスプレイを設定する

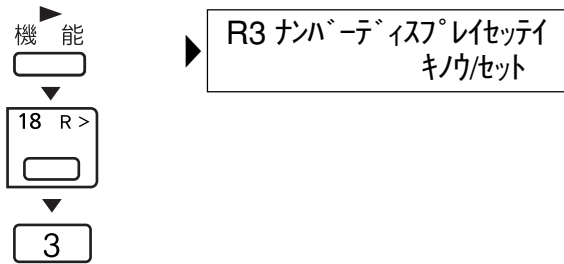
● ナンバー・ディスプレイを利用するときに設定をＯＮにします。また、サービスを利用する電話機の設定もおこなってください。
● ナンバー・ディスプレイワープを利用するときは、転送番号の設定が必要です。（92ページ参照）

1 ① 機能 キー → ワンタッチキー〈R〉→ ダイヤルキー<3>を押します。

機能 → 18 R> → 3

R3 ﾅﾝﾊﾞｰﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲｾｯﾃｲ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

② セット キーを押します。

セット

2 ① 機能 キーでOFFまたはPHONE2を選択します。

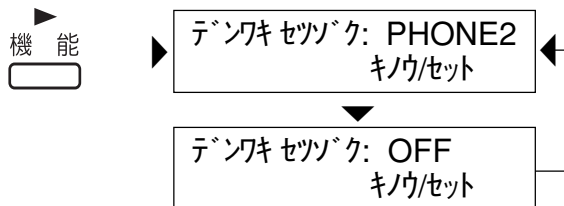
・OFF … 接続する電話機がナンバー・ディスプレイ未対応の場合、または電話機を接続しない場合。
・PHONE2 … ナンバー・ディスプレイ対応の電話機をPHONE2に接続する場合。

機能

ﾃﾞﾝﾜｷ ｾﾂｿﾞｸ: PHONE2
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

ﾃﾞﾝﾜｷ ｾﾂｿﾞｸ: OFF
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

② セット キーを押します。

セット

3 ① 機能 キーでナンバー・ディスプレイのONまたはOFFを選択します。

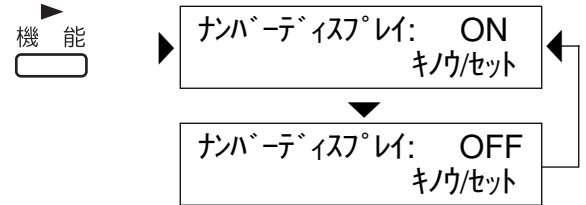
・ON …ナンバー・ディスプレイサービスを利用するとき。
・OFF…ナンバー・ディスプレイサービスを利用しないとき。

機能

ﾅﾝﾊﾞｰﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ: ON
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

ﾅﾝﾊﾞｰﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ: OFF
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

② セット キーを押します。

セット

4 機能 キーでナンバー・ディスプレイワープのONまたはOFFを選択します。

・ON …受信した原稿を転送するとき。
・OFF …受信した原稿を転送しないとき。

機能

NDﾜｰﾌﾟ: ON
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

NDﾜｰﾌﾟ: OFF
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

5 セット キーを押します。

セット

＊ナンバー・ディスプレイが設定されます。

MEMO

● PHONE2に接続する増設電話がナンバー･ディスプレイ対応の場合、増設電話でもディスプレイに番号を表示します。増設電話でナンバー･ディスプレイ設定を「ON」にしてください。詳しくはご使用の増設電話の取扱説明書をご覧ください。
● NTTでの工事が完了する前に設定を変更したり、工事完了後に設定を変更せずに本機を使用したりすると、正常に電話やファクスを受けることができません。（ファクスの送信や電話をかけることはできます。）
● 操作を中止するときは、 ストップ キーを押します。
● 操作を中断してから1分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

名前と転送先（ナンバー・ディスプレイワープ先）を登録する

- 名前を登録した相手先から、かかってきたときは、番号表示のかわりに相手先名を表示するようになります。一目で相手先が確認でき便利です。転送番号を入力すると、登録した相手先から受信した原稿を転送することもできます。（ナンバー・ディスプレイの設定にて、ナンバー・ディスプレイワープをONに設定してください。91ページ参照）
- 名前は20件まで登録できます。

1

① 機能 キー → ワンタッチキー〈R〉→ セット キーを押します。

機能 ▼ 18 R＞ ▼ セット

R1 ﾅﾝﾊﾞｰﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ ｾｯﾄ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

② セット キーを押します。

セット

2

はじめて名前を登録するとき

➡ 手順3に進み、相手先番号を入力します。

01:ﾀﾞｲﾔﾙ ﾊﾞﾝｺﾞｳ
_

すでに名前が登録されているとき

➡ 機能 キーで登録されていない番号を選択し、セット キーを押します。

ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ｴﾗﾝﾃﾞｸﾀﾞｻｲ
01:123-456-7890

機能　登録されていない番号を選択

セット

03:ﾀﾞｲﾔﾙ ﾊﾞﾝｺﾞｳ
_

3

① ダイヤルキーで、相手先番号を市外局番から入力します。（最大20桁）

03:ﾀﾞｲﾔﾙ ﾊﾞﾝｺﾞｳ
075-123-4567_

＊番号を間違えて入力したときは、クリア キーを押して正しい番号を入力してください。

② セット キーを押します。

セット

4

相手先名を入力します。

① 相手先名を入力します。

＊24文字まで登録できます。
＊文字入力については「文字入力のしかた（17ページ）」を参照してください。漢字・全角文字は登録できません。

03:ｱｲﾃｻｷﾒｲ :ｶﾀｶﾅ
ｷｮｳﾄ ｼﾃﾝ_

② セット キーを押します。

セット

5

転送番号を入力します。

（転送番号を入力しないときは セット キーを押して手順8へ進みます）

① 転送番号を入力します。

＊ダイヤルキー、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループを使用できます。
＊転送番号は201ケ所まで登録できます。同報 キーを押して相手先を区切ります。
＊ダイヤルキーによる入力は1ケ所のみです。

03:ﾃﾝｿｳ ﾊﾞﾝｺﾞｳ
654-3210,[01],S1_

＊番号を間違えて入力したときは、クリア キーを押して正しい番号を入力し直してください。

② セット キーを押します。

セット

03:ｼﾃｲ ｼﾞｺｸ
(*) **:**--(*) **:**

ポイント

- **登録されている内容を変更する場合は**
  手順2にて変更したい番号を選択し、登録手順の中で変更したい登録内容を クリア キーで消去してから、新しく入力してください。
- **登録されている内容を消去する場合は**
  手順2にて消去したい番号を選択し、 クリア キーを押します。登録内容が消去され、次の登録内容が繰り上がり表示されます。

6 ① ダイヤルキーで転送を開始する時刻を指定します。

（時刻を指定しないときは セット キーを押して手順7へ進みます）

【例】金曜日16:45〜月曜日 7：00
まで転送するとき

```
03:ｼﾃｲ ｼﾞｺｸ
(金) 16:45--(月) 07:00
```

転送開始　転送終了

② セット キーを押します。

転送時刻の入力のしかた

- 「＊」は指定されていないという表示です。
- 曜日はダイヤルキーで入力します。

ダイヤルキー＜0＞…（日）　ダイヤルキー＜4＞…（木）
ダイヤルキー＜1＞…（月）　ダイヤルキー＜5＞…（金）
ダイヤルキー＜2＞…（火）　ダイヤルキー＜6＞…（土）
ダイヤルキー＜3＞…（水）

- ダイヤルキー＜＊＞を押すと1文字を消去（＊に戻す）します。

＊ クリア キーを押すと、指定時刻をすべて消去します。
＊入力をまちがえた場合は、◀ ▶ キーを押してカーソルを移動し入力し直してください。

- 曜日または時刻を指定しないこともできます。

【例】曜日を指定しないとき
毎日16:45〜次の日の7:00まで転送

```
03:ｼﾃｲ ｼﾞｺｸ
(*) 16:45--(*) 07:00
```

【例】時刻を指定しないとき
土曜日の0:00〜日曜日の23:59まで転送

```
03:ｼﾃｲ ｼﾞｺｸ
(土) **:**--(日) **:**
```

＊片方が曜日、もう片方が時刻という指定はできません。

7 ① 機能 キーで、同時プリントのONまたはOFF選択します。

・ON … 本機でも転送先でも受信原稿をプリントします。
・OFF … 本機機では転送した原稿をプリントしません。

機能

```
03:ﾄﾞｳｼﾞ ﾌﾟﾘﾝﾄ: ON
          ｷﾉｳ/ｾｯﾄ
```

```
03:ﾄﾞｳｼﾞ ﾌﾟﾘﾝﾄ: OFF
          ｷﾉｳ/ｾｯﾄ
```

② セット キーを押します。

セット

```
04:ﾀﾞｲﾔﾙ ﾊﾞﾝｺﾞｳ
_
```

＊次の名前の登録に移ります。

8 続けて名前の登録をするときは、手順3から操作を繰り返します。
登録を終了するときは、 ストップ キーを押します。

ナンバー・ディスプレイダイヤルリストをプリントする

1 機能 キー → ワンタッチキー〈R〉→ ダイヤルキー〈2〉を押します。

機能 → 18 R＞ → 2

```
R2 ﾅﾝﾊﾞｰﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ ﾘｽﾄ
          ｷﾉｳ/ｾｯﾄ
```

2 セット キーを押します。

セット

＊ナンバー・ディスプレイリストがプリントされます。

プリント例

ABC商事（株）　Fax:123-456-7890

＊＊ ナンバーディスプレイ ダイヤル リスト ＊＊

P.1　2005年 2月13日（日）13:30

No.	相手先名	ﾀﾞｲﾔﾙ番号
1	ｷｮｳﾄｼﾃﾝ （転送先） （指定時刻） （同時ﾌﾟﾘﾝﾄ）	075-111-3333 [02] （金）20:00 〜 （月）07:00 OFF
2	ｵｵｻｶｼﾃﾝ	06-6111-4444
3	ﾌｸｵｶｼﾃﾝ	092-111-6666

相手先名

ディスプレイに表示させる相手先名です。

ダイヤル番号

転送の設定内容と相手先番号です。この番号から通信があると、番号の代わりに登録した相手先名を表示します。

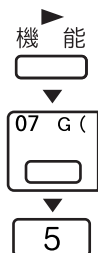
15 相手先の番号を表示する（ナンバー・ディスプレイ）

ナンバー・ディスプレイ着信履歴を確認する

● 最新の着信を記憶しておき、20件分の着信状況をプリントできます。それ以前の着信履歴は順次自動消去します。過去の着信状況を確認するのに便利です。

1 [機能] キー → ワンタッチキー〈G〉→ ダイヤルキー〈5〉を押します。

機能 → 07 G（ → 5

G5 ﾅﾝﾊﾞｰﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ ﾘﾙｷ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

2 [セット] キーを押します。

セット

＊ナンバーディスプレイ着信履歴がプリントされます。

ABC商事（株）　　Fax:123-456-7890

＊＊　ナンバーディスプレイ通信履歴　＊＊

P.1

No.	発信者番号	相手先名	時間	備考
01	075-111-3333	ｷｮｳﾄｼﾃﾝ	2/23 12:00	ﾌｧｸｽ
02	111-222-3333		2/23 21:00	
03	非通知		2/24 8:30	
1	2	3	4	5

1. NO
着信件数です。

2. 発信者番号
・相手の方が自分の番号を「通知する」にしているとき、または「186」をつけてダイヤルしたときは、発信側の番号がプリントされます。
・非通知……相手の方が自分の番号を「通知しない」にしているとき、または、「184」をつけてダイヤルしているとき。
・表示圏外…相手の方がサービスを行っていない地域より電話をかけたとき。
・公衆電話…相手の方が公衆電話から電話をかけているときに表示します。公衆電話からでも相手が「184」をつけてダイヤルした場合は「非通知」になります。
・F網………ファクシミリ通信網より着信しました。

3. 相手先名
相手先名を登録している場合は名前を表示します。
相手先を登録していない場合や、相手先が「184」で番号表示をしない場合は空白になります。

4. 着信日時
着信した時刻です。

5. 備考
ファクス……ファクスの受信です。

16 確認編
部門ごとの使用を管理する（部門管理）

●通信した部門の総通信枚数と総通信時間をプリントし（96ページ参照）、通信の使用状況を部門ごとに管理する機能です。
●送信操作のたびに部門コードを入力する必要がありますので、使用者を限定することもできます。

[操作の前に]

- 部門管理を有効にするときは、部門管理コードを登録してから部門管理の設定をONにしてください。
- 部門管理プロテクトがONになっていると、部門管理を設定することはできません。部門管理プロテクトをOFFにしてください。（98ページ参照）

部門管理を設定する

初期設定：OFF

1 ① 機能 キー → ワンタッチキー〈M〉→ ダイヤルキー〈3〉を押します。

機能 → 13 M / → 3

M3 ﾌﾞﾓﾝｶﾝﾘ ｾｯﾄ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

② セット キーを押します。

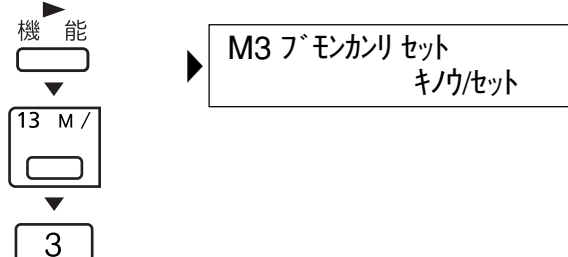
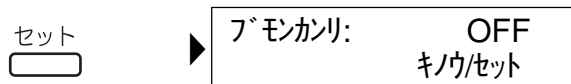
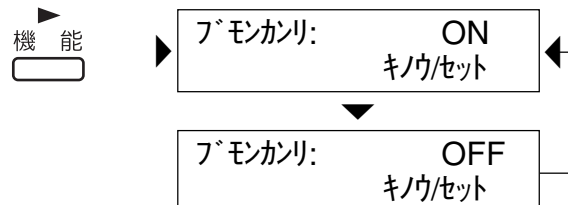
セット

ﾌﾞﾓﾝｶﾝﾘ: OFF
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

2 機能 キーでONまたはOFFを選択します。

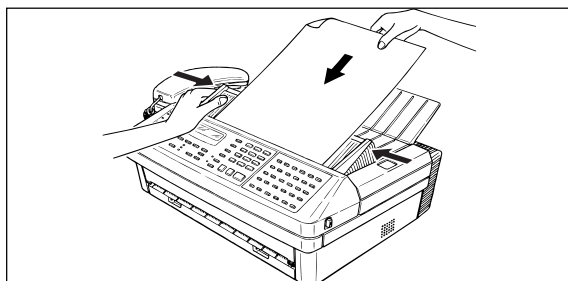
機能

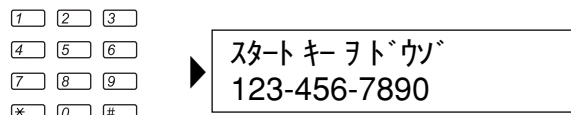
ﾌﾞﾓﾝｶﾝﾘ: ON
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

ﾌﾞﾓﾝｶﾝﾘ: OFF
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

3 セット キーを押します。
部門管理が設定されます。

セット

部門管理ONのときの送信

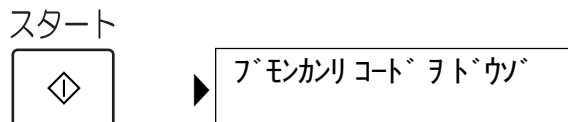
1 送信する面を下に向け原稿をセットします。

＊必要に応じて、画質や濃度を設定します。（24ページ参照）

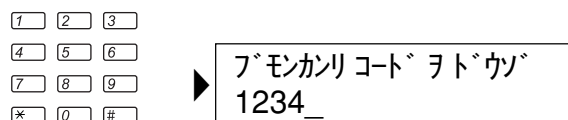
2 相手先のファクス番号を入力します。

ｽﾀｰﾄ ｷｰ ｦ ﾄﾞｳｿﾞ
123-456-7890

＊ハイフン、ポーズなどのダイヤル記号を入力できます。（25ページ参照）
＊ダイヤルキー、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、電話帳、グループが使用できます。
＊同報 キーで区切ることにより最大220宛先まで指定できます。（ダイヤルキー入力による指定は20宛先までです。）

3 スタート キーを押します。

スタート

ﾌﾞﾓﾝｶﾝﾘ ｺｰﾄﾞ ｦ ﾄﾞｳｿﾞ
_

4 部門管理コード（4桁）を入力します。

ﾌﾞﾓﾝｶﾝﾘ ｺｰﾄﾞ ｦ ﾄﾞｳｿﾞ
1234_

＊部門管理コードはあらかじめ登録する必要があります。（97ページ参照）

5 再度 スタート キーを押します。

スタート

＊入力した部門コードが登録されていない場合は、スタート キーを押した後、「ブモンコード ガ ミトウロクデス」と表示されます。

MEMO

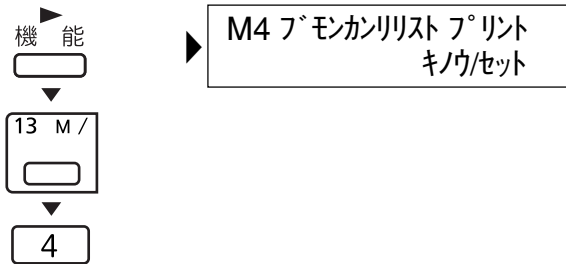
- 操作を中止するときは、ストップ キーを押します。
- 操作を中断してから1分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。
- 手動送信時には、部門管理機能は働きません。

部門管理リストをプリントする

● 部門管理コード別に通信時間、通信枚数の総数をプリントします。

1 機能 キー → ワンタッチキー〈M〉→ ダイヤルキー〈4〉を押します。

機能 → 13 M/ → 4

M4 ﾌﾞﾓﾝｶﾝﾘﾘｽﾄ ﾌﾟﾘﾝﾄ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

2 セット キーを押します。

セット

＊部門管理リストがプリントされます。

ABC商事　　Fax:123-456-7890

＊＊　部門管理リスト　＊＊

P.1　2005年 2月13日(日) 13:30 --> 2005年 3月16日(水) 8:00

部門	時間	通信枚
1234	1:18:31	157
5678	2:52:49	230
9000	0:37:06	74

＊通信時間は999時間59分59秒（999:59:59）まで表示されます。それ以上通信しても加算されません。通信枚数は65535枚を超えると0枚に戻ります。

部門管理リストの内容を消去する

● 通信時間、通信枚数の総数を0にします。

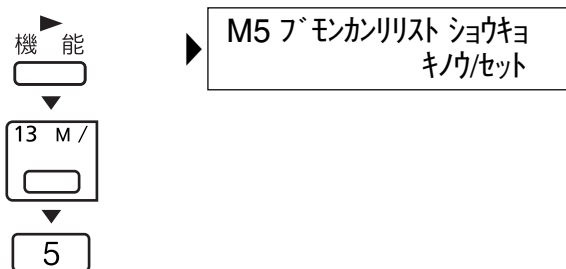
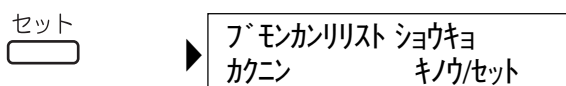
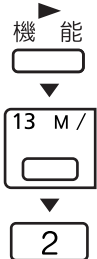
1 ① 機能 キー → ワンタッチキー〈M〉→ ダイヤルキー〈5〉を押します。

機能 → 13 M/ → 5

M5 ﾌﾞﾓﾝｶﾝﾘﾘｽﾄ ｼｮｳｷｮ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

② セット キーを押します。

セット

ﾌﾞﾓﾝｶﾝﾘﾘｽﾄ ｼｮｳｷｮ
ｶｸﾆﾝ　ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

2 消去してよければ、もう一度 セット キーを押します。

セット

＊消去を中止するときは、機能 キーを押します。

部門管理コードを登録する

1 ① 機能 キー → ワンタッチキー〈M〉→ ダイヤルキー〈2〉を押します。

機能 ▼ 13 M/ ▼ 2

M2 ﾌﾞﾓﾝｶﾝﾘ ｺｰﾄﾞ ｾｯﾄ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

② セット キーを押します。

セット

ﾌﾞﾓﾝｶﾝﾘ ｺｰﾄﾞ ｦﾄﾞｳｿﾞ
001:_

＊すでに登録されてる部門管理コードが表示されているときは、機能 キーで画面を送り、登録されていない番号を表示し セット キーを押します。

2 ① 部門管理コードを入力します。

＊4桁のコードを入力してください。

ﾌﾞﾓﾝｶﾝﾘ ｺｰﾄﾞ ｦﾄﾞｳｿﾞ
001:1234

＊コードを修正するときは、上書きしてください。

② セット キーを押します。

セット

ﾌﾞﾓﾝｶﾝﾘ ｺｰﾄﾞ ｦﾄﾞｳｿﾞ
002:_

＊続けて部門管理コードを登録できます。
＊部門管理コードは001～100まで登録できます。

3 終了するときは、ストップ キーを押してください。

変更／消去する

1 ① 機能 キー → ワンタッチキー〈M〉→ ダイヤルキー〈2〉を押します。

② セット キーを押します。

2 変更／消去したい部門管理コードが表示されるまで、機能 キーを押します。

機能

ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ｴﾗﾝﾃﾞｸﾀﾞｻｲ
002:2345

3 ➡ ① コードを変更する場合は セット キーを押します。

② ◀ ▶ キーで変更する数字にカーソルを移動させ、上書き入力します。

③ 再度 セット キーを押します。

➡ ① 番号を消去する場合は クリア キーを押します。

② 消去される番号を確認し、消去するときは セット キーを押します。

＊機能 キーを押すと手順2に戻ります。

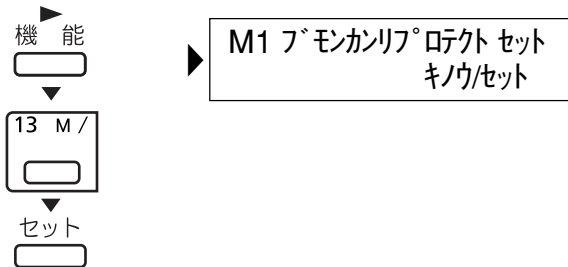
4 終了するときは、ストップ キーを押してください。

MEMO

- 部門管理コードを消去すると、後に登録されているコードが繰り上がります。
002に“2345”、003に“3456”と登録されているとき、002の“2345”を消去すると、“002:3456”と003の部門管理コードが繰り上がります。

登録内容を保護する（部門管理プロテクト）　初期設定：OFF

- 部門管理プロテクトをONにすると、部門管理コードの登録（97ページ）や部門管理セット（95ページ）を操作できないようにすることができます。
- 操作する前にプロテクトコードを登録してください。（126ページ参照）

1 ① 機能 キー → ワンタッチキー〈M〉→ セット キーを押します。

機　能 → 13 M / → セット

M1 ブモンカンリプロテクト セット
キノウ/セット

② セット キーを押します。

セット

＊プロテクトコードが登録されていないと「プロテクトコード　ミトウロクデス」と表示されます。

2 ① ダイヤルキーで、プロテクトコードを入力します。

ブモンカンリ プロテクト セット
プロテクトコード　:1234

② セット キーを押します。

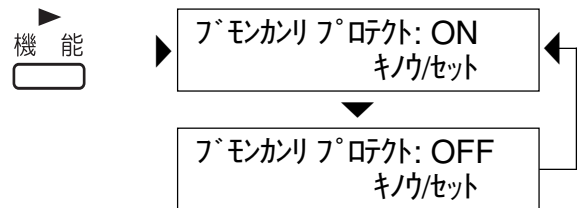
セット

＊プロテクトコードが間違っていると「プロテクトコードガ　チガイマス」と表示されます。

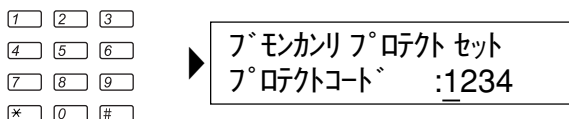
3 機能 キーでONまたはOFFを選択します。

機　能

ブモンカンリ プロテクト: ON
キノウ/セット

ブモンカンリ プロテクト: OFF
キノウ/セット

4 セット キーを押します。

セット

＊部門管理プロテクトがセットされます。

MEMO

- 部門管理コードの登録、部門管理セットを操作できるようにするには、部門管理プロテクトをOFFにしてください。

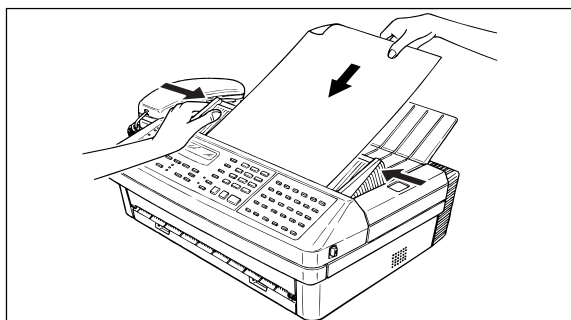
確認編

17 原稿の枚数を確認する（原稿枚数セット）

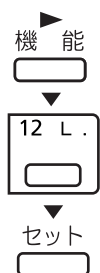
●原稿の読取り枚数をチェックするため、送信漏れを防止します。

[操作の前に]

- 一括送信、ポーリング、Fコードポーリング、手動送信では、原稿枚数を設定することはできません。
- 同報通信や応用通信などの設定後は、原稿枚数の設定はできません。原稿枚数の設定を先に行ってください。
- セットした枚数に対して、読取り枚数が足りないときにはアラームが鳴ります。そのときにはもう一度操作し直してください。
- 原稿枚数セットで設定した枚数よりも実際に原稿トレイにセットした枚数が多いときは、原稿枚数セットで設定した枚数分だけ送信します。

1 送信する面を下に向け原稿をセットします。

＊必要に応じて、画質や濃度を設定します。（24ページ参照）

2 [機能] キー → ワンタッチキー〈L〉→ [セット] キーを押します。

機能
12 L.
セット

ｹﾞﾝｺｳ ﾏｲｽｳ ｦ ﾄﾞｳｿﾞ
ｹﾞﾝｺｳ ﾏｲｽｳ (1-30):01

3 原稿枚数（2桁）を入力します。（1〜30枚）

【例】05枚と入力したとき

ｹﾞﾝｺｳ ﾏｲｽｳ ｦ ﾄﾞｳｿﾞ
ｹﾞﾝｺｳ ﾏｲｽｳ (1-30):05

② [セット] キーを押します。

セット

ｱｲﾃｻｷ ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ﾄﾞｳｿﾞ
_

4 相手先のファクス番号を入力します。

【例】123-456-7890と入力したとき

ｽﾀｰﾄｷｰ ｦ ﾄﾞｳｿﾞ
123-456-7890_

5 [スタート] キーを押します。

スタート

＊原稿をメモリーに蓄積し、送信を開始します。

第3章 便利な使いかた（確認編）

MEMO

- 操作を中止するときは、[ストップ] キーを押します。
- メモリーが一杯のとき原稿の読取りはできません。その場合、リアルタイム送信に設定し送信してください。（24ページ参照）
- 操作を中断してから1分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

18 確認編

正しく送信されたか確認する（通信証）

●1送信ごとの通信枚数、通信モードなどの通信結果が確認できます。

[操作の前に]

- 通信証には受領証と送信証の2種類があり、どちらかを選びます。
- 送信証とは、本機による送信結果のプリントです。
- 受領証は相手先が受信したことを証明するプリントです。相手先ファクスは受領証発行機能がある当社機に限定されます。

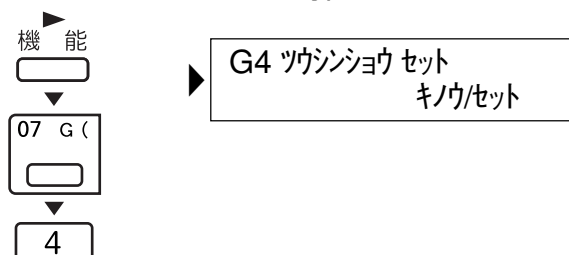
通信証セット

初期設定：送信証／OFF

- 通信証セットをONにすると、送信するたびに通信証をプリントします。1通信ごとにプリントのON／OFF切り換えもできます。

1 ① 機能 キー → ワンタッチキー〈G〉→ ダイヤルキー〈4〉を押します。

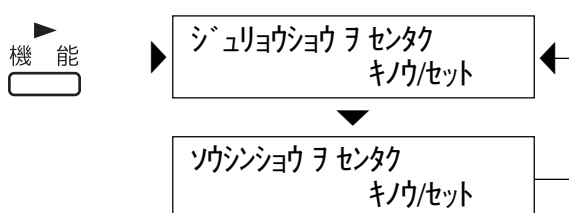
機 能 → 07 G（ → 4

G4 ﾂｳｼﾝｼｮｳ ｾｯﾄ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

② セット キーを押します。

2 ① 機能 キーで送信証または受領証を選択します。

機 能

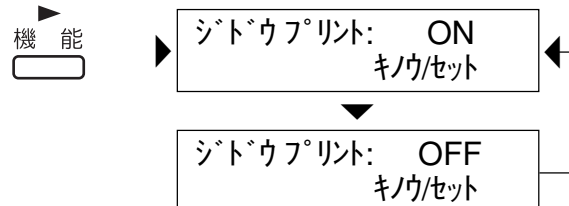
ｼﾞｭﾘｮｳｼｮｳ ｦ ｾﾝﾀｸ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

ｿｳｼﾝｼｮｳ ｦ ｾﾝﾀｸ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

② セット キーを押します。

3 機能 キーでONまたはOFFを選択します。

機 能

ｼﾞﾄﾞｳ ﾌﾟﾘﾝﾄ: ON
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

ｼﾞﾄﾞｳ ﾌﾟﾘﾝﾄ: OFF
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

4 セット キーを押します。

セット

＊通信証が設定されます。

一時的な通信証の発行

初期設定：OFF

- 通信証セットで設定した状態にかかわらず、一時的に通信証の発行をON、OFFすることができます。
- セットした直後の通信1回のみに有効です。直後の通信が完了すると通信証セットで設定した状態に戻ります。

1 ファクス中止／確認 キーを2回押します。

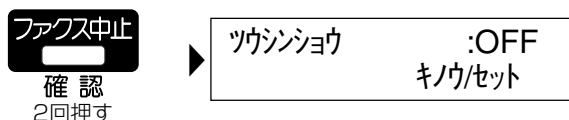
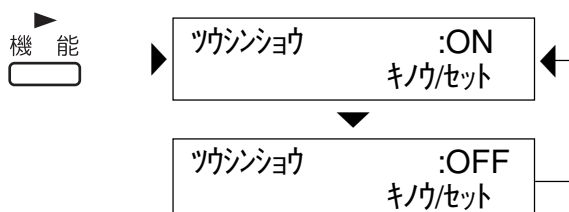
ファクス中止 確 認 2回押す

ﾂｳｼﾝｼｮｳ :OFF
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

2 機能 キーでONまたはOFFを選択します。

機 能

ﾂｳｼﾝｼｮｳ :ON
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

ﾂｳｼﾝｼｮｳ :OFF
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

3 セット キーを押します。

セット

MEMO

- 操作を中止するときは、 ストップ キーを押します。
- 操作を中断してから1分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

通信証の見かた

＊＊ 受領証 ＊＊

2005年 2月13日（日）13:30

1234567890	---> ABC商事
通信番号	003
通信ﾓｰﾄﾞ	標準
通信枚数	1 ﾍﾟｰｼﾞ
通信結果	ＯＫ

＊受領証の形態は相手機種によって異なります。

ABC商事㈱　　Fax:123-456-7890

＊＊ 送信証 ＊＊

P.1

ﾀﾞｲﾔﾙ番号	ﾓｰﾄﾞ	開始日時	時間	枚数	結果	備考
06-6111-4444	標準	14,13:30	0'40"	1	＊ＯＫ	
1	2	3	4	5	6	7

1. ダイヤル番号

以下の順に記録されます。

（1）ワンタッチダイヤルなどに登録されている相手先名（送信のみ）
（2）ワンタッチダイヤルなどに登録されている電話番号、またはダイヤルボタンで指定した電話番号（送信のみ）
（3）相手先の自局名
（4）相手先の自局ID
（5）空白(相手先で自局名・自局IDが登録されていない場合など)

2. モード

通信した画質です。

3. 開始日時

通信を開始した時刻です。

4. 時間

通信の開始から終了までの所要時間です。

5. 枚数

通信した枚数です。

6. 結果

通信結果です。

・OK …………… 正常終了しました。
・＊ …………… ECMモードで通信しました。
・＃ …………… スーパーG3で通信しました。
・エラーコード … 異常終了です。もう一度送信してください。（エラーコードについては142ページ参照）

7. 備考

・親　展 …… 親展送信、親展受信です。
・中　継 …… 中継指示送信です。
・ポーリング …… ポーリングです。
・同　報 …… 同報送信です。
・手　動 …… 手動送信です。
・検索ポー …… 検索ポーリングです。
・F コード …… Fコード送信です。
・F ポー ……… Fコードポーリングです。

19 確認編
通信状況を管理する

●最新の送信、受信あわせて125通信分の通信状況をプリントできます。本機は最新の125通信の通信管理記録を記録しており、それ以前の通信管理記録は順次自動消去します。
送信管理レポート.......... 最新の125通信のうち、送信の記録をプリントします。
受信管理レポート.......... 最新の125通信のうち、受信の記録をプリントします。

●自動プリントをセットすると、最新の送信・受信があわせて125通信になった場合に、送信管理レポート・受信管理レポートを同時にプリントします。

●常に最新の通信状況だけプリントしたい場合は、通信日報をプリントします。通信日報で一度プリントした通信状況は、再度通信日報をプリントしても記載されません。
例えば、月曜日から金曜日までは毎日終業時に日報としてプリント。月曜日の始業時には、金曜日にプリントした以降（金曜終業時から月曜始業時まで）の通信状況をプリントという使い方ができます。

通信管理レポートをプリントする

1 ① 機能 キー → ワンタッチキー〈G〉→ ダイヤルキー〈2〉を押します。

機能 → 07 G（ → 2

G2 ﾂｳｼﾝｶﾝﾘ ﾌﾟﾘﾝﾄ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

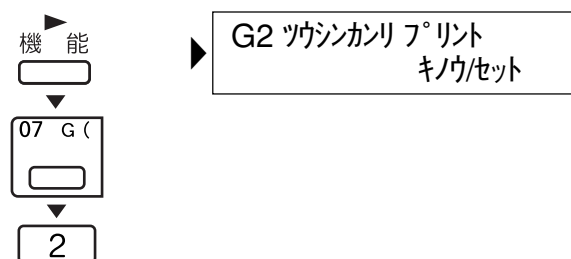
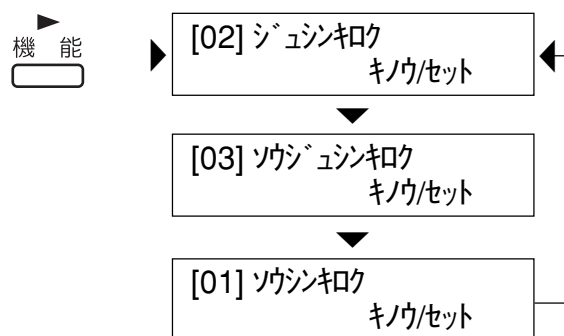
② セット キーを押します。

セット

2 機能 キーでONまたはOFFを選択します。

機能

[02] ｼﾞｭｼﾝｷﾛｸ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

[03] ｿｳｼﾞｭｼﾝｷﾛｸ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

[01] ｿｳｼﾝｷﾛｸ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

＊「ソウシンキロク」　：送信管理レポート
＊「ジュシンキロク」　：受信管理レポート
＊「ソウジュシンキロク」：送信管理レポートと受信管理レポートを同時にプリント。

3 セット キーを押します。

セット

＊選択した通信記録がプリントされます。

自動プリントを設定する

初期設定：OFF

1 ① 機能 キー → ワンタッチキー〈G〉→ セット キーを押します。

機能 → 07 G（ → セット

G1 ﾂｳｼﾝｷﾛｸ ｼﾞﾄﾞｳｾｯﾄ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

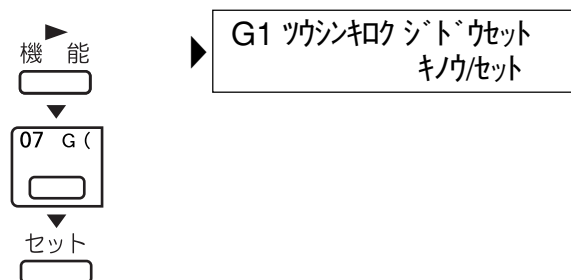
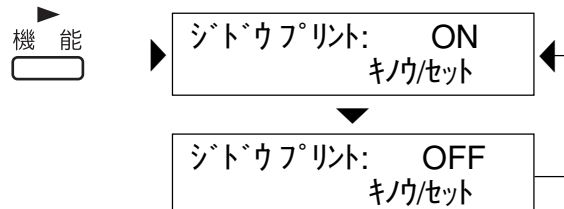
② セット キーを押します。

セット

2 機能 キーでONまたはOFFを選択します。

機能

ｼﾞﾄﾞｳ ﾌﾟﾘﾝﾄ: ON
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

ｼﾞﾄﾞｳ ﾌﾟﾘﾝﾄ: OFF
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

3 セット キーを押します。

セット

＊自動出力が設定されます。

通信日報をプリントする

- プリントする都度、最新の通信状況を記載した送信管理レポートと受信管理レポートをプリントします。一度プリントした通信状況は記載されませんので、常に最新の通信状況を確認できます。
- 通信状況をすべてプリントしたい場合は、通信管理レポートをプリントしてください。
- 通信日報の自動プリントはできません。

①通信状況（通信管理レポート）

ABC商事(株)　Fax:123-456-7890

** 送信管理レポート **

P.1

No.	相手先名	モード	開始日時	時間	枚数	部門	結果	備考
007	ｵｵｻｶ	標準	2/10 14:47	0'32"	2	0987	＊ＯＫ	
006	03-1111-6666	標準	2/10 12:11	0'23"	1	0000	＊ＯＫ	
005	ｼｲﾘ	高画質	2/10 10:51	0'32"	1	0987	＊ＯＫ	手動
004	06-6111-4444	超高画質	2/10 8:25	1'45"	2	7777	＃ＯＫ	
003	06-6111-4444	標準	2/10 8:23	0'06"	0	7777	T.1.4	
002	ｷｮｳﾄｼﾃﾝ	高画質	2/10 6:04	1'10"	3	1234	＃ＯＫ	
001	075-111-3333	標準	2/10 6:00	0'28"	1	0000	＃ＯＫ	

追加された分（007〜005）

一度通信日報でプリントした分（004〜001）

②通信日報

ABC商事(株)　Fax:123-456-7890

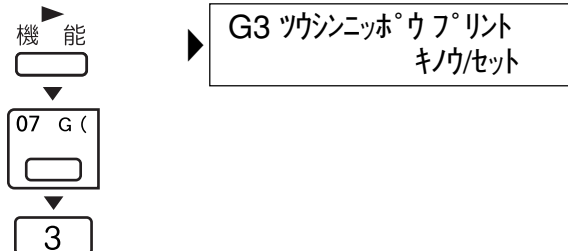
** 送信管理レポート **

P.1

No.	相手先名	モード	開始日時	時間	枚数	部門	結果	備考
007	ｵｵｻｶ	標準	2/10 14:47	0'32"	2	0987	＊ＯＫ	
006	03-1111-6666	標準	2/10 12:11	0'23"	1	0000	＊ＯＫ	
005	ｼｲﾘ	高画質	2/10 10:51	0'32"	1	0987	＊ＯＫ	手動

1 ［機能］キー → ワンタッチキー〈G〉→ ダイヤルキー〈3〉を押します。

機能 → 07 G（ → 3

G3 ﾂｳｼﾝﾆｯﾎﾟｳ ﾌﾟﾘﾝﾄ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

2 ［セット］キーを押します。

セット

＊最新の通信状況を記載した、送信管理レポートと受信管理レポートをプリントします。

第3章 便利な使いかた（確認編）

MEMO

- 操作を中止するときは、［ストップ］キーを押します。
- 操作を中断してから1分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

レポートの見かた

ABC商事(株)　　Fax:123-456-7890

＊＊ 受信管理レポート ＊＊

P.1

No.	相手先名	ﾓｰﾄﾞ	開始日時	時間	枚数	部門	結果	備考
004	06-6111-4444	超高画質	2/10 8:25	1'45"	2	7777	＊OK	
003	06-6111-4444	標準	2/10 8:23	0'06"	0	7777	T.1.4	
002	ｷｮｳﾄｼﾃﾝ	高画質	2/10 6:04	1'10"	3	1234	＃OK	

ABC商事(株)　　Fax:123-456-7890

＊＊ 送信管理レポート ＊＊

P.1

No.	相手先名	ﾓｰﾄﾞ	開始日時	時間	枚数	部門	結果	備考
007	ｵｵｻｶ	標準	2/10 14:47	0'32"	2	0987	＊OK	
006	03-1111-6666	標準	2/10 12:11	0'23"	1	0000	＊OK	
005	ｹｲﾘ	高画質	2/10 10:51	0'32"	1	0987	＊OK	手動
004	06-6111-4444	超高画質	2/10 8:25	1'45"	2	7777	＃OK	
003	06-6111-4444	標準	2/10 8:23	0'06"	0	7777	T.1.4	
002	ｷｮｳﾄｼﾃﾝ	高画質	2/10 6:04	1'10"	3	1234	＃OK	
001	075-111-3333	標準	2/10 6:00	0'28"	1	0000	＃OK	
1	2	3	4	5	6	7	8	9

1. NO

日ごとの通信件数です。

2. 相手先名

以下の順に記録されます。

（1）ワンタッチダイヤルなどに登録されている相手先名（送信のみ）

（2）ワンタッチダイヤルなどに登録されている電話番号、またはダイヤルボタンで指定した電話番号（送信のみ）

（3）相手先の自局名

（4）相手先の自局ID

（5）空白(相手先で自局名・自局IDが登録されていない場合など)

3. モード

通信した画質です。

4. 開始日時

通信を開始した時刻です。

5. 時間

通信の開始から終了までの所要時間です。

6. 枚数

通信した枚数です。

7. 部門

部門管理を設定しているときに、部門番号が記録されます。

8. 結果

通信結果です。

- OK …………… 正常終了しました。
- ＊ …………… ECMモードで通信しました。
- ＃ …………… スーパーG3で通信しました。
- エラーコード … 異常終了です。もう一度送信してください。（エラーコードについては142ページ参照）

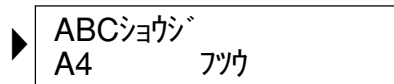
9. 備考

- 親　展 …… 親展送信、親展受信です。
- 中　継 …… 中継指示送信です。
- ポーリング …… ポーリングです。
- 同　報 …… 同報送信です。
- 手　動 …… 手動送信です。
- 検索ポー …… 検索ポーリングです。
- F コード …… Fコード送信です。
- F ポー ……… Fコードポーリングです。
- F 親展 ……… Fコード親展通信です。
- F 中継 ……… Fコード中継指示通信です。
- F 掲示板 …… Fコード掲示板通信です。

20 確認編
通信後に相手と話す（会話予約）

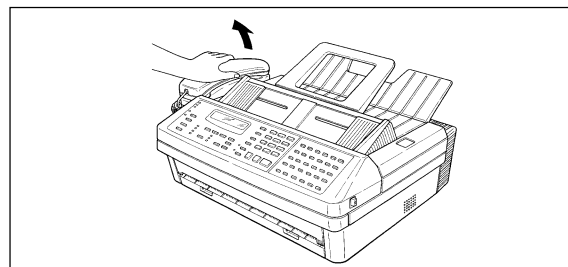
●通信後に相手と電話で話すことができる機能です。送信や受信後、相手先に確認がとれます。
●相手機によっては会話予約できないことがあります。

1
ディスプレイに送信中または、受信中が表示されていることを確認します。

ABCｼｮｳｼﾞ
A4　　　　ﾌﾂｳ

2
オンフック／会話予約 キーを押します。
オンフック／会話予約ランプが点灯します。

オンフック/会話予約

＊中止したいときは再度、オンフック／会話予約 キーを押します。

3
電話の呼び出しベルが鳴ったら本体電話を上げます。

＊送信中に会話予約をした場合は、最終ページの送信終了後にベルが鳴ります。
＊受信中に会話予約をした場合は、受信中のページを受信後にベルが鳴ります。
＊相手側でも受話器を上げなければ会話はできません。

MEMO

● スーパーG3通信をしているときは会話予約できません。オンフック／会話予約 キーを押してもブザーではじかれます。

第4章 機能のセット

もくじ

1 ワンタッチダイヤルの登録

●よく通信する相手先を、24か所までワンタッチキーに登録することができます。ワンタッチダイヤルには、相手先のファクス番号や相手先名のほかに、転送番号やグループ番号も登録しておくことができます。

[操作の前に]

- 電話番号　：40桁まで登録できます。
- 相手先名　：半角24文字まで登録できます。
- 転送番号　：設定回数のリダイヤル（130ページ参照）を行っても、相手側ファクスが通信中などで送信できないときに、別のファクス番号へ送信します。転送番号はワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルを合わせ、10カ所まで登録できます。
- グループ番号：多数の相手に送信するときに、グループ単位でダイヤルすることができます。
- ワンタッチダイヤルに使用できるキーは01～24のキーです。

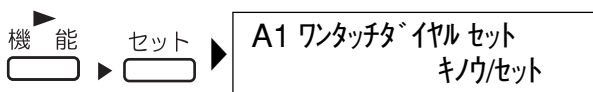
登録する

1 ① 機能 キー → セット キーを押します。

機能　セット

A1 ﾜﾝﾀｯﾁﾀﾞｲﾔﾙ ｾｯﾄ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

② セット キーを押します。

セット

2 ① 登録したいワンタッチキーを押します。

〈10〉に登録するとき

10 J ,

＊◀ ▶ キーを押してワンタッチキーを選択することもできます。
＊登録できるワンタッチキーは01～24です。

② セット キーを押します。

セット

10:ﾀﾞｲﾔﾙ ﾊﾞﾝｺﾞｳ
_

＊すでに登録されている番号を変更する場合は、クリア キーを押して、表示されている番号を消去し、新しい番号を入力してください。

3 ① ダイヤルキーで相手先番号を入力します。（最大40桁）

1 2 3 / 4 5 6 / 7 8 9 / ＊ 0 #

10:ﾀﾞｲﾔﾙ ﾊﾞﾝｺﾞｳ
123-456-7890_

＊ポーズ、ハイフンなどのダイヤル記号も入力できます。（25ページ参照）
＊番号を間違えて入力したときは、クリア キーを押して正しい番号を入力してください。

② セット キーを押します。

セット

4 転送番号を入力します。

（転送番号を入力しないときは セット キーを押して手順5へ進みます。）

① ダイヤルキーで転送番号を入力します。（最大40桁）

1 2 3 / 4 5 6 / 7 8 9 / ＊ 0 #

10:ﾃﾝｿｳ ﾊﾞﾝｺﾞｳ
987-654-3210_

② セット キーを押します。

セット

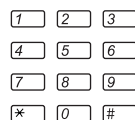
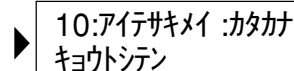
5 相手先名を入力します。

① 相手先名を入力します。

＊半角24文字まで登録できます。
＊文字入力については「文字入力のしかた（17ページ）」を参照してください。漢字・全角文字は登録できません。

10:ｱｲﾃｻｷﾒｲ :ｶﾀｶﾅ
ｷｮｳﾄｼﾃﾝ_

② セット キーを押します。

セット

ポイント

- **すでに登録されている内容を変更するときは...**
  ワンタッチダイヤルの登録手順の中で、変更したい登録内容を クリア キーで消去してから、新しく入力します。
- **プログラムワンタッチキー（P1～P5）をワンタッチダイヤルとして使用するには...**
  P1～P5のキーをワンタッチダイヤルのように使用できます。117ページのポイントを参照してください。

6 グループ番号を入力します。
（グループ番号を入力しないときは セット キーを押して手順7へ進みます。）

① ダイヤルキーでグループ番号を入力します。

＊グループ番号は1から32までです。0を入力すると全てのグループを指定することができます。
＊複数のグループ番号を入力するときは、グループ キーを押します。
＊グループ番号は32カ所まで登録できます。

10:ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾊﾞﾝｺﾞｳ
1,2_

② セット キーを押します。

セット

ﾜﾝﾀｯﾁｷｰ ｦ ｴﾗﾝﾃﾞｸﾀﾞｻｲ
11:ｾｯﾄ ｻﾚﾃｲﾏｾﾝ

＊次のワンタッチ番号の登録に移ります。

7 続けてワンタッチダイヤルを登録するときは、手順2から操作を繰り返します。
終了するときは、ストップ キーを押します。

MEMO

- 操作を中止するときは、ストップ キーを押します。
- 操作を中断してから1分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。
- 番号を間違えて入力したときは クリア キーを押して訂正してください。

消去する

1 ① 機能 キー → ダイヤルキー〈2〉を押します。

A2 ﾜﾝﾀｯﾁﾀﾞｲﾔﾙ ｸﾘｱ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

② セット キーを押します。

2 ① 消去したいワンタッチキーを押します。

＊◀ ▶ キーを押してワンタッチキーを選択することもできます。

09 Ｉ＋

ﾜﾝﾀｯﾁｷｰ ｦ ｴﾗﾝﾃﾞｸﾀﾞｻｲ
09:06-111-4444

② セット キーを押します。

セット

ﾜﾝﾀｯﾁﾀﾞｲﾔﾙ ｸﾘｱ
ｶｸﾆﾝ ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

3 消去してよければ、もう一度 セット キーを押します。

＊消去を中止するときは、機能 キーを押します。

4 続けて消去を行うときは、手順2から操作を繰り返します。
終了するときは、ストップ キーを押します。

ワンタッチダイヤルリストをプリントする

1 機能 キー → ダイヤルキー〈3〉を押します。

A3 ﾜﾝﾀｯﾁﾀﾞｲﾔﾙ ﾘｽﾄ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

2 セット キーを押します。

＊ワンタッチダイヤルリストがプリントされます。

プリント例

ABC商事㈱　Fax:123-456-7890

＊＊ ワンタッチダイヤル リスト ＊＊

P.1　2005年 2月13日（日）13:30

No.	相手先名	ﾀﾞｲﾔﾙ番号
[01]	ｷｮｳﾄｼﾃﾝ	075-111-3333
[02]	ｵｵｻｶｼﾃﾝ （転送先）	06-6111-4444 06-6111-5555
[03]	ﾌｸｵｶｼﾃﾝ	092-111-6666

2 短縮ダイヤルの登録

●よく通信する相手先を、176カ所まで短縮ダイヤルに登録することができます。短縮ダイヤルには、相手先のファクス番号や相手先名のほかに、転送番号やグループ番号も登録しておくことができます。

[操作の前に]

- 電話番号　　：40桁まで登録できます。
- 相手先名　　：半角24文字まで登録できます。
- 転送番号　　：設定回数のリダイヤル（130ページ参照）を行っても、相手側ファクスが通信中等で送信できないときに、別のファクス番号へ送信します。転送番号はワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルを合わせ、10カ所まで登録できます。
- グループ番号：多数の相手に送信するときに、グループ単位でダイヤルすることができます。

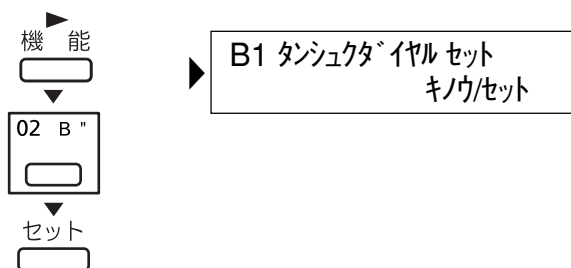
登録する

1 ① 機能 キー → ワンタッチキー〈B〉→ セット キーを押します。

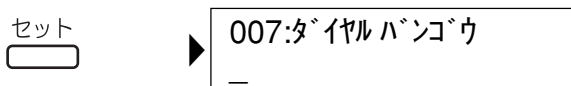
機能　02 B"　セット

B1 ﾀﾝｼｭｸﾀﾞｲﾔﾙ ｾｯﾄ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

② セット キーを押します。

セット

2 ① 登録したい短縮番号3桁をダイヤルキーで入力します。

＊◀ ▶ キーを押して短縮番号を選択することもできます。
＊登録できる短縮番号は001〜176です。
＊すでに短縮ダイヤルが登録されている場合には、相手先番号が表示されます。

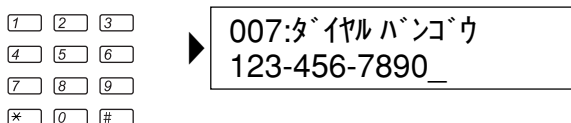
② セット キーを押します。

セット

007:ﾀﾞｲﾔﾙ ﾊﾞﾝｺﾞｳ
_

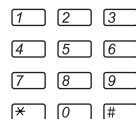
＊すでに登録されている番号を変更する場合は、クリア キーを押して表示されている番号を消去し、新しい番号を入力してください。

3 ① ダイヤルキーで相手先番号を入力します。（最大40桁）

1 2 3 4 5 6 7 8 9 ＊ 0 #

007:ﾀﾞｲﾔﾙ ﾊﾞﾝｺﾞｳ
123-456-7890_

＊ポーズ、ハイフンなどのダイヤル記号も入力できます。（25ページ参照）
＊番号を間違えて入力したときは、クリア キーを押して正しい番号を入力してください。

② セット キーを押します。

4 転送番号を入力します。
（転送番号を入力しないときは セット キーを押して手順5へ進みます。）

① ダイヤルキーで転送番号を入力します。（最大40桁）

1 2 3 4 5 6 7 8 9 ＊ 0 #

007:ﾃﾝｿｳ ﾊﾞﾝｺﾞｳ
987-654-3210_

② セット キーを押します。

セット

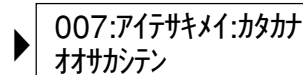
5 相手先名を入力します。

① 相手先名を入力します。

＊半角24文字まで登録できます。
＊文字入力については「文字入力のしかた（17ページ）」を参照してください。漢字・全角文字は登録できません。

007:ｱｲﾃｻｷﾒｲ:ｶﾀｶﾅ
ｵｵｻｶｼﾃﾝ_

② セット キーを押します。

セット

ポイント

- **すでに登録されている内容を変更するときは...**
  短縮ダイヤルの登録手順の中で、変更したい登録内容を クリア キーで消去してから、新しく入力します。

6 グループ番号を入力します。
（グループ番号を入力しないときは セット キーを押して手順7へ進みます。）

① ダイヤルキーでグループ番号を入力します。

＊グループ番号は1から32までです。0を入力すると全てのグループを指定することができます。
＊複数のグループ番号を入力するときは、グループ キーを押します。
＊グループ番号は32カ所まで登録できます。

▶ 007:ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾊﾞﾝｺﾞｳ
1,2_

② セット キーを押します。

セット ▶ ﾀﾝｼｭｸ ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ﾄﾞｳｿﾞ
008:ｾｯﾄ ｻﾚﾃｲﾏｾﾝ

＊次の短縮ダイヤルの登録に移ります。

7 続けて短縮ダイヤルを登録するときは、手順2から操作を繰り返します。
終了するときは、ストップ キーを押します。

MEMO

- 操作を中止するときは、ストップ キーを押します。
- 操作を中断してから1分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。
- 番号を間違えて入力したときは クリア キーを押して訂正してください。

消去する

1 ① 機能 キー → ワンタッチキー〈B〉→ ダイヤルキー〈2〉を押します。

▶ B2 ﾀﾝｼｭｸﾀﾞｲﾔﾙ ｸﾘｱ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

② セット キーを押します。

② セット キーを押します。

セット ▶ ﾀﾝｼｭｸﾀﾞｲﾔﾙ ｸﾘｱ
ｶｸﾆﾝ　ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

2 ① 消去したい短縮番号3桁をダイヤルキーで入力します。

＊◀ ▶ キーを押して短縮番号を選択することもできます。

▶ ﾀﾝｼｭｸ ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ﾄﾞｳｿﾞ
002:0899-11-1133

3 消去してよければ、もう一度 セット キーを押します。

＊消去を中止するときは、機能 キーを押します。

4 続けて消去を行うときは、手順2から操作を繰り返します。
終了するときは、ストップ キーを押します。

短縮ダイヤルリストをプリントする

1 機能 キー → ワンタッチキー〈B〉→ ダイヤルキー〈3〉を押します。

▶ B3 ﾀﾝｼｭｸﾀﾞｲﾔﾙ ﾘｽﾄ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

2 セット キーを押します。

＊短縮ダイヤルリストがプリントされます。

プリント例

ABC商事㈱　Fax:123-456-7890

＊＊ 短縮ダイヤル リスト ＊＊

P.1　2005年 2月13日（日）13:30

No.	相手先名	ﾀﾞｲﾔﾙ番号
S001	ﾎﾝｼﾃﾝ （転送先）	0792-11-1111 0792-11-1122
S002	ｼﾃﾝ	0899-11-1133

3 プログラムワンタッチの登録

●定型操作をプログラムワンタッチに登録しておくと、登録したキーと [スタート] キーを押すだけで、登録した操作を行うことができます。

[操作の前に]

- プログラムワンタッチに使用できるワンタッチキーはP1～P5の5個です。
- 登録できる内容は以下の通りです。

・通信メニュー：時刻指定、親展送信、中継指示送信、ポーリング、一括送信、Fコード送信、Fコードポーリングが登録できます。時刻指定は他の5つの通信メニュー（親展送信、中継指示送信、ポーリング、Fコード送信、Fコードポーリング）と組み合わせて登録できます。

≫通信メニューを登録するときに、同時に次の設定を登録できます。

画質選択	濃度選択	メモリー送信	済スタンプ	通信証

・リストメニュー：登録したキーと [スタート] キーを押すだけで、リストを出力することができます。登録できるリストは以下のリストです。

ワンタッチダイヤルリスト	短縮ダイヤルリスト	プログラムワンタッチリスト	親展者リスト
通信予約リスト	通信管理レポート	通信日報プリント	グループリスト
機器設定リスト	ダイレクトメール防止ダイヤルリスト	メッセージリスト	一括送信ボックスリスト
一括送信原稿リスト	Fコードボックスリスト	Fコードボックス蓄積原稿リスト	部門管理リスト
ナンバー・ディスプレイダイヤルリスト	ナンバー・ディスプレイ着信履歴	FAXワープリスト	

・蓄積メニュー：ポーリング原稿とFコード原稿の蓄積操作が登録できます。

≫蓄積メニューを登録するときに、同時に次の設定を登録できます。

画質選択	濃度選択

通信メニューを登録する

1 ① [機能] キー → ワンタッチキー〈C〉→ [セット] キーを押します。

機能
03 C $
セット

C1 ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾜﾝﾀｯﾁ ｾｯﾄ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

② [セット] キーを押します。

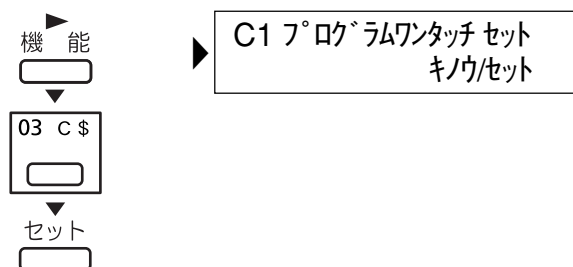
セット

2 ① 登録したいワンタッチキーを押します。

〈P2〉に登録するとき

P2 Z ｽﾍﾟｰｽ

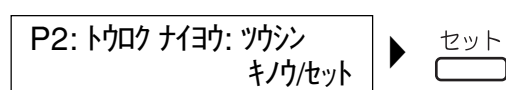
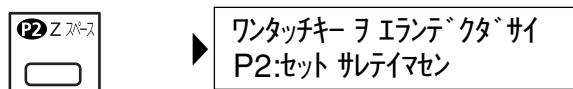
ﾜﾝﾀｯﾁｷｰ ｦ ｴﾗﾝﾃﾞｸﾀﾞｻｲ
P2:ｾｯﾄ ｻﾚﾃｲﾏｾﾝ

＊[◀] [▶] キーを押してワンタッチキーを選択することもできます。

② [セット] キーを押します。

セット

3 「ツウシン」が選択されていることを確認し、[セット] キーを押します。

P2: ﾄｳﾛｸ ﾅｲﾖｳ: ﾂｳｼﾝ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

セット

＊「ツウシン」が選択されていないときは、[機能] キーを押して選択します。

《時刻指定を登録するとき》

（時刻指定送信：52ページ参照）

＊時刻指定は他の5つの通信メニューと合わせて登録できます。

4 ① 応用通信 キー押して「ジコクシテイ　ツウシン」を選択し セット キーを押します。

セット

ｼﾞｺｸｼﾃｲ ﾂｳｼﾝ
ｼﾞｺｸｦ ﾄﾞｳｿﾞ　14/13:30

② 送信時刻（日 時 分）をダイヤルキーで入力します。

【例】21日　午後2時30分と入力したとき

ｼﾞｺｸｼﾃｲ ﾂｳｼﾝ
ｼﾞｺｸｦ ﾄﾞｳｿﾞ　21/14:30

＊1桁のときは先頭に0を付けます。
＊日付けを指定しないときは、「00」を入力します。

③ セット キーを押します。

手順5（116ページ）へ進みダイヤル番号を登録します。

《中継指示送信を登録するとき》

（中継指示送信：60ページ参照）

4 ① 応用通信 キーで「チュウケイシジ　ソウシン」を選択し セット キーを押します。

セット

ﾁｭｳｹｲｼｼﾞ ｿｳｼﾝ
ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾊﾞﾝｺﾞｳ: _

② ダイヤルキーで中継機に登録されているグループ番号（0～32）を入力します。

ﾁｭｳｹｲｼｼﾞ ｿｳｼﾝ
ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾊﾞﾝｺﾞｳ: 1,22_

＊グループ番号0を入力すると、全てのグループ（1-32）を指定することができます。
＊複数の番号を入力するときは、グループ キーを押して間にコンマ（，）を入れます。
＊グループ番号は10カ所まで入力できます。

③ セット キーを押します。

手順5（116ページ）へ進みダイヤル番号を登録します。

時刻指定を組み合わせるときには、《時刻指定を登録するとき》へ進みます。

《親展送信を登録するとき》

（親展送信：74ページ参照）

4 ① 応用通信 キーで「シンテン　ソウシン」を選択し セット キーを押します。

セット

ｼﾝﾃﾝ ｿｳｼﾝ
ｼﾝﾃﾝ ﾊﾞﾝｺﾞｳ:　_

② ダイヤルキーで相手先の親展ボックス番号（1桁）を入力します。

【例】親展ボックス番号の1を入力したとき

ｼﾝﾃﾝ ｿｳｼﾝ
ｼﾝﾃﾝ ﾊﾞﾝｺﾞｳ:　1_

③ セット キーを押します。

手順5（116ページ）へ進みダイヤル番号を登録します。

時刻指定を組み合わせるときには、《時刻指定を登録するとき》へ進みます。

《ポーリングを登録するとき》

（ポーリング：73ページ参照）

4

① 応用通信 キーで「ポーリング」を選択し セット キーを押します。

セット

ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ
ﾌｧｲﾙ ﾊﾞﾝｺﾞｳ:_

② 検索ポーリングのときはファイル番号（0〜9999）を入力します。

＊通常ポーリングのときはファイル番号を入力せずに、④に進みます。

ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ
ﾌｧｲﾙ ﾊﾞﾝｺﾞｳ:1_

③ 続けてファイル番号を入力するときは、応用通信 キーを押してファイル番号を入力します。

応用通信

ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ
ﾌｧｲﾙ ﾊﾞﾝｺﾞｳ:1,2222_

④ セット キーを押します。

手順5（116ページ）へ進みダイヤル番号を登録します。

時刻指定を組み合わせるときには、《時刻指定を登録するとき》へ進みます。

《一括送信を登録するとき》

（一括送信：55ページ参照）

＊あらかじめ一括送信ボックスの登録が必要です。

4

① 応用通信 キーで「イッカツ　ソウシン」を選択し セット キーを押します。

セット

ｲｯｶﾂ ｿｳｼﾝ
ﾎﾞｯｸｽ ﾊﾞﾝｺﾞｳ: _

② ダイヤルキーで一括送信ボックス番号（1〜5）を入力します。

ｲｯｶﾂ ｿｳｼﾝ
ﾎﾞｯｸｽ ﾊﾞﾝｺﾞｳ: 1_

③ セット キーを押します。

手順6（116ページ）へ進みます。

《Fコード送信を登録するとき》

（Fコード送信：80ページ参照）

4 ① 応用通信 キーで「Fコード　ソウシン」を選択し セット キーを押します。

セット ▶ ｻﾌﾞｱﾄﾞﾚｽ ｦﾄﾞｳｿﾞ
_

② 使用する機能のサブアドレス番号を入力します。

＊サブアドレスは数字のみ20桁まで登録できます。

▶ ｻﾌﾞｱﾄﾞﾚｽ ｦﾄﾞｳｿﾞ
123456789_

③ セット キーを押します。

④ パスワードを入力します。

＊パスワードは20桁以内の数字、＊、＃で表せます。
＊パスワードが必要ないときは、⑤に進みます。

▶ ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ ｦﾄﾞｳｿﾞ
##0101##

⑤ セット キーを押します。

手順5（116ページ）へ進みダイヤル番号を登録します。

時刻指定と組み合わせるときには、《時刻指定を登録するとき》へ進みます。

《Fコードポーリングを登録するとき》

（Fコードポーリング：81ページ参照）

4 ① 応用通信 キーで「Fコード　ポーリング」を選択し セット キーを押します。

セット ▶ ｻﾌﾞｱﾄﾞﾚｽ ｦﾄﾞｳｿﾞ
_

② 使用する機能のサブアドレス番号を入力します。

＊サブアドレスは数字のみ20桁まで登録できます。

▶ ｻﾌﾞｱﾄﾞﾚｽ ｦﾄﾞｳｿﾞ
111222333_

③ セット キーを押します。

④ パスワードを入力します。

＊パスワードは20桁以内の数字、＊、＃で表せます。
＊パスワードが必要ないときは、⑤に進みます。

▶ ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ ｦﾄﾞｳｿﾞ
##222##

⑤ セット キーを押します。

手順5（116ページ）へ進みダイヤル番号を登録します。

時刻指定と組み合わせるときには、《時刻指定を登録するとき》へ進みます。

5 ① ダイヤルキーで相手先番号を入力します。（最大40桁）

P2:ﾀﾞｲﾔﾙ ﾊﾞﾝｺﾞｳ
123-456-7890_

＊ポーズ、ハイフンなどのダイヤル記号を入力できます。（25ページ参照）
＊ダイヤルキー、ワンタッチキー、短縮キー、グループダイヤルが使用できます。
＊[同報]キーで区切ることにより最大220宛先まで指定できます。（ダイヤルキーによる指定は20宛先までです。）
＊間違えて入力したときは、[クリア]キーを押して正しい番号を入力してください。

② [セット] キーを押します。

セット

＊ポーリング、Fコードポーリングを登録したときは、この手順で終了です。続けてプログラムワンタッチを登録するときは、手順2から操作を繰り返します。終了するときは、[ストップ] キーを押します。

6 ① [機能] キーを押して、どの画質で送信するか選択します。

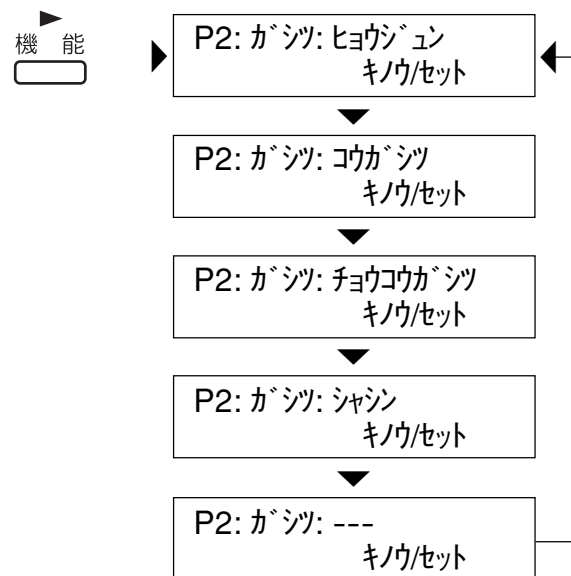
機　能

P2: ｶﾞｼﾂ: ﾋｮｳｼﾞｭﾝ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

P2: ｶﾞｼﾂ: ｺｳｶﾞｼﾂ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

P2: ｶﾞｼﾂ: ﾁｮｳｺｳｶﾞｼﾂ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

P2: ｶﾞｼﾂ: ｼｬｼﾝ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

P2: ｶﾞｼﾂ: ---
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

＊プログラムワンタッチを押したとき、選択した画質で送信されます。
＊“———”を選択すると、原稿をセットしたときに選択されている画質で送信されます。

② [セット] キーを押します。

セット

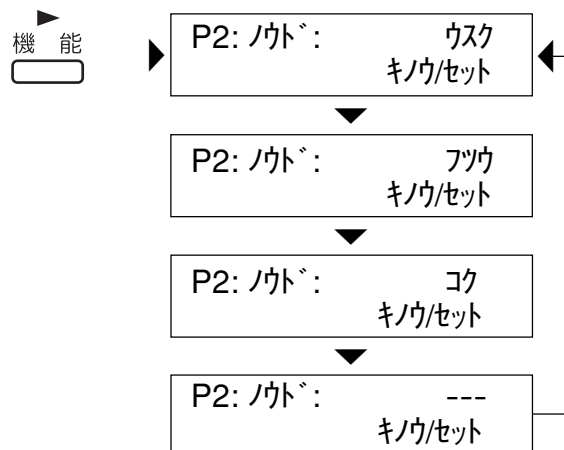
7 ① [機能] キーを押して、どの濃度で送信するか選択します。

機　能

P2: ﾉｳﾄﾞ:　ｳｽｸ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

P2: ﾉｳﾄﾞ:　ﾌﾂｳ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

P2: ﾉｳﾄﾞ:　ｺｸ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

P2: ﾉｳﾄﾞ:　---
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

＊プログラムワンタッチを押したとき、選択した濃度で送信されます。
＊“———”を選択すると、原稿をセットしたときに選択されている濃度で送信されます。

② [セット] キーを押します。

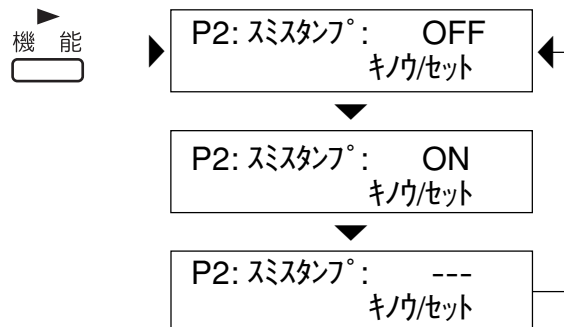
セット

8 ① [機能] キーを押して済スタンプを押すか（ON）押さないか（OFF）選択します。

機　能

P2: ｽﾐｽﾀﾝﾌﾟ:　OFF
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

P2: ｽﾐｽﾀﾝﾌﾟ:　ON
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

P2: ｽﾐｽﾀﾝﾌﾟ:　---
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

＊プログラムワンタッチを押したとき、選択した状態で済スタンプが動作します。
＊“———”を選択すると、原稿をセットしたときの済スタンプキーの状態で動作します。

② [セット] キーを押します。

セット

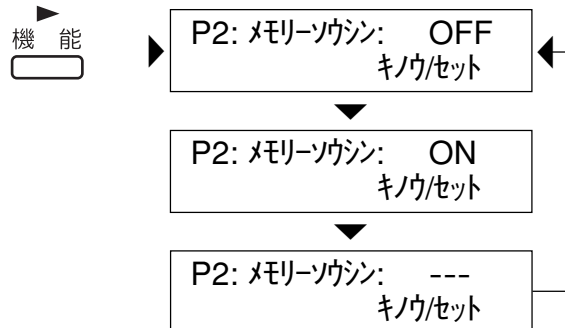
＊相手先番号を複数登録したときや、複数の宛先が登録されているグループダイヤルを入力したときは、手順10へ進みます。
＊一括送信を登録したときは、この手順で終了です。続けてプログラムワンタッチを登録するときは、手順2から操作を繰り返します。終了するときは、[ストップ] キーを押します。

9 ① 機能 キーを押して、メモリー送信にするか（ON）リアルタイム送信にするか（OFF）選択します。

機 能

P2: ﾒﾓﾘｰｿｳｼﾝ: OFF
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

P2: ﾒﾓﾘｰｿｳｼﾝ: ON
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

P2: ﾒﾓﾘｰｿｳｼﾝ: ---
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

＊プログラムワンタッチを押したとき、選択した状態で送信されます。
＊“―――”を選択すると、原稿をセットしたときのメモリー送信キーの状態で送信します。

② セット キーを押します。

セット

10 ① 機能 キーを押して、通信証を発行するかどうか選択します。

機 能

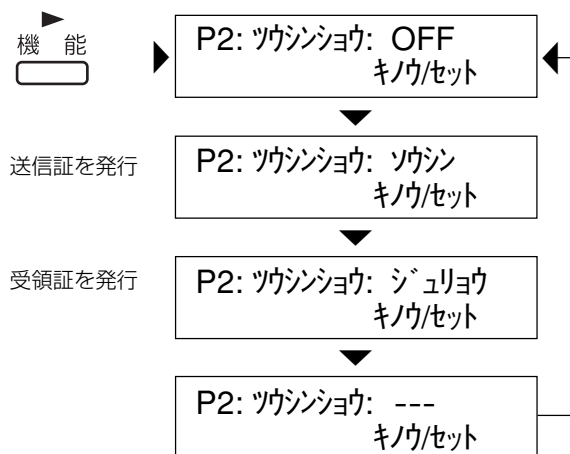
P2: ﾂｳｼﾝｼｮｳ: OFF
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

送信証を発行

P2: ﾂｳｼﾝｼｮｳ: ｿｳｼﾝ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

受領証を発行

P2: ﾂｳｼﾝｼｮｳ: ｼﾞｭﾘｮｳ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

P2: ﾂｳｼﾝｼｮｳ: ---
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

＊プログラムワンタッチを押したとき、選択した通信証が発行されます。
＊“―――”を選択すると、原稿をセットしたときに選択されている通信証が発行されます。

② セット キーを押します。

セット

ﾜﾝﾀｯﾁｷｰ ｦ ｴﾗﾝﾃﾞ ｸﾀﾞ ｻｲ
P3:ｾｯﾄ ｻﾚﾃｲﾏｾﾝ

11 続けてプログラムワンタッチを登録するときは、手順2から操作を繰り返します。
終了するときは、ストップ キーを押します。

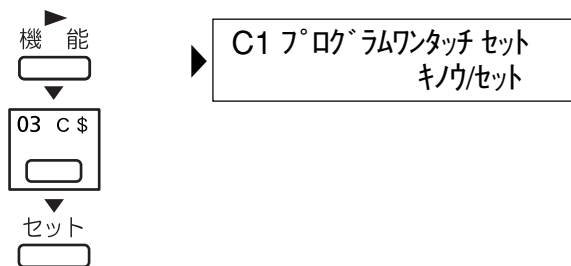
ポイント

- **すでに登録されている内容を変更するときは...**
  プログラムワンタッチの登録手順の中で、変更したい登録内容を クリア キーで消去してから、新しく入力してください。
- **別のメニューに変更するときは...**
  変更したいプログラムワンタッチを消去してから、新しく登録し直してください。（121ページ参照）
- **プログラムワンタッチをワンタッチダイヤルのように使用できます。**
  通信メニューの登録手順にて、手順4を行わず、手順5に進むと、時刻指定通信の時刻指定無しとして登録されます。時刻指定通信で時刻の指定が無いときは、即発信するので、プログラムワンタッチがワンタッチダイヤルのように使用できます。

MEMO

- 番号を間違えて入力したときは クリア キーを押して正しい番号を入力してください。
- 操作を中止するときは、 ストップ キーを押します。
- 操作を中断してから1分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

リストメニューを登録する

1 ① 機能 キー → ワンタッチキー〈C〉→ セット キーを押します。

機能 → 03 C $ → セット

C1 ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾜﾝﾀｯﾁ ｾｯﾄ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

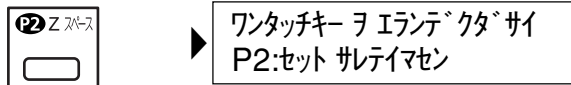
② セット キーを押します。

セット

2 ① 登録したいワンタッチキーを押します。

〈26〉に登録するとき

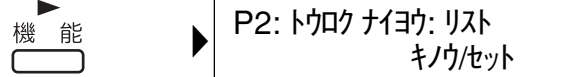
P2 Z ｽﾍﾟｰｽ

ﾜﾝﾀｯﾁｷｰ ｦ ｴﾗﾝﾃﾞｸﾀﾞｻｲ
P2:ｾｯﾄ ｻﾚﾃｲﾏｾﾝ

＊◀ ▶ キーを押してワンタッチキーを選択することもできます。

② セット キーを押します。

3 ① 機能 キー を押し、「リスト」を選択します。

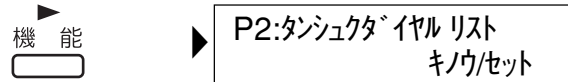
機能

P2: ﾄｳﾛｸ ﾅｲﾖｳ: ﾘｽﾄ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

② セット キーを押します。

セット

4 ① 機能 キー を押し、登録するリストを選択します。

機能

P2:ﾀﾝｼｭｸﾀﾞｲﾔﾙ ﾘｽﾄ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

＊登録できるリストの種類は112ページの「操作の前に」を参照してください。

② セット キーを押します。

5 続けてプログラムワンタッチを登録するときは、手順2から操作を繰り返します。
終了するときは、ストップ キーを押します。

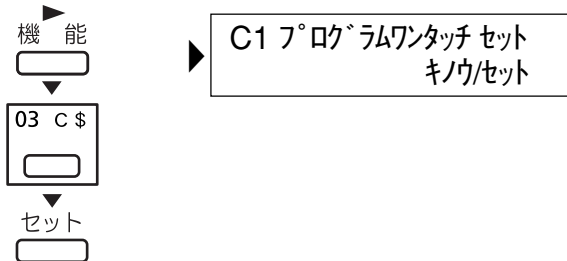
ポイント

- **すでに登録されている内容を変更するときは…**
  プログラムワンタッチの登録手順の中で、変更したい登録内容を クリア キーで消去してから、新しく入力してください。
- **別のメニューに変更するときは…**
  変更したいプログラムワンタッチを消去してから、新しく登録し直してください。（121ページ参照）

MEMO

- 操作を中止したいときは ストップ キーを押します。
- 操作を中断してから1分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

蓄積メニューを登録する

1 ① 機能 キー → ワンタッチキー〈C〉→ セット キーを押します。

機 能
03 C $
セット

C1 ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾜﾝﾀｯﾁ ｾｯﾄ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

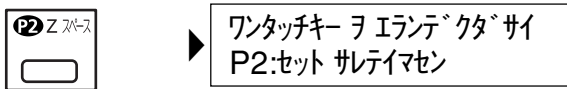
② セット キーを押します。

セット

2 ① 登録したいワンタッチキーを押します。

〈26〉に登録するとき

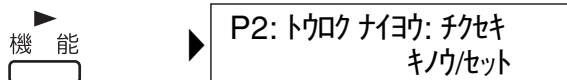
P2 Z ｽﾍﾟｰｽ

ﾜﾝﾀｯﾁｷｰ ｦ ｴﾗﾝﾃﾞｸﾀﾞｻｲ
P2:ｾｯﾄ ｻﾚﾃｲﾏｾﾝ

＊◀ ▶ キーを押してワンタッチキーを選択することもできます。

② セット キーを押します。

3 ① 機能 キー を押し、「チクセキ」を選択します。

機 能

P2: ﾄｳﾛｸ ﾅｲﾖｳ: ﾁｸｾｷ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

② セット キーを押します。

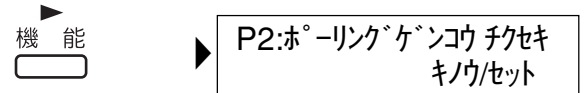
セット

《ポーリング原稿蓄積を登録するとき》

（ポーリング予約：71ページ参照）

4 ① 機能 キー を押し、「ポーリングゲンコウチクセキ」を選択します。

機 能

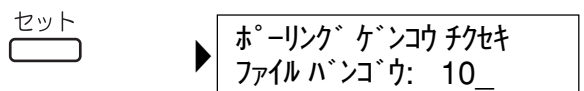
P2:ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞｹﾞﾝｺｳ ﾁｸｾｷ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

② セット キーを押します。

セット

5 ① 検索ポーリングのときはファイル番号（0～99）を入力します。

＊通常ポーリングのときはファイル番号を入力せずに、手順②に進みます。

セット

ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ｹﾞﾝｺｳ ﾁｸｾｷ
ﾌｧｲﾙ ﾊﾞﾝｺﾞｳ: 10_

② セット キーを押します。

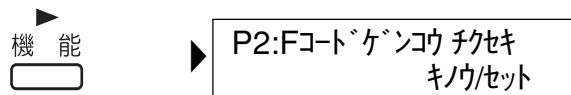
手順6（120ページ）へ進みます。

《Fコード原稿蓄積を登録するとき》

（掲示板への原稿蓄積：82ページ参照）

＊あらかじめFコードボックスに掲示板の登録が必要です。

4

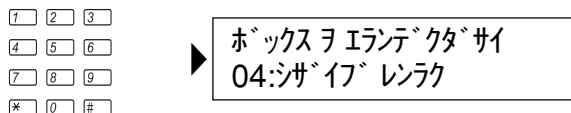
① 機能 キー を押し、「Ｆコードゲンコウ　チクセキ」を選択します。

機能

P2:Fコート゛ケ゛ンコウ チクセキ
キノウ/セット

② セット キーを押します。

セット

5

① ダイヤルキーで原稿を蓄積する、Fコードボックス番号（掲示板ボックスの番号）を入力します。

ホ゛ックス ヲ エランテ゛クタ゛サイ
04:シサ゛イフ゛ レンラク

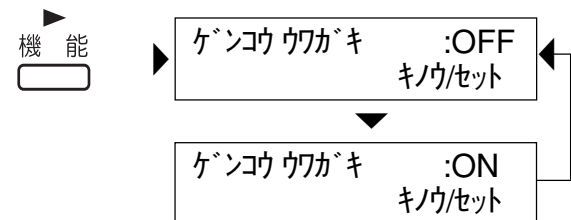
＊掲示板ボックスに設定したFコードボックス番号を指定してください。（85ページ参照）
＊◀ ▶ キーを押してボックス番号を選択することもできます。

② セット キーを押します。

③ 機能 キーで原稿を上書きするか（ON）、追加するか（OFF）を選択します。

機能

ケ゛ンコウ ウワカ゛キ　:OFF
キノウ/セット

ケ゛ンコウ ウワカ゛キ　:ON
キノウ/セット

④ セット キーを押します。

手順6へ進みます。

6

① 機能 キーを押して、どの画質で蓄積するか選択します。

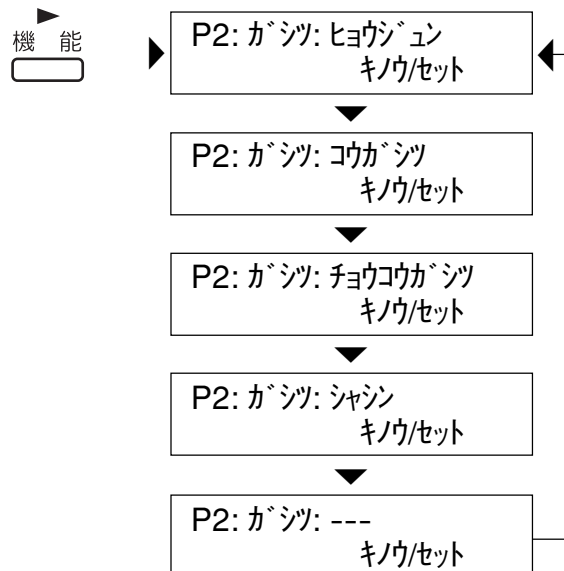
機能

P2: カ゛シツ: ヒョウシ゛ュン
キノウ/セット

P2: カ゛シツ: コウカ゛シツ
キノウ/セット

P2: カ゛シツ: チョウコウカ゛シツ
キノウ/セット

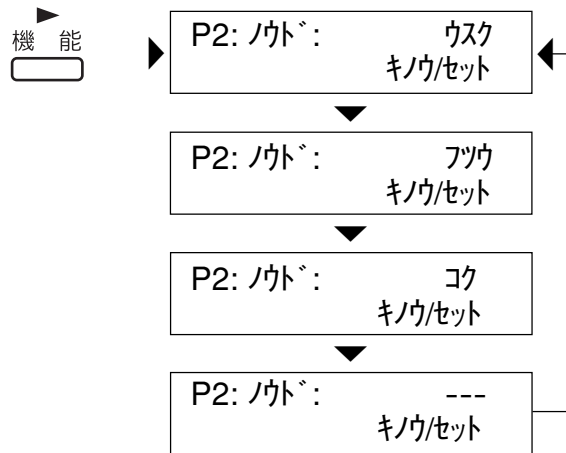
P2: カ゛シツ: シャシン
キノウ/セット

P2: カ゛シツ: ---
キノウ/セット

＊プログラムワンタッチを押したとき、選択した画質で蓄積されます。
＊“―――”を選択すると、原稿をセットしたときに選択されている画質で蓄積されます。

② セット キーを押します。

7 ① 機能 キーを押して、どの濃度で蓄積するか選択します。

機能

P2: ﾉｳﾄﾞ: ｳｽｸ ｷﾉｳ/ｾｯﾄ
P2: ﾉｳﾄﾞ: ﾌﾂｳ ｷﾉｳ/ｾｯﾄ
P2: ﾉｳﾄﾞ: ｺｸ ｷﾉｳ/ｾｯﾄ
P2: ﾉｳﾄﾞ: --- ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

＊プログラムワンタッチを押したとき、選択した濃度で蓄積されます。
＊“―――”を選択すると、原稿をセットしたときに選択されている濃度で蓄積されます。

② セット キーを押します。

セット

8 続けてプログラムワンタッチを登録するときは、手順2から操作を繰り返します。
終了するときは、ストップ キーを押します。

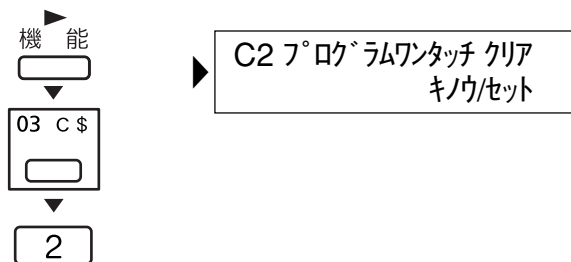
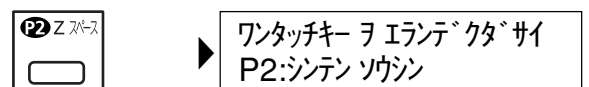
ポイント

- **すでに登録されている内容を変更するときは…**
  プログラムワンタッチの登録手順の中で、変更したい登録内容を クリア キーで消去してから、新しく入力してください。
- **別のメニューに変更するときは…**
  変更したいプログラムワンタッチを消去してから、新しく登録し直してください。

MEMO

- 操作を中止したいときは ストップ キーを押します。
- 操作を中断してから1分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

消去する

1 ① 機能 キー → ワンタッチキー〈C〉→ ダイヤルキー〈2〉を押します。

機能 → 03 C $ → 2

C2 ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾜﾝﾀｯﾁ ｸﾘｱ ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

② セット キーを押します。

セット

2 ① 消去したいワンタッチキーを押します。

＊◀ ▶ キーを押してワンタッチキーを選択することもできます。

P2 Z ｽﾍﾟｰｽ

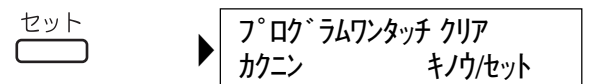
ﾜﾝﾀｯﾁｷｰ ｦ ｴﾗﾝﾃﾞ ｸﾀﾞｻｲ P2:ｼﾝﾃﾝ ｿｳｼﾝ

② セット キーを押します。

セット

ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾜﾝﾀｯﾁ ｸﾘｱ ｶｸﾆﾝ ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

3 消去してよければ、もう一度 セット キーを押します。

セット

＊消去を中止するときは、機能 キーを押します。

4 続けて消去を行うときは、手順2から操作を繰り返します。
終了するときは、ストップ キーを押します。

プログラムワンタッチリストをプリントする

1 **機能 キー → ワンタッチキー〈C〉→ ダイヤルキー〈3〉を押します。**

C3 ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾜﾝﾀｯﾁ ﾘｽﾄ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

2 **セット キーを押します。**

セット

＊プログラムワンタッチリストがプリントされます。

プリント例

ABC商事㈱　　Fax:123-456-7890

＊＊ プログラムワンタッチ リスト ＊＊

P.1　2005年 2月13日(日) 13:30

通信予約

No.	ﾀﾞｲﾔﾙ番号	指定日時	応用機能	備考
P1	111-222-3333	--:--	親展	1
	通信ﾓｰﾄﾞ :高画質 優先原稿濃度 :濃く 済ｽﾀﾝﾌﾟ :ON ﾒﾓﾘｰ送信 :----- 通信証 :-----			
P2	222-333-4444	1，8:00		
	通信ﾓｰﾄﾞ :超高画質 優先原稿濃度 :----- 済ｽﾀﾝﾌﾟ :ON ﾒﾓﾘｰ送信 :----- 通信証 :送信証			

ﾘｽﾄ

No.	ﾘｽﾄ名
P3	通信日報ﾌﾟﾘﾝﾄ
P4	部門管理ﾘｽﾄ

原稿蓄積

No.	種別	ﾎﾞｯｸｽ名	上書き
P5	検索ﾎﾟｰ	8	
	通信ﾓｰﾄﾞ :写真 優先原稿濃度 :-----		

1. NO.
ワンタッチボタン名です。

2. ダイヤル番号
登録した相手先の電話番号です。

3. 指定日時
登録した通信の日時です。

4. 応用機能
- ・親　展 …… 親展送信です。
- ・中　継 …… 中継指示送信です。
- ・ポーリング … ポーリングです。
- ・検索ポー …… 検索ポーリングです。
- ・一　括 …… 一括送信です。
- ・F コード …… Fコード送信です。
- ・F ポー ……… Fコードポーリングです。

5. 備考
親展ボックス番号、中継同報先などです。

6. 通信設定
登録したときに設定した通信設定です。

7. リスト名
登録したリストです。

8. 種別
原稿蓄積の種別です。

9. ボックス名
Fコードに登録したボックスの名前です。

10. 上書き
- ・ON … 原稿蓄積時に上書きします。
- ・OFF … 原稿蓄積時に上書きしません。

4 グループリストのプリント

●ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルに登録したグループ番号の一覧を出力できます。

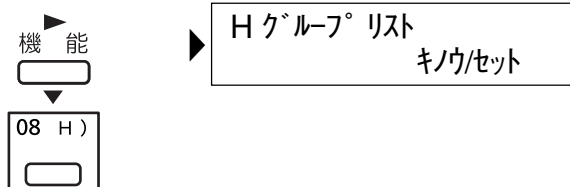
1 **機能** キー → ワンタッチキー〈H〉を押します。

機能

08 H）

H ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾘｽﾄ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

2 **セット** キーを押します。

セット

＊グループリストがプリントされます。

ABC商事㈱ Fax:123-456-7890

＊＊ グループ リスト ＊＊

P.1 2005年 2月13日（日）13:30

No.	相手先名	00	10	20	30
S001	ｷｮｳﾄｼﾃﾝ	2 8			
[01]	ｹｲﾘ	2 8		6	
[02]	ｵｵｻｶ	1 2	5		2
[10]		1 2			

1 2 3

1. NO.

ワンタッチキー名や、短縮番号です。

2. 相手先名

ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルで登録されている相手先名です。

3. グループ番号

登録されているグループ番号です。

10の位を表します。

20

6

【例】グループ番号26

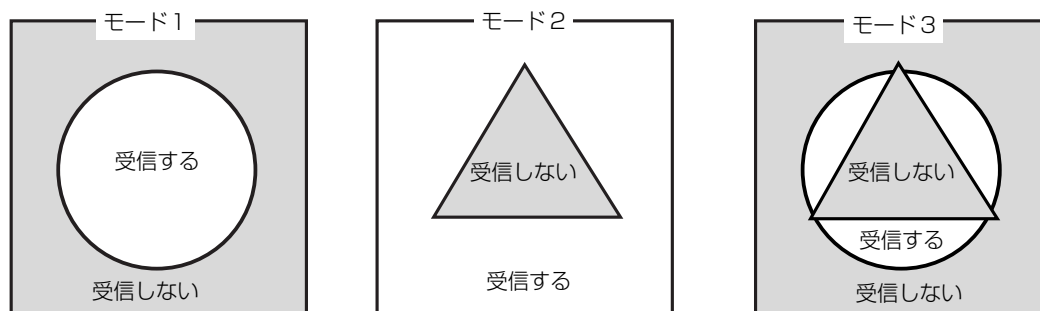
5 ダイレクトメール防止の登録

●ダイレクトメール防止には3種類の方法があります。

モード1： ワンタッチ、短縮ダイヤルに登録されている相手先からの文書のみを受信する方法です。登録されているファクス番号の下4桁と相手先IDを照合し、一致したときのみ受信します。

モード2： ダイレクトメール防止専用の番号登録を行い、登録された相手先からの受信を拒否する方法です。登録桁数はファクス番号の下4～8桁を登録します。最大50件まで登録できます。

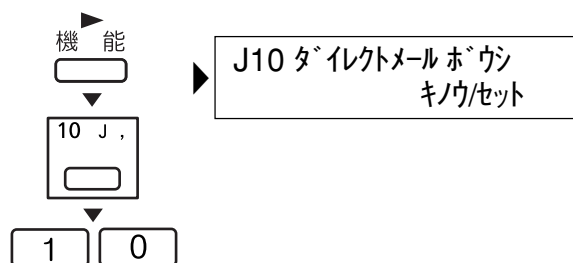
モード3： モード1、2を合わせた方法です。ワンタッチ、短縮に登録されていない番号からの受信は拒否します。ダイレクトメール防止専用に登録された相手先からの受信も拒否します。

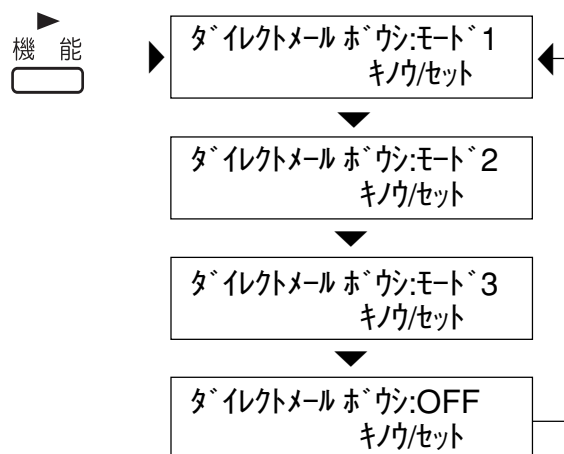
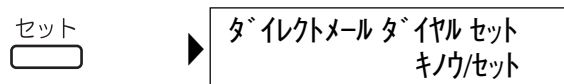
OFF　　： ダイレクトメール防止を行いません。

□の部分：着信した番号
○の部分：ワンタッチ・短縮ダイヤルに登録されている番号
△の部分：ダイレクトメール防止用に登録した番号

登録する

初期設定：OFF

1 ① 機能 キー → ワンタッチキー〈J〉→ ダイヤルキー〈1〉、〈0〉を押します。

＊◀ ▶ キーを押して項目を選択することもできます。

② セット キーを押します。

2 ① 機能 キーでOFFまたはモード1～3を選択します。

② セット キーを押します。

＊OFFまたはモード1を選んだ場合は、この手順で終了です。

＊機能 キーを押すと、手順6に進み、「ダイレクトメールダイヤルリスト」のプリントの選択になります。

ポイント

モード3はこんな使い方も．．．

● ワンタッチ、短縮ダイヤルに登録したファクス番号と同じ下4～8桁をダイレクトメール専用番号として登録すると、ワンタッチ、短縮ダイヤルで送信しますが、受信は拒否することもできます。

3 セット キーを押します。

セット

ﾀﾞｲﾔﾙ ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ﾄﾞｳｿﾞ
01:_

＊すでに番号が登録されてる場合は 機能 キーで登録されていない番号を選択し、セット キーを押してください。

4 ① ダイヤルキー登録する番号の下4〜8桁を入力します。

ﾀﾞｲﾔﾙ ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ﾄﾞｳｿﾞ
01:98765432

＊ハイフンを入力するときは、ダイヤル記号キーを押します。（25ページ参照）

② セット キーを押します。

セット

ﾀﾞｲﾔﾙ ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ﾄﾞｳｿﾞ
02:_

＊他の番号を登録するときは、続けて番号を登録します。

5 登録モードを終了するときは、ストップ キーを押します。

ストップ

ﾀﾞｲﾚｸﾄﾒｰﾙ ﾀﾞｲﾔﾙ ﾘｽﾄ
ｾｯﾄ/ｽﾄｯﾌﾟ

＊ダイレクトメール ダイヤルリストをプリントしない場合は、再度 ストップ キーを押して終了します。

6 リストをプリントします。
セット キーを押します。

＊ダイレクトメール ダイヤルリストがプリントされます。

プリント例

ABC商事(株)　　Fax:123-456-7890

＊＊ ダイレクトメール 防止 ダイヤルリスト ＊＊

P.1　　ﾓｰﾄﾞ2　　2005年 2月13日（日）13:30

No.	ﾀﾞｲﾔﾙ番号	No.	ﾀﾞｲﾔﾙ番号	No.	ﾀﾞｲﾔﾙ番号
1	12345678	2	11122233	3	22233344
4	44455566				

変更／消去する

1 「登録する」の手順1〜3を行います。

2 変更/消去したい番号が表示されるまで 機能 キーを押します。

機　能

ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ｴﾗﾝﾃﾞ ｸﾀﾞｻｲ
02:11122233

3 ① 番号を変更する場合は セット キーを押します。
◀ ▶ キーで変更する数字にカーソルを移動させ、上書き入力します。
再度 セット キーを押します。

セット

② 番号を消去する場合は クリア キーを押します。

クリア

4 変更／消去を終了するときは、ストップ キーを押します。

ストップ

ﾀﾞｲﾚｸﾄﾒｰﾙ ﾀﾞｲﾔﾙ ﾘｽﾄ
ｾｯﾄ/ｽﾄｯﾌﾟ

＊ダイレクトメールダイヤルリストをプリントしない場合は、再度 ストップ キーを押して終了します。

5 リストをプリントするときは、セット キーを押します。

セット

MEMO

- ダイレクトメール防止番号を消去すると、後に登録されている番号が繰り上がります。
002に“2345”、003に“3456”と登録されているとき、002の“2345”を消去すると、“002:3456”と003のダイレクトメール防止番号が繰り上がります。

6 プロテクトコードの登録

●セキュリティ機能を利用するためのプロテクトコードを登録します。
●セキュリティ機能には以下のものがあります。

- ・セキュリティ受信 ………… 受信原稿をメモリーに蓄え自動的にプリントしないようにします。プリントするときにプロテクトコードが必要になります。（68ページ参照）
- ・オペレーションプロテクト … 各種設定や操作をできなくします。（127ページ参照）
- ・部門管理プロテクト ……… 部門管理機能の設定をできなくします。（98ページ参照）

[操作の前に]

● プロテクトコードは絶対に忘れないようにしてください。各種セキュリティ機能を設定したときに操作できなくなります。

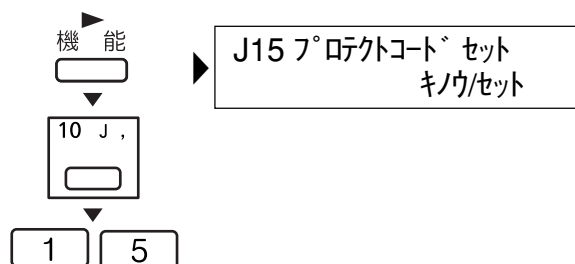
1

① 機能 キー → ワンタッチキー〈J〉→ ダイヤルキー〈1〉、〈5〉を押します。

機　能

10　J ,

1　5

```
J15 ﾌﾟﾛﾃｸﾄｺｰﾄﾞ ｾｯﾄ
          ｷﾉｳ/ｾｯﾄ
```

② セット キーを押します。

セット

2

ダイヤルキーで登録済みのプロテクトコードを入力します。

＊新規登録の場合はプロテクトコード（0000）を入力します。

新規登録

```
ﾌﾟﾛﾃｸﾄｺｰﾄﾞ
Old ﾌﾟﾛﾃｸﾄｺｰﾄﾞ :0000
```

＊すでに登録されているプロテクトコードを変更するときは、登録されているプロテクトコードを入力します。

登録済み

```
ﾌﾟﾛﾃｸﾄｺｰﾄﾞ
Old ﾌﾟﾛﾃｸﾄｺｰﾄﾞ :6789
```

② セット キーを押します。

セット

3

プロテクトコードを入力します。
ダイヤルキーで新しいプロテクトコード（4桁）を入力します。

＊プロテクトコードに0000は使用できません。0000は消去用の番号として利用されます。
＊プロテクトコードを間違えたときは正しい番号を上書きで入力してください。

1 2 3
4 5 6
7 8 9
＊ 0 #

```
ﾌﾟﾛﾃｸﾄｺｰﾄﾞ
New ﾌﾟﾛﾃｸﾄｺｰﾄﾞ :1234
```

4

セット キーを押します。

セット

＊プロテクトコードが設定されます。

プロテクトコードを消去するには

● 手順3にて、プロテクトコード「0000」を入力します。

MEMO

● 操作を中止したいときは ストップ キーを押します。
● 操作を中断してから1分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

7 操作を保護する(オペレーションプロテクト)

●プロテクトコードを知らない人に対し、操作や各種設定を禁止します。

[操作の前に]

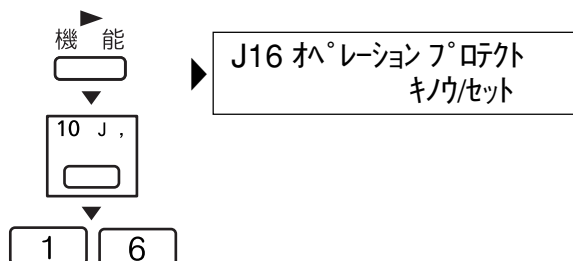
● あらかじめプロテクトコードを設定してください。(126ページ参照)

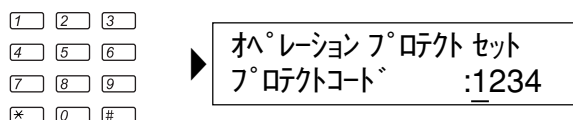
1 ① 機能 キー → ワンタッチキー〈J〉→ ダイヤルキー〈1〉、〈6〉を押します。

機能 / 10 J , / 1 6

J16 ｵﾍﾟﾚｰｼｮﾝ ﾌﾟﾛﾃｸﾄ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

② セット キーを押します。

セット

＊プロテクトコードが登録されていないと「プロテクトコード　ミトウロクデス」と表示されます。

2 ① ダイヤルキーでプロテクトコード(4桁)を入力します。

ｵﾍﾟﾚｰｼｮﾝ ﾌﾟﾛﾃｸﾄ ｾｯﾄ
ﾌﾟﾛﾃｸﾄｺｰﾄﾞ　:1234

② セット キーを押します。

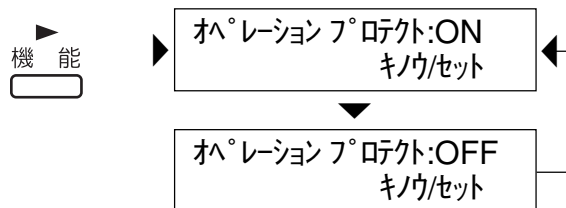
セット

＊プロテクトコードが間違っていると「プロテクトコードガ　チガイマス」と表示されます。

3 機能 キーでONまたはOFFを選択します。

機能

ｵﾍﾟﾚｰｼｮﾝ ﾌﾟﾛﾃｸﾄ:ON
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

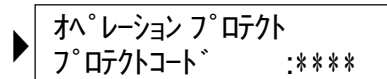
ｵﾍﾟﾚｰｼｮﾝ ﾌﾟﾛﾃｸﾄ:OFF
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

4 セット キーを押します。

セット

＊オペレーションプロテクトが設定されます。

操作をしようとすると

1.いずれかのキーを押してもプロテクトコードを要求します。

ｵﾍﾟﾚｰｼｮﾝ ﾌﾟﾛﾃｸﾄ
ﾌﾟﾛﾃｸﾄｺｰﾄﾞ　:****

2.登録されているプロテクトコードを入力します。

〈プロテクトコードが正しい場合〉

・操作しようとしている次の画面になります。続けて操作してください。

〈プロテクトコードが違う場合〉

・待機画面に戻ります。始めから操作をやりなおしてください。

※送信中などに他の操作をしようとしてもプロテクトコードを要求します。その場合はもう一度プロテクトコードを入力してください。

● 本体電話や増設電話の操作は禁止されません。
● 操作を中止したいときは ストップ キーを押します。
● 操作を中断してから1分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

8 送信に便利な設定をする

●設定をしておくと、送信するときに便利な機能について説明します。ファクシミリの使用状況に合わせて設定してください。

[操作の前に]

● 設定内容を確認したいときは、「機器設定リスト（134ページ参照）」をプリントします。

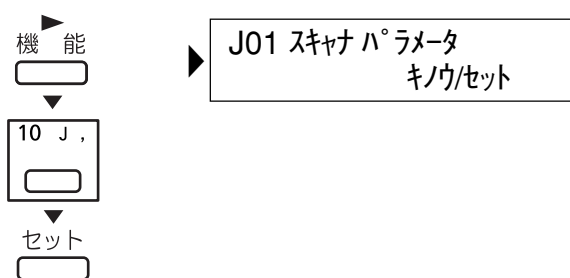
スキャナパラメータを決める

初期設定：ヒョウジュン、フツウ、B4

● 画質、濃度、読取り幅の初期値を決めます。画質、濃度についてはよく送信する原稿に合わせて設定しておくと、変更の手間が省けます。

1 ① 機能 キー → ワンタッチキー〈J〉→ セット キーを押します。

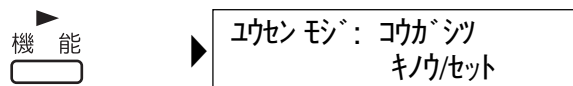
機 能 / 10 J , / セット

J01 ｽｷｬﾅ ﾊﾟﾗﾒｰﾀ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

② セット キーを押します。

セット

2 ① 機能 キーを押して目的の画質を選択します。

機 能

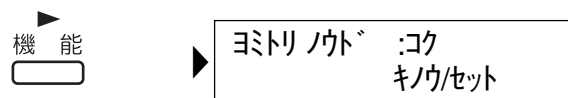
ﾕｳｾﾝ ﾓｼﾞ: ｺｳｶﾞｼﾂ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

ヒョウジュン ……… 普通の文字のとき
コウガシツ ………… 細かい文字のとき
チョウコウガシツ … 特に細かい文字のとき
シャシン …………… 写真のとき

② セット キーを押します。

セット

3 機能 キーを押して目的の濃度を選択します。

機 能

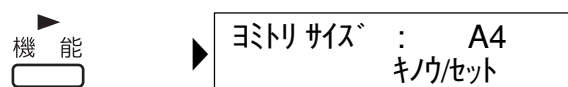
ﾖﾐﾄﾘ ﾉｳﾄﾞ :ｺｸ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

コク ……濃く読取りたいとき（鉛筆書きや、薄い文字のときなど）
フツウ… 普通の原稿のとき
ウスク… 薄く読取りたいとき

② セット キーを押します。

セット

4 機能 キーを押して目的の読取りサイズを選択します。

機 能

ﾖﾐﾄﾘ ｻｲｽﾞ : A4
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

B4 … B4幅まで読取ります
A4 … A4幅まで読取ります

5 セット キーを押します。

セット

＊スキャナパラメータが設定されます。

MEMO

● 操作を中止したいときは ストップ キーを押します。
● 操作を中断してから1分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

ポーズ時間を決める（ポーズ時間）

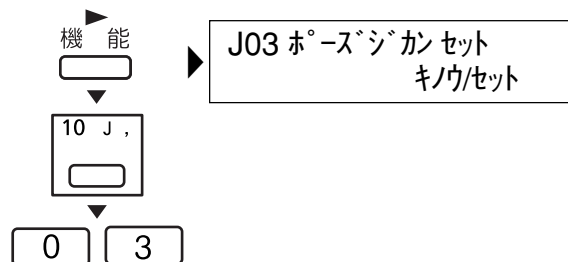
初期設定：5秒

- 内線からの発信などで使用するポーズを入力したときのダイヤル間隔を、5～10秒の範囲で設定する機能です。

1 ① 機能 キー → ワンタッチキー〈J〉→ ダイヤルキー〈0〉、〈3〉を押します。

＊◀ ▶ キーを押して項目を選択することもできます。

機能 → 10 J , → 0 3

J03 ポーズジカン セット
キノウ/セット

② セット キーを押します。

セット

2 ダイヤルキーでポーズ時間（2桁）を入力し、セット キーを押します。

1桁のときは、先頭に0をつけます。

ポーズジカン セット
ジカン (05-10): 10

3 セット キーを押します。

セット

＊ポーズ時間が設定されます。

エラーを修正しながら送信する（ECMモード）

初期設定：ON

- ECMモードは自動的に誤り訂正機能が働く便利な機能です。ただし、通信時間が若干長くなることがあります。
  - ・ON …… ECMモードが働きます。
  - ・OFF…… ECMモードが働きません。

1 ① 機能 キー → ワンタッチキー〈J〉→ ダイヤルキー〈0〉、〈6〉を押します。

＊◀ ▶ キーを押して項目を選択することもできます。

機能 → 10 J , → 0 6

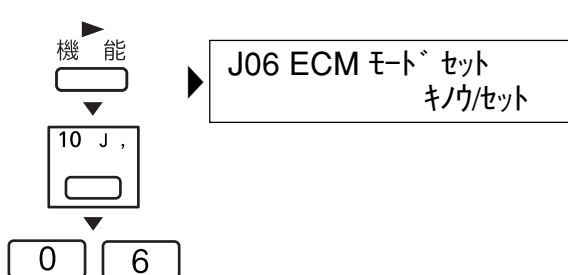
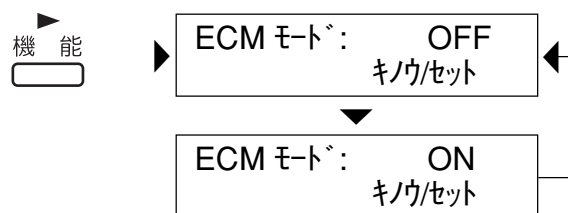
J06 ECM モード セット
キノウ/セット

② セット キーを押します。

セット

2 機能 キーでONまたはOFFを選択します。

機能

ECM モード: OFF
キノウ/セット

ECM モード: ON
キノウ/セット

3 セット キーを押します。

セット

＊ECMモードが設定されます。

MEMO

- 操作を中止したいときは ストップ キーを押します。
- 操作を中断してから1分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。
- 入力した数字の変更は ◀ ▶ キーでカーソルを移動し、上書きで入力し直します。

リダイヤルの回数・間隔を決める（リダイヤル回数・間隔）

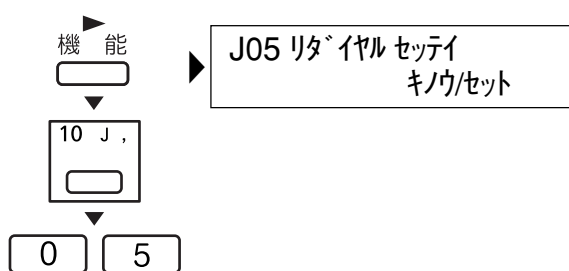
初期設定：5回・1分

- 相手先が話し中などのとき、あらかじめ設定した回数や間隔で再ダイヤルします。
  - ・自動リダイヤルする回数を2〜15回の間で設定できます。
  - ・自動リダイヤルする間隔を0〜5分の間で設定できます。

1 ① 機能 キー → ワンタッチキー〈J〉→ ダイヤルキー〈0〉、〈5〉を押します。

＊◀ ▶ キーを押して項目を選択することもできます。

機能 → 10 J , → 0 5

J05 ﾘﾀﾞｲﾔﾙ ｾｯﾃｲ
キﾉｳ/ｾｯﾄ

② セット キーを押します。

2 ① ダイヤルキーでリダイヤル回数（2桁）を入力します。

ﾘﾀﾞｲﾔﾙｶｲｽｳ ｾｯﾄ
ｶｲｽｳ (02-15): 04

② セット キーを押します。

3 ダイヤルキーでリダイヤル間隔（1桁）を入力します。

ﾘﾀﾞｲﾔﾙｶﾝｶｸ ｾｯﾄ
ｶﾝｶｸ (0-5): 5

＊0分に設定すると、相手が話し中のとき、間隔を置かずに再ダイヤルします。

4 セット キーを押します。

＊リダイヤル回数・間隔が設定されます。

間違いダイヤルを防止する（パスワード送信）

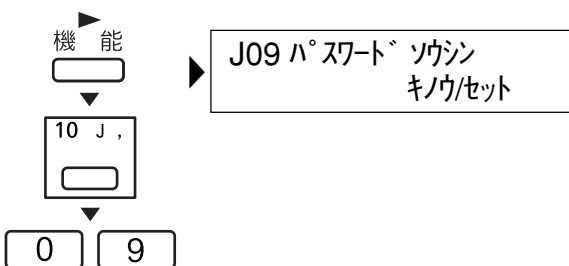
初期設定：OFF

- この機能を有効にしておくと、こちらがダイヤルしたファクス番号と受信側で登録されているID番号（相手側のファクス番号）のそれぞれ下4桁を照合し、一致したときのみ送信します。
  - ・ON …… パスワード送信を有効にします。
  - ・OFF …… パスワード送信を無効にします。
- この機能は自動送信のみ有効です。（受話器を上げる、またはオンフックでの手動送信では機能しません。）

1 ① 機能 キー → ワンタッチキー〈J〉→ ダイヤルキー〈0〉、〈9〉を押します。

＊◀ ▶ キーを押して項目を選択することもできます。

機能 → 10 J , → 0 9

J09 ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ ｿｳｼﾝ
キﾉｳ/ｾｯﾄ

② セット キーを押します。

2 機能 キーでONまたはOFFを選択します。

ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ ｿｳｼﾝ: ON
キﾉｳ/ｾｯﾄ

ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ ｿｳｼﾝ: OFF
キﾉｳ/ｾｯﾄ

3 セット キーを押します。

＊パスワード送信が設定されます。

読取った原稿にスタンプを押す（済スタンプ）　初期設定：OFF

- 読取った原稿の表側に○スタンプを押します。メモリー送信の場合は、原稿を読取った場合に押します。リアルタイム送信の場合は、送信済みの場合にスタンプが押されます。コピーの場合には済スタンプは押されません。
  - ・ON ……スタンプが押されます。
  - ・OFF ……スタンプは押されません。
- 1通信ごとに済スタンプをON/OFFすることもできます。(25ページ参照)

1 ① 機能 キー → ワンタッチキー〈J〉→ ダイヤルキー〈1〉、〈3〉を押します。

＊◀ ▶ キーを押して項目を選択することもできます。

機能 → 10 J , → 1 3

J13 ｽﾐｽﾀﾝﾌﾟ ｾｯﾄ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

② セット キーを押します。

セット

2 機能 キーでONまたはOFFを選択します。

機能

ｽﾐｽﾀﾝﾌﾟ : ON
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

ｽﾐｽﾀﾝﾌﾟ : OFF
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

3 セット キーを押します。

セット

＊済スタンプが設定されます。

送信方法を切り替える（メモリー送信）　初期設定：ON

- 送信するときにメモリー送信を優先にするか、リアルタイム送信を優先するか設定します。
- メモリー送信（メモリー送信をON）に設定すると、送信するときに1度原稿をメモリーに記憶してから送信します。
- リアルタイム送信（メモリー送信をOFF）に設定すると、送信するときに原稿を読取りながら送信します。（24ページ参照）
- 送信するときに メモリー送信 キーを押すことにより、1通信だけメモリー送信あるいはリアルタイム送信に切り替えることができます。

1 ① 機能 キー → ワンタッチキー〈J〉→ ダイヤルキー〈1〉、〈2〉を押します。

＊◀ ▶ キーを押して項目を選択することもできます。

機能 → 10 J , → 1 2

J12 ﾒﾓﾘｰｿｳｼﾝ ｾｯﾄ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

② セット キーを押します。

セット

2 機能 キーでONまたはOFFを選択します。

機能

ﾒﾓﾘｰｿｳｼﾝ: ON
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

ﾒﾓﾘｰｿｳｼﾝ: OFF
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

3 セット キーを押します。

セット

＊メモリー送信が設定されます。

MEMO

- 操作を中止したいときは ストップ キーを押します。
- 操作を中断してから1分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

9 その他の設定をする

コピーを禁止する（コピー禁止）

初期設定：OFF

- コピー操作を禁止し、ファクシミリ操作のみに限定する機能です。
  - ・ON …コピーできません。
  - ・OFF…コピーできます。

1 ① 機能 キー → ワンタッチキー〈J〉→ ダイヤルキー〈0〉、〈2〉を押します。

＊◀ ▶ キーを押して項目を選択することもできます。

機能 → 10 J → 0 2

J02 ｺﾋﾟｰｷﾝｼ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

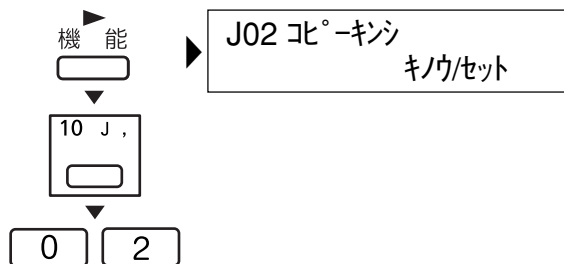
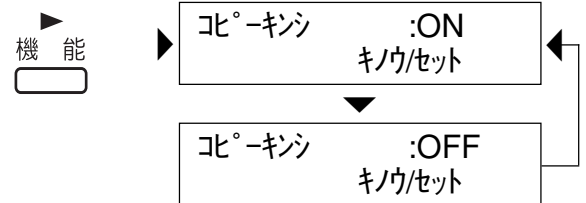
② セット キーを押します。

セット

2 機能 キーでONまたはOFFを選択します。

機能

ｺﾋﾟｰｷﾝｼ :ON
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

ｺﾋﾟｰｷﾝｼ :OFF
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

3 セット キーを押します。

セット

＊コピー禁止が設定されます。

呼び出しベル回数を決める（呼び出しベル回数）

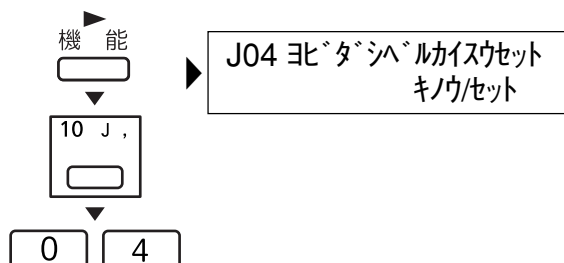
初期設定：2回

- 受信モードが自動受信（ファクス待機、電話／ファクス待機）の場合に、受信動作が開始されるまでのベル回数を1〜10回の間で設定できます。よく電話を受ける場合には回数を多めに設定しておくと、電話を取りやすくなります。

1 ① 機能 キー → ワンタッチキー〈J〉→ ダイヤルキー〈0〉、〈4〉を押します。

＊◀ ▶ キーを押して項目を選択することもできます。

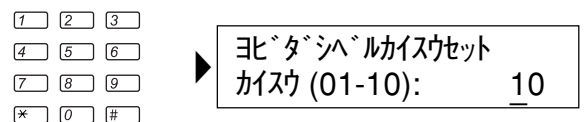
機能 → 10 J → 0 4

J04 ﾖﾋﾞﾀﾞｼﾍﾞﾙｶｲｽｳｾｯﾄ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

② セット キーを押します。

セット

2 ダイヤルキーでベル回数（2桁）を入力して、セット キーを押します。

1 2 3 / 4 5 6 / 7 8 9 / ＊ 0 #

ﾖﾋﾞﾀﾞｼﾍﾞﾙｶｲｽｳｾｯﾄ
ｶｲｽｳ (01-10): 10

3 セット キーを押します。

セット

＊呼出ベル回数が設定されます。

保留メロディを消す （初期設定：ON）

● 保留をしたときに、保留メロディを流す（ON）を優先にするか、保留メロディを流さない（OFF）を優先するか設定します。

1 ① 機能 キー → ワンタッチキー〈J〉→ ダイヤルキー〈1〉、〈7〉を押します。

＊◀ ▶ キーを押して項目を選択することもできます。

機能 ▶ J17 ﾎﾘｭｳ ﾒﾛﾃﾞｨ ｾｯﾄ キﾉｳ/ｾｯﾄ

10 J ,

1 7

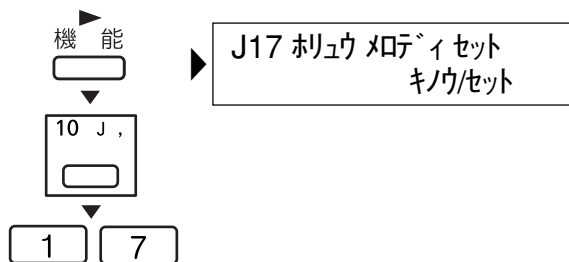
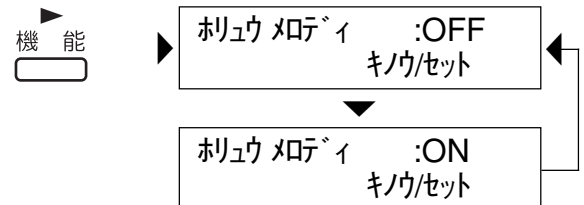
② セット キーを押します。

セット

2 機能 キーでONまたはOFFを選択します。

機能

ﾎﾘｭｳ ﾒﾛﾃﾞｨ :OFF キﾉｳ/ｾｯﾄ

ﾎﾘｭｳ ﾒﾛﾃﾞｨ :ON キﾉｳ/ｾｯﾄ

3 セット キーを押します。

セット

＊保留メロディが設定されます。

MEMO

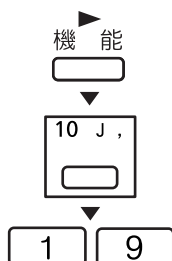
● 操作を中止したいときは ストップ キーを押します。
● 操作を中断してから1分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

10 機器設定リストのプリント

●機器設定リストをプリントすると、本機に設定された各種機能の設定状況を確認することができます。

1 **機能** キー → ワンタッチキー〈J〉→ ダイヤルキー〈1〉、〈9〉を押します。

＊◀ ▶ キーを押して項目を選択することもできます。

機能 → 10 J , → 1 9

J19 ｷｷｾｯﾃｲ ﾘｽﾄ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

2 **セット** キーを押します。

セット

＊機器設定リストがプリントされます。

ABC商事(株)　　Fax:123-456-7890

＊＊ 機器設定リスト ＊＊

発信元名	ABC商事(株)	ﾌｧｸｽ番号	123-456-7890

3 [1168 KB　　2005年 2月13日(日) 13:30

1	2			
発信元名(ｶﾅID)	ABCｼｮｳｼﾞ(ｶﾌﾞ)			
親展受信記憶期間	01 日			
通信管理記録自動	ON	OFF		
通信証	送信証	受領証	ON	OFF
通信回線	ﾌﾟｯｼｭ	10PPS	20PPS	
受信ﾓｰﾄﾞ	ﾌｧｸｽ	ﾌｧｸｽ電話	電話ﾌｧｸｽ	留守ﾌｧｸｽ
読取ｻｲｽﾞ	A4	B4		
優先文字ｻｲｽﾞ	標準	高画質	超高画質	写真
優先原稿濃度	濃く	普通	薄く	
ｺﾋﾟｰ禁止	ON	OFF		
ﾎﾟｰｽﾞ時間	05 秒			
呼出ﾍﾞﾙ回数	02 回			
ﾘﾀﾞｲﾔﾙ回数/間隔	05 回		1 分	
ECM ﾓｰﾄﾞ	ON	OFF		
ﾊﾟｽｺｰﾄﾞ	0000			
閉域通信	ON	OFF		
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ送信	ON	OFF		
ﾀﾞｲﾚｸﾄﾒｰﾙ	ﾓｰﾄﾞ1	ﾓｰﾄﾞ2	ﾓｰﾄﾞ3	OFF
ｻｰﾋﾞｽﾓｰﾄﾞ	ON	OFF		
ﾒﾓﾘｰ送信	ON	OFF		
済ｽﾀﾝﾌﾟ	ON	OFF		
ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ ﾌｧｸｽ/電話	****	****	****	ﾍﾞﾙ時間 30 秒
保留ﾒﾛﾃﾞｨ	ON	OFF		
ｵﾍﾟﾚｰｼｮﾝ ﾌﾟﾛﾃｸﾄ	ON	OFF		
ﾒｯｾｰｼﾞ送信	ON	OFF		
部門管理	ON	OFF		
部門管理ﾌﾟﾛﾃｸﾄ	ON	OFF		
ｾｷｭﾘﾃｨ受信	ON	OFF		
FAXﾜｰﾌﾟ	ON	OFF		
ﾅﾝﾊﾞｰﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ	未接続	PHONE2	ON	OFF
ND ﾜｰﾌﾟ	ON	OFF		
ﾀﾞｲﾔﾙ ﾌﾟﾚﾌｨｸｽ 番号	0000			
ﾀﾞｲﾔﾙﾄｰﾝ検出	ON	OFF		

1. 機能名

2. 設定内容

3. メモリー容量
本機に搭載されているメモリー容量です。

第5章 こんなときには

もくじ

1 記録紙づまりを解除する

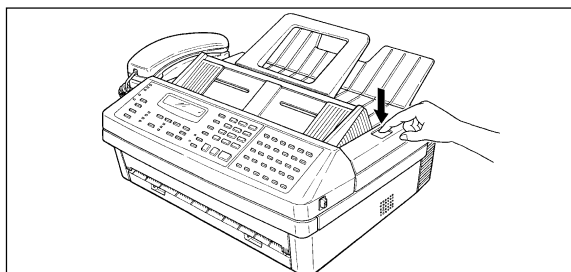
●記録紙がつまるとアラーム音が鳴り「キロクシ ヲ カクニン シテクダサイ」と表示されます。以下の手順に従って慎重に取り除いてください。

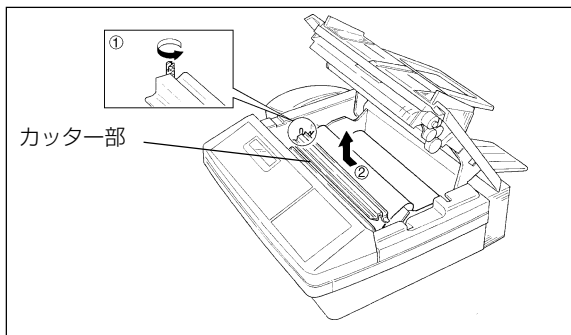
⚠注意

- サーマルヘッド（印字部）付近には触れないでください。動作直後は高温になっており、やけどの原因となります。
- カッター部には絶対に指を入れないでください。ケガの原因となります。
- トップカバーはいきおいよく開きますので注意してください。

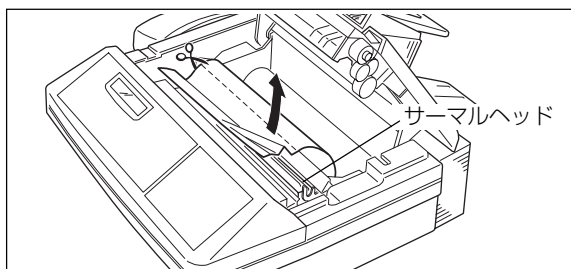
お願い

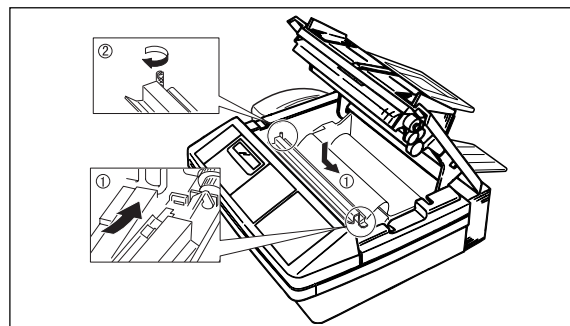
- 蓄積原稿が消えるおそれがありますので、電源を切らずに操作してください。
- 記録紙は無理に引き抜かないでください。機器の故障の原因となります。

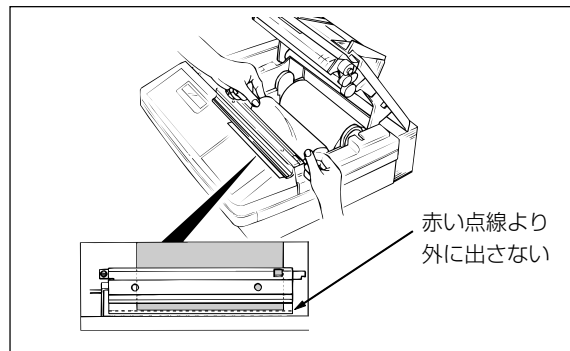
1 トップカバー開放ボタンを押し、トップカバーを開けます。

＊完全にトップカバーを開けてください。

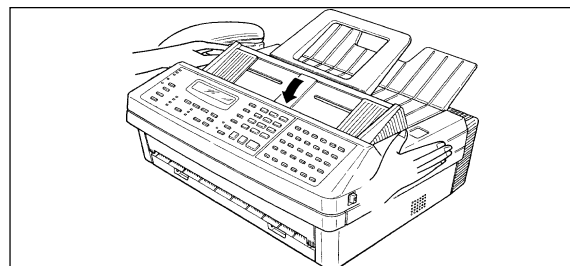
2 ペーパーガイドを外します。

＊ペーパーガイドを外すとカッター部が露出しますので、絶対に触れないでください。

3 つまった記録紙を取り除きます。

記録紙の破れた部分やしわになった部分をハサミなどでまっすぐに切り取ります。

＊サーマルヘッドには手を触れないでください。

4 ペーパーガイドを取り付けます。

＊ペーパーガイドの右端の突起部を本体側の四角い穴に入れ、ネジで固定します。

5 記録紙の先端をペーパーガイドの下（黒い矢印の下）に挿入します。

＊ペーパーガイドのフィルムから記録紙が見えるまで挿入します。記録紙がフィルムの赤い点線より外に出ないようにします。

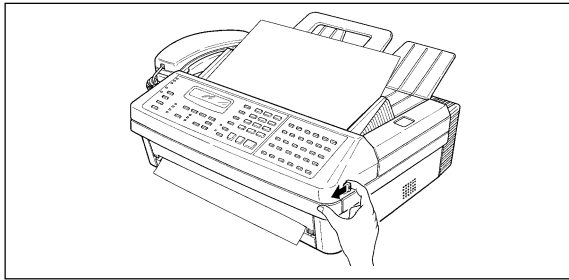
6 トップカバーの両端を押さえて閉じます。

＊トップカバーを閉じると、記録紙の先端をテストカットします。これが行われないときは、もう一度記録紙をセットし直してください。

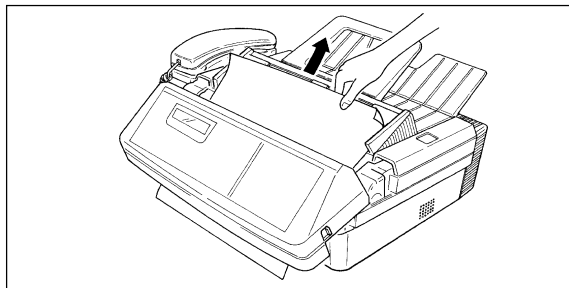
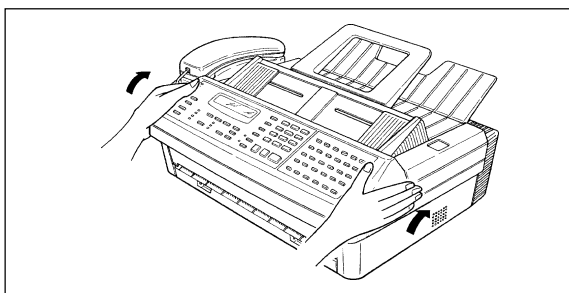
2 原稿づまりを解除する

●原稿がつまったときは、以下の手順でつまっている原稿を取り除いてください。

お願い

- 蓄積原稿が消えるおそれがありますので、電源を切らずに操作してください。
- 原稿を無理に引き抜かないでください。原稿が破れたり、機器の故障の原因ともなります。

1 原稿カバーを開けます。

＊原稿カバー開放レバーを引き、原稿カバーを開けます。

2 つまっている原稿を取り除きます。

3 原稿カバーを閉めます。

＊原稿カバーの左右の端を上から押して閉めてください。
＊1枚目の原稿がつまった場合は始めから原稿セットし直してください。
＊メモリーに読取り中のとき、2枚目以降の原稿がつまった場合は、手順4に進みます。
＊リアルタイム送信のときや、コピーで部数を指定しなかったときに、2枚目以降の原稿がつまった場合は、つまった原稿からセットし直し、再度送信またはコピーしてください。

4 メモリーに読取り中のとき、2枚目以降の原稿がつまると、次のような表示が出ます。

ｹﾞﾝｺｳｶﾞ ﾂﾏﾘﾏｼﾀ
ﾂﾂﾞｷﾉ ﾖﾐﾄﾘ　ｾｯﾄ/ｸﾘｱ

＊読取りを続ける場合は手順5へ進みます。
＊読取りを中止する場合は クリア キーを押します。待機状態に戻ります。
＊1分間何も押さないと蓄積した原稿を消去し、待機状態に戻ります。

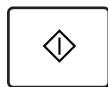
5 セット キーを押します。

セット

【例】メモリー送信のとき

2ﾍﾟｰｼﾞｶﾗ ｾｯﾄｼﾅｵｼﾃ
ｽﾀｰﾄｷｰ ｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ

＊つまったページを表示します。

6 つまった原稿からセットし直し、表示されたキーを押します。

スタート　コピー　セット

＊原稿の読み取りを再開します。

3 済スタンプを交換する

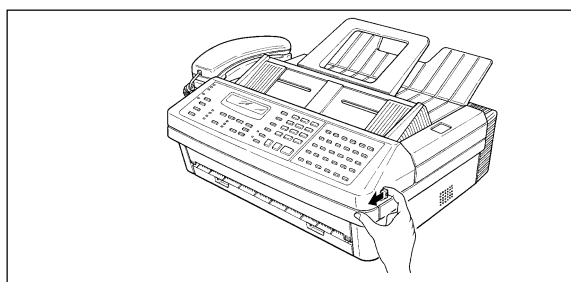
●済スタンプがうすくなったときは、済スタンプを交換してください。

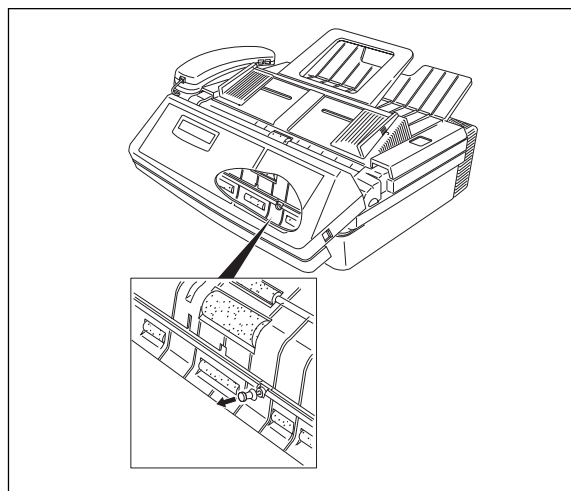
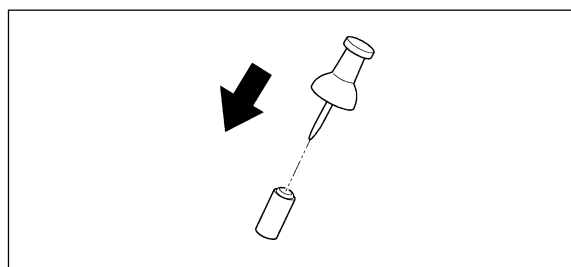
⚠注意

- 済スタンプを交換するときは、原稿カバーで手などをはさまないように片方の手で原稿カバーを押さえながら交換してください。
- 付属のピンは先がとがっています。指などに刺さらないようご注意ください。

お願い

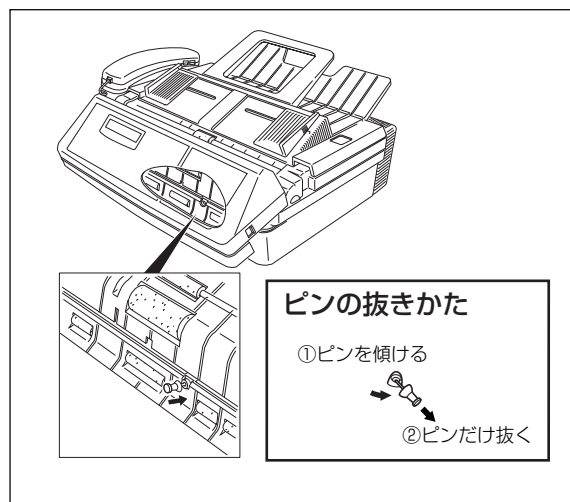
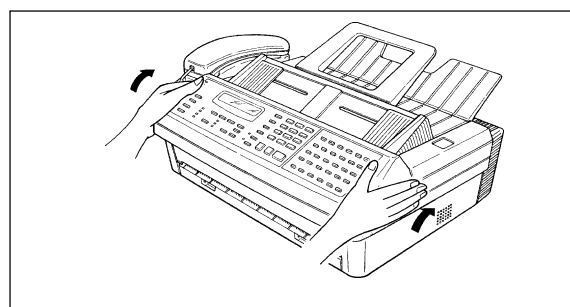
- スタンプ印面には、直接手を触れないでください。また、インクが手などに付着したときは、すぐに水で洗ってください。

1 原稿カバーを開けます。

＊原稿カバー開放レバーを引き、原稿カバーを開けます。

2 交換する済スタンプの印面に付属のピンを刺し、済スタンプを引き抜きます。

3 交換用済スタンプの印面中央部に、付属のピンを刺します。

4 本体に差し込み、付属のピンだけを斜めに傾けて抜きます。

ピンの抜きかた

①ピンを傾ける

②ピンだけ抜く

5 原稿カバーを閉めます。

＊原稿カバーの左右の端を上から押して閉めてください。

4 日常のお手入れ

●本機を最適な状態でご使用いただくために、定期的にお手入れしてください。

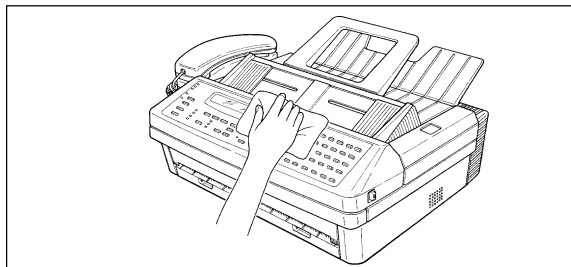
⚠警告

- ぬれた布などは使用しないでください。火災・感電の原因となります。

外装、操作パネルのお手入れ

お願い

- シンナー、ベンジン、アルコールは表面の仕上げをいためますので使用しないでください。

1 柔らかい布でから拭きします。

＊汚れがひどいときは、中性洗剤を水で薄めたものを少量つけて拭き取ります。

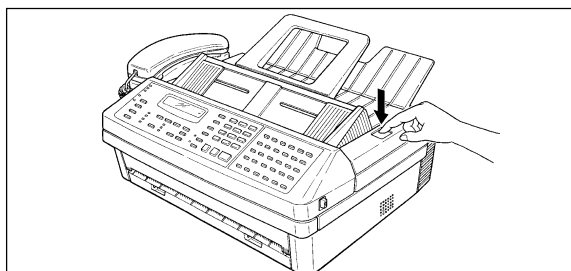
記録部のお手入れ

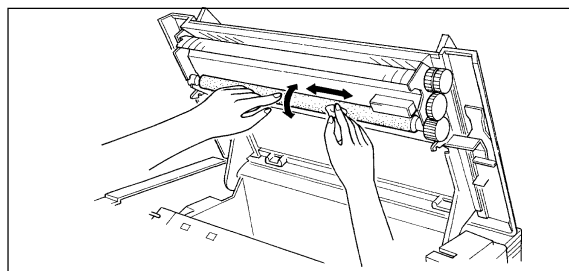
⚠注意

- サーマルヘッド（印字部）付近には触れないでください。動作直後は高温になっておりやけどの原因となります。
- トップカバーはいきおいよく開きますので注意してください。

お願い

- 清掃には水をしみこませてよく絞った柔らかい布をご使用ください。汚れがひどいときは、アルコール（エタノール、メタノール）か薄い中性洗剤をしみこませたやわらかい布をご使用ください。
- ベンジン、シンナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。
- サーマルヘッド表面を金属などの硬いものや爪でこすらないでください。また、直接手で触れないでください。

1 トップカバー開放ボタンを押し、トップカバーを開けます。

＊完全にトップカバーを開けてください。

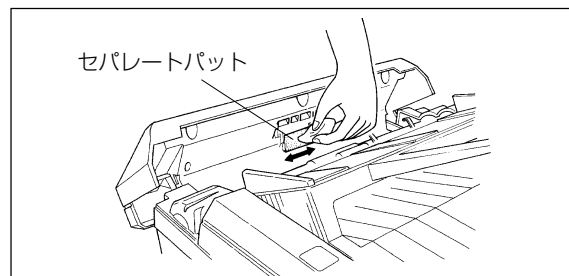
2 記録紙ローラーを回しながら、汚れを拭き取ります。

＊水をしみこませてよく絞った柔らかい布をご使用ください。

読取部のお手入れ

お願い

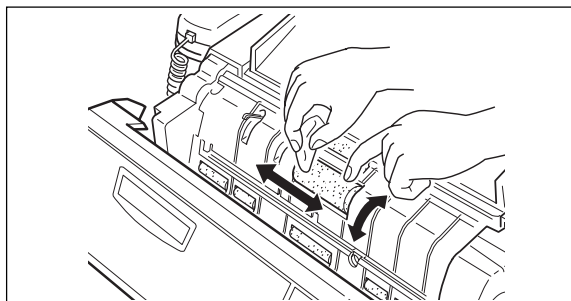
- 清掃には水をしみこませてよく絞った柔らかい布をご使用ください。汚れがひどいときは、アルコール（エタノール、メタノール）か薄い中性洗剤をしみこませたやわらかい布をご使用ください。
- ベンジン、シンナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。

1 原稿カバーを開けます。

＊原稿カバー開放レバーを引き、原稿カバーを開けます。

2 原稿送りローラーを回しながら汚れをふきとります。

＊水をしみこませてよく絞った柔らかい布をご使用ください。

3 セパレートパットの汚れを拭き取ります。

セパレートパット

＊水をしみこませてよく絞った柔らかい布をご使用ください。

5 エラーメッセージ

アラームが鳴ったら

- アラームは約4秒間鳴り、同時にアラームランプが点灯します。アラームの内容はエラーメッセージとしてディスプレイに表示されるか、チェックメッセージとして記録紙にプリントされますので、メッセージ内容を確認し対処してください。

※アラームランプは ストップ キーを押すと消灯します。

※記録紙がなくなったり、記録紙がつまったりした場合や、原稿がつまったり、カバーが開いていたりするなどの問題が発生している場合は、 ストップ キーを押してもアラームランプは消灯しません。

チェックメッセージ

メッセージ	メッセージの発生状態と対応の方法	エラーコード
相手側機を確認して下さい	▶相手先に電話をかけ、相手側機のモード、ファクス番号、機器の状態、パスコードなどの確認を依頼してください。	T.1.1、T.2.1 T.2.2、T.2.3 T.5.1、T.5.2 T.8.1、R.8.1 T.8.10、R.8.10 T.8.11、R.8.11
受信原稿を確認して下さい	▶相手先に電話をかけ、相手側機の動作状態の確認を依頼してください。	T.4.2
もう一度送信して下さい	1. 原稿がスムーズに繰り込まれていない状態になっていることがあります。 ▶再度、送信操作をしてください。 2. 原稿枚数設定をしている場合、「設定枚数」より実際に送信した「実送枚数」のほうが少ないときに、このメッセージが出ます。（2枚送りなどが発生している可能性があります） ▶原稿枚数と相手先の受信枚数を確認して、再度送信操作をしてください。 3. 回線状態が悪いことがあります。 ▶再度、送信してください。 4. 「/」「！」の箇所で発信音がかえってきませんでした。 ▶「/」「！」の位置を確認して再送信してください。（交換機によってはこれらの記号は不要な場合もあります。） 5. 内線などダイヤルトーンが送出されない回線では、ダイヤルトーン検出をOFFにしてください。(16ページ参照)	T.3.1 T.1.2 T.4.1 T.5.3 D.0.8 D.0.2
もう一度ダイヤルして下さい	1. 設定してある再ダイヤル回数分の電話をしても、相手先に送信できなかった場合です。 ▶改めて相手先のファクス番号を押し、送信してください。それでも再度このメッセージが出るときは、相手先に電話をかけて相手側機の状態を確認してください。 2. 回線設定が正しいか確認してください。（16ページ参照）	
メモリーオーバーしました	▶受信の場合は再度送信を依頼してください。また、記録紙切れや記録紙づまりが発生し、代行受信でメモリーオーバーしている場合があります。その場合は、記録紙を交換したり、記録紙づまりを解除してください。	R.4.4
メモリーオーバー	▶送信の場合はリアルタイム送信に設定して、再度送信してください。 ▶原稿の蓄積中にメモリーオーバーが発生しました。蓄積途中の原稿はメモリーから消去されています。再度、蓄積してください。	
ダイヤル番号が登録されていません	▶ワンタッチ・短縮ダイヤル番号をセットし直して、再度送信してください。	D.0.6
停止しました	▶通信がストップしました。再度通信してください。	D.0.3 T.1.4 R.1.4

エラーコード

D：ダイヤル時の異常

ﾓｰﾄﾞ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	コードの内容	対応・処理の方法
G3送信	D.0.2	相手が話中	▶ 再送信してください。
	D.0.3	ストップキーが押された	▶ 再送信してください。
	D.0.6	オートダイヤル発信したとき、相手先ファクス番号が登録されていない	▶ 正しいファクス番号をセット後、再送信してください。
	D.0.7	オートダイヤル発信したとき、相手先に着信しない	▶ 正しいファクス番号をセット後、再送信してください。
	D.0.8	「/」「！」の箇所で発信音がかえってこなかった	▶ 「/」「！」の位置を確認して再送信してください。（交換機によってはこれらの記号は不要な場合もあります。） 内線などダイヤルトーンが送出されない回線では、ダイヤルトーン検出をOFFにしてください。(16ページ参照)

T：送信時の異常

ﾓｰﾄﾞ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	コードの内容	対応・処理の方法
G3送信	T.1.1	番号まちがい（相手が出て切った）	▶ 相手先のファクス番号を確認し、再送信してください。
		相手が手動受信で電話を切った	▶ 相手先の受信方法を確認してください。
		相手機種がG3機でない	▶ 当機では通信できません。
	T.1.2	送信枚数設定の送信で2枚送りが発生した	▶ 相手側に受信枚数（ページ数）確認を依頼し、再送信してください。
	T.1.4	交信開始時にストップキーを押した（通信管理記録のみ表示）	▶ 再送信してください。
	T.2.1	回線状態が悪く（特に海外）相手機が回線を切った	▶ 再送信してください。何度もこのエラーが発生する場合は、インフォメーションセンターへご連絡ください。（裏表紙参照）
		相手機が閉域通信設定でパスコードが合わない	▶ 相手側の設定を確認してください。閉域通信設定で使用されていればパスコードを合わせてください。
	T.2.2	親展送信・中継指示送信で相手機にその機能がない、または親展送信で相手機に所定の親展者コードが設定されていない場合	▶ 相手先の機種および設定状況を確認してください。
	T.2.3	回線障害などが原因で、最低速度でも交信できない	▶ 再送信してください。何度もこのエラーが発生する場合は、インフォメーションセンターへご連絡ください。（裏表紙参照）
	T.3.1	連続送信時2枚目以降が繰り込みエラーとなった	▶ エラーが発生したページより再度送信してください。
		900 mm以上の原稿を送信した	▶ 1ページを900 mm以内に切って送信してください。
		交信中断のあと「ランプを確認して下さい」と表示した場合は光源の光量不足	▶ 電源スイッチをOFF→ONしてコピーをとってみてください。「ランプを確認して下さい」表示しなければ再度送信してください。コピーでも「ランプを確認して下さい」表示となる場合はインフォメーションセンターへご連絡ください。（裏表紙参照）
	T.3.2	回線障害などが原因で交信できなかった。	▶ 再送信してください。何度もこのエラーが発生する場合は、インフォメーションセンターへご連絡ください。（裏表紙参照）

T：送信時の異常

モード	エラーコード	コードの内容	対応・処理の方法
G3送信	T.4.1	原稿を送信中に回線障害などが原因で相手機が回線を切った	▶ 再送信してください。何度もこのエラーが発生する場合は、インフォメーションセンターへご連絡ください。（裏表紙参照）
	T.4.2	相手側で画質異常となった（回線障害などが原因）	▶ 送信したページはすべて相手側に届いていますが、1部うつりが悪くなっている可能性があります。相手側に受信画質の確認を依頼してください。
	T.4.4	原稿を送信中に回線が切れた（回線障害などが原因）	▶ 再送信してください。
ECM送信	T.5.1、T.5.2 T.5.3	原稿を送信中に回線が切れた（回線障害などが原因）	▶ 再送信してください。何度もこのエラーが発生する場合は、インフォメーションセンターへご連絡ください。（裏表紙参照）
	T.8.10、 T.8.11	回線障害などが原因で交信できなかった。	
	T.8.1	受信モードが合わない	▶ 相手側を確認して下さい。相手側機がファクスではないことがあります。

R：受信時の異常

モード	エラーコード	コードの内容	対応・処理の方法
G3受信	R.1.1	手動受信または転送受信を行ってファクスが受信状態になったが相手から信号がこない	▶ 送信側の操作ミスが考えられます。 相手がわかっている場合はもう一度送信を依頼してください。
	R.1.2	送信機とのモードが合わない	▶ 相手がわかっている場合はもう一度送信を依頼してください。何度もこのエラーが発生する場合はインフォメーションセンターへご連絡ください。（裏表紙参照）
		ダイレクトメール禁止中にダイレクトメールを受信した（通信管理記録のみ表示）	
	R.1.4	受信中にストップキーを押した（通信管理記録のみ表示）	▶ 相手がわかっている場合はもう一度送信を依頼してください。
	R.1.5	回線障害などが原因で交信できなかった	▶ 相手がわかっている場合はもう一度送信を依頼してください。何度もこのエラーが発生する場合はインフォメーションセンターへご連絡ください。（裏表紙参照）
	R.2.3	回線障害などが原因で回線が切れた	
	R.3.1	送信側で原稿を引き抜いた またはストップキーを押した	
	R.3.3	受信中に信号が途切れた（回線障害などが原因）	
	R.3.4	最低のスピードでも受信できない（回線障害などが原因）	
	R.3.5	メモリーオーバーで受信できなかった	▶ メモリー残量を確認してもう一度送信を依頼してください。
	R.4.2	受信中に信号が切れた（回線障害などが原因）	▶ 相手がわかっている場合はもう一度送信を依頼してください。何度もこのエラーが発生する場合はインフォメーションセンターへご連絡ください。（裏表紙参照）
	R.4.4	メモリー容量オーバー（通信管理記録にのみ記載）	
ECM受信	R.5.1	受信中に信号が途切れた 送信側でストップキーを押した	▶ 相手がわかっている場合はもう一度送信を依頼してください。何度もこのエラーが発生する場合はインフォメーションセンターへご連絡ください。（裏表紙参照）
	R.5.2	受信中に信号が途切れた（回線障害などが原因）	
	R.8.10、 R.8.11	回線障害などが原因で交信できなかった	
	R.8.1	通信機とのモードが合わない	▶ 相手側を確認して下さい。ポーリングにて、相手に原稿が無いなど。

液晶ディスプレイ上にあらわれるメッセージ

エラーメッセージ	原因	対応方法	参照ページ
数字－数字　ヲ　ドウゾ （例：1－99　ヲ　ドウゾ）	セットできない数字が入力されました。	▶表示されている範囲の数字を入力してください。	
キロクシ　ヲ　カクニン　シテクダサイ	記録紙がつまっています。	▶つまっている記録紙を取り除いてください。	136
	記録紙が無くなりました。	▶記録紙を補給してください。	14
ケタスウ　オーバー　デス	名前や番号入力のとき、最大桁数を越えました。	▶最大桁数内で入力し直してください。	
●原稿1枚目でつまったとき パネル　ミギ　ヨコ　ノ　レバーデ カイヘイシ　ゲンコウ　サイセット ●原稿2枚目でつまったとき ゲンコウガ　ツマリマシタ ツヅキノヨミトリ　セット／クリア	原稿の読み取り中に原稿づまりが発生しました。	▶つまった原稿を取り除き、セットし直してください。 ▶原稿カバーを開けて異物がないことを確認します。 ▶ セット キーを押すと、読み取りを続ける操作を行います。 ▶ クリア キーを押すと、それまでに蓄積した原稿のデータは消え、待機状態になります。 ＊1分間指示しない場合は、蓄積した原稿のデータを消去し、待機状態になります。	137
●原稿1枚目でメモリー容量オーバー メモリー　オーバー　デス ●原稿2枚目以降 メモリー　オーバー　デス メモリー　ブンノミ　スタート／クリア	原稿の蓄積中にメモリー容量をオーバーしたことを示し、自動的に原稿の読み取りを中止します。	▶リアルタイム送信に切り換えて再度操作してください。 ▶ スタート キーを押すと蓄積済みの原稿のうち、前ページまで登録完了とし、与えられた操作を行います。 ▶ クリア キーを押すと、それまでに蓄積した原稿のデータは消え、待機状態になります。 ＊1分間指示をしない場合 ・メモリー送信のとき蓄積した原稿を消去します。 ・コピーのときは蓄積した分のコピーを開始します。	24
ゲンコウカバー　ヲ　トジテクダサイ トップカバー　ヲ　トジテクダサイ	表示されたカバーが開いています。	▶表示されたカバーを一度開けて、再度確実に閉め直してください。	
ゲンコウ　ガ　アリマセン	親展受信原稿やポーリング原稿、Fコードボックスに原稿がありません。	▶親展受信通知・Fコードボックス受信通知を確認してください。 ▶メモリー期間が過ぎており、消去されていることも考えられます。 ▶Fコード蓄積原稿リストをプリントして、原稿があるか確認してください。	75、83 84

ゲンコウ　ガ　セット　サレテイマス	リアルタイム送信中、予約中または原稿の読み取り中に スタート キーが押されました。	▶次のいずれかの操作をします。 1. ストップ キーを押してセットしてある原稿を排出します。 2. 現在予約中の通信が終了してから再操作を行います。 3. 予約を取り消してから新たに予約します。	31
ゲンコウ　ガ　セット　ズミ　デス	ポーリング予約原稿に原稿が蓄積されています。	▶通常ポーリング原稿は1文書のみ蓄積できます。	71
ゲンコウ　ガ　チクセキサレテイマス	親展受信原稿が蓄積されています。	▶親展受信原稿が蓄積されているときは、ボックスを削除することはできません。	77
ゲンコウ　ヨミトリチュウ　デス	原稿読み取り中に右記の操作が行われました。	▶ コピー キーが押されました。 ▶他の宛先で送信が指示された。 ▶ポーリング予約文書の蓄積が指示された。原稿の読み取りが終了してから、操作をしてください。	
ゲンコウ　ヲ　セット　シテクダサイ	原稿をセットしないで送信やコピーをしようとしています。	▶原稿をセットして再度操作してください。	
コピーキンシ　チュウデス	コピー禁止セットがONになっている時に、コピーキーを押しました。	▶コピー禁止セットをOFFにすると、コピーできます。	132
＊＊　シバラク　オマチクダサイ　＊＊	サーマルヘッドが高温になり、印字を中断しています。	▶印字可能状態になると、自動的に表示は消えます。そのままでしばらくお待ちください。	
ジュシン　ゲンコウ　ガ　アリマス	セキュリティ受信した原稿があるときに、右記の操作が行われました。	▶セキュリティ受信を解除しようとしました。 ▶プロテクトコードを消去しようとしました。	
ジュワキ　ガ　アガッテイマス	交信終了時に受話器がはずれていたり、あがったままです。	▶受話器を戻します。 ＊戻すまでアラームが鳴り続けます。	
シンテンボックス　デス	Fコード原稿蓄積・消去で選択したボックスが親展ボックスです。	▶掲示板ボックスを選択してください。 ▶Fコードボックスリストをプリントして確認してください。	82、84 89
セット　サレテイマセン	ワンタッチ、短縮に相手先番号がセットされていません。 各種リストを出力しようとしたときに、何もセットされていません。	▶ワンタッチ・短縮・プログラムワンタッチリストを確認のうえ操作してください。 ▶各種登録をしてから再度操作をしてください。	109、111 122

エラーメッセージ	原因	対応方法	参照ページ
ダイヤルイン　セット　サレテイマセン	ダイヤルイン番号が登録されていないのに、ダイヤルインスイッチがONになっています。	▶ダイヤルインセットをし直してください。またはダイヤルインスイッチをOFFにしてください。	63
タダシイ　バンゴウ　ヲ　ドウゾ	短縮ダイヤル、グループダイヤルで相手先を指定するときに、ダイヤルキー以外のキーが押されました。	▶ダイヤルキーで正しい番号を入力してください。	
	親展ボックス指定時にボックス番号が入力されませんでした。	▶ボックス番号を入力してください。	
チクセキ　デキマセン	Fコード原稿蓄積時、選択したボックスには、すでに30件蓄積されています。	▶原稿を消去するか、他のボックスを選択してください。	82、84
チョクセツダイヤル　1カショ　イナイ	FAXワープの転送先登録時、ダイヤルキーによる相手先番号の指定が2ケ所以上あります。	▶ダイヤルキーによる相手先番号の指定数は1ヶ所だけです。	66
チョクセツダイヤル　20カショ　イナイ	同報送信などでダイヤルキーによる相手先番号の指定が20ヶ所を超えています。	▶ダイヤルキーによる相手先番号の指定数は20ヶ所までです。	50
ツウシン　エラー	通信エラーが発生しました。	▶通信エラーの内容を確認して、再操作してください。 ＊エラーランプは［ストップ］キーを押すと消えます。	141
ツウシンケッカ　アリマセン	通信は一度も行われていません。		
ツウシン　デキマセン	送信・受信の指示登録が一杯です。	▶次のいずれかの操作をします。 1. ［ストップ］キーを押してセットしてある原稿を排出します。 2. 現在予約中の通信が終了してから再操作を行います。 3. 予約を取り消してから新たに予約します。 4. 手動送信を行います。	31 28
ツウシンチュウ　デス	ポーリング送信中にポーリング原稿消去の操作が行われました。	▶通信終了後、再操作してください。	
ツウシンマチ　アリマセン	指定したファイル番号に予約がありません。	▶通信予約リストまたは、［ファクス中止／確認］キーで予約状況を確認してください。	31

エラーメッセージ	原因	対応方法	参照ページ
バンゴウ　ガ　チガイマス	暗証番号が間違っています。	▶正しい暗証番号を入力してください。	
バンゴウ　ガ　トウロクサレテイマス	すでに同じ番号が登録されています。	▶リストなどで確認して、異なる番号を登録してください。	
バンゴウ　10カショ　イナイ	中継指示のグループ番号、ポーリングのファイル番号の指定など、最大10件以内の操作のときに10件以上入力しました。	▶10件以内でセットしてください。	
ブモンコード　ガ　ミトウロクデス	部門管理コードが登録されていません。	▶部門管理コードを登録してください。	97
プリントチュウ　デス	プリント中にプリントさせる操作をしました。	▶プリントが終了してから再操作してください。	
プロテクトコード　ガ　チガイマス	プロテクトコードが間違えて入力されました。	▶正しいプロテクトコードを入力し直してください。	
プロテクトコード　ミトウロクデス	プロテクトコードが必要ですが登録されていません。	▶プロテクトコードを登録してください。	126
ボックス　シヨウチュウ	一括送信ボックスの登録・消去の時に、選択したボックスが使用されてます。	▶使用されている状態を解除してから、ボックスの登録・消去を行ってください。	56
	Fコードの原稿蓄積等で選択したボックスが使用中です。	▶使用されている状態を解除してから、原稿蓄積等を行ってください。	83
マイスウ　ヲ　カクニン　シテクダサイ	原稿枚数セットでセットした枚数より、読み取った枚数が少ないとき表示されます。	▶正しい枚数をセットしてください。 ▶原稿を重ねて読み取っていることがありますのでチェックしてください。	99
ヨヤクゲンコウ　ガ　アリマセン	通信予約原稿のプリント指示をした予約番号が、リアルタイム送信またはポーリングの予約でした。	▶予約原稿をプリントできるのは、メモリー内に原稿が蓄積される通信予約です。予約状況を確認のうえ、再操作してください。	31
ランプ　カクニン	原稿読取用の光源の光量不足または光源が不良です。	▶代行受信などメモリーに蓄積されている原稿が無いことを確認してから、一度電源をOFF／ONにしてください。その後、コピーを行い、光源がつくか確認してください。 ▶光源がつかない場合、エラーが消えない場合は、お買いあげの販売店またはインフォメーションセンターへご連絡ください。	裏表紙

6 停電のとき

本体の動作

●停電になったとき

通話中は…	引き続き通話ができます。
送信中は…	送信が途中で切れます。 停電が復旧したら、メモリー送信のときは、送信途中のページから自動的に再送信します。 リアルタイム送信のときは、再送信を行いません。もう一度送信してください。
受信中は…	受信が途中で切れます。 停電が復旧したら、受信が終了しているページはプリントします。
コピー中は… リストプリント中は…	プリントが途中で止まります。
原稿の読み取り中は…	読み取りが途中で停止します。停電が復旧しても、読み取りは再開しません。復旧後は ストップ キーを押して原稿を排出してください。

●停電中

電話をかける	本体電話のダイヤルキーを利用して、電話をかけることができます。保留はできません。
電話を受ける	本体電話で、電話を受けることができます。保留はできません。 ダイヤルインサービスやナンバー・ディスプレイをご利用の場合は、特別な操作を行う必要があります。 【PBダイヤルインをご契約の場合】 ①呼び出しベルが2回鳴るまでに本体電話を上げる。 ②プッシュ信号「ピッポッパッ」という発信音を聞く。 ③発信音の後、2秒以内に本体電話を元に戻す。 ④もう一度、本体電話を上げると通話できる。 【モデムダイヤルインまたはナンバー・ディスプレイをご契約の場合】 ①短い間隔の呼び出しベルが鳴り終わるまで待つ。約6秒（ベル音約7回） ②呼び出しベルの間隔が長くなったときに受話器（本体電話機）を上げると通話できる。 ＊①の呼び出しベルで本体電話を上げた場合、「ピーガー」という発信音を聞いたら直ぐに受話器を元に戻してください。その後、再び呼び出しベルが鳴りますので、本体電話を上げると通話できます。
ファクスの送信	送信できません。
ファクスの受信	受信できません。

メモリーバックアップ

- メモリーに蓄積された画像データは、停電や電源をOFFにしたときでも、次のような条件で保持されます。
  - ・メモリーに蓄積された画像データは、約100時間保持されます。ただし、あらかじめ24時間連続して通電されている必要があります。
  - ・画像データのバックアップ時間はメモリー容量によって異なります。
    1.2MByte … 約100時間（標準メモリー）
    3.2MByte … 約 50時間（2MByte増設時）
    5.2MByte … 約 30時間（4MByte増設時）

消去通知

- メモリーに蓄積された画像データが消えてしまった場合は、電源が復旧した時点で消去通知をプリントし、消えてしまった画像データの情報をお知らせします。
- 下記は、代行受信文書が消去された場合の消去通知例です。このほか「親展受信消去通知」「通信予約消去通知」「ポーリング原稿消去通知」「Fコードボックス原稿消去通知」がプリントされる場合があります。

ABC商事㈱　　Fax:123-456-7890

代行受信消去通知

P.1

通番	相手先名	ﾓｰﾄﾞ	開始日時	時間	枚数	部門	結果	備考
001	ｷｮｳﾄｼﾃﾝ	標準	14,12:38	0'29"	1	0000	* O K	

代行受信原稿が消去されました。.....

1. 通番
通信の番号です。

2. 相手先名
以下の順に記録されます。
（1）ワンタッチダイヤルなどに登録されている相手先名（送信のみ）
（2）ワンタッチダイヤルなどに登録されている電話番号、またはダイヤルボタンで指定した電話番号（送信のみ）
（3）相手先の自局名
（4）相手先の自局ID
（5）空白(相手先で自局名・自局IDが登録されていない場合など)

3. モード
通信した画質です。

4. 開始日時
通信を開始した時刻です。

5. 時間
通信の開始から終了までの所要時間です。

6. 枚数
受信した枚数です。

7. 部門
部門管理を設定しているときに、部門番号が記録されます。

8. 結果
通信結果です。
・OK …………… 正常終了しました。
・＊ …………… ECMモードで通信しました。
・＃ …………… スーパーG3で通信しました。
・エラーコード… 異常終了です。もう一度送信してください。(エラーコードについては142ページ参照)

9. 備考
・親　　展 …… 親展受信です。
・ポーリング …… ポーリング受信です。
・手　　動 …… 手動受信です。
・検索ポー …… 検索ポーリング受信です。
・F ポー ……… Fコードポーリングです。
・F 親展 ……… Fコード親展受信です。
・F 中継 ……… Fコード中継受信です。
・F 掲示板 …… Fコード掲示板受信です。

7 故障かなと思ったら

●故障かなと思ったときにお読みください。万一ここで書かれた処置を行っても異常が直らない場合には最寄りのインフォメーションセンター（裏表紙）にご連絡ください。

こんなときは	原因／チェック項目	処　置	参照ページ
動作しない ・ディスプレイに何も示されない ・パネルのキーを押しても受け付けない ・原稿が自動的に引き込まれない	1.電源コードはしっかりと差し込んでありますか。	▶ 電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。	12
	2.電源スイッチはONになっていますか。	▶ 電源スイッチをONにしてください。 [｜]･･･ON　[○]･･･OFF	12
ダイヤルできない	1.回線接続コードが本機(LINE)と電話回線に正しく接続されていますか。	▶ 正しく接続してください。	13
	2.電話回線の種類は正しく設定されていますか。	▶ 正しく設定してください。	16
ダイヤルしても送信できない	1.電話回線の種類は正しく設定されていますか。	▶ 正しく設定してください。	16
	2.原稿は正しくセットされていますか。	▶ 正しくセットしてください。	22
	3.相手機に記録紙がセットされていますか。	▶ 相手に記録紙をセットするよう連絡をしてください。	
	4.電話番号が間違っていませんか。またワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに登録してある電話番号が間違っていませんか。	▶ 正しい電話番号をダイヤル、もしくは登録しなおしてください。	108、110
	5.本機が自動リダイヤルをしたにも関わらず、相手が応答しなかったのではないのですか。	▶ もう一度はじめからやりなおしてください。 ▶ 下記の「3.相手先のファクスに...」の処置を行ってください。	
電源は入るが送信できない	1.送信の手順をまちがえていませんか。	▶ もう一度、送信の手順を確認してからやりなおしてください。	
	2.電話回線の種類は正しく設定されていますか。	▶ 正しく設定してください。	16
	3.相手先のファクスにトラブルが発生したかもしれません。以下のことを確認してください。 ① 相手先のファクス切り替えが正常に行われていますか？	▶ 手動で相手先のファクス番号にかけ、ファクスに切り替わるかどうかを確認してください。相手先のファクスが作動しなかった場合、相手先に以下の②～④の項目を確認してください。	28

こんなときは	原因／チェック項目	処　　置	参照ページ
電源は入るが送信できない	② 相手先のファクスの電源は入っていますか？	▶ 電源を入れてもらってください。	
	③ 相手先のファクスが自動受信になっていますか？	▶ 自動受信にしてもらってください。	
	④ 相手先のファクスの記録紙がなくなっていませんか？	▶ 記録紙を補給してもらってください。	
原稿が連続して送信されない	1.原稿の先端を階段状にセットしていますか。	▶ 正しくセットしてください	22
	2.セットした原稿の中に最小幅（120 mm）より狭い幅の原稿がセットされていませんか。	▶ 最小幅より狭い原稿はキャリアシートに入れ、残りの原稿とは別に送信してください。	23
	3.キャリアシートが原稿に混ざっていませんか。	▶ キャリアシートを使うと原稿分離が不十分になりやすいので、1枚ずつ送信してください。	22
手動送信できない	受話器を置いた後で スタート キーを押したのではないですか。	▶ 受話器を置く前に スタート キーを押してください。もう一度はじめからやりなおしてください。	28
メモリー送信のとき原稿が読み込まれない	1.原稿は正しくセットされていますか。	▶ 正しく原稿をセットしてください	22
	2.メモリーがいっぱいではありませんか。	▶ メモリー容量が数%の場合、原稿を蓄積できない場合があります。	23
親展送信できない	1.相手機に親展受信機能はありますか。	▶ 相手機が親展受信機能をもっていなければ、親展送信はできません。	74
	2.相手機にも親展セットされていますか。	▶ 相手機で親展セットしていただいてください。	74
自動受信しない	1.液晶表示にカレンダーが表示されていますか。	▶ 表示されていないときは、電源スイッチを入れてください。	12
	2.自動受信モードになっていますか。	▶ 自動受信ランプが点灯していないときは 自動受信 キーを押して点灯させてください。	10
	3.メモリーがいっぱいではありませんか。	▶ メモリー容量が数%の場合、原稿を蓄積できない場合があります。	23
手動受信できない	受話器を置いた後で スタート キーを押したのではないですか。	▶ 受話器を置く前に スタート キーを押してください。	28
ポーリング受信ができずにチェックメッセージがプリントされる	1.パスコードが相手機と一致していますか。	▶ パスコードを一致させて、交信しなおしてください。	70
	2.相手先がポーリング原稿を登録していますか。	▶ 相手先にポーリング原稿の登録を依頼してください。	
受信画像がうすい	1.原稿の画像がうすい。（鉛筆書きの原稿など）	▶ 相手先に原稿を濃くしてもらうか、濃度調整を依頼してください。	

こんなときには	原因／チェック項目	処　　置	参照ページ
受信画像がうすい	2. 原稿の色が黄色や緑色などである。	▶ 相手先に原稿の色を黒系統に変えていただくように依頼してください。（コピーをとられることをおすすめします。）	
	3. 当社指定以外の記録紙を使っていませんか。	▶ 当社指定の記録紙をご使用ください。	172
受信画像が濃い	1. 原稿の地色が濃い。	▶ 相手先の原稿を確認して、原稿の地色部と画像にコントラスト（明暗）をつけてもらうか、濃度調整を依頼してください。	
	2. 当社指定以外の記録紙を使っていませんか。	▶ 当社指定の記録紙をご使用ください。	172
受信画像が何も写らない	1. 送信側で原稿を表裏逆に送っていませんか。	▶ 相手先に表裏を確認して、もう一度送信を依頼してください。	
	2. 記録紙の裏表を間違えていませんか。	▶ 裏表を確認して正しくセットしてください。	14
受信画像が真っ黒である		▶ インフォメーションセンターにご連絡ください。	裏表紙
画像にムラ（乱れ）がある	相手の送信のしかたに問題があるのではないですか。	▶ 本機でコピーをしてみてきれいにとれるようであれば、相手に電話をかけて正しく送信するように指示してください。	
記録紙が出てこない	記録紙がつまっていませんか。（「キロクシ ヲ トリノゾイテクダサイ」 が表示されていますか）	▶ エラーメッセージを確認の上、つまっていれば取り除いてください。	136
原稿が出てこない	原稿がつまっていませんか。	▶ つまった原稿を取り出し、再セットしてください。	137
コピーをしても記録紙が何も印字されない	1. 原稿を裏表逆にセットしているのではないですか。	▶ 正しく原稿をセットしてください。	22
	2. 記録紙の裏表を間違えていませんか。	▶ 裏表を確認して正しくセットしてください。	14
時計データやワンタッチダイヤル等の登録内容が消えてしまう	長時間電源を切ったままにしたり、日常電源を切って使用することをしていませんでしたか。	▶ 登録内容を保持しているバッテリの寿命が尽きたことが考えられます。インフォメーションセンターにご連絡ください。	裏表紙
電話が通じない （電話機を上げても発信音「ツー」が聞こえない）	1. 通信中ではありませんか。（ディスプレイの表示を確認してください。）	▶ 通信終了までお待ちください。	
	2. 電話回線は正しく接続されていますか。	▶ 正しく接続してください。	12,13
トップカバーが閉まらない	カバーの片方を押していませんか。	▶ 両端を押して閉めてください。	

●上記の処置をしてもなおエラーを解除できない場合には

いったん電源スイッチをOFFにして、約5秒たってからONにし、この取扱説明書をよくお読みになってもう一度操作してみてください。それでも正常に動作しない場合は、電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜いてインフォメーションセンターにご連絡ください。

第6章 付録

もくじ

1 文字一覧表

●発信元名やメッセージ送信の登録で漢字コード入力する場合や、相手先名などでコード入力する場合、登録する文字の文字コードが必要となります。
ここでは、漢字コードの入力、コード入力、またローマ字の入力のしかた等を表にして記載しています。コード入力やローマ字の入力のしかたがわからないときは、この文字対応表を参照してください。

文字コードの探しかた

● ここでは、例として宛先の「宛」の文字の文字コードを探すときについて説明します。

	①＼②	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
あ	302		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢	葵	茜	穐	悪	握	渥
	303	旭	葦	芦	鯵	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾	鮎	或
	304	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇	鞍	杏						

「宛」の左にある①欄の数字／記号に、上にある②欄の数字を組み合わせたものが、「宛」の文字コード番号になります。

3 0 3 8
（303：①　8：②）

コード入力文字対応表

● コードキーを押して入力します。
● 実際にディスプレイに表示、または用紙にプリントされる文字／記号は、ここに記載してある文字／記号とは若干形状が異なります。

半角文字コード表

	①＼②	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
記	2	SP	!	"	#	$	%	&	'	(	)	*	+	,	−	.	/
号	3	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
・	4	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
英	5	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[	¥	]	^	_
／	6	`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
数	7	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{	|	}	→	←
字	8																
・	9																
カ	A		｡	｢	｣	､	･	ｦ	ｧ	ｨ	ｩ	ｪ	ｫ	ｬ	ｭ	ｮ	ｯ
タ	B	ｰ	ｱ	ｲ	ｳ	ｴ	ｵ	ｶ	ｷ	ｸ	ｹ	ｺ	ｻ	ｼ	ｽ	ｾ	ｿ
カ	C	ﾀ	ﾁ	ﾂ	ﾃ	ﾄ	ﾅ	ﾆ	ﾇ	ﾈ	ﾉ	ﾊ	ﾋ	ﾌ	ﾍ	ﾎ	ﾏ
ナ	D	ﾐ	ﾑ	ﾒ	ﾓ	ﾔ	ﾕ	ﾖ	ﾗ	ﾘ	ﾙ	ﾚ	ﾛ	ﾜ	ﾝ	ﾞ	ﾟ

補足：「SP」はスペース（空白）を示しています。

漢字コード入力文字対応表

- 発信元名登録、メッセージ登録のときに入力できます。
- 実際にディスプレイに表示、または用紙にプリントされる文字／記号は、ここに記載してある文字／記号とは若干形状が異なります。

全角文字コード表

	①＼②	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
記号	212		SP	、	。	，	．	・	：	；	？	！	゛	゜	´	｀	¨
	213	＾	￣	＿	ヽ	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―	‐	／
	214	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’	“	”	（	）	〔	〕	［	］
	215	｛	｝	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】	＋	－	±	×
	216	÷	＝	≠	＜	＞	≦	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
	217	＄	¢	£	％	＃	＆	＊	＠	§	☆	★	○	●	◎	◇	
	222		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒	→	←	↑	↓	〓	
英／数字	233	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9						
	234		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
	235	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z					
	236		a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
	237	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z					

補足：「SP」はスペース（空白）を示しています。

	①＼②	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
ひらがな	242		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ	お	か	が	き	ぎ	く
	243	ぐ	け	げ	こ	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ	ぞ	た
	244	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は
	245	ば	ぱ	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ	ぼ	ぽ	ま	み
	246	む	め	も	ゃ	や	ゅ	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
	247	ゐ	ゑ	を	ん												
カタカナ	252		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク
	253	グ	ケ	ゲ	コ	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ	ゾ	タ
	254	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ
	255	バ	パ	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ	ボ	ポ	マ	ミ
	256	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
	257	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ									
ギリシャ文字	262		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο
	263	Π	Ρ	Σ	Τ	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω							
	264		α	β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο
	265	π	ρ	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω							
ロシア文字	272		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н
	273	О	П	Р	С	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы	Ь	Э
	274	Ю	Я														
	275		а	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й	к	л	м	н
	276	о	п	р	с	т	у	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
	277	ю	я														

漢字文字コード表／読み対応表

補足：表中のかなの文字コードについては、ひらがな／カタカナの文字コード表を参照してください。

	①＼②	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
あ	302		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢	葵	茜	穐	悪	握	渥
	303	旭	葦	芦	鯵	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾	鮎	或
	304	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇	鞍	杏						
い	304											以	伊	位	依	偉	囲
	305	夷	委	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異	移	維	緯	胃
	306	萎	衣	謂	違	遺	医	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
	307	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻	引	飲	淫	胤	蔭	
	312		院	陰	隠	韻	吋										
う	312							右	宇	烏	羽	迂	雨	卯	鵜	窺	丑
	313	碓	臼	渦	嘘	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂	云	運
	314	雲															
え	314		荏	餌	叡	営	嬰	影	映	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎
	315	頴	英	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越	閲	榎	厭	円
	316	園	堰	奄	宴	延	怨	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
	317	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩									
お	317								於	汚	甥	凹	央	奥	往	応	
	322		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬	鴎	黄	岡	沖	荻	億
	323	屋	憶	臆	桶	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音				
か	323													下	化	仮	何
	324	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁	家	寡	科	暇	果	架	歌	河
	325	火	珂	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓	蝦	課	嘩	貨
	326	迦	過	霞	蚊	俄	峨	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
	327	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔	恢	懐	戒	拐	改	
	332		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥	蟹	開	階	貝	凱	劾
	333	外	咳	害	崖	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬	馨	蛙
	334	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫
	335	覚	角	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額	顎	掛	笠	樫
	336	橿	梶	鰍	潟	割	喝	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
	337	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌	噛	鴨	栢	茅	萱	
	342		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊	勘	勧	巻	喚	堪	姦
	343	完	官	寛	干	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺	款	歓
	344	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦
	345	莞	観	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館	舘	丸	含	岸
	346	巌	玩	癌	眼	岩	翫	贋	雁	頑	顔	願					

	①\②	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
き	346												企	伎	危	喜	器
	347	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机	旗	既	期	棋	棄	
	352		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀	紀	徽	規	記	貴	起
	353	軌	輝	飢	騎	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺	犠	疑
	354	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵
	355	黍	却	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸	宮	弓	急	救
	356	朽	求	汲	泣	灸	球	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
	357	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁	禦	魚	亨	享	京	
	362		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡	卿	叫	喬	境	峡	強
	363	彊	怯	恐	恭	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興	蕎	郷
	364	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅
	365	勤	均	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊	芹	菌	衿	襟
	366	謹	近	金	吟	銀											
く	366						九	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
	367	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅	串	櫛	釧	屑	屈	
	372		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂	栗	繰	桑	鍬	勲	君
	373	薫	訓	群	軍	郡											
け	373						卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭	珪	型
	374	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系
	375	経	継	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚	鶏	芸	迎	鯨
	376	劇	戟	撃	激	隙	桁	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
	377	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌	建	憲	懸	拳	捲	
	382		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県	肩	見	謙	賢	軒	遣
	383	鍵	険	顕	験	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現	絃	舷
	384	言	諺	限													
こ	384				乎	個	古	呼	固	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯
	385	湖	狐	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇	顧	鼓	五	互
	386	伍	午	呉	吾	娯	後	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
	387	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功	効	勾	厚	口	向	
	392		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工	巧	巷	幸	広	庚	康
	393	弘	恒	慌	抗	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構	江	洪
	394	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱
	395	腔	膏	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱	砿	鋼	閤	降
	396	項	香	高	鴻	剛	劫	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
	397	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑	忽	惚	骨	狛	込	
	3A2		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇	昏	昆	根	梱	混	痕
	3A3	紺	艮	魂													
さ	3A3				些	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂	詐	鎖
	3A4	裟	坐	座	挫	債	催	再	最	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽

	② / ①	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
さ	3A5	歳	済	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁	載	際	剤	在
	3A6	材	罪	財	冴	坂	阪	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
	3A7	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜	鮭	笹	匙	冊	刷	
	3B2		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒
	3B3	三	傘	参	山	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕	讃	賛
	3B4	酸	餐	斬	暫	残											
し	3B4						仕	仔	伺	使	刺	司	史	嗣	四	士	始
	3B5	姉	姿	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯	施	旨	枝	止
	3B6	死	氏	獅	祉	私	糸	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
	3B7	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児	字	寺	慈	持	時	
	3C2		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而	耳	自	蒔	辞	汐	鹿
	3C3	式	識	鴫	竺	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉	湿	漆
	3C4	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦
	3C5	斜	煮	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺	尺	杓	灼	爵
	3C6	酌	釈	錫	若	寂	弱	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
	3C7	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹	綬	需	囚	収	周	
	3D2		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋	終	繍	習	臭	舟	蒐
	3D3	衆	襲	讐	蹴	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十	従	戎
	3D4	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟
	3D5	出	術	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循	旬	楯	殉	淳
	3D6	準	潤	盾	純	巡	遵	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
	3D7	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐	恕	鋤	除	傷	償	
	3E2		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨	妾	娼	宵	将	小	少
	3E3	尚	庄	床	廠	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶	松	梢
	3E4	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦	照	症	省	硝	礁	祥	称	章
	3E5	笑	粧	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔	詳	象	賞	醤
	3E6	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
	3E7	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲	醸	錠	嘱	埴	飾	
	3F2		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食	蝕	辱	尻	伸	信	侵
	3F3	唇	娠	寝	審	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申	疹	真
	3F4	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診	身	辛	進	針	震	人	仁	刃
	3F5	塵	壬	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭						
す	3F5											笥	諏	須	酢	図	厨
	3F6	逗	吹	垂	帥	推	水	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
	3F7	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉	椙	菅	頗	雀	裾	
	402		澄	摺	寸												
せ	402					世	瀬	畝	是	凄	制	勢	姓	征	性	成	政
	403	整	星	晴	棲	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製	西	誠
	404	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析
	405	石	積	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙	接	摂	折	設
	406	窃	節	説	雪	絶	舌	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦

	②／①	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
せ	407	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎	煽	旋	穿	箭	線	
	412		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践	選	遷	銭	銑	閃	鮮
	413	前	善	漸	然	全	禅	繕	膳	糎							
そ	413										噌	塑	岨	措	曾	曽	楚
	414	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創
	415	双	叢	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想	捜	掃	挿	掻
	416	操	早	曹	巣	槍	槽	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
	417	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗	霜	騒	像	増	憎	
	422		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息	捉	束	測	足	速	俗
	423	属	賊	族	続	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜		
た	423															他	多
	424	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆
	425	対	耐	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎	腿	苔	袋	貸
	426	退	逮	隊	黛	鯛	代	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
	427	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁	諾	茸	凧	蛸	只	
	432		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿	棚	谷	狸	鱈	樽	誰
	433	丹	単	嘆	坦	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪	綻	耽
	434	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断	暖	檀	段	男	談			
ち	434														値	知	地
	435	弛	恥	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築	畜	竹	筑	蓄
	436	逐	秩	窒	茶	嫡	着	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
	437	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯	丁	兆	凋	喋	寵	
	442		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑	暢	朝	潮	牒	町	眺
	443	聴	脹	腸	蝶	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗	直	朕
	444	沈	珍	賃	鎮	陳											
つ	444						津	墜	椎	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴
	445	槻	佃	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷	嬬	紬	爪	吊
	446	釣	鶴														
て	446			亭	低	停	偵	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
	447	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締	艇	訂	諦	蹄	逓	
	452		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴	的	笛	適	鏑	溺	哲
	453	徹	撤	轍	迭	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼	転	顛
	454	点	伝	殿	澱	田	電										
と	454							兎	吐	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡
	455	登	菟	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴	怒	倒	党	冬
	456	凍	刀	唐	塔	塘	套	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
	457	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等	答	筒	糖	統	到	
	462		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透	鐙	陶	頭	騰	闘	働

1 文字一覧表

	② ①	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
と	463	動	同	堂	導	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠	鴇	匿
	464	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届
	465	鳶	苫	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁	頓	呑	曇	鈍
な	466	奈	那	内	乍	凪	薙	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
	467	軟	難	汝													
に	467				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉	虹	廿	日	乳	入	
	472		如	尿	韮	任	妊	忍	認								
ぬ	472									濡							
ね	472										禰	祢	寧	葱	猫	熱	年
	473	念	捻	撚	燃	粘											
の	473						乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能	脳	膿
	474	農	覗	蚤													
は	474				巴	把	播	覇	杷	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬
	475	俳	廃	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配	倍	培	媒	梅
	476	楳	煤	狽	買	売	賠	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
	477	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠	爆	縛	莫	駁	麦	
	482		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌	畑	畠	八	鉢	溌	発
	483	醗	髪	伐	罰	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判	半	反
	484	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範
	485	釆	煩	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮					
ひ	485												匪	卑	否	妃	庇
	486	彼	悲	扉	批	披	斐	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
	487	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微	枇	毘	琵	眉	美	
	492		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱	肘	弼	必	畢	筆	逼
	493	桧	姫	媛	紐	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表	評	豹
	494	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧
	495	賓	頻	敏	瓶												
ふ	495					不	付	埠	夫	婦	富	冨	布	府	怖	扶	敷
	496	斧	普	浮	父	符	腐	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
	497	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗	伏	副	復	幅	服	
	4A2		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏	物	鮒	分	吻	噴	墳
	4A3	憤	扮	焚	奮	粉	糞	紛	雰	文	聞						
へ	4A3											丙	併	兵	塀	幣	平
	4A4	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆
	4A5	偏	変	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁	鞭			

	①＼②	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
ほ	4A5														保	舗	鋪
	4A6	圃	捕	歩	甫	補	輔	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
	4A7	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖	抱	捧	放	方	朋	
	4B2		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒
	4B3	飽	鳳	鵬	乏	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴	望	某
	4B4	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨
	4B5	撲	朴	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔	本	翻	凡	盆
ま	4B6	摩	磨	魔	麻	埋	妹	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
	4B7	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭	繭	麿	万	慢	満	
	4C2		漫	蔓													
み	4C2				味	未	魅	巳	箕	岬	密	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙
	4C3	粍	民	眠													
む	4C3				務	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘			
め	4C3														冥	名	命
	4C4	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅	免	棉	綿	緬	面	麺		
も	4C4															摸	模
	4C5	茂	妄	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙	目	杢	勿	餅
	4C6	尤	戻	籾	貰	問	悶	紋	門	匁							
や	4C6										也	冶	夜	爺	耶	野	弥
	4C7	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮	鑓					
ゆ	4C7												愉	愈	油	癒	
	4D2		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽	悠	憂	揖	有	柚	湧
	4D3	涌	猶	猷	由	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕			
よ	4D3														予	余	与
	4D4	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶
	4D5	熔	用	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽	養	慾	抑	欲
	4D6	沃	浴	翌	翼	淀											
ら	4D6						羅	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
	4D7	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧								
り	4D7									利	吏	履	李	梨	理	璃	
	4E2		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立	葎	掠	略	劉	流	溜
	4E3	琉	留	硫	粒	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚	両	凌
	4E4	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力

第6章 付録

	② ①	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
り	4E5	緑	倫	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟				
る	4E5													瑠	塁	涙	累
	4E6	類															
れ	4E6		令	伶	例	冷	励	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
	4E7	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐	漣	煉	簾	練	聯	
	4F2		蓮	連	錬												
ろ	4F2					呂	魯	櫓	炉	賂	路	露	労	婁	廊	弄	朗
	4F3	楼	榔	浪	漏	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄	肋	録
	4F4	論															
わ	4F4		倭	和	話	歪	賄	脇	惑	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨
	4F5	椀	湾	碗	腕												

第二水準対応漢字一覧

コード	漢字
5047	佛
5464	壺
5656	嶽
565E	巖
5722	廣
5B58	檜
5B6A	條
5D2F	櫻
5E3C	渕
5F37	澤
6326	礒
6446	籠
6471	糀
6549	緝
6646	翔
666A	肛
685F	萬
687A	蓼
6B7A	證
6D52	輌
6E67	鈑
6F2A	鍼
6F45	鐵
7057	靭
7073	頌
723F	鮨
734F	麩
7A7C	燁
2D6A	㈱
2D6B	㈲

ローマ字変換表

あ行	あ	A	い	I	う	U	え	E	お	O
か行	か	KA CA	き	KI	く	KU CU	け	KE	こ	KO CO
さ行	さ	SA	し	SI CI SHI	す	SU	せ	SE CE	そ	SO
た行	た	TA	ち	TI CHI	つ	TU TSU	て	TE	と	TO
な行	な	NA	に	NI	ぬ	NU	ね	NE	の	NO
は行	は	HA	ひ	HI	ふ	HU FU	へ	HE	ほ	HO
ま行	ま	MA	み	MI	む	MU	め	ME	も	MO
や行	や	YA	い	YI	ゆ	YU			よ	YO
ら行	ら	RA	り	RI	る	RU	れ	RE	ろ	RO
わ行	わ	WA			う	WU			を	WO
ん	ん	NN								
が行	が	GA	ぎ	GI	ぐ	GU	げ	GE	ご	GO
ざ行	ざ	ZA	じ	ZI JI	ず	ZU	ぜ	ZE	ぞ	ZO
だ行	だ	DA	ぢ	DI	づ	DU	で	DE	ど	DO
ば行	ば	BA	び	BI	ぶ	BU VU	べ	BE	ぼ	BO
ぱ行	ぱ	PA	ぴ	PI	ぷ	PU	ぺ	PE	ぽ	PO

文字コード入力例

467C 4B5C	4B4C 3324 463B	4B5C 3D23	3B4D 3971	3665 3D23	3458 456C	3458 403E
日 本	北 海 道	本 州	四 国	九 州	関 東	関 西

3661 3526	4366 3971	4044 3F39	3464 3C6A	355C 3E6B	3D29 4544	3B33 3741	4A21 4567
近 畿	中 国	青 森	岩 手	宮 城	秋 田	山 形	福 島

3071 3E6B	464A 4C5A	3732 474F	3A6B 364C	4069 4D55	456C 357E	3F40 4660 406E
茨 城	栃 木	群 馬	埼 玉	千 葉	東 京	神 奈 川

3B33 4D7C	3F37 3363	4439 4C6E	4959 3B33	4050 406E	4A21 3066	3474 496C	4045 322C
山 梨	新 潟	長 野	富 山	石 川	福 井	岐 阜	静 岡

3026 434E	3B30 3D45	3C22 326C	4267 3A65	357E 4554	4A3C 384B	4F42 324E 3B33
愛 知	三 重	滋 賀	大 阪	京 都	兵 庫	和 歌 山

4660 4E49	443B 3C68	4567 3A2C	322C 3B33	392D 4567	3B33 387D	4641 4567	3961 406E
奈 良	鳥 取	島 根	岡 山	広 島	山 口	徳 島	香 川

3026 4932	3962 434E	4A21 322C	3A34 326C	4439 3A6A	3727 4B5C	4267 4A2C	355C 3A6A
愛 媛	高 知	福 岡	佐 賀	長 崎	熊 本	大 分	宮 崎

3C2F 3B79 4567	322D 466C	3B25 4B5A	4067 4266	3223 494D	4C3E 3845 3230	3F40 384D
鹿 児 島	沖 縄	札 幌	仙 台	横 浜	名 古 屋	神 戸

4554	495C	3829	3B54	442E	423C	3668	456C	403E	466E	4B4C
都	府	県	市	町	村	区	東	西	南	北

4A3F 402E	472F	376E	467C	3861 4130	3861 3865	3B7E	4A2C	4943
平 成	年	月	日	午 前	午 後	時	分	秒

3374 3C30 3271 3C52	4B5C 3C52	3B59 4539	3144 3648 3D6A	3D50 4425 3D6A	3E26 3B76
株 式 会 社	本 社	支 店	営 業 所	出 張 所	商 事

4974	325D	3738	3E4A	3649	3C3C	4B5C 4974	3B76 3648 4974	3C52 4439	3E6F 4C33
部	課	係	省	局	室	本 部	事 業 部	社 長	常 務

3C21 4439	4542	4D4D	486B 3D71	416D 4C33	3750 4D7D	3449 4D7D	332B 482F
次 長	殿	様	秘 書	総 務	経 理	管 理	開 発

482F 3F2E	3C75 3F2E	3971 3A5D	3324 3330	323C 352D
発 信	受 信	国 際	海 外	下 記

2 ファクシミリ通信網及びサービスの利用について

ファクシミリ通信網サービス

●詳しくは、お近くのNTT営業窓口へお問い合わせください。
ファクシミリ通信網は、NTTが提供するファクシミリ専用の通信回線で、局側に記憶装置やさまざまなサービス機能を持っていますので、多彩な利用が可能となっております。

●利用の申込みのしかた

①ファクシミリに接続された電話の、直轄NTT営業所に〈利用申し込み〉をします。
②種別については〈G3サービス〉と指定し、選択を要するサービスについて指定をします。
〔例えば〕●受信方式：鳴動受信（ベルが鳴って受信）
無鳴動受信（ベルが鳴らずに受信）
●短縮ダイヤル宛先数：40ヶ所／100ヶ所(有料)
●閉域接続について：実施する／実施しない(無料)
●ファクシミリボックス：利用する／しない(有料)
など。
③電話局より開通日の連絡があります。
④契約料・工事費用の請求があります。（電話代請求に含まれます。）
⑤利用を開始します。

●利用に際しての注意点

①ファクシミリ通信網はあらかじめお近くのNTT営業所へ、お申し込みのあった場合に限りご利用いただけます。（送信のみ）
②ファクシミリ通信網からの受信は、受信モード設定とは無関係に常に自動的に受信します。（申し込み時に無鳴動受信を選択した場合のみです。）
③ファクシミリ通信網での交信中は、相手側を呼び出して、音声による会話はできません。

●通信のしかた

1. 送信
相手方を呼び出すダイヤルの前に「161」「162」など（局呼び出し番号）を付けるだけで、通常の送信操作と同じです。

例えば、075-111-2222ファクシミリ通信網を通じて送信する場合、次のようになります。

■通常送信
原稿をセットする→電話を取り→〔161→プップップッ→075-111-2222→ピー〕→スタートキーを押す→電話を戻す

■ファクスのワンタッチ・短縮ダイヤルでの送信
原稿をセットする→〔A〕→スタートキー→送信開始
（登録は、例えばAに、161/075-111-2222と登録しておきます。また電話機を操作する必要はありません。）
〈“/”の登録については25ページを参照してください。〉
※「162」発信も可能です。

2. 受信
電話機のベルのならない「無鳴動着信」をします。
ファクシミリが手動受信（電話待機）にセットしてあっても、自動受信しますので、電源は入れたままにしておいてください。（申し込み時に無鳴動受信を選択した場合のみです。）

新電電系（NCC回線）の利用のしかた

●詳しくは、それぞれのサービス会社にお問い合わせください。

●利用申し込みのしかた

直接、新電電系通信サービス会社または代理店へ登録申し込みを行います。

●利用に際しての注意点

①利用できる地域に制限があります。
②料金を確認してください。

●通信のしかた

1. 送信
相手方を呼び出すダイヤルの前にそれぞれ利用する通信サービス会社固有の番号を入れて、通常の送信操作をします。
ワンタッチ・短縮ダイヤルの登録により自動発信できます。
2. 受信
通常と変わりません。

銀行のFAXサービスなどの利用のしかた

●詳しくは、それぞれの取り引き銀行やデータベース会社にお問い合わせください。

●利用申し込みのしかた

それぞれの取引銀行やデータベース会社へ直接利用申し込みをします。

●利用に際しての注意点

①利用できる地域に制限があります。
②料金を確認してください。

●通信のしかた

1. 送信
それぞれのサービス会社の手順に従ってください。
2. 受信
それぞれのサービス会社の手順に従ってください。なお、ポーズなど特定信号への対応は25ページをご覧ください。短縮／ワンタッチダイヤルにも登録できます。

IP電話を利用したファクス通信について

●詳しくは、ご利用になる接続業者にお問い合わせください。

●利用に際しての注意点

本製品は、IP電話を利用したファクス通信を保証しておりません(2005年2月現在)。ネットワークの状況によっては、通信エラーが発生する可能性があります。
エラーが発生する場合は、一般公衆回線経由で通信してください。接続業者によっては、相手先番号の前に特別な番号(0000など)を挿入する必要があります。その際は、プレフィクス機能をご使用ください。(53ページ参照)

●通信のしかた

1. 送信
IP電話を利用する手順に従ってください。
2. 受信
通常と変わりません。

3 アフターサービスについて

●ご使用中に異常が発生したときは、ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店またはインフォメーションセンターにご相談ください。
●お客様または第三者が本機の使用誤りによって生じた故障ならびにその不都合によって受けられた損害については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
●本機は厳重な品質管理と製品検査をへて出荷されますが、万一故障または不具合がありましたら、至急インフォメーションセンターまでご連絡ください。（裏表紙参照）

保証について

●本機には保証書がついています。保証書は販売店にて所定の事項を記入してお渡ししますので、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

①保証期間内

保証期間中（お買上げの日から1年間）、万一故障が生じたときは保証書に記載されている当社保証規定に基づき無償で修理いたします。当社保証規定以外の責はご容赦いただきます。ただし保証期間内であっても消耗品は有償となります。

②保証期間経過後

保証期間経過後には、所定の年契約を結んで保守を行う「保守契約」と、修理のご依頼がある場合のみお伺いする「オンコールサービス」があります。
詳しくは、お買上げの販売店またはインフォメーションセンターにご相談ください。

③補修性能部品の保有期間

当社は本機の性能を維持するために必要な補修用性能部品を、製造打ち切り後、最低7年間保有しています。修理によって本機の性能が維持できる場合、お客様のご要望により有償にて修理いたします。

●保守契約

保証期間が終了した後のメンテナンスサービスを、所定の年間契約にもとづいて実施するシステムです。
「オンコールサービス」より様々なメリットがあります。

1. **優先的に的確なサービスを受けられます。**
2. **契約期間中のサービス料は無料です。（消耗品は除きます）**
3. **オンコールにくらべ、割安です。**
4. **メンテナンス費用が的確になり、経費管理が簡単です。**
5. **訪問時、機器利用上のコンサルタントが受けられます。**

●オンコールサービス

お客様から修理のご依頼があるときだけ、お伺いする方式です。料金は当社規定の「オンコールサービス保守料金・修理部品価格表」に従って、その都度ご負担いただきます。

修理を依頼されるときは

●修理を依頼される前に、「故障かなと思ったら（150ページ参照）」の項目で、故障かどうかをお確かめください。故障の場合はお名前、住所、電話番号、機種名、購入年月日、故障の状態、道順と目標物、駐車可能な場所などをお買い上げの販売店またはインフォメーションセンターにご連絡ください。お申し出により出張修理いたします。

【ご注意】

①使用上の誤りや不当な修理・改造や当社指定以外の消耗品のご使用による故障および破損で修理サービスを依頼されますと、保証期間内であっても有償となります。

②修理の内容によっては、登録内容が消去される可能性があります。あらかじめ登録内容をメモしておいてください。この場合再登録はお客様ご自身でお願いいたします。

その他の場合

●下記のような変更がある場合は、事前にお買い上げの販売店またはインフォメーションセンターにご相談ください。

①移設の場合 …… NTTへの手続きや機器の再調整が必要な場合があります。事前にお買い上げの販売店にご連絡ください。
②ファクシミリ通信網に加入する場合* …… 機器はそのままご使用いただけます。
③新電電系回線サービスに加入する場合* …… 機器はそのままご使用いただけます。
④マイラインまたはマイラインプラスに加入する場合* …… 機器はそのままご使用いただけます。
⑤海外との通信の場合 …… そのまま通信できます。うまく通信できないときは、お買い上げの販売店またはインフォメーションセンターにご相談ください。

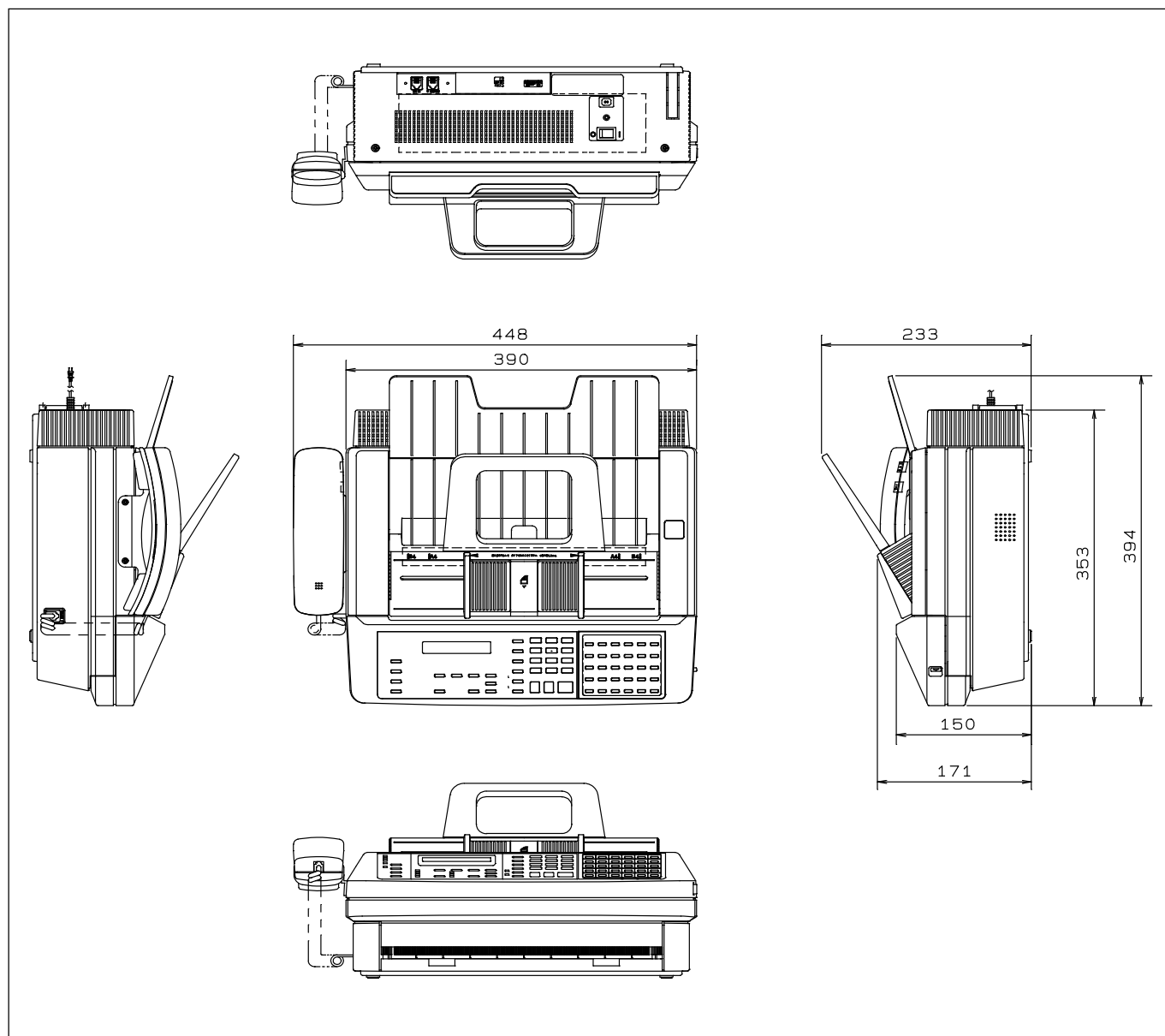
*お客さまご自身でのお申し込みが必要です。

4 主な仕様

●製品の仕様、外観は改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

	F-355
形式	卓上型、送受信兼用
原稿	サイズ　幅　：120～280 mm　長さ：100～900 mm 最大セット枚数　30枚
記録紙	感熱記録紙　：B4/A4（257mm/216mm幅）×100mロール1インチ紙管 普通紙ライク感熱記録紙：B4/A4（257mm/216mm幅）×80mロール1インチ紙管
走査線密度	超高画質モード：主走査　8 dots/mm×副走査 15.4 本/mm　*1 高画質モード　：主走査　8 dots/mm×副走査　7.7 本/mm　*1 標準モード　：主走査　8 dots/mm×副走査　3.85 本/mm
通信速度	33600,31200,28800,26400,24000,21600,19200,16800,14400,12000, 9600,7200,4800,2400bps（自動切替）
走査方式	送信部：CCDイメージセンサーによる固体電子平面走査 受信部：サーマルヘッドによる固体走査
記録方式	感熱記録方式
適用回線	加入電話回線（ファクシミリ通信網を含む）NCC回線
電送速度*2	2秒台（33.6Kbps）／ 3秒台（28.8Kbps）
符号化方式	MH/MR/MMR/JBIG MSE（独自）
画像メモリー容量	1.2 MByte（バッテリーにより、約100時間のメモリーバックアップ可）*3
電源	AC100 V±10 %、50 Hz/60 Hz共用
消費電力	待機時　：　6.2 W 送信時　：　43　W 受信時　：　34　W コピー時　：　56　W 最大消費電力　：295　W
最大電流値	3.6 A
重量	本体：8.1 kg（付属品を除く）本体電話：0.2 kg
外形寸法	幅 390×奥行き 353×高さ 150 mm （突起部分は含みません）
環境条件	動作温度：5～35 ℃ 動作湿度：10～80 %

＊1 該当モードを持たない装置とは交信できません。
＊2 A4判700字程度の原稿を、標準的画質（8×3.85 本/mm）、スーパーG3モード（ITU-T V.34準拠、33.6Kbps：2秒台／28.8Kbps：3秒台）で送ったときの時間です。画像情報のみの電送速度で通信の制御時間は含まれておりません。なお、実際の通信時間は原稿の内容、相手機種、回線の状態により異なります。G3機との通信(同じ原稿を14.4Kbpsで送ったとき）では6秒台になります。
＊3 バックアップ時間はメモリー容量によって異なります。
1.2MByte …約100時間（標準）
3.2MByte …約 50時間（2MByte増設時）
5.2MByte …約 30時間（4MByte増設時）
※ただし、あらかじめ24時間以上通電されている必要があります。

448
390
233
394
353
150
171

●このモデルは日本仕様の認可機です。日本国内でのみ設置できます。（日本から海外のファクシミリとの国際電話による交信もできます。）
This facsimile machine is designed for use only in Japan and can not be used in any other country.
●外観、仕様などは改良のため予告なく変更することがあります。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

5 さくいん

●英字

●あ

●か

●さ

●た

6 消耗品とオプション品について

消耗品について

● 本機には、以下の消耗品が用意されています。これらは、機械に最も適した規格で作られているため、必ず以下のものを使用してください。※指定された消耗品以外のご使用による故障・損傷は有料修理となる場合があります。

消耗品、オプション品のご注文は、巻末の**消耗品発注票**をご利用ください。

消耗品	梱包形態
感熱記録紙（6本セットで販売しています。）	100m 1インチ：A4×6本
	100m 1インチ：B4×6本
普通紙ライク感熱記録紙（6本セットで販売しています。）	80m 1インチ：A4×6本
＊普通紙のような少し厚手の感熱記録紙です。	80m 1インチ：B4×6本
済スタンプ 梱包箱には右記の内容が同梱されています。	済スタンプ 1個 ピン 1個

＊同梱内容・形態は予告なく変更することがあります。

オプション品について

品　　名	備　　考
キャリアシート B4用 A4用	紙厚が薄い原稿やカールした原稿を送信するときに使用します。
増設メモリー 2MB 4MB	2MB、4MBのいずれかを装着し、メモリー容量を増やすことができます。 2MBを増設すると弊社A4標準原稿で約255枚、4MBを増設すると約415枚まで蓄積できるようになります。 ＊メモリーバックアップ時間はメモリー容量によって異なります。（149ページ参照）
ドキュメントトラック（B4対応）	排出される原稿をためることができます。

消耗品発注票について

● 消耗品、オプション品の発注の場合
次のページの発注票を切り取り、氏名、住所、ご注文日、納入希望日、電話番号、注文品のサイズ、数量、オプション品名と数量をご記入の上、ファクスにて発注してください。注文品のサイズはA4かB4に○を付けてください。
（会社単位でお申し込みの場合は、会社名、部署名、担当者名をご記入ください。）

● ご注文に際しての注意点
・消耗品のバラ売りはお受けしておりません。
・料金のお支払いは商品と引き替えにてお願いします。
・消耗品、オプション品には運送料は含まれておりません。運送の際には実費をご負担いただきます。
・商品のお届けには、ご注文後2日ほどかかります。

MEMO

● 上記以外の消耗品を使用して発生したトラブルについて、修理を依頼されますと保証期間内であっても有償になることがあります。
● 消耗品は以下のような場所を避けて保管してください。
　・高温多湿の場所　・火気のある場所　・直射日光の当たる場所　・ほこりの多い場所
● 消耗品はご使用になるまで包装された状態で保管してください。
● 消耗品は常に予備があるようにしてください。消耗品・オプション品のご注文は、巻末の消耗品発注票をご利用ください。

muratec

消耗品発注票

弊社FAX番号

行

<table>
<tr><td rowspan="3">ご送付先</td><td colspan="2">お客様名（フリガナ）</td><td>ご注文日　／</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td>納入希望日　／</td></tr>
<tr><td colspan="3">ご住所（フリガナ）

電話番号　　内線</td></tr>
</table>

機種	品名	サイズ	数量
F-355	感熱記録紙	A4　B4	セット
	普通紙ライク感熱記録紙	A4　B4	セット
	済スタンプ		セット

〈備考〉

muratec

消耗品発注票

弊社FAX番号

行

<table>
<tr><td rowspan="3">ご送付先</td><td colspan="2">お客様名（フリガナ）</td><td>ご注文日　／</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td>納入希望日　／</td></tr>
<tr><td colspan="3">ご住所（フリガナ）

電話番号　　内線</td></tr>
</table>

機種	品名	サイズ	数量
F-355	感熱記録紙	A4　B4	セット
	普通紙ライク感熱記録紙	A4　B4	セット
	済スタンプ		セット

〈備考〉

muratec

消耗品発注票

弊社FAX番号

行

ご送付先	お客様名（フリガナ）	ご注文日　／
		納入希望日　／
	ご住所（フリガナ）	
	電話番号　　内線	

機種	品名	サイズ	数量
F-355	感熱記録紙	A4　B4	セット
	普通紙ライク感熱記録紙	A4　B4	セット
	済スタンプ		セット

〈備考〉

muratec

消耗品発注票

弊社FAX番号

行

ご送付先	お客様名（フリガナ）	ご注文日　／
		納入希望日　／
	ご住所（フリガナ）	
	電話番号　　内線	

機種	品名	サイズ	数量
F-355	感熱記録紙	A4　B4	セット
	普通紙ライク感熱記録紙	A4　B4	セット
	済スタンプ		セット

〈備考〉

国際エネルギースタープログラムについて

国際エネルギースタープログラムは、コンピューターをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー 化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンター、ファクシミリ、複写機、スキャナー、複合機のオフィス機器で、それぞれの基準ならび にマーク（ロゴ）は参加各国の間で統一されています。